

# MITSUBISHI

*Changes for the Better*

三菱グラフィックオペレーションターミナル

GRAPHIC OPERATION TERMINAL

# GOT1000

GOTについて

ソフトウェアについて

## GOT1000シリーズ ハンドブック Ver.L

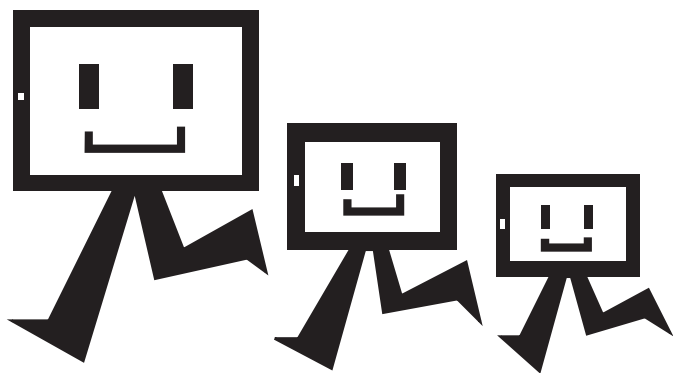
機能について

接続構成について

海外規格対応状況

機器一覧

用語集



CC-Link IE



iQ  
Platform

Windows® 7 対応





## はじめに

この GOT1000 シリーズハンドブックでは、三菱グラフィックオペレーションターミナル (以下 GOT と省略) の GOT1000 シリーズについての基本的な情報、設置するために必要な情報などを記載しています。

より詳細な情報が知りたいときは、必要なマニュアルにナビゲートします。



## このハンドブックのみかた

本書は、必ず以下のカタログやマニュアルと併せて、ご参照ください。

### ■ カタログ

新機能の情報や、商品ラインナップ、価格などを記載しています。

本書が対応するカタログのバージョン

- ・ GOT1000 シリーズ 総合カタログ L(名)08037-X 1204 (MDOC)
- ・ MELSOFT GT Works3 カタログ L(名)08157-F 1204 (MDOC)

### ■ GOT1000 の関連のマニュアル

GOT に関する詳細な情報が記載されています。

本書では、詳細な情報は、GOT1000 の各マニュアルへ参照させています。

GOT1000 の関連マニュアルは、インターネットによる三菱電機 FA 機器技術情報サービスである MELFANSweb ホームページ (<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>) で、ダウンロードできます。



## マニュアルについて

接続、ソフトウェアの操作・インストールなどの内容が知りたいときは、下記のマニュアルをご参照ください。

### ■ GOT 本体のハードウェアに関する内容が知りたい！

- ・ GT16 本体取扱説明書（ハードウェア詳細編） SH-080923 (1D7MD1)
- ・ GT16 本体取扱説明書（基本ユーティリティ編） SH-080924 (1D7MD2)
- ・ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 JY997D40501, JY997D40502(09R820)
- ・ GT15 本体取扱説明書 SH-080507 (1D7M12)
- ・ GT14 本体取扱説明書 JY997D44101 (09R822)
- ・ GT11 本体取扱説明書 JY997D15001 (09R814)
- ・ GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 JY997D18901, JY997D18902(09R816)
- ・ GT10 本体取扱説明書 JY997D24101 (09R818)

### ■ GT SoftGOT1000 の画面構成、機能、使用方法に関する内容が知りたい！

- ・ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 SH-080844(1D7MA3)

### ■ GT Designer3 の作画の基本操作やデータ転送、共通設定に関する内容が知りたい！

- ・ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（共通編） SH-080836 (1D7M94)

### ■ 各オブジェクト機能の仕様や設定内容などに関する内容が知りたい！

- ・ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編） SH-080837 (1D7M95)

### ■ GT Simulator3 の画面構成、操作方法、機能などに関する内容が知りたい！

- ・ GT Simulator3 Version1 操作マニュアル GT Works3 対応 SH-080845(1DMA4)

### ■ 接続形態のシステム構成、ケーブルの作成方法などに関する内容が知りたい！

- ・ GOT1000 シリズ接続マニュアル（三菱電機機器接続編）GT Works3 対応 SH-080838(1D7M96)
- ・ GOT1000 シリズ接続マニュアル（他社機器接続編 1）GT Works3 対応 SH-080839(1D7M97)
- ・ GOT1000 シリズ接続マニュアル（他社機器接続編 2）GT Works3 対応 SH-080840(1D7M98)
- ・ GOT1000 シリズ接続マニュアル（マイコン・MODBUS・周辺機器接続編）GT Works3 対応 SH-080841(1D7M99)

### ■ 機能拡張、オプション機能に関する内容が知りたい！

- ・ GOT1000 シリズ本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応 SH-080849(1D7MA6)

### ■ ゲートウェイ機能の仕様、システム構成、設定方法などに関する内容が知りたい！

- ・ GOT1000 シリズゲートウェイ機能マニュアル GT Works3 対応 SH-080842(1D7MA1)

### ■ MES インタフェース機能の仕様、システム構成、設定方法などに関する内容が知りたい！

- ・ GOT1000 シリズ MES インタフェース機能マニュアル GT Works3 対応 SH-080843(1D7MA2)



## こんな機能を新たに追加！

こんな機能を新たに追加しましたので、紹介します。

2012年3月現在

### ■ 新機種を追加

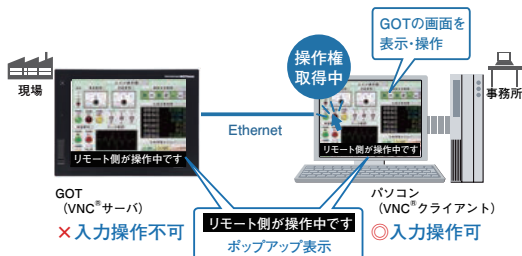
- GT14 シリーズ 4 機種 (GT1455-QTBD, GT1455-QTBDE, GT1450-QLBD, GT1450-QLBDE) を追加

📄 GT14 本体取扱説明書

### ■ 新機能で、GOT が更に充実

- VNC® サーバ機能

- ・ パソコン (VNC® クライアント) から遠隔地にある GOT (VNC® サーバ) の画面表示や操作が可能です。
- ・ 操作権の排他制御により、現場の GOT と遠隔地のパソコンでの同時操作による事故を防止できます。また、接続パスワードにより、閲覧・操作可否を制御できます。



〈使用できる VNC® クライアントソフトウェア〉

- ・ ソフトウェア名：Ultra VNC バージョン 1.0.8.2 を推奨
- ・ メーカー名：UltraVNC team

\*：別途ライセンス (GT16-VNCSKEY) が必要です。

- FA 透明ペARENT 機能 (機能追加)

GOT と FXCPU (CC-Link マスタ局) を CPU 直接接続時、CC-Link スレーブ局にアクセスできるようになりました。

### ■ 各種モニタ機能で対応機種が追加

- ・ インテリジェント機能ユニットモニタ機能：QD77MS, QD73A1, LD75
- ・ Q モーションモニタ機能：Q172DSCPU, Q173DSCPU
- ・ サーボアンプモニタ機能：MR-J4-A

### ■ ハードコピー機能に対応

GT10 が、ハードコピー機能に対応しました。

### ■ プリンタ接続に対応

GT14/GT10 がシリアルプリンタとの接続に対応しました。

## ■ 接続機器が充実

- GT16/GT15/GT14/GT11/GT10/GT SoftGOT1000  
他社製シーケンサ  
安川電機社製シーケンサ (MP2300S) を機種追加  
↳ 4.3.13 項 安川電機社製シーケンサ
  
- GT16/GT15/GT14/GT11/GT10  
シーケンサ (FX3GC) を機種追加  
モーションコントローラ (Q172DSCPU, Q173DSCPU) を機種追加  
↳ 4.1 節 三菱電機社製シーケンサ  
  
他社製ロボットコントローラ  
東芝機械社製ロボットコントローラとの接続をサポート  
↳ 4.3.8 項 東芝機械社製シーケンサ  
  
アイエイアイ社製ロボットコントローラ (ASEL, PSEL, ERC2) を機種追加  
↳ 4.4.3 項 アイエイアイ社製ロボットコントローラ
  
- GT16/GT15/GT14/GT11  
他社温度調節器  
アズビル (旧山武) 社製制御機器 (SDC45/46, CMS, CMF015, CMF050, CML, MQV, MPC, MVF, PBC201-VN2, AUR350C, AUR450C, RX, CMC10B) を機種追加  
↳ 4.7.2 項 アズビル社製制御機器
  
- GT16/GT15/GT14  
他社製シーケンサ  
日立産機システム社製シーケンサ (EH-CPU516, EH-CPU548) を機種追加  
↳ 4.3.9 項 日立産機システム社製シーケンサ

## 本ハンドブックで使用する略称，総称

本ハンドブックの説明で使用している略称，総称を下記に示します。

### ■ GOT

略称 / 総称		内容	
GOT1000 シリーズ	GT1695	GT1695M-X	GT1695M-XTBA, GT1695M-XTBD の略称
	GT1685	GT1685M-S	GT1685M-STBA, GT1685M-STBD の略称
	GT1675	GT1675M-S	GT1675M-STBA, GT1675M-STBD の略称
		GT1675M-V	GT1675M-VTBA, GT1675M-VTBD の略称
		GT1675-VN	GT1675-VNBA, GT1675-VNBD の略称
	GT1672	GT1672-VN	GT1672-VNBA, GT1672-VNBD の略称
	GT1665	GT1665M-S	GT1665M-STBA, GT1665M-STBD の略称
		GT1665M-V	GT1665M-VTBA, GT1665M-VTBD の略称
	GT1662	GT1662-VN	GT1662-VNBA, GT1662-VNBD の略称
	GT1655	GT1655-V	GT1655-VTBD の略称
	GT16		GT1695, GT1685, GT1675, GT1672, GT1665, GT1662, GT1655, GT16 ハンディの略称
	GT1595	GT1595-X	GT1595-XTBA, GT1595-XTBD の略称
	GT1585	GT1585V-S	GT1585V-STBA, GT1585V-STBD の略称
		GT1585-S	GT1585-STBA, GT1585-STBD の略称
	GT157□	GT1575V-S	GT1575V-STBA, GT1575V-STBD の略称
		GT1575-S	GT1575-STBA, GT1575-STBD の略称
		GT1575-V	GT1575-VTBA, GT1575-VTBD の略称
		GT1575-VN	GT1575-VNBA, GT1575-VNBD の略称
		GT1572-VN	GT1572-VNBA, GT1572-VNBD の略称
	GT156□	GT1565-V	GT1565-VTBA, GT1565-VTBD の略称
GT1562-VN		GT1562-VNBA, GT1562-VNBD の略称	
GT155□	GT1555-V	GT1555-VTBD の略称	
	GT1555-Q	GT1555-QTBD, GT1555-QSBD の略称	
	GT1550-Q	GT1550-QLBD の略称	
GT15		GT1595, GT1585, GT157□, GT156□, GT155□の略称	
GT145□	GT1455-Q	GT1455-QTBD, GT1455-QTBD の略称	
	GT1450-Q	GT1450-QLBDE, GT1450-QLBD の略称	
GT14		GT1455-Q, GT1450-Q の略称	
GT115□	GT1155-Q	GT1155-QTBDQ, GT1155-QSBDQ, GT1155-QTBDA, GT1155-QSBDA, GT1155-QTBD, GT1155-QSBD の略称	
	GT1150-Q	GT1150-QLBDQ, GT1150-QLBDA, GT1150-QLBD の略称	
GT11		GT115□, GT11 ハンディの略称	
GT105□	GT1055-Q	GT1055-QSBD の略称	
	GT1050-Q	GT1050-QBBD の略称	
GT104□	GT1045-Q	GT1045-QSBD の略称	
	GT1040-Q	GT1040-QBBD の略称	
GT1030		GT1030-LBD, GT1030-LBD2, GT1030-LBL, GT1030-LBDW, GT1030-LBDW2, GT1030-LBLW, GT1030-LWD, GT1030-LWD2, GT1030-LWL, GT1030-LWDW, GT1030-LWDW2, GT1030-LWLW, GT1030-HBD, GT1030-HBD2, GT1030-HBL, GT1030-HBDW, GT1030-HBDW2, GT1030-HBLW, GT1030-HWD, GT1030-HWD2, GT1030-HWL, GT1030-HWDW, GT1030-HWDW2, GT1030-HWLW の略称	
GT1020		GT1020-LBD, GT1020-LBD2, GT1020-LBL, GT1020-LBDW, GT1020-LBDW2, GT1020-LBLW, GT1020-LWD, GT1020LWD2, GT1020-LWL, GT1020-LWDW, GT1020-LWDW2, GT1020-LWLW の略称	
GT10		GT105□, GT104□, GT1030, GT1020 の略称	

略称 / 総称			内容	
GOT1000 シリーズ	ハンディ GOT	GT16 ハンディ	GT1665HS-V	GT1665HS-VTBD の略称
		GT11 ハンディ	GT1155HS-Q	GT1155HS-QSBD の略称
	GT SoftGOT1000	GT1150HS-Q	GT1150HS-Q	GT1150HS-QLBD の略称
				GT SoftGOT1000 の略称
GOT900 シリーズ			GOT-A900 シリーズ、GOT-F900 シリーズの略称	
GOT800 シリーズ			GOT-800 シリーズの略称	

## ■その他

略称 / 総称	内容
アイエイアイ社	株式会社アイエイアイの略称
アズビル社	アズビル株式会社(旧株式会社山武)の略称
オムロン社	オムロン株式会社の略称
キーエンス社	株式会社キーエンスの略称
光洋電子工業社	光洋電子工業株式会社の略称
シャープマニファクチャリングシステム社	シャープマニファクチャリングシステム株式会社の略称
ジェイテクト社	株式会社 ジェイテクトの略称
神港テクノス社	神港テクノス株式会社の略称
チノー社	株式会社チノーの略称
東芝社	株式会社 東芝の略称
東芝機械社	東芝機械株式会社の略称
日立産機システム社	株式会社 日立産機システムの略称
日立製作所社	株式会社 日立製作所の略称
富士電機機器制御社	富士電機機器制御株式会社の略称
パナソニック社	パナソニック株式会社の略称
富士電機システムズ社	富士電機システムズ株式会社の略称
安川電機社	株式会社安川電機の略称
横河電機社	横河電機株式会社の略称
ALLEN-BRADLEY	Allen-Bradley(Rockwell Automation, Inc) の略称
GE ファナックオートメーション社	GE Fanuc Automation Corporation の略称
LS 産電社	LS 産電株式会社の略称
SCHNEIDER ELECTRIC 社	Schneider Electric SA の略称
SICK 社	SICK AG の略称
SIEMENS 社	Siemens AG の略称
理化学工業社	理化学工業株式会社の略称
平田機工社	平田機工株式会社の略称
MURATEC	Muratec(ムラテックオートメーション株式会社)の略称
シーケンサ	各社シーケンサの総称
温度調節器	各社温度調節器の総称
指示調節計	各社指示調節計の総称
制御機器	各社制御機器の総称
調節計	各社調節計の総称
パソコン CPU ユニット	株式会社コンテック製パソコン CPU ユニットの略称
GOT(サーバ)	サーバ機能を使用する GOT の略称
GOT(クライアント)	クライアント機能を使用する GOT の略称
Windows <sup>®</sup> フォント	Windows <sup>®</sup> で使用できる TrueType フォント (GT Designer3 で設定できる TrueType フォントとは異なる)。OpenType フォントの略称
インテリジェント機能ユニット	ベースユニットに装着される、シーケンサ CPU、電源ユニット、入出力ユニット以外のユニット
MODBUS <sup>®</sup> /RTU	シリアル通信で、MODBUS <sup>®</sup> プロトコルの伝文を使用するためのプロトコルの総称。
MODBUS <sup>®</sup> /TCP	TCP/IP ネットワーク上で、MODBUS <sup>®</sup> プロトコルの伝文を使用するためのプロトコルの総称。



# 目 次

はじめに	A-1
このハンドブックのみかた	A-1
マニュアルについて	A-2
こんな機能を新たに追加!	A-3
本ハンドブックで使用する略称、総称	A-5
目 次	A-7

## 1 GOT について 1

1.1 製品ラインアップ	2
1.2 仕様	12
1.3 各部の名称	22
1.4 取付け	24
1.5 外形寸法	26

## 2 ソフトウェアについて 29

2.1 製品ラインアップ	30
2.2 仕様(動作環境)	32

## 3 機能について 33

3.1 機能一覧	34
3.2 ご使用時の留意事項	36
3.3 各機能の概要	63

## 4 接続構成について 101

4.1 三菱電機製シーケンサ	102
4.1.1 各接続形態について	102
4.1.2 バス接続	108
4.1.3 バス接続の詳細	110
4.1.4 CPU 直接接続	128
4.1.5 計算機リンク接続	162
4.1.6 Ethernet 接続	177
4.1.7 MELSECNET/H 接続	182
4.1.8 MELSECNET/10 接続	185
4.1.9 CC-Link IE コントローラネットワーク接続	189
4.1.10 CC-Link IE フィールドネットワーク接続	191
4.1.11 CC-Link(インテリジェントデバイス局)接続	193
4.1.12 CC-Link(G4 経由)接続	196
4.2 三菱電機製その他の機器	200
4.2.1 インバータ接続	200
4.2.2 サーボアンプ接続	202
4.2.3 ロボットコントローラ接続	207
4.2.4 CNC(MELDAS C6/C64) 接続	209
4.2.5 GOT マルチドロップ接続	219
4.2.6 GT14, GT11, GT10 複数台接続	224
4.3 他社製シーケンサ	227
4.3.1 各接続形態について	227

4.3.2 オムロン社製シーケンサ	231
4.3.3 キーエンス社製シーケンサ	234
4.3.4 光洋電子工業社製シーケンサ	236
4.3.5 シャープマニファクチャリングシステム社製シーケンサ	238
4.3.6 ジェイテクト社製シーケンサ	240
4.3.7 東芝社製シーケンサ	242
4.3.8 東芝機械社製シーケンサ	244
4.3.9 日立産機システム社製シーケンサ	245
4.3.10 日立製作所社製シーケンサ	247
4.3.11 富士電機機器制御社製シーケンサ	248
4.3.12 パナソニック社製シーケンサ	249
4.3.13 安川電機社製シーケンサ	251
4.3.14 横河電機社製シーケンサ	253
4.3.15 ALLEN-BRADLEY 製シーケンサ	255
4.3.16 GE ファナックオートメーション社製シーケンサ	258
4.3.17 LS 産電社製シーケンサ	260
4.3.18 SICK 社製安全コントローラ	261
4.3.19 SIEMENS 社製シーケンサ	262
4.4 他社製その他の機器	264
4.4.1 各接続形態について	264
4.4.2 パナソニック社製サーボアンプ	267
4.4.3 アイエイアイ社製ロボットコントローラ	268
4.5 マイコン接続	270
4.5.1 マイコン接続 (シリアル)	270
4.5.2 マイコン接続 (Ethernet)	274
4.6 MODBUS(R) 接続	276
4.6.1 MODBUS(R)/RTU 接続	276
4.6.2 MODBUS(R)/TCP 接続	280
4.7 他社温度調節器	283
4.7.1 各接続形態について	283
4.7.2 アズビル社製制御機器	287
4.7.3 オムロン社製温度調節器	289
4.7.4 神港テクノス社製指示調節計	290
4.7.5 チノー社製調節計	292
4.7.6 富士電機システムズ社製温度調節器	294
4.7.7 横河電機社製温度調節器	296
4.7.8 理化工業社製温度調節器	298
4.8 その他の機器	300
4.8.1 音声出力	300
4.8.2 外部入出力	301
4.8.3 バーコードリーダ接続	302
4.8.4 ビデオ・RGB 接続	304
4.8.5 マルチメディア接続	306
4.8.6 プリンタ接続	308
4.8.7 パソコンリモート操作接続	310
4.8.8 RFID 接続	312
4.8.9 VNC(R) サーバ接続	314
4.9 注意事項	315

---

<b>5 海外規格対応状況</b>	<b>317</b>
-------------------	------------

---

<b>6 機器一覧</b>	<b>323</b>
---------------	------------

---

<b>7 用語集</b>	<b>333</b>
--------------	------------

---

保証について	337
サービスネットワーク	338



# 1. GOTについて

GOTの概要について説明します。

1.1 製品ラインアップ.....	2
1.2 仕様.....	12
1.3 各部の名称.....	22
1.4 取付け.....	24
1.5 外形寸法.....	26

# 1. GOT について

## 1.1 製品ラインアップ

### ● GT 16

Ethernet, マルチメディアなど多彩な機能をオールインワン。

**15型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1695M-VTBA **ACタイプ**  
GT1695M-VTBD **DCタイプ**

解像度: XGA 1024 × 768  
表示色: 65536色  
マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**12.1型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1685M-STBA **ACタイプ**  
GT1685M-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色  
マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**10.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1675M-STBA **ACタイプ**  
GT1675M-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色  
マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**10.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1675M-VTBA **ACタイプ**  
GT1675M-VTBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 65536色  
マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**10.4型** TFT  
GT1675-VNBA **ACタイプ**  
GT1675-VNBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 4096色



**10.4型** TFT  
GT1672-VNBA **ACタイプ**  
GT1672-VNBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 16色



**8.4 型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT1665M-STBA **ACタイプ**  
 GT1665M-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
 表示色: 65536 色  
 マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**8.4 型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT1665M-VTBA **ACタイプ**  
 GT1665M-VTBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
 表示色: 65536 色  
 マルチメディア・ビデオ / RGB 対応



**8.4 型** TFT  
 GT1662-VNBA **ACタイプ**  
 GT1662-VNBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
 表示色: 16 色



**5.7 型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT1655-VTBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
 表示色: 65536 色



**6.5 型** ハンディ GOT/TFT (高輝度・広視野角)  
 GT1666HS-VTBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
 表示色: 65536 色



## ● GT 15

ネットワークからスタンドアロンまで、幅広い活用範囲。

**15型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1595-XTBA **ACタイプ**  
GT1595-XTBD **DCタイプ**

解像度: XGA 1024 × 768  
表示色: 65536色



**12.1型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1585V-STBA **ACタイプ**  
GT1585V-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色  
ビデオ / RGB 対応



**12.1型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1585-STBA **ACタイプ**  
GT1585-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色



**10.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1575V-STBA **ACタイプ**  
GT1575V-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色  
ビデオ / RGB 対応



**10.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1575-STBA **ACタイプ**  
GT1575-STBD **DCタイプ**

解像度: SVGA 800 × 600  
表示色: 65536色



**10.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
GT1575-VTBA **ACタイプ**  
GT1575-VTBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 65536色



**10.4型** TFT  
GT1572-VNBA **ACタイプ**  
GT1572-VNBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 256色



**10.4型** TFT  
GT1572-VNBA **ACタイプ**  
GT1572-VNBD **DCタイプ**

解像度: VGA 640 × 480  
表示色: 16色





**8.4型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT11565-VTBA **ACタイプ**  
 GT11565-VTBD **DCタイプ**

解像度 : VGA 640 × 480  
 表示色 : 65536色



**8.4型** TFT  
 GT11562-VNBA **ACタイプ**  
 GT11562-VNBD **DCタイプ**

解像度 : VGA 640 × 480  
 表示色 : 16色



**5.7型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT11555-VTBD **DCタイプ**

解像度 : VGA 640 × 480  
 表示色 : 65536色



**5.7型** TFT (高輝度・広視野角)  
 GT11555-QTBD **DCタイプ**

解像度 : QVGA 320 × 240  
 表示色 : 65536色



**5.7型** STN  
 GT11555-QSBD **DCタイプ**

解像度 : QVGA 320 × 240  
 表示色 : 4096色



**5.7型** STN  
 GT11550-QLBD **DCタイプ**

解像度 : QVGA 320 × 240  
 表示色 : モノクロ 16階調



## ● GT 1 4

---

使いやすいサイズと機能、これからの新基準。

NEW

5.7  
型

TFT

GT1455-QTB0

DCタイプ

シリアル接続

GT1455-QTB0E

DCタイプ

Ethernet接続

解像度：QVGA 320 × 240

表示色：65536色

NEW

5.7  
型

STN

GT1450-QLB0

DCタイプ

シリアル接続

GT1450-QLB0E

DCタイプ

Ethernet接続

解像度：QVGA 320 × 240

表示色：モノクロ16階調



## ● GT 1 1

スタンドアロンユースとして、基本機能を充実。

**5.7 型** TFT  
 GT1155-QTBD **DCタイプ**  
 GT1155-QTBDC **DCタイプ** Qバス接続\*1  
 GT1155-QTBDA **DCタイプ** Aバス接続\*2

解像度：QVGA 320 × 240  
 表示色：256色



**5.7 型** STN  
 GT1155-QSBD **DCタイプ**  
 GT1155-QSBDC **DCタイプ** Qバス接続\*1  
 GT1155-QSBDA **DCタイプ** Aバス接続\*2

解像度：QVGA 320 × 240  
 表示色：256色



**5.7 型** STN  
 GT1150-QLBD **DCタイプ**  
 GT1150-QLBDC **DCタイプ** Qバス接続\*1  
 GT1150-QLBDA **DCタイプ** Aバス接続\*2

解像度：QVGA 320 × 240  
 表示色：モノクロ 16階調



**5.7 型** ハンディ GOT/STN  
 GT1155HS-QSBD **DCタイプ**

解像度：QVGA 320 × 240  
 表示色：256色



**5.7 型** ハンディ GOT/STN  
 GT1150HS-QLBD **DCタイプ**

解像度：QVGA 320 × 240  
 表示色：モノクロ 16階調



- \* 1：QCPU(Qモード)/モーションコントローラ CPU(Qシリーズ) 接続用
- \* 2：QnA/ACPU/モーションコントローラ CPU(Aシリーズ) 接続用

## ● GT 1 0

---

表示器としての機能性を無駄なく凝縮。



解像度：QVGA 320 × 240  
表示色：256 色



解像度：QVGA 320 × 240  
表示色：モノクロ（白/青）16 階調



解像度：QVGA 320 × 240  
表示色：256 色



解像度：QVGA 320 × 240  
表示色：モノクロ（白/青）16 階調



4.5  
型

## STN

GT1030-LB0	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LB02	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-LBL	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LWD	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LWD2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-LWL	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：288 × 96  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（緑／橙／赤）

4.5  
型

## STN（高コントラスト）

GT1030-HB0	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HB02	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-HBL	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HWD	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HWD2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-HWL	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：288 × 96  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（緑／橙／赤）

4.5  
型

## STN

GT1030-LBDW	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LBDW2	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-LBLW	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LWDW	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-LWDW2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-LWLW	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：288 × 96  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（白／ピンク／赤）

4.5  
型

## STN（高コントラスト）

GT1030-HBDW	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HBDW2	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-HBLW	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HWDW	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1030-HWDW2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1030-HWLW	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：288 × 96  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（白／ピンク／赤）

3.7  
型

## STN

GT1020-LB0	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LB02	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1020-LBL	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LWD	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LWD2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1020-LWL	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：160 × 64  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（緑／橙／赤）

3.7  
型

## STN

GT1020-LBDW	フラツク	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LBDW2	フラツク	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1020-LBLW	フラツク	DC5Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LWDW	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-422接続
GT1020-LWDW2	ホワイト	DC24Vタイプ	RS-232接続
GT1020-LWLW	ホワイト	DC5Vタイプ	RS-422接続

解像度：160 × 64  
表示色：モノクロ（白／黒）  
バックライト：3色LED（白／ピンク／赤）



# パソコンやパネコンが、GOT1000に。 GOTの多彩な機能をこのソフトウェアに凝縮。

GOT1000対応HMIソフトウェア



# GT SoftGOT1000 Version3

## GT SoftGOT1000とは

パソコンやパネコン上でGOTの機能を実現するHMIソフトウェア、それがGT SoftGOT1000です。三菱シーケンサなど、さまざまな機器と接続し、GOT1000シリーズと同様のモニタを実現します。さらにGOTのプロジェクトデータをそのまま流用することも可能です。GOTの特長に加え、パソコン・パネコンのメリットを活かした、ワンランク上の便利を実感していただけます。

GT SoftGOT1000 Version3は、GT Works3に含まれているソフトウェアです。  
使用時は、別途ライセンスキーの装着が必要です。



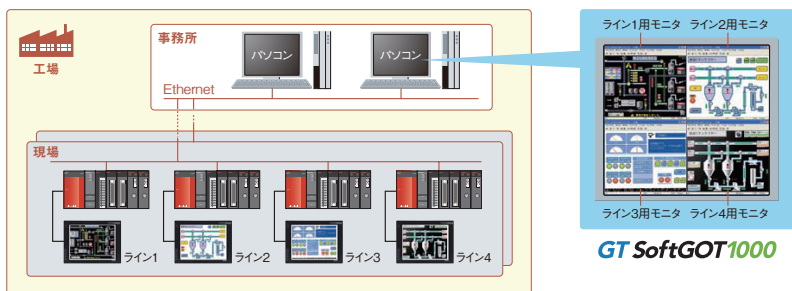
## 事務所のパソコンで生産現場を監視

### ダウンタイム短縮に貢献

GT SoftGOT1000を使い、事務所のパソコンで生産現場を監視することで、トラブル発生時にすくなく情報把握できるため、迅速な対応が図れます。

### 現場GOTのプロジェクトデータを活用

GT SoftGOT1000のプロジェクトデータとして、現場GOTのプロジェクトデータをそのまま流用できるため、設計コストを削減できます。



## MELSEC計装との連携で、計装シーンに適用可能

計装制御の設計・保守業務向けエンジニアリング環境PX DeveloperのモニタツールとGT SoftGOT1000の連携により、計装監視システムが手軽に構築できます。

### PX Developer フェースプレートなど

ループ制御タグの監視・操作やチューニングを行います。(表示位置を指定できます)

### PX Developer モニタツールバー

ボタンクリックでGT SoftGOT1000の起動やベース画面切り換えなどができます。

### GT SoftGOT1000 タッチスイッチ / オブジェクト

クリック時にPX Developerモニタツールの各種画面を表示します。(表示位置を指定できます)

### GT SoftGOT1000 ベース画面

全画面&最背面表示でデスクトップをグラフィック監視画面にすることができます。

### セキュリティ連携

PX Developerモニタツールのモード変更(エンジニアモード / オペレータモード / ロックモード)に合わせて、GT SoftGOT1000のセキュリティレベルが変更されます。セキュリティが必要な操作に対して権限を設定できます。

## 他アプリケーションとの連携で、高度なシステム構築を実現

ユーザ作成アプリケーションからGT SoftGOT1000の内部デバイスに対する読み出し／書き込みが可能です。データロガーなどのユーザアプリケーションとのデータ連携により、高度なシステム構築を実現します。また、GT SoftGOT1000モニター画面上のタッチスイッチから、他アプリケーションを起動できます。

### 〈ユーザアプリケーションの開発環境〉

- ・Microsoft® Visual Studio 6.0 / .NET (2002) / .NET2003 / 2005 / 2008 と同様のMicrosoft® Visual C++® / Visual C#® / Visual Basic®
- ・Embarcadero® C++Builder® XE

## さまざまな機器と接続可能

GT SoftGOT1000は、三菱シーケンサ・他社シーケンサ・MODBUS® / TCPスレーブ機器と接続できます。

\*対応メーカー・機種の詳細は、「接続可能な機種一覧(P.104)」をご参照ください。

RFID・バーコードリーダーと接続し、数値入力・アスキー入力ができます。

\*周辺機器の動作確認済み機器については、MELFANWebでご確認ください。

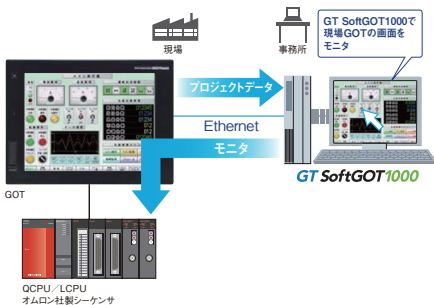
[<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>]

## SoftGOT-GOTリンク機能で、現場GOTとの連携を強化

### 現場GOTの画面をGT SoftGOT1000でモニタ

GT SoftGOT1000とGOTをEthernetで接続し、GOTのプロジェクトデータを用いて、GT SoftGOT1000で接続機器をモニタできます。\*

\*GOTがマルチチャンネル接続時は、CH1のみモニタ可。GOTとQCPU / LCPU間は、バス接続、CPU直接接続、計算機リンク接続、Ethernet接続で接続。GOTとオムロン社製シーケンサ間は、Ethernet接続で接続。



### GT SoftGOT1000 Commander

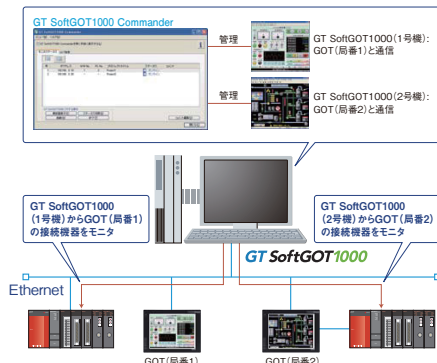
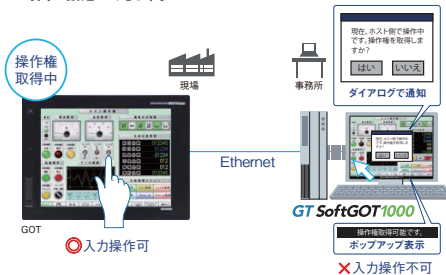
GT SoftGOT1000 Commanderを使用することで、SoftGOT-GOTリンク機能を使用している複数台のGT SoftGOT1000を効率的に管理でき、簡単にSoftGOT-GOTリンク機能を活用できます。

#### 〈GT SoftGOT1000 Commanderでできること〉

- ・Ethernet上のGOTを検索し、GT SoftGOT1000で起動 (GT16のみ) (検索一覧で任意のGOTのみ表示することもできます。)**NEW**
- ・GT SoftGOT1000の起動・終了
- ・GT SoftGOT1000のモニタ状態 (オンライン / オフライン) の確認・切り換え
- ・最前面に表示する GT SoftGOT1000の機種指定

### GT SoftGOT1000とGOTの同時操作をブロック

入力オブジェクト (タッチスイッチ、数値入力など) の操作は、GT SoftGOT1000かGOTの操作権を取得しているどちらか一方のみで可能です。操作権がない場合は、操作権の状態をポップアップで表示することができます。さらに、相手側から操作権を取得するかをダイアログで通知することができます。最終操作後、操作側で操作権を確保する時間の設定ができます。



「仕様 (動作環境) (P.32)」「機種別機能一覧 (P.34~)」「接続可能な機種一覧 (P.104)」を参照ください。

# 1.2 仕様

## ● GT16

### 一般仕様

項目	仕様					
使用周囲温度*1	表示部	0 ~ 50℃*5				
	表示部以外	0 ~ 55℃*5				
保存周囲温度		-20℃ ~ 60℃				
使用周囲湿度		10 ~ 90%RH、結露なきこと				
保存周囲湿度		10 ~ 90%RH、結露なきこと				
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合	衝撃的な振動がある場合	加速度	共振幅	繰り返し回数	
			5 ~ 8.4Hz	—	3.5mm	X、Y、Z
			8.4 ~ 150Hz	0.8m/s <sup>2</sup>	—	各方向 10回
		連続的な振動がある場合	5 ~ 8.4Hz	—	1.75mm	—
		8.4 ~ 150Hz	4.9m/s <sup>2</sup>	—	—	
耐衝撃	JIS B 3502 IEC 61131-2に適合 (147m/s <sup>2</sup> 、XYZ 3方向各 3回)					
使用雰囲気	油煙、腐食性ガス、可燃性ガスがない、導電性の灰がつかないこと、直射日光が当たらないこと (保存時も含む)					
使用標高*2	2000m 以下					
設置場所	制御室内*6					
オーバervolテージコネクタ*3	Ⅱ以下					
汚染度*4	2以下					
冷却方式	自然 自然					
接地	D 種接地 (100Ω 以下)、接地不可の場合は接地に接続のこと					

- \*1: マルチメディアユニット (GT16M-MMR)、MELSECNET/H 通信ユニット (GT15-J71LP23-25、GT15-J71BR13)、CC-Link 通信ユニット (GT15-J61B113) を装着する場合、一般仕様の使用周囲湿度は、左記最大湿度より 5% 低い値とさせていただきます。
- \*2: GOT は、標高 0m の大気圧以上に加工した環境で使用または保存しないようにしてください。使用した場合は、誤動作する可能性があります。前面温度を加圧によりエアパージすると、気圧によって表面のシートが浮いてタッチパネルが押しにくくなったり、シートががらりする恐れがあります。
- \*3: その機器が公共電網から構内機器装置に至るまでのどこに配電部に接続されているかを想定していることを示します。ケーブルは、固定設備からの給電される機器などに適用されます。定格 300V までの機器のサーキット電圧は 250V です。
- \*4: その機器が使用される環境における腐蝕性物質の発生度を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染が発生せず、条件によっては凝結による一時的な導電性が起こりうる環境です。
- \*5: GT1665HS は 0 ~ 40℃ です。
- \*6: GT1665HS は除きます。

直射日光の当たる場所や、高温、潮湿、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

海外規格・船積規格の対応状況については、MELANWeb ホームページ (<http://www.mitsubishielectric.co.jp/melanweb/>) でご確認ください。

### 性能仕様

項目	仕様						
	GT1695M-XTBA GT1695M-XTBD	GT1685M-STBA GT1685M-STBD	GT1675M-STBA GT1675M-STBD	GT1675M-VTBA GT1675M-VTBD	GT1675-VNBA GT1675-VNBD	GT1672-VNBA GT1672-VNBD	
表示部*1	種類	TFT カラー液晶 (高輝度、広視野角)				TFT カラー液晶	
	画面サイズ	15 型	12.1 型			10.4 型	
	解像度	XGA1024 × 768 [ドット]	SVGA800 × 600 [ドット]		VGA640 × 480 [ドット]		
	表示サイズ	304.1(W) × 228.1(H) [mm]	246(W) × 184.5(H) [mm]		211(W) × 158(H) [mm]		
	表示文字数	16 ドット標準フォント時 84 字 × 48 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 85 字 × 64 行 (全角)	16 ドット標準フォント時 50 字 × 37 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 66 字 × 50 行 (全角)		16 ドット標準フォント時 40 字 × 30 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 53 字 × 40 行 (全角)		
	表示色	65536 色				4096 色	
	視野角*2	左右各 75 度、上 50 度、下 60 度	左右各 80 度、上 80 度、下 80 度	上下左右各 88 度	左右各 80 度、上 80 度、下 60 度*14	左右各 45 度、上 30 度、下 20 度	
	液晶単体輝度	450(cd/m <sup>2</sup> )	470 [cd/m <sup>2</sup> ]	400(cd/m <sup>2</sup> )	500(cd/m <sup>2</sup> )*15	200(cd/m <sup>2</sup> )	
	輝度調整	9 段階調整					
	寿命	約 52,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 43,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 52,000 時間 (使用周囲温度 25℃)	
バックライト	冷陰極管 (交換可) バックライト切れ検出機能付き バックライト OFF / スクリーンセーブ時間の設定可						
	約 50,000 時間以上*10						
	(使用周囲湿度が 25℃ で表示輝度が 50% となる時間) テラドット駆動方式						
タッチパネル*10	キーサイズ						
	最小 2 × 2 [ドット] (1 キーあたり)						
	同時押し不可*4 (同時に 2 点以上を押した場合、押した点の中心付近のスイッチが動作することがあります)						
人感センサ	寿命*11						
	100 万回以上 (操作 0.98[N] 以下)						
	検出距離						
メモリ*5	検出距離						
	上下左右それぞれ 70 度						
	検出精度						
内蔵インタフェース	検出精度						
	0 ~ 4 [秒]						
	検出速度						
メモリ*5	Cドライブ						
	内蔵フラッシュメモリ 15M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)						
	寿命 (書き込み回数)						
内蔵時計機能	寿命 (書き込み回数)						
	10 万回						
	3.47 ~ 8.39 秒 / 日 (使用周囲温度 25℃)*12						
バッテリー	バックアップ対象						
	時計データ、メンテナンス情報通知用データ、システムログデータ、SRAM ユーザ領域 (500KB)						
	寿命						
Ethernet	RS-232 1ch 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D 9 ピン (オス) 用途: 接続機器通信用、パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレット機能)						
	RS-422/485 1ch 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: 14 ピン (オス) 用途: 接続機器通信用						
	データ転送方式: 100BASE-TX、10BASE-T、1ch、*8 コネクタ形状: RJ-45 (モジュラージャック)、 コンパクトフラッシュメモリ 1ch 用途: 接続機器通信用、ゲートウェイ機能用、パソコン接続用、 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレット機能、MES インタフェース機能)						
USB	USB (Full Speed 12Mbps)、ホスト 1ch コネクタ形状: TYPE-A						
	用途: USB マウス / キーボード接続、USB メモリデータ転送、保存用 FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 最大 32GB*13						
	USB (Full Speed 12Mbps)、デバイス 1ch コネクタ形状: TYPE Mini-B 用途: パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレット機能)						
CF カード	コンパクトフラッシュメモリ 1ch 用途: 接続機器通信用、ゲートウェイ機能用、パソコン接続用、 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレット機能、MES インタフェース機能)						
	用途: データ転送、データ保存用、GOT 起動用、FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 最大 32GB*13						
	コネクタ形状: TYPE I 用途: データ転送、データ保存用、1ch オプション機能ボード装着用 2ch						
拡張ユニット*7	通信ユニット / オプションユニット装着用 2ch						
	単色型 (音長の調整可)						
	前面部: IP67*6 筐体内: IP2X						
外形寸法	保護構造						
	外形寸法						
	397(W) × 286(H) × 61(D) [mm] 316(W) × 242(H) × 52(D) [mm] 303(W) × 214(H) × 49(D) [mm]						
付属品 (取付け金具を除く)	外形寸法						
	383(W) × 282.5(H) [mm] 302(W) × 228(H) [mm]						
	質量 (取付け金具を除く)						
対応ソフトウェアパッケージ	5.0 [kg] 2.7 [kg]						
	2 [kg] 2.3 [kg]*16						
	2.3 [kg] 2.3 [kg]						
GT Work3 Version1 *17							
GT Work3 Version1 *19 (GT Work3/GT Designer2 は対応していません)							



電源部仕様

項目	仕様						
	GT1695M-XTBA	GT1685M-STBA	GT1675M-STBA GT1675M-VTBA GT1675M-VNBA GT1675M-VTBA GT1665M-STBA GT1665M-VTBA GT1662-VNBA	GT1695M-XTBD	GT1685M-STBD	GT1675M-STBD GT1675M-VTBD GT1675M-VNBD GT1672-VNBD GT1665M-STBD GT1665M-VTBD GT1662-VNBA	GT1665M-VTBD GT1665HS-VTBD
入力電源電圧	AC100 ~ 240V (+10%、-15%)				DC24V (+25%、-20%)		DC24V (+10%、-15%)
入力周波数	50/60Hz ±5%				-		-
入力最大入力電流	150VA (最大負荷時)	110VA (最大負荷時)	100VA (最大負荷時)	80W 以下	40W 以下	39W 以下	16W 以下
消費電流	64W 以下	46W 以下	39W 以下	30W 以下	26W 以下	27W 以下	14W 以下
バックライト駆動	38W 以下	32W 以下	30W 以下	24W 以下	12A 以下	12A 以下	8.2W 以下
突入電流	28A 以下 (4ms、最大負荷時)		12A 以下 (75ms、最大負荷時)	12A 以下 (55ms、最大負荷時)	10ms 以内	10ms 以内	30A 以下 (2ms、最大負荷時)
許容瞬時過熱	20ms 以内 (AC100V 以上)				-		5ms 以内
ノイズ耐量	ノイズ電圧 1500V $\mu$ p-p、ノイズ幅 1 $\mu$ s ノイズ周波数 25 ~ 60Hz のノイズシミュレータによる				ノイズ電圧 500V $\mu$ p-p、ノイズ幅 1 $\mu$ s ノイズ周波数 25 ~ 60Hz のノイズシミュレータによる		ノイズ電圧 1000V $\mu$ p-p、ノイズ幅 1 $\mu$ s ノイズ周波数 25 ~ 100Hz のノイズシミュレータによる
駆動電圧	電源端子一括 $\leftrightarrow$ アース間 AC1500V 1分間				電源端子一括 $\leftrightarrow$ アース間 DC500V 絶縁抵抗計にて 1M $\Omega$ 以上		-
絶縁抵抗	-				0.75 ~ 2 [mm $^2$ ]		-
適合ケーブルサイズ	-				M3 ネジ用の圧着端子 RAV1.25-3、V2-S3.3、V2-N3A、FV2-N3A		-
適合注着接着剤	-				0.5 ~ 0.8 [N・m]		-
適合ネジトルク (ネジ台座/ネジ)	-				-		-

性能仕様

項目	仕様						
	GT1665M-STBA GT1665M-STBD	GT1665M-VTBA GT1665M-VTBD	GT1662-VNBA GT1662-VNBD	GT1665M-VTBD	GT1665M-VTBD	GT1665HS-VTBD	
表示部 *1	種類	TFT カラー液晶 (高輝度、広視野角)		TFT カラー液晶 (高輝度、広視野角)		-	
	画面サイズ	8.0 型		5.7 型		6.5 型	
	解像度	SVGA800 × 600 (ドット)		VGA:640 × 480 (ドット)		-	
	表示サイズ	171(W) × 128(H)[mm]		115(W) × 86(H)[mm]		132.5(W) × 99.4(H)[mm]	
バックライト	表示文字数	16 ドット標準フォント時 50 字 × 37 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 86 字 × 59 行 (全角)		16 ドット標準フォント時 40 字 × 30 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 53 字 × 40 行 (全角)		-	
	表示色	65536 色		16 色		65536 色	
	視野角 *2	左右各 80 度、上 80 度、下 60 度		左右各 45 度、上下各 20 度		上下左右各 80 度、左右各 80 度、上下 80 度	
	液晶駆動電圧	400[cd/cm $^2$ ]		200[cd/cm $^2$ ]		350 [cd/cm $^2$ ] 650 [cd/cm $^2$ ]	
パネル	寿命	約 43,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 52,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 43,000 時間 (使用周囲温度 25℃)	
	消磁器 (交換用)	バックライト切り換え機能搭載可		LED (交換不可)		バックライト切り換え機能搭載可	
	バックライト OFF	スクリーンセーフ機能の起動可		-		バックライト OFF / スクリーンセーフ機能の起動可	
	寿命 *3	約 50,000 時間以上 (使用周囲温度が 25℃ 以下、表示輝度が 50% となる時)		約 70,000 時間以上		-	
カメラ *10	方式	アナログ抵抗増倍		-		-	
	画素サイズ	-		1.1 $\mu$ m (1 $\mu$ m あり)		-	
	同時撮影画数	同時撮影 1 画		-		-	
	寿命 *11	同時撮影 2 点以上を押し続けた場合、押した点の中心付近のスイッチが動作することがあります。		-		-	
人感センサ	検出距離	なし		なし		なし	
	検出角度	なし		なし		なし	
	検出ディレイ時間	なし		なし		なし	
	検出速度	なし		なし		なし	
メモリ *5	Cドライブ	内蔵フラッシュメモリ 15M バイト。 (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)		内蔵フラッシュメモリ 11M バイト。 (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)		内蔵フラッシュメモリ 15M バイト。 (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)	
	寿命 (書き込み回数)	10 万回		-		-	
内蔵時計精度	3.47 ~ 8.38 秒 / 日 (使用周囲温度 25℃) *12			-3.61 ~ 2.16 秒 / 日 (使用周囲温度 25℃) *12		3.47 ~ 8.38 秒 / 日 (使用周囲温度 25℃) *12	
バッテリー	バックアップ対象	GT15-BAT 形リチウムバッテリー		GT11-S08BAT 形リチウムバッテリー		GT15-BAT 形リチウムバッテリー	
	寿命	約 2 年 (使用周囲温度: 25℃)		-		-	
	RS-232 *7	RS-232C 1ch 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps。 コネクタ形状: Dサブ9ピン (オス) 用途: 接続機器駆動用、パソコン接続用。 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、FA トランスバレット機能)		RS-232C 2ch 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: 雌雄 2x9ピン (オス) 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: 雌雄 2x9ピン (オス) 用途: 接続機器駆動用		RS-232C 2ch 伝送速度: 115200/9600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: 雌雄 2x9ピン (オス) 用途: 接続機器駆動用、パソコン接続用。 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、FA トランスバレット機能)	
	RS-422/485	RS-422/485 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps。 コネクタ形状: 14ピン (メス) 用途: 接続機器駆動用		-		-	
内蔵インタフェース	Ethernet	データ転送方式: 100BASE-TX, 10BASE-T, 1ch。 コネクタ形状: RJ-45 (モジュラーコネクタ)。 用途: 接続機器駆動用、ネットワーク接続用。 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、FA トランスバレット機能、MES インタフェース機能)		-		-	
	USB	USB (Full Speed 12Mbps)、ホスト 1ch。 コネクタ形状: TYPE-A 用途: USBメモリ、USBメモリデータ転送、保存用 FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、 FAT32 フォーマット時: 最大 32GB *13		-		-	
	オプション機能ボード	USB (Full Speed 12Mbps)、サーバ 1ch。 コネクタ形状: TYPE Mini-B 用途: パソコン接続用。 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、FA トランスバレット機能)		-		-	
	CF カード	コンパクトフラッシュメモリー 1ch。コネクタ形状: TYPE I 用途: データ転送、データ保存用、GOT 起動用。 FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 最大 32GB *13		-		-	
拡張ユニット *7	通信ユニット / オプション機能ボード兼用 1ch		-		-		
プラー出力	通信ユニット / オプション機能ボード兼用 2ch		通信ユニット / オプションユニット兼用 1ch		-		
保護構造	前面部: IP67 *8 筐内部: IP2X		-		IP65 *9 (外部接続ケーブル装着時)		
外形寸法	241(W) × 180(H) × 52(D)[mm]		187(W) × 151(H) × 60(D)[mm]		201(W) × 230(H) × 97(D)[mm]		
質量 (取付金具を除く)	1.7[kg]		1.8[kg]		1.3[kg]		
対応ソフトウェアパッケージ	GT Works3 Version1 *17		GT Works3 Version1 *17 (GT Works3/GT Designer2 対応していません)		-		

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

# ● GT15

## 一般仕様

項目	仕様					
使用周囲温度*1	表示部	0～50℃				
	表示部以外	0～55℃				
保存周囲温度	-20℃～60℃					
使用周囲湿度*2	10～90%RH、結露なきこと					
保存周囲湿度*2	10～90%RH、結露なきこと					
耐振動*3	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合	周速度	加速度	片振幅	繰り返し回数	
		連続的な振動がある場合	5～8.4Hz	9.8m/s <sup>2</sup>	3.5mm	X、Y、Z各方向10回
		連続的な振動がある場合	5～8.4Hz	—	1.75mm	—
			8.4～150Hz	4.9m/s <sup>2</sup>	—	—
耐衝撃	JIS B 3502 IEC 61131-2に適合 (147mm <sup>2</sup> 、XYZ3方向各3回)					
使用雰囲気	油煙、腐食性ガス、可燃性ガスが充て、導電性材料と接しないこと、直射日光があたらないこと (存在時と同様)					
使用標高*4	200m以下					
設置場所	制御室内					
オーバervolテージ耐性*5	1以下					
汚染度*6	2以下					
冷却方式	自然					
接地	D接地法 (100V以下)、接地不可の時は接地に接続のこと					

- \*1: MELSECNET/H 通信ユニット (GT15-J71LP23-25、GT15-J71BR13)、CC-Link 通信ユニット (GT15-J61B131) を装着する場合、一般仕様の使用周囲湿度は、上記最大温度より5℃低い値とさせていただきます。
- \*2: \*3IN 液体タイプは室温湿度 39℃以下。
- \*3: MELSECNET/H 通信ユニット (GT15-J75J71LP23-Z、GT15-J75J71BR13-Z)、CC-Link 通信ユニット (GT15-J75J61B131-Z) を使用する場合、耐振動の仕様は使用する通信ユニットのマニュアルをご参照ください。 (GOT 本体の仕様と異なります。)
- \*4: GOT は、標高 10m の大気圧に比して同じ圧力で使用または保存しないでください。使用した場合は、誤動作する可能性があります。制御室内を加圧によりエアージャケットと、気圧によって表面のシートが浮いてタッチパネルが押しにくくなった、シートがはがれりする恐れがあります。
- \*5: \*6 の機器が公衆配電線から構内の機械室等に至るまでのこの配電部に接続されていることを想定しているを示します。カテゴリ 1 は、固定設備からの給電される機器などに適用されます。定格 300V までの機器の前サージ電圧は 2500V です。
- \*6: \*6 の機器が使用される場合における導電性物質の発生量を示す指標です。発生量は、非導電性の汚染しか発生せず、条件によっては凝結による一時的な導電が起こりうる環境です。

直射日光の当たる場所や、高温、初塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

海外規格・船載規格の対応状況については、MELFANWeb ホームページ <http://ftp://www.mitsubishielectric.co.jp/melfanweb/> でご確認ください。

## 性能仕様

項目	仕様							
	GT1585-XTBA GT1585-XTBD	GT1585V-STBA GT1585V-STBD	GT1575V-STBA GT1575V-STBD	GT1575-VTBA GT1575-VTBD	GT1575-VNBA GT1575-VNBD	GT1572-VNBA GT1572-VNBD	GT1565-VTBA GT1565-VTBD	GT1562-VNBA GT1562-VNBD
種類	TFT カラー液晶 (高輝度、広視野角)				TFT カラー液晶			
画面サイズ	15 型	12.1 型			10.4 型			
解像度	XGA:1024 × 768 (ドット)	SVGA:800 × 600 (ドット)		VGA:640 × 480 (ドット)				
表示サイズ	304.1(W) × 228.1(H)(mm)	248(W) × 184.5(H)(mm)	211(W) × 158(H)(mm)		171(W) × 128(H)(mm)			8.4 型
表示文字数	16 ドット標準フォント時 64 字 × 48 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 88 字 × 64 行 (全角)	16 ドット標準フォント時 50 字 × 37 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 66 字 × 50 行 (全角)		16 ドット標準フォント時 40 字 × 30 行 (全角) 12 ドット標準フォント時 53 字 × 40 行 (全角)				
表示色	65536 色			256 色	16 色	65536 色	16 色	
視野角*3	左右各 75 度 上 50 度、下 60 度	GT1585V 左右各 60 度 上 40 度、下 50 度 GT1585 左右各 85 度 上 45 度、下 55 度	上下左右各 85 度		左右各 45 度、上 30 度、下 20 度		左右各 65 度、上 50 度、下 60 度	左右各 45 度、上 20 度、下 20 度
コントラスト調整								
液晶単体輝度	450(cd/m <sup>2</sup> )	GT1585V: 350(cd/m <sup>2</sup> ) GT1585: 400(cd/m <sup>2</sup> )	400(cd/m <sup>2</sup> )	380(cd/m <sup>2</sup> )	200(cd/m <sup>2</sup> )	380(cd/m <sup>2</sup> )	150(cd/m <sup>2</sup> )	
輝度調整	8 段階調整		8 段階調整		4 段階調整	8 段階調整	4 段階調整	
寿命	約 52,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 40,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 41,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		約 40,000 時間 (使用周囲温度 25℃)	
バックライト	冷却制御 (交換可) / バックライト切れ検出機能付きバックライト OFF / スクリーンセーブ機能の設定可							
	寿命*4	約 50,000 時間以上			約 40,000 時間以上			
方式	アナログ駆動方式			マトリクス駆動方式				
タッチキー数	1900 個 / 1 画面 (38 行 × 50 列)			1200 個 / 1 画面 (30 行 × 40 列)				
タッチパネル*5	縦 16 × 2 (ドット) (1キーあたり)	縦 16 × 16 (ドット) (1キーあたり) / 横 16 × 16 (ドット) (1キーあたり)	縦 16 × 16 (ドット) (1キーあたり)		縦 16 × 16 (ドット) (1キーあたり)			
同時押し点数	同時押し不可*5 (1点のみタッチ可能)			最大 2 点				
寿命	1 (m)			100 回以上 (操作 0.98(N) 以下)*10				
人感センサ	検出距離	上下左右それぞれ 70 度			なし			
	検出ディレイ時間	0～4 (秒)			なし			
検出温度	人の体温とその周りの気湿との温度差が 4℃以上			なし				
メモリ*6	Cドライブ	内蔵フラッシュメモリ 9M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)			内蔵フラッシュメモリ 5M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)		内蔵フラッシュメモリ 9M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)	内蔵フラッシュメモリ 9M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)
	寿命 (書込み回数)	10 万回			10 万回			
バッテリー	バックアップ対象	GT15-BAT リチウムバッテリー (オプション)						
	寿命	時計データ、メンテナンス時監視用データ 約 5 年 (使用周囲温度 25℃)						
	RS-232*8	コネクタ形状: D サブ 9ピン (オス) 用途: 接続試験器使用、RS-232C、1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps						
	USB	USB(Full Speed 12Mbps)、デバイス 1ch コネクタ形状: Mini-B						
	CF カード	コンパクトフラッシュ (Type I) 用途: データ転送、データ保存用、GOT 起動用 FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 使用不可						
オプション機能ボード	拡張ユニット*9							
拡張ユニット*9	通信ユニット / オプションユニット 装着用 1ch							
プリアウ出力	単音色 (音長の調整可)							
保護構造	前面部: IP67*7 筐内部: IP2X							
外形寸法 (USDA 前面端子カバーを除く)	397(W) × 236(H) × 61(D)(mm)	316(W) × 242(H) × 61(D)(mm)	303(W) × 214(H) × 49(D)(mm)	289(W) × 200(H)(mm)	241(W) × 190(H) × 52(D)(mm)			
パネルカット寸法	383.5(W) × 282.5(H)(mm)	302(W) × 228(H)(mm)	289(W) × 200(H)(mm)	227(W) × 176(H)(mm)				
質量 (取付け金具を除く)	5.0(kg)	2.8(kg)	GT1575V: 2.3(kg) GT1575-2: 4(kg)	2.4(kg)	2.3(kg)	1.9(kg)		
対応ソフトウェアパッケージ	GT Works3 Version1*11							

電源部仕様

項目	仕 様									
	GT1595-XTBA	GT1585-STBA GT1585-TSTBA	GT1575-VNBA GT1575-STBA GT1575-VTBA GT1575-VNBA GT1575-VTBD GT1562-VNBA	GT1595-XTBD	GT1585-VSTBD GT1585-STBD	GT1575-VSTBD GT1575-VTBD GT1575-VNBD GT1562-VTBD GT1562-VNBD	GT1555-VTBD	GT1555-QTBD	GT1555-QSBD	GT1550-QLBD
入力電源電圧	AC100～240V (+10%、-15%)					DC24V (+25%、-20%)				
入力周波数	50/60Hz ± 5%					-				
入力最大皮相電力	110VA (最大負荷時)					-				
消費電力	56W 以下	41W 以下	39W 以下	57W 以下 (1730mA/DC24V)	43W 以下 (1250mA/DC24V)	41W 以下 (1710mA/DC24V)	19W 以下 (780mA/DC24V)	18W 以下 (750mA/DC24V)	17W 以下 (710mA/DC24V)	15W 以下 (620mA/DC24V)
	バックライト 消灯時	30W 以下	28W 以下	28W 以下	32W 以下 (1230mA/DC24V)	30W 以下 (1250mA/DC24V)	30W 以下 (1250mA/DC24V)	14W 以下 (580mA/DC24V)	13W 以下 (540mA/DC24V)	13W 以下 (540mA/DC24V)
突入電流	50A 以下 (4ms, 最大負荷時)	45A 以下 (4ms, 最大負荷時)	40A 以下 (4ms, 最大負荷時)	100A 以下 (4ms, 最大負荷時)	115A 以下 (1ms, 最大負荷時)	115A 以下 (1ms, 最大負荷時)	67A 以下 (1ms, 最大負荷時)	60A 以下 (1ms, 最大負荷時)	60A 以下 (1ms, 最大負荷時)	60A 以下 (1ms, 最大負荷時)
許容瞬停時間	20ms 以内 (AC100V以上)					10ms 以内				
許容電圧変動	ノイズ電圧 1500Vp-p、ノイズ幅 1μs ノイズ周波数 25～60Hz のイミュニティレベルによる					ノイズ電圧 600Vp-p、ノイズ幅 1μs ノイズ周波数 25～60Hz のイミュニティレベルによる				
耐電圧	電源端子一括アース間 AC1500V 1分間					電源端子一括アース間 DC500V 1分間				
絶縁抵抗	電源端子一括アース間 DC500V 絶縁抵抗計にて 10MΩ 以上					-				
適合ケーブルサイズ	0.75～2 [mm <sup>2</sup> ]					-				
適合圧着端子	M3 ネジ用の圧着端子 RAV1.26-3、V2-S/3、V2-N/3A、FV2-N/3A					-				
適合締付トルク (締付台端ネジ)	0.5～0.8 [N・m]					-				

性能仕様

項目	仕 様			
	GT1555-VTBD	GT1555-QTBD	GT1555-QSBD	GT1550-QLBD
種類	TFT カラー液晶 (高輝度、広視野角) STN カラー液晶 STN モノクロ (白/黒) 高画			
解像度	57型 VGA: 640 × 480 [ドット] QVGA: 320 × 240 [ドット]			
表示サイズ	115(W) × 86(H)[mm]			
表示文字数	16 ドット標準フォント時: 20 字 × 15 行 (全角) 12 ドット標準フォント時: 26 字 × 20 行 (全角)			
表示色	65536 色 4096 色 モノクロ (白/黒) 16 階級			
視野角*3	左右各 80 度 上 80 度、下 70 度	左右各 70 度 上 70 度、下 50 度	左右各 55 度 上 65 度、下 70 度	左右各 45 度 上 20 度、下 40 度
コントラスト調整	16 段階調整			
液晶単位輝度	350 [cd/m <sup>2</sup> ]	400 [cd/m <sup>2</sup> ]	380 [cd/m <sup>2</sup> ]	220 [cd/m <sup>2</sup> ]
輝度調整	8 段階調整			
寿命	約 50,000 時間 (使用周囲温度 25℃)			
バックライト	冷暖極管 (交換不要) バックライト切れ検出機能付きバックライト OFF/スリープセンサー機能の既定値			
	寿命*4	約 75,000 時間以上 (使用周囲温度が 25℃で表示輝度が 50%となる時間)		
方式	マトリクス駆動方式			
タッチパネル*9	1200 画/1 画面 (30 行 × 40 列)	300 画/1 画面 (15 行 × 20 列)		
キーサイズ	画/16 × 16 [ドット] (1 キーあたり)			
同時押し点数	最大 2 点			
寿命	100 万回以上 (操作 0.98(N) 以下)			
検出距離	なし			
検出距離	なし			
検出ディスプレイ側	なし			
検出速度	なし			
メモリ*6	Cドライブ	内蔵フラッシュメモリ 9M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)		
	寿命 (書込回数)	10 万回		
バッテリー	バックアップ対象	GT15-BAT 形リチウムバッテリー (オプション)		
	寿命	約 5 年 (使用周囲温度 25℃)		
内蔵インタフェース	RS-232 *8	RS-232C, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D サブ 9ピン (オス) 用途: 接続機器通信用 (パソコン格納用 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OS インストール、FA トランスプレセント機能))		
	USB	USB (Full Speed 12Mbps), デバイス 1ch コネクタ形状: TYPE Mini-B 用途: パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OS インストール、FA トランスプレセント機能)		
	CFカード	コンパクトフラッシュロケット 1ch コネクタ形状: TYPE I 用途: パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OS インストール、FA トランスプレセント機能)		
	オプション機能ボード	オプション機能ボード装着用 1ch		
拡張ユニット*8	通信ユニット/オプションユニット装着用 1ch			
プラー出力	標準色 (管長の調整可能)			
保護構造	前面部: IP67*7 筐体内部: IP2X			
外形寸法 (USB 制御ケーブルを除く)	167(W) × 135(H) × 60(D)[mm]			
パネルカット寸法	163(W) × 121(H)[mm]			
質量 (取付け金具を除く)	1.1[kg]			
対応ソフトウェアパッケージ	GT Works3 Version1 *11			

- \*1: 液晶パネルは、特性として黒点 (常時点灯している点) と黒点 (点灯しない点) が発生する場合があります。液晶パネルには大変多くの表示素子があるため、黒点・黒点の発生を 100%発生しないという事は出来ません。また、液晶パネルの個体差により、色調の違いや明暗のムラ、ちらつきが生じることがあります。製品の不良または故障ではなく特許での、あらかじめご了承ください。
- \*2: 表示色によっては、ちらつきが発生することがあります。
- \*3: 液晶パネルは、温度依存性が高い特性があります。表示色によっては広視野角以下でも見難くなる場合がありますのでご注意ください。
- \*4: GOT のスクリーンキー/バックライト OFF 機能を使用する場合により、表示部の構造が防止防止機構により寿命を延ばすことができます。
- \*5: 表示部はアナログ抵抗駆動方式です。表示部を同時に 2 点以上押し付けると、押し点の中から付いたスイッチが優先と、そのスイッチが動作することがあります。表示部を同時に 2 点以上押し付けてください。
- \*6: メモリは、書き込まれているデータを消去しなくても、新たなデータの書き込みが可能な ROM です。
- \*7: USB 前継増設ケーブル (オプション) IP67 に対応します。 (USB ケーブルを接続する場合、USB インターフェースは IP2X となります) ただし、お客様のあらゆる環境を保証するものではありません。
- \*8: また、長時間露光、あるいは液晶が長時間露光またはオシロスコープが充満する環境では使用されない場合があります。
- \*9: 複数の拡張ユニット、パーソナルカード、RFID コントローラを使用する場合、拡張ユニット、パーソナルカード、RFID コントローラが使用可能な電圧の合計を、GOT が供給可能な電圧値以内にする必要があります。
- \*10: RS-232C、パーソナルカード、RFID コントローラを使用する拡張ユニット、パーソナルカードについては、「3.2 使用時の留意事項 (ユニット使用電流の計測) GT16、GT15 をご参照ください。
- \*11: スタートアップを短縮する場合は、下記の仕様を満たすものを使用してください。  
材質: ポリセタール樹脂 先端半径: 0.8mm 以上
- \*12: GT1595-XTBD は、スタートアップ後、10 回 (10 操作 0.98(N) 以下) となります。タッチパネルは、構造上消耗品ですので、上記の回数以下であっても使用法や使用環境によっては、使用できない場合があります。
- \*13: 最新バージョンのソフトウェアパッケージをご確認ください。最新バージョンは MELFAANSWeb (http://www.mitsubishielectric.co.jp/melfansweb) ホームページで確認できます。

1 GOT について  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外外形対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

# ● GT14

## 一般仕様

項目	仕様					
使用周囲温度	表示部 0～50℃					
表示部以外	0～55℃(構造上)、0～50℃(構造上)					
保存周囲温度	-20℃～60℃					
使用周囲湿度*	10～90%RH、結露なきこと					
保存周囲湿度*	10～90%RH、結露なきこと					
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合	周方向	加速度	片振幅	繰り返し回数	
		新結的な振動がある場合	5～8.4Hz	—	3.5mm	—
		8.4～150Hz	9.8m/s <sup>2</sup>	—	X, Y, Z	—
		連続的な振動がある場合	5～8.4Hz	—	1.75mm	各方向10回
		8.4～150Hz	4.9m/s <sup>2</sup>	—	—	
耐衝撃	JIS B 3502 IEC 61131-2に適合 (147m/s <sup>2</sup> 、XYZ3方向各3回)					
使用雰囲気	油煙、腐食性ガス、可燃性ガスがなく、専断性の埃がひどくないこと。直射日光があたらないこと(保存時同様)					
使用標高*	2000m以下					
設置場所	制御室内					
オーバボルトテザリコチコチ*	1以下					
汚染度*	2以下					
汚染方式	自由					
接地	D種接地(100Ω以下)、接地不明の場合は接地に接続のこと					

- \*1: STN液晶タイプは湿球温度39℃以下
- \*2: GOTは、標高0mの大気圧以上に加圧した環境で使用または保存しないでください。密閉した場合は、腐蝕作用の可能性がありますが、制御室内を加圧によりエアパージすると、気圧によって表面のシートが浮いてタッチパネルが押しにくくなったり、シートがはがれたりする恐れがあります。
- \*3: その機器が公衆電線から構内の機械装置に至るまでの配電部に接続されていることを指定しているかを示します。カテゴリ1は、指定設備からの給電される機器にも適用されます。定格300Vまでの機器の動作電圧は250Vです。
- \*4: その機器が使用される環境における導電性物質の発生を示す指標です。汚染度2は、非導電性の汚染が発生する、条件によっては凝結による一時的な導電が起こりうる環境です。

直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

海外規格・船規規格の対応状況については、MELFANSWebホームページ(<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/>)でご確認ください。

## 性能仕様

項目	仕様		
	GT1455-QTBD GT1455-QTBE	GT1450-QLBD GT1450-QLBE	GT1450-QLBD GT1450-QLBE
表示部*	種別	TF1カラー液晶	
	画面サイズ	5.7型	
	解像度	QVGA: 320×240 [ドット]	
	表示サイズ	115(W)×86(H)(mm) (標表示時)	
	表示文字数	16ドット標準フォント時: 20字×15行 (全角) (標表示時) 12ドット標準フォント時: 26字×20行 (全角) (標表示時)	
	表示色	65536色	モノクロ(白/黒)16階調
	視野角*	左右各80度、上80度、下60度(標表示時)	
	コントラスト調整	—	32段階調整
	液晶単位種別	400 [cd/m <sup>2</sup> ]	300 [cd/m <sup>2</sup> ]
	精度調整	8段階調整	
寿命	約50,000時間(使用周囲温度25℃でコントラストが1/5となる時) LED方式(交換不可)バックライト切れ検出機能付き		
バックライト	約70,000時間以上(使用周囲温度が25℃で表示輝度が50%となる時)		
タッチパネル	方式	アナログ抵抗式	
	キーサイズ	最小2×2ドット(1キ一あたり)	
	同時押し検出	同時押し可*4 (同時に2点以上を押した場合、押した点の中心付近のスイッチが動作することがあります。)	
	寿命	100万回以上(操作0.38N以下)	
メモリ	CDライブラ*	内蔵フラッシュメモリ 9Mバイト(プロジェクトデータ格納用、OS格納用)	
	書き込み回数	10万回	
	Dドライブ	内蔵SRAM 512Kバイト(バックライトバックアップ) GT11-S08BATリチウム電池付	
バッテリー	バックアップ対象	時計データ、アラーム機能、レジピデータ、タイムアクション設定値、拡張アラーム、拡張レジピ、ロギング、ハードコピー、SRAMユーザ領域	
	寿命	交換目安約5年(使用周囲温度25℃)	
RS-422/485	RS-422/485	1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: Dサブ9ピン(メス) 用途: 接続機器通信用	
	RS-232	1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: Dサブ9ピン(オス) 用途: 接続機器通信用、パーソナルデータ/FH/D接続用	
	Ethernet (Ethernet付き機能のみ)	1ch 伝送速度: 100Base-TX, 10Base-T コネクタ形状: RJ-45 (モジュラージャック) 用途: 接続機器通信用、ネットワーク機能	
	USB	1ch 伝送速度: 12Mbps 用途: パソコン接続用(プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、FAトランスバレイメント機能)	
内蔵インタフェース	Ethernet (Ethernet付き機能のみ)	データ転送方式: 100Base-TX, 10Base-T, 1ch コネクタ形状: RJ-45 (モジュラージャック) 用途: 接続機器通信用、ネットワーク機能	
	USB	USB(Full Speed 12Mbps)、ホスト1ch、コネクタ形状: TYPE-A 用途: USBマウス/キーボード接続、USBメモリデータ転送、保存用 FA116フォーマット時: 最大2GB、FA132フォーマット時: 最大32GB	
	SDカード	SD規格準拠1ch 対応メモリアカード: SDHCメモリアカード、SDメモリアカード 用途: プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OSインストール、ロギングデータ保存用 FA116フォーマット時: 最大6GB、FA132フォーマット時: 最大32GB	
プザー出力	準青色(音光の調整)		
保護構造	前面部: IP67*		
外形寸法(USB前面端子を除く)	164(W)×135(H)×56(D)(mm)		
質量(取付け金具を除く)	0.7kg		
対応ソフトウェアパッケージ	GT Works3 Version1*8 (GT Works3/Designer2は対応しません)		

- \*1: 液晶パネルは、特性として輝点(常時点灯している点)と黒点(点灯しない点)が発生する場合があります。
- \*2: 液晶パネルには、毎時駆動という特性があります。表示色によっては記載した視野角以下でも見難くなる場合がありますのでご了承ください。
- \*3: GOTのスクリーンセーブ/バックライトOFF機能を使用することにより、表示部の焼き付き防止やバックライトの寿命を延ばすことができます。
- \*4: 表示部はアナログ抵抗式方式です。表示部を同時に2点以上押しした場合、押した点の中心付近にスイッチがあること、そのスイッチが動作することがあります。
- \*5: メモリは、書き込まれているデータを消去しなくても、新たなデータの書き込み可能なROMです。
- \*6: GOTマルチドライブ接続を行う場合、GOT本体の接続抵抗切換スイッチを接続機に合わせた切換えしてください。
- \*7: お客様があらゆる環境を保証するものではありません。シナチエス前面端子バー、前面保護膜カバーを外した場合は対象外となります。また、長時間も、あるいは異常な状態が原因で発生する場合があります。
- \*8: 最新バージョンのソフトウェアパッケージをご使用ください。最新バージョンはMELFANSWeb(<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/>)ホームページで確認できます。

## 電源部仕様

項目	仕様			
	GT1455-QTBD	GT1455-QTBE	GT1450-QLBD	GT1450-QLBDE
入力電源電圧	DC24V (+10%, -15%), リップル電圧 200mV 以下			
入力周波数	-			
入力最大皮相電力	-			
ヒューズ(内蔵, 交換不可)	1.6A			
消費電力	7.68W 以下 (320mA/DC24V)	8.40W 以下 (350mA/DC24V)	7.68W 以下 (320mA/DC24V)	8.40W 以下 (350mA/DC24V)
バックライト消灯時	8.72W 以下 (280mA/DC24V)	7.44W 以下 (310mA/DC24V)	8.72W 以下 (280mA/DC24V)	7.44W 以下 (310mA/DC24V)
突入電流	30A 以下 (2ms, 最大負荷時)			
許容瞬停時間	5ms 以内			
ノイズ耐量	ノイズ電圧 1000V <sub>p-p</sub> , ノイズ幅 1 $\mu$ s ノイズ周波数 30 ~ 100kHz のノイズシミュレータによる			
耐電圧	電源端子-搭 $\leftrightarrow$ アース間 AC500V 1 分間			
絶縁抵抗	電源端子-搭 $\leftrightarrow$ アース間 DC500V 絶縁抵抗計にて 10M $\Omega$ 以上			
適合電線サイズ	0.75 ~ 2 [mm <sup>2</sup> ]			
適合圧着端子	M3 ネジ用の圧着端子 RAV1.25-3, V2-N3A, FV2-N3A			
適合締付トルク (端子台端子ネジ)	0.5 ~ 0.8 [N $\cdot$ m]			

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧

7

用語集

# ● GT11

## 一般仕様

項目		仕様				
使用周囲温度	表示部	0～50℃*5				
	表示部以外	0～55℃(特選品) 0～50℃(標準品)*5				
保存周囲温度	-20℃～60℃					
使用周囲湿度*1	10～90%RH、結露なきこと					
保存周囲湿度*1	10～90%RH、結露なきこと					
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合	周波数	加速度	片振幅	押引回数	
		新鋭的な振動がある場合	5～8.4Hz	—	3.5mm	X、Y、Z
		通常の振動がある場合	8.4～150Hz	9.8m/s <sup>2</sup>	—	各方向 10回
		激的な振動がある場合	5～8.4Hz	—	1.75mm	—
耐衝撃	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合 (147m/s <sup>2</sup> 、XYZ 方向各 3回)	周波数	加速度	片振幅	押引回数	
		通常の振動がある場合	8.4～150Hz	4.9m/s <sup>2</sup>	—	—
使用雰囲気	油煙、腐食性ガス、可燃性ガスがなく、導電性の塊がのびにくいこと。直射日光があたりにくいこと(保管時を同様)					
使用標高*2	2000m以下					
設置場所	制御盤内*6					
オーバervoltage耐カテコリ*3	I以下					
汚染度*4	2以下					
冷却方式	自然					
接地	D 種接地 (100Ω以下)、接地不可の場合は接地に接続のこと					

- \*1: STN 液晶タイプは湿球温度 39℃以下
- \*2: GOT は、標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用または保存しないで行ってください。動作する可能性があります。制御盤内を加圧によりエアバージすると、気圧によって表面のシートが浮いてタッチパネルが押しにくくなります。シートがはがれたりする場合があります。
- \*3: その機器が公衆電線から構内の機械装置に至るまでのどの配電部に接続されているかを指定しているかを示します。ケーブルには、固定設備からの配電される機器などに適用されます。定格 300V までの機器の耐圧試験は 2500V です。
- \*4: その機器が使用される環境における導電性物質の発生度を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染が発生せず、条件によっては凝結による一時的な導電が起こりうる環境です。
- \*5: GT115 □ HS は 0～40℃です。
- \*6: GT115 □ HS は除きます。

直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

海外規格・形番規格の対応状況については、MELFANSweb ホームページ [http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/] でご確認ください。

## 性能仕様

項目	仕様		
	GT1155-QTBD	GT1155-QSBD	GT1150-QLBD
種類	TFT カラー液晶	STN カラー液晶	STN モノクロ (白/黒) 液晶
画面サイズ	5.7型		
解像度	QVGA: 320×240 [ドット]		
表示サイズ	115(W)×86(H)[mm] (標準表示)		
表示文字数	16ドット標準フォント時: 20×15 行 (全角)、12ドット標準フォント時: 26×20 行 (全角) (標準表示)		
表示色	256色		モノクロ (白/黒) 16段階
表示部*1	視野角	左右各 70度、上 70度、下 50度 (標準表示)	左右各 45度、上 20度、下 40度 (標準表示)
	コントラスト調整	—	16段階調整
	液晶単位輝度	400 [cd/m <sup>2</sup> ]	220 [cd/m <sup>2</sup> ]
	輝度調整	8段階調整	
寿命	約 50,000 時間 (使用周囲温度 25℃)		
バックライト	冷却装置 (交換不可) バックライト切れ検出機能付きバックライト OFF/スクリーンセーブ時間の設定可		
タッチパネル	寿命*2	約 75,000 時間以上	約 54,000 時間以上
	方式	マトリクス抵抗膜式	
	タッチキー数	300 個 / 1 画面 (15 行 × 20 列のマトリクス構造)	
	キースサイズ	最小 16 × 16 [ドット] (1キーあたり)	
メモリ	同時押し点数	最大 2 点	
	寿命	100 万回以上 (操作 0.98N 以下)	
	Cドライブ*3	内蔵フラッシュメモリ 3M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)	
	Dドライブ	内蔵 SRAM 512K バイト (バッテリーバックアップ)	
内蔵インテリジェンス	バックアップ対象	GT11-50BAT 形リチウムバッテリー	
	寿命	時計データ、アラーム機能、レスポンスデータ、タイムアクション設定値	
	バス	交換目安約 5 年 (使用周囲温度 25℃)	
	RS-422/485	RS-422/485、1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D サブ 9 ピン (オス) 用途: シーンツウ通信	
	RS-422/232	—	
	RS-232	RS-232、1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D サブ 9 ピン (オス) 用途: 終端機器通信、パソコンと接続 (プロジェクトデータ読み出し/書き込み、OS インストール、FA トランスベアレント機能など)	
USB	コネクタ形状: Mini-B	USB (Full Speed 12Mbps)、データ 1ch	
	用途	プロジェクトデータ格納用、OS インストール、FA トランスベアレント機能)	
	CFカード	コンパクトフラッシュスロット 1ch コネクタ形状: TYPE 1 用途: データ転送、データ保存用	
	オプション機能ボード	FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 使用不可	
プザー出力	オプション機能ボード本体内蔵		
保護構造*4	押入色 (首長の調整可)		
外形寸法 (USB 耐環境カバーを除く)	前面部: 160(H) 幅内部: IP2X 164(W) × 135(H) × 56(D)[mm]		
パネルカット寸法	153(W) × 121(H)[mm]		
質量	0.7kg (取付金具を除く)		
対応ソフトウェアパッケージ	GT Works3、Version1 *6		

電源部仕様

項目	仕様				
	GT1155-QTBD GT1155-QSBD GT1155HS-QSBD	GT1150-QLBD GT1150HS-QLBD	GT1155-QTBDQ GT1155-QTBDA	GT1155-QSBDQ GT1155-QSBD A	GT1150-QLBDQ GT1150-QLBDA
入力電源電圧	DC24V (+10%、-15%) リップル電圧 200mV 以下				
入力消費電流	-				
入力最大消費電力	-				
消費電力	9.84W 以下 (410mA/DC24V)	9.36W 以下 (390mA/DC24V)	11.16W 以下 (465mA/DC24V)	9.72W 以下 (405mA/DC24V)	7.92W 以下 (330mA/DC24V)
バックライト通灯時	4.32W 以下 (180mA/DC24V)		5.04W 以下 (210mA/DC24V)		
突入電流	15A 以下 (2ms、最大負荷時)		26A 以下 (4ms、最大負荷時)		
許容瞬停時間	5ms 以内		10ms 以内		
ノイズ耐量	ノイズ電圧 1000µs、ノイズ電流 1µs ノイズ周波数 30 ~ 100kHz のノイズシミュレータによる		ノイズ電圧 5000µs、ノイズ電流 1µs ノイズ周波数 25 ~ 60kHz のノイズシミュレータによる		
耐電圧	電源端子一括アース間 AC500V1 分間				
絶縁抵抗	電源端子一括アース間 DC500V 絶縁抵抗計にて 10MΩ 以上				
適合ケーブルサイズ	0.75 ~ 2 [mm <sup>2</sup> ] *1				
適合着弾端子	M3 ねじ用の圧着端子 RAV1.25-3、V2-N3A、FV2-N3A *1				
適合耐付トルク (端子着弾時各々)	0.5 ~ 0.8 [N・m] *1				

\*1:GT1155 □HS は除く

性能仕様

項目	仕様				
	GT1155-QTBDQ GT1155-QTBDA	GT1155-QSBDQ GT1155-QSBD A	GT1150-QLBDQ GT1150-QLBDA	GT1155HS-QSBD	GT1150HS-QLBD
種類	TFT カラー液晶	STN カラー液晶	STN モノクロ (白/黒) 液晶	STN カラー液晶	STN モノクロ (白/黒) 液晶
画面サイズ	5.7 型				
解像度	QVGA: 320 × 240 [ドット]				
表示サイズ	115(W) × 86(H)(mm) (換算表示)		115(W) × 86(H)(mm)		
表示文字数	16 ドット標準フォント時: 20 字 × 15 行 (全角) 12 ドット標準フォント時: 26 字 × 20 行 (全角) (換算表示)				
表示色	256 色		モノクロ (白/黒) 16 階調		256 色 16 階調
表示部 <sup>1)</sup>	視野角	左右各 70 度 ±70 度 下 50 度 (換算表示)	左右各 55 度 ±65 度 下 70 度 (換算表示)	左右各 45 度、上 20 度 下 40 度 (換算表示)	左右各 45 度 上 20 度、下 40 度
	コントラスト調整	-			
	液晶単体輝度	400 [cd/m <sup>2</sup> ]	380 [cd/m <sup>2</sup> ]	220 [cd/m <sup>2</sup> ]	220 [cd/m <sup>2</sup> ]
	輝度調整	8 段階調整			
	寿命	約 50,000 時間 (使用周囲温度 25℃)			
バックライト		冷陰極管 (交換不可) バックライト切れ検出機能付きバックライト OFF/スクリーンセーブ機能の設定可			
	寿命 <sup>2)</sup>	約 75,000 時間以上	約 54,000 時間以上	約 75,000 時間以上	約 54,000 時間以上
		(使用周囲温度が 25℃ で表示輝度が 50% となる時)			
タッチパネル	方式	マトリクス抵抗膜式			
	タッチキー数	300 個 /1 画面 (15 行 × 20 列のマトリクス構造)			
	キーサイズ	最小 16 × 16 [ドット] (1 キーあたり)			
	同時押し検数	最大 2 点			
	寿命	100 万回以上 (操作 0.98(N) 以下)			
メモリ	C ドライブ <sup>3)</sup>	内蔵フラッシュメモリ 3M バイト (プロジェクトデータ格納用、OS 格納用)			
	Dドライブ	内蔵 SRAM 512K バイト (バッテリーバックアップ)			
		GT1150BAT 形リチウムバッテリー			
バッテリー	バックアップ対象	時計データ、アラーム電圧、レシビデータ、タイムアクション設定値			
	寿命	交換目安約 5 年 (使用周囲温度: 25℃)			
	バス	QCPU (Q モード) / モーションコントローラ CPU (Q トリス)、1ch または QnA/ACPU / モーションコントローラ CPU (A シリーズ)、1ch			
	RS-422/485	用途: シーケンサバス接続用			
	RS-422/232	-			
内蔵インタフェース	RS-232	RS-232, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: ミニ D9 ピン (オス) 用途: パソコンドライバ接続用、パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレーメント機能など)		RS-232, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: ミニ D9 ピン (メス) 用途: パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレーメント機能など)	
	USB	コネクタ形状: Mini-B、用途: パソコン接続用 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、FA トランスバレーメント機能)			
	CF カード	コンパクトフラッシュロット 1ch、コネクタ形状: TYPE I 用途: データ転送、データ保存用 FAT16 フォーマット時: 最大 2GB、FAT32 フォーマット時: 使用不可			
	オプション機能ボード	オプション機能ボード本体付属			
プザー出力		単音色 (音長の調整可)			
保護構造 <sup>4)</sup>		前面部: IP67 / 筐内側: IP2X		IP65 (外部接続ケーブル装着時)	
外形寸法 (USB 取換機カバーを除く)		167(W) × 135(H) × 65(D)(mm)		176(W) × 220(H) × 93(D)(mm)	
パネルカット寸法		153(W) × 121(H)(mm)		-	
質量		0.9kg (取付金具含まず)		1.0kg (本体のみ)	
対応ソフトウェアパッケージ		GT Works3 Version1 *6			

- \*1 液晶パネルは、特性として輝点 (発光点) 及び黒点 (発光しない点) が発生する場合があります。
- 液晶パネルには大変多くの表示要素があるため、輝点・黒点の発生を 100% 発生しないようにするにはできません。
- また、表示色によっては、ちらつきが発生することがあります。
- 輝点・黒点の発生は、製品の不良または故障でない特性ですので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ画面を表示していると、残像つきにより残像やムラが発生し、消えなくなることがあります。
- 残像つき防止には、スクリーンセーブ機能が有効です。
- \*2 GOT のスクリーンセーブ/バックライト OFF 機能を使用することにより、表示部品の焼き付き防止やバックライトの寿命を延ばすことができます。
- \*3 メモリは、書き込まれているデータを消去しなくても、新たなデータの上書きが可能で ROM です。
- \*4 お客様のあらゆる環境を保証するものではありません。
- インタフェース取換機は、背面取換機カバーを外した場合は対象外となります。
- また、取換機は、各製品が互換性が充てる各環境では使用されない場合があります。
- \*5 GOT ルチドロボ接続を行う場合、GOT 本体の終端抵抗切換えスイッチを接続形態に合わせて切換えてください。
- \*6 最新バージョンのソフトウェアパッケージをご使用ください。最新バージョンは MELFANSWeb(<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>) ホームページで確認できます。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

# ● GT10

## 一般仕様

項目	仕様					
使用周囲温度	表示部 0～50℃					
表示部以外	0～55℃ (稼働時)、0～50℃ (稼働時)					
保存周囲温度	-20℃～60℃					
使用周囲湿度*1	10～90%RH、結露なきこと					
保存周囲湿度*1	10～90%RH、結露なきこと					
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に適合	周波数	加速度	片振幅	繰り返し回数	
		新結露的振動がある場合	5～2.4Hz	—	3.5mm	X、Y、Z
		連続的振動がある場合	8.4～150Hz	9.8m/s <sup>2</sup>	—	各方向10回
		連続的振動がある場合	5～8.4Hz	—	1.75mm	—
		8.4～150Hz	4.9m/s <sup>2</sup>	—	—	
耐衝撃	JIS B 3502 IEC 61131-2に適合 (147m/s <sup>2</sup> 、XYZ方向各3回)					
使用雰囲気	油煙、腐食性ガス、可燃性ガスがなく、導電性の低くないこと、直射日光があたりなくこと (保存時同様)					
使用湿度*2	2000m以下					
設置場所	制御室内					
オーバervolテージコテジ*3	1以下					
使用湿度*4	2以下					
追加方式	自決					
接地	D種接地 (100V以下)、接地不可の場合は線に接続のこと*5					

- \*1:STN液晶タイプは室温温度 39℃以下
- \*2:GOTは、標高 0mの大気圧以上に加圧した環境で使用または保存しないください。振動する可能性があります。制御室内を加圧によりエアージャズと、気圧によって表面のシートが弾いてタッチパネルが押しにくくなったり、シートがはがれたりする恐れがあります。
- \*3:その機器が公称配線から構内の機械装置に至るまでのこの配線部に接続されていることを指定しているかを示します。ケーブルには、固定設備からの総電圧される機器などに適用されます。定格 300V 未満の機器の定格電圧は 250V です。
- \*4:その機器が使用される環境における導電性物質の発生割合を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染が導電性せず、条件によっては凝結する一時的な導電性がある環境です。
- \*5:DC5V タイプは接地不要です。

直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

海外規格・船載規格の対応状況については、MELFANWeb ホームページ (<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/>) でご確認ください。

## 性能仕様 <GT105□, GT104□ >

項目	仕様				
	GT105S-QSBD	GT1050-QBDD	GT104S-QSBD	GT1040-QBDD	
表示部*1	機種	STN カラー液晶	STN モノクロ (白/青) 液晶	STN カラー液晶	STN モノクロ (白/青) 液晶
	画面サイズ	5.7 型	—	—	4.7 型
	解像度	—	QVGA: 320 × 240 [ドット]	—	—
	表示サイズ	115(W) × 86(H)[mm] (標表示時)	—	96(W) × 72(H)[mm] (標表示時)	—
	表示文字数	16 ドット標準フォント時: 20 字 × 15 行 (全角)、12 ドット標準フォント時: 26 字 × 20 行 (全角) (標表示時)			
	表示色	256 色	モノクロ (白/青) 16 階調	256 色	モノクロ (白/青) 16 階調
	視視角	左右各 55 度、上 65 度、下 70 度 (標表示時)	左右各 20 度、下 40 度 (標表示時)	左右各 50 度、上 40 度、下 70 度 (標表示時)	左右各 45 度、上 20 度、下 40 度 (標表示時)
	コントラスト調整	16 段階調整			
	液晶単体輝度	380 [cd/m <sup>2</sup> ]	260 [cd/m <sup>2</sup> ]	150(cd/㎡)	300(cd/㎡)
	寿命	約 50,000 時間 (使用周囲温度 25℃ でコントラストが 1/5 となる時間)			
バックライト	冷却装置 (交換不可) バックライト OFF 機能付	バックライト OFF / スクリーンセーフ機能の設置可		LED 交換不要	
	寿命*2	約 75,000 時間以上	約 54,000 時間以上	—	
タッチパネル	方式	マトリクス抵抗式			
	タッチキー	最大 50 個 / 1 画面			
メモリ	キーボード	最小 16 × 16 [ドット] (1 キーあたり)			
	同時押し回数	最大 2 回			
メモリ	寿命	100 回以上 (操作 0.98[mm] 以下)			
	Cドライブ*3	内蔵フラッシュメモリ、プロジェクトデータ (1.5M バイト以下)、OS 格納用			
バッテリー	寿命 (書き込み回数)	10 万回			
	Dドライブ	内蔵 SRAM、アラーム履歴、レシビデータ、タイムアクション設定格納用			
バッテリー	バックアップ対象	時計データ、アラーム履歴、レシビデータ、タイムアクション設定値			
	寿命	交換目安約 5 年 (使用周囲温度 25℃)			
	RS-422/485	伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D サブ 9 ピン (メス) 用途: シーケンサ通信 標準抵抗*4: OPEN/110Ω/330Ω (終端抵抗の換えスイッチでの換え)			
	RS-232	RS-232C 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: D サブ 9 ピン (オス) 用途: シーケンサ通信、パソコン通信 (プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、トランスベアレント機能)			
USB	USB (Full Speed 12Mbps)	デバイス、1ch コネクタ形状: Mini-B 用途: パソコン通信			
	メモリボード	(プロジェクトデータ読み出し / 書き込み、OS インストール、トランスベアレント機能)			
パワー出力	メモリボード (GT10、50FMB) 要専用 1ch				
保証構造*4	単色色 (長 / 短 / 無し) の設置可				
外形寸法	外形寸法	164(W) × 135 (H) × 56 (D)[mm]	139(W) × 112 (H) × 41 (D) [mm] (取り付け金を除く)	(標表示時)	
	パネルカット寸法	153(W) × 121(H)[mm]	130 (+1 -0) (W) × 103 (+1 -0) (H) [mm] (標表示時)		
	質量	0.7kg (取付け金具を除く)	0.45 [kg] (取付け金具を除く)		
対応ソフトウェアパッケージ	GT WorkS3 Version1 *6				

- \*1:液晶パネルは、特性として輝点 (常時点灯している点) と暗点 (点灯しない点) が発生する場合があります。液晶パネルには大変多くの表示素子があるため、輝点・暗点の発生を 100%発生しないようにすることはできません。また、表示色によっては、ちらつきが発生することがあります。輝点・暗点の発生は、製品の不良または故障でなく特性ですので、あらかじめご了承ください。輝点・暗点の発生を表示している点、輝きつきにより現象やムラが発生し、消えなくなることがあります。輝きつき防止には、スクリーンセーフ機能が有効です。
- \*2:GOTのスクリーンセーフ/バックライト OFF 機能を使用することにより、表示部の焼き付き防止やバックライトの寿命を延ばすことができます。
- \*3:メモリは、書き込まれているデータを消去しなくても、新たなデータの書き込みが可能 ROM です。
- \*4:お持ちのあらゆる環境を保証するものではありません。インタフェース事前準備カバー、背面耐環境カバーを外した場合は対象外となります。また、長時間露光、あるいは変位がかかる環境やオイルミストが充満する環境ではご使用にされない場合があります。
- \*5:GOT カードドライブ接続を行う場合、GOT 本体の電源供給切替スイッチを接続機に合わせで切換えてください。
- \*6:最新バージョンのソフトウェアパッケージを使用してください。最新バージョンは MELFANWeb (<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb/>) ホームページで確認できます。



電源部仕様 <GT10>

項目	仕様									
	GT1055-QSBD	GT1050-QBBD	GT1045-QSBD GT1040-QBBD	GT1030-LBD GT1030-LWD GT1030-HBD GT1030-HWD GT1030-LBD2 GT1030-LWD2 GT1030-HBD2 GT1030-HWD2	GT1030-LBDW GT1030-LBDW GT1030-HBDW GT1030-HBDW GT1030-LBDW2 GT1030-LBDW2 GT1030-HBDW2 GT1030-HBDW2	GT1020-LBD GT1020-LBDW GT1020-LBD2 GT1020-LWD2	GT1020-LBDW GT1020-LBDW GT1020-LBDW2 GT1020-LWD2	GT1030-LBL GT1030-LBL GT1030-HBL GT1030-HBL GT1030-LBLW GT1030-LBLW GT1030-HBLW GT1030-HBLW	GT1020-LBL GT1020-LBL GT1020-LBLW GT1020-LBLW GT1020-LBLW GT1020-LBLW GT1020-LBLW GT1020-LBLW	
入力電圧電圧	DC24V (+10%, -15%) リップル電圧 200mV以下									DC5V (±5%) シーンサカから起電
入力電流	-									
入力最大定格電力	-									
消費電力	8.8W以下 (410mA/DC24V)	9.36W以下 (390mA/DC24V)	3.6W以下 (150mA/DC24V)	2.2W以下 (90mA/DC24V)	2.2W以下 (90mA/DC24V)	1.9W以下 (79mA/DC24V)	1.9W以下 (79mA/DC24V)	1.1W以下 (80mA/DC24V)	1.1W以下 (80mA/DC24V)	1.1W以下 (80mA/DC24V)
バックライト消灯時	4.32W以下 (180mA/DC24V)	3.90W以下 (160mA/DC24V)	2.9W以下 (120mA/DC24V)	1.7W以下 (70mA/DC24V)	1.7W以下 (70mA/DC24V)	1.2W以下 (50mA/DC24V)	1.2W以下 (50mA/DC24V)	0.6W以下 (24mA/DC24V)	0.6W以下 (24mA/DC24V)	0.6W以下 (24mA/DC24V)
入力電流	15A以下 (26.4V) 2ms									
許容瞬時時間	5ms 以内									
ノイズ電圧	ノイズ電圧 1000Vp-p、ノイズ幅 1μs (ノイズ帯域 30 ~ 100kHzのノイズシミュレータによる)									
耐電圧	最高電圧=100Vアース間 AC100V/100W									
耐熱衝撃	電源端子-1秒/アース間 DC500V 絶縁抵抗1kΩ以上									
表示色	1本配線: 0.14 ~ 1.5mm <sup>2</sup> , AWG26 ~ AWG16 (単線), 0.14 ~ 1.0mm <sup>2</sup> , AWG26 ~ AWG16 (より線), 0.25 ~ 0.5mm <sup>2</sup> , AWG24 ~ AWG20 (絶縁スリーブ付線端子)									
適合着端子	2本配線: 0.14 ~ 0.5mm <sup>2</sup> , AWG26 ~ AWG20 (単線), 0.14 ~ 0.2mm <sup>2</sup> , AWG26 ~ AWG24 (より線)									
適合着端子	M3ネジ用の圧着端子 RAV1 25-3, VZ-N3A, FVZ-N3A									
適合着端子	AI2.5-6BU, AI0.34-6TQ, AI0.5-6WH (フエックス・コンタクト (株) 製)									
適合着端子	0.5 ~ 0.8 [N・m]									
適合着端子	0.22 ~ 0.25 [N・m]									

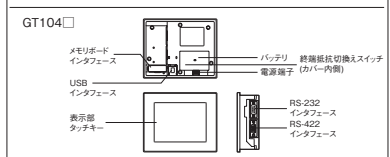
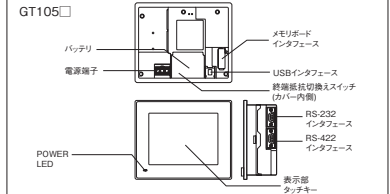
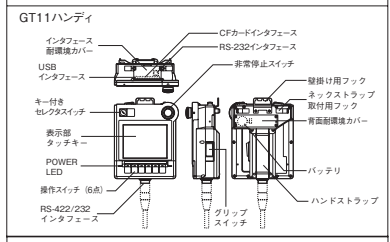
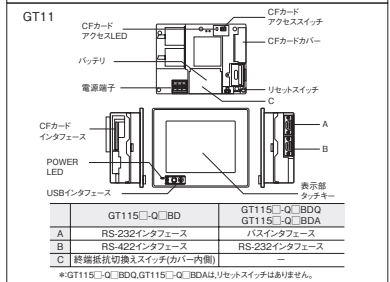
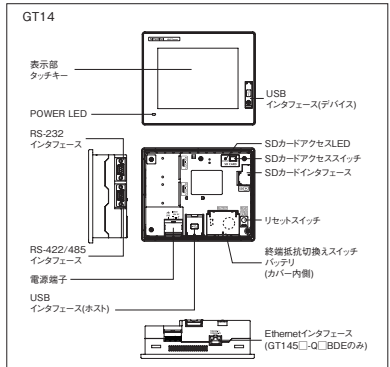
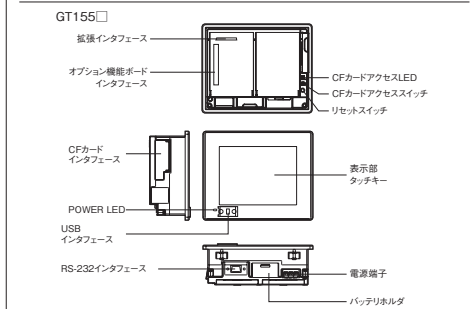
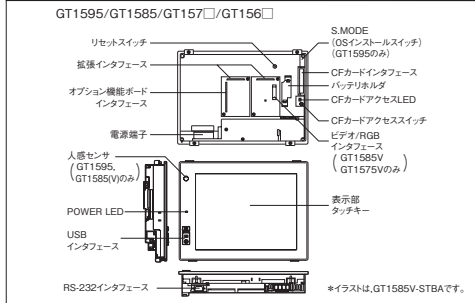
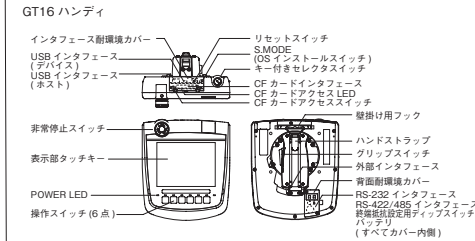
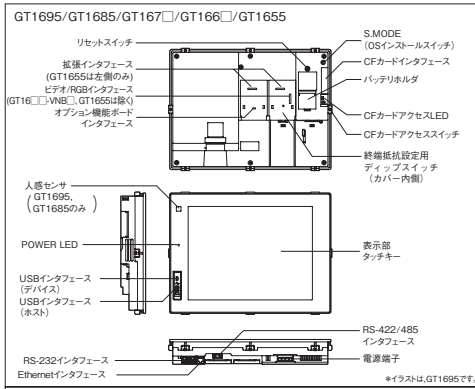
性能仕様 <GT1030, GT1020>

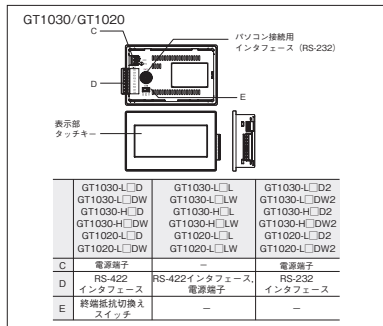
項目	仕様						
	GT1030-LBD GT1030-LWD GT1030-HBD GT1030-HWD GT1030-LBL GT1030-LBLW GT1030-HBL GT1030-HBLW	GT1030-LBDW GT1030-LBDW GT1030-HBDW GT1030-HBDW GT1030-LBLW GT1030-LBLW GT1030-HBLW GT1030-HBLW	GT1030-LBD2 GT1030-LWD2 GT1030-HBD2 GT1030-HWD2	GT1030-LBDW2 GT1030-LBDW2 GT1030-HBDW2 GT1030-HWD2	GT1020-LBD GT1020-LBDW GT1020-LBD2 GT1020-LWL	GT1020-LBDW GT1020-LBDW GT1020-LBDW2 GT1020-LWL	GT1020-LBD2 GT1020-LWD2
種類	STNモノクロ (白/黒) 液晶						
液晶サイズ	4.5 型			3.7 型			
解像度	288 × 96 [ドット] (標準表示)			160 × 64 [ドット] (標準表示)			
表示サイズ	109.42(W) × 35.98(H)(mm) (標準表示)			86.4(W) × 34.5(H)(mm) (標準表示)			
表示文字数	16ドット標準フォント時: 36文字 × 6行 (半角), 18文字 × 6行 (全角) (標準表示) 12ドット標準フォント時: 48文字 × 8行 (半角), 24文字 × 8行 (全角) (標準表示)			16ドット標準フォント時: 20文字 × 4行 (半角), 10文字 × 4行 (全角) (標準表示)			
表示色	モノクロ (白/黒)						
視野角	左右各 30 度, 上下 20 度, 下 30 度 (標準表示)						
コントラスト調整	16段階調整						
液晶単体輝度	200 [cd/m <sup>2</sup> ] (緑色時)	GT1030-L/D/W/L H/L/W (白色時) GT1030-H/D/W/H H/L/W (白色時)	200 [cd/m <sup>2</sup> ] (緑色時)	GT1030-L/D/W2 H/L/W2 (白色時) GT1030-H/D/W2 H/L/W2 (白色時)	200 [cd/m <sup>2</sup> ] (緑色時)	300 [cd/m <sup>2</sup> ] (白色時)	300 [cd/m <sup>2</sup> ] (白色時)
輝度調整	8段階						
寿命	約 50,000 時間 (使用照度輝度: 25% 以下でコントラストが 1/5 となる時間)						
バックライト	3色 LED (緑, 橙, 赤) (交換不要)	3色 LED (白, ピンク, 赤) (交換不要)	3色 LED (緑, 橙, 赤) (交換不要)	3色 LED (白, ピンク, 赤) (交換不要)	3色 LED (緑, 橙, 赤) (交換不要)	3色 LED (白, ピンク, 赤) (交換不要)	3色 LED (白, ピンク, 赤) (交換不要)
機能	状態 (色, 点灯 / 減速 / 消灯) の監視可能。スクリーンセーブ機能の起動可能。システム情報によりシーンサカからバックライトの色や輝度を制御できます。						
タッチキー	方式: マルチタッチ対応						
タッチパネル	タッチキー数	最大 50 個 / 画面					不可
タッチパネル	キヤパシ	最大 16 × 16 [ドット] (1キーあたり)					最大 2 × 2 [ドット] (1キーあたり)
タッチパネル	同時押し点数	最大 2 点					不可 (同時に 2 点以上を押し込んだ場合、押し込んだ点の付近のスイッチが動作することがあります。)
メモリ	容量	内蔵フラッシュメモリ プロジェクトデータ (1.5Mバイト以下), OS 格納用					OS, 内蔵フラッシュメモリ プロジェクトデータ (512Kバイト以下), OS 格納用
メモリ	寿命 (書き込み回数)	10 万回					
メモリ	ドライブ	内蔵 SRAM, アラーム履歴, レジビデータ, タイムアクション設定格納					
バッテリー	バックアップ対象	時計データ, アラーム履歴, レジビデータ, タイムアクション設定					
バッテリー	寿命	交換目安 5 年 (使用照度輝度: 25%)					
内蔵インタフェース	シーケンサ通信	GT1030-L/D/W/L RS-422/485, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	RS-232, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	GT1020-LBD/LWD, GT1020-LBDW/LWDW RS-422/485, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	GT1020-LBD/LWD, GT1020-LBDW/LWDW RS-422, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	RS-232, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	
	シーケンサ通信	GT1030-LBL/LWLW RS-422, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	RS-232, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	GT1020-LBL/LWLW RS-422, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信	GT1020-LBL/LWLW RS-422, 1ch 伝送速度: 115200/57600/38400/19200/9600/4800bps コネクタ形状: コネクタ端子台 9ピン 用途: シーケンサ通信		
内蔵インタフェース	パソコ通信	用途: パソコ通信 (プロジェクトデータ読み出し・書き込み, OSインストール・更新, システムアラート機能)					
プラー出力	定格電圧*	145(W) × 76(H) × 29.5(D)(mm)					113(W) × 74(H) × 27(D)(mm)
プラー出力	外形寸法	145(W) × 76(H) × 29.5(D)(mm)					113(W) × 74(H) × 27(D)(mm)
プラー出力	8本丸カット寸法	137(W) × 66(H)(mm)					105(W) × 56(H)(mm)
質量	GT1030-L/D/W/L/D/W/H/L/W	0.3kg (取付け金具を除く)			GT1020-L/D/W: 0.2kg (取付け金具を除く)	0.2kg (取付け金具を除く)	
質量	GT1030-L/L/W/H/L/W/H/L/W	0.3kg (取付け金具を除く)			GT1020-L/L/W: 0.18kg (取付け金具を除く)	0.2kg (取付け金具を除く)	
対応ソフトウェアパッケージ	GT1030-H□□: GT Works3 Version *	GT Works3 Version *					

\* 1. 液晶パネルは、特性として輝点 (常時点灯している点) と黒点 (点灯しない点) が発生する場合があります。液晶パネルには大変多くの表示素子があるため、輝点・黒点の発生を 100%発生しないようにすることはできません。また、表示色によっては、ちらつきが発生することがあります。  
 輝点・黒点の発生は、製品の不良または故障でなく特性であり、あらかじめご了承ください。  
 液晶パネルの特性として、低照度の応答性は鈍くなる傾向にありますのであらかじめご了承ください。  
 長時間同じ画面を表示している時、焼きつきにより現象やムラが発生し、消えなくなる場合があります。  
 焼きつき時には、スクリーンセーブ機能があります。  
 \* 2. メモリは、書き込まれているデータを消去できず、新たなデータの書き込み可能な ROM です。  
 \* 3. ISO 7801規格のケーブル接続を行う場合、GOT本体の終端抵抗切換スイッチを接続形態に合わせて切換えてください。  
 \* 4. お客様のあらゆる問題を保証するものではありません。  
 インタフェース駆動ケーブル、背面耐環境ケーブルを外した場合は対象外となります。  
 また、長時間露光、あるいは照明がかかる環境やオイルミストが充満する環境ではご使用いただけない場合があります。  
 \* 5. 最新バージョンのソフトウェアパッケージをご使用ください。最新バージョンは MELFANWeb (http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfanweb) ホームページで確認できます。

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続構成について  
 5 海外外形対応状況  
 6 機器一式  
 7 用語集

### 1.3 各部の名称



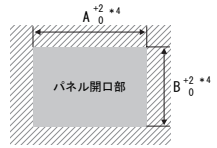


## 1.4 取付け

### ■ パネルカット寸法

● GOT 取付け時 (単位: mm)

画面サイズ	GOT 本体の種類	A	B
15 型	GT1695	383.5	282.5
	GT1595		
12.1 型	GT1685 *1	302	228
	GT1585 *1		
10.4 型	GT167 □*2	289	200
	GT157 □*2		
8.4 型	GT166 □	227	176
	GT156 □		
5.7 型	GT1655 *3	153	121
	GT155 □*3		
	GT145 □*3		
	GT115 □*3		
	GT105 □*3		
4.7 型	GT104 □	130	103
4.5 型	GT1030	137	66
3.7 型	GT1020	105	66



- \*1: A985GOT(-V) と同寸法です。
- \*2: A975/970GOT (-B) と同寸法です。
- \*3: F940GOT と同寸法です。
- \*4: GT104 □, GT1030, GT1020 では<sup>1</sup>と異なります。

### ● CF カード延長ユニット (制御盤側取付けユニット) 取付け時

種類	A	B
GT15-CFEX-COSSET	94.0	33.0

### ● 取付け時、取外し時の注意事項

CF カード延長ユニットを制御盤に取り付ける場合、拡張ユニットのケーブルや、GOT の CF カードインタフェースの、邪魔にならない位置に取り付けてください。また、CF カード延長ユニットと GOT は、25mm 以上離してください。取付け位置については、「GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)」または「GT15 本体取扱説明書」をご参照ください。

GOT900 シリーズとの互換については、「従来品との互換について (P.48)」をご参照ください。

### ■ 製品取付け間隔

GOT を取り付ける場合、【図 A】のように他の機器からの距離が必要です。

GOT に取り付ける接続ケーブルの種類によっては、記載されている寸法以上の距離が必要になる場合があります。コネクタの寸法やケーブル曲げ半径を考慮して設置してください。

### ● GT16/GT15 (単位: mm)

項目	GT1695	GT1685	GT167 □	GT166 □	GT1655	GT1595	GT1585	GT157 □	GT156 □	GT155 □
GOT のみ	50 以上 (20 以上)	50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上 (36 以上)	61 以上	50 以上 (20 以上)			50 以上 (21 以上)	49 以上
バス接続ユニット装着時	50 以上 (20 以上)	50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上	50 以上	50 以上 (20 以上)	50 以上 (35 以上)		50 以上 (40 以上)	50 以上
シリアル通信ユニット装着時	50 以上 (20 以上)	50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	49 以上		50 以上 (20 以上)			50 以上 (21 以上)	49 以上
RS-422 変換ユニット装着時	50 以上	51 以上	63 以上	73 以上	-	50 以上 (20 以上)	50 以上 (39 以上)	53 以上	58 以上	-
Ethernet 通信ユニット装着時			-					50 以上 (20 以上)		
CC-Link 通信ユニット (GT15-J61BT13) 装着時		50 以上 (20 以上)			50 以上 (24 以上)			50 以上 (20 以上)		50 以上 (24 以上)
MELSECNET/H 通信ユニット (同軸) 装着時	50 以上 (20 以上)	50 以上 (24 以上)	50 以上 (33 以上)	50 以上	64 以上	50 以上 (20 以上)	50 以上 (30 以上)	50 以上 (35 以上)	64 以上	
MELSECNET/H 通信ユニット (光) 装着時		50 以上 (20 以上) *1			79 以上*1	50 以上 (20 以上) *1	50 以上 (23 以上) *1	50 以上 (37 以上) *1	50 以上 (42 以上) *1	79 以上*1
CC-Link IE コントローラネットワーク通信ユニット装着時		50 以上 (20 以上)			57 以上	50 以上 (20 以上)		50 以上 (23 以上)	50 以上 (28 以上)	57 以上
CC-Link IE フィールドネットワーク通信ユニット装着時		50 以上 (20 以上)			57 以上	50 以上 (20 以上)		50 以上 (23 以上)	50 以上 (28 以上)	57 以上
A プリンタユニット装着時	50 以上 (20 以上)		50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上 (29 以上)		50 以上 (20 以上)			50 以上 (29 以上)
マルチメディアユニット装着時 *4		50 以上 (20 以上) *2								
ビデオ入力ユニット装着時 *4		50 以上 (20 以上) *2					61 以上*2	75 以上*2		
RGB 入力ユニット *4		50 以上 (20 以上) *3					50 以上 (20 以上) *3			
ビデオ / RGB 入力ユニット *4		50 以上 (20 以上) *2 *3					61 以上*2 *3	75 以上*2 *3		
RGB 出力ユニット *4		50 以上 (20 以上) *3					50 以上 (20 以上) *3			
CF カードユニット装着時	50 以上 (20 以上)		50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)				50 以上 (20 以上)		
CF カード延長ユニット	50 以上 (20 以上)		50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上	50 以上 (20 以上)	50 以上 (49 以上)	63 以上	68 以上	97 以上
音声出力ユニット装着時	50 以上 (20 以上)		50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上			50 以上 (20 以上)		
外部入出力ユニット装着時	50 以上 (20 以上)		50 以上 (26 以上)	50 以上 (36 以上)	50 以上		50 以上 (20 以上)	50 以上 (24 以上)	50 以上 (29 以上)	58 以上
B					80 以上 (20 以上)					
C (CF カード未使用時)		50 以上 (20 以上)			50 以上 (20 以上) *5			50 以上 (20 以上)		
D (CF カード使用時)		50 以上 (20 以上)			100 以上			50 以上 (20 以上)		100 以上
E					50 以上 (20 以上)			50 以上 (20 以上)		100 以上 (20 以上)

- \*1: 使用するケーブルにより異なります。最寄りの三菱電機システムサービス (株) にお問合せください。表中の数値は参考です。
- \*2: 同軸ケーブル 3C-2V (JIS C 3501) を使用した場合の値。
- \*3: 使用するケーブルにより異なります。使用するケーブルの曲げ寸法が記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。
- \*4: GT1695-V, GT167 □, GT1652-V, GT1655-V では使用できません。
- \*5: バッテリを使用する場合は、CF カード使用時の寸法が必要です。

## ●GT14 (単位:mm)

GOT 本体	A, D	B	C	E
GT1455	50以上*3 (20以上)	80以上*1 (20以上)	50以上*2 (20以上)	100以上*4 (20以上)
GT1450				

- \*1 縦置きの場合は50以上(20以上)
- \*2 横置きの場合は80以上(20以上)
- \*3 GT145□-□□BDEの場合、使用するEthernetケーブルにより異なります。使用するEthernetケーブルの曲げ半径が、記載値より大きい場合は、その寸法に合わせてください。
- \*4 USBメモリ、SDカード使用時は、巻線の寸法を考慮し取り付けを行ってください。

## ●GT11 (単位:mm)

GOT 本体	A, D	B	C		E
			CFカード 未使用時	CFカード 使用時	
GT1155	50以上 (20以上)	80以上*1 (20以上)	50以上*2 (20以上)	100以上	100以上 (20以上)
GT1150					

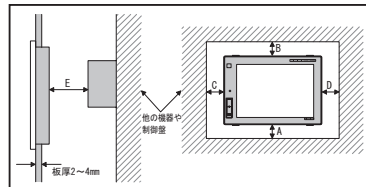
- \*1 縦置きの場合は50以上(20以上)
- \*2 横置きの場合は80以上(20以上)

## ●GT10 (単位:mm)

GOT 本体	A	B	C	D	E
GT105 □	50以上 (20以上)	80以上 (20以上)	50以上 (20以上)	50以上 (20以上)	100以上 (20以上*3)
GT104 □					
GT1030	50以上 (20以上*1)	50以上 (20以上)	50以上 (20以上)	50以上	80以上 (20以上*2)
GT1020					

- \*1 RS-232/USB変換アダプタ使用時は50以上。
- \*2 パソコン接続ケーブル使用時、またはGOT複数台接続時にパソコン用RS-232インタフェースを使用する場合は80以上。  
RS-232/USB変換アダプタ使用前にRS-232インタフェースを使用する場合は50以上。
- \*3 USBケーブル、メモリポート使用時は80以上。

【図A】

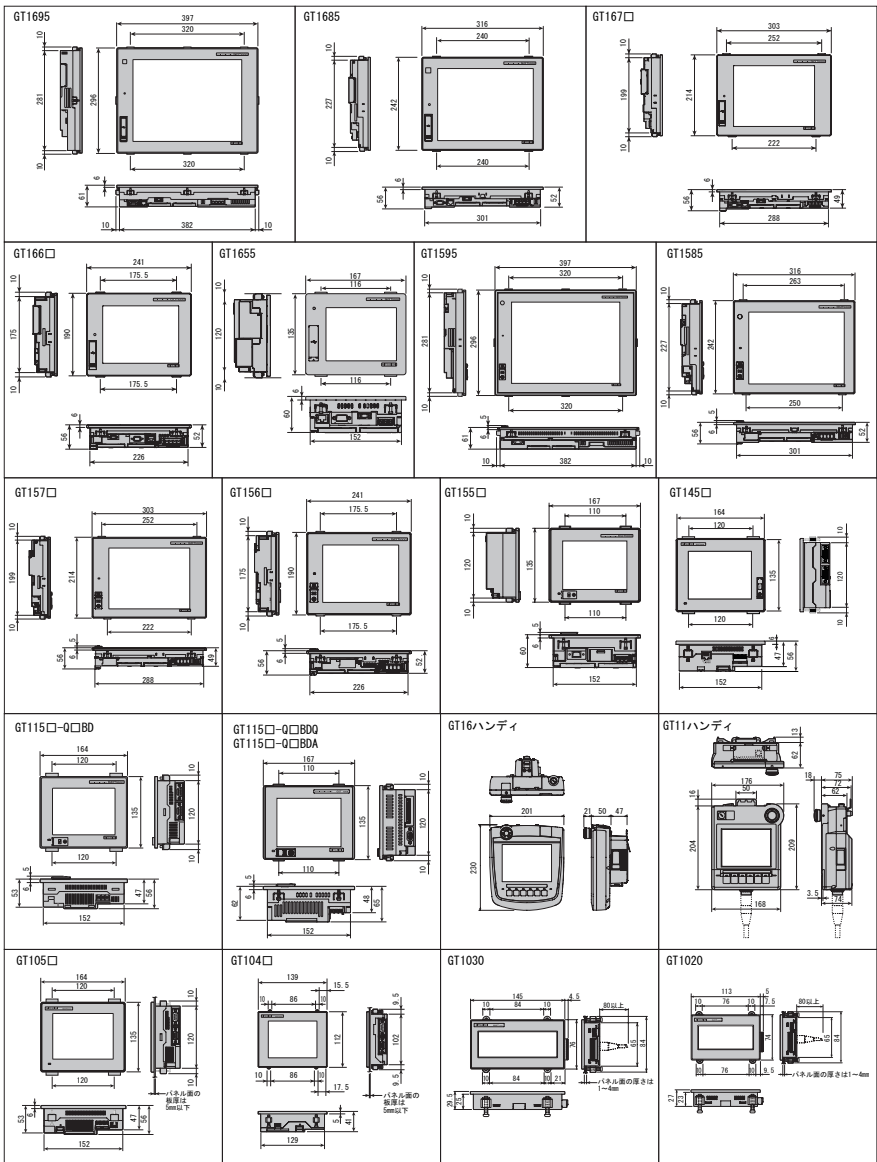


放射性ノイズを発生する機器（コンタクターなど）や発熱する機器が周囲にない場合は（ ）内の寸法とすることができ、この場合でもユニット本体の周囲温度は55℃以下となるようにしてください。  
また、使用するユニットやケーブルによっては、ケーブル引き出し線が上記【図A】のA寸法（GT10の場合はD寸法）以上必要になる場合があります。

# 1.5 外形寸法

## GOT本体

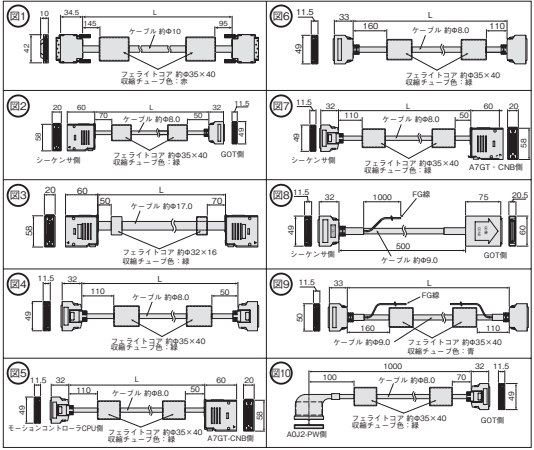
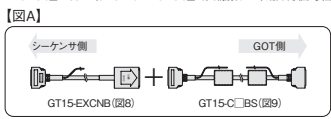
(単位: mm)



バス接続ケーブル

ケーブル名	ケーブル長(L)	外形寸法
GT15-Q□B	0.6, 1.2, 3, 5, 10m	図1
GT15-Q□BS	15, 20, 25, 30, 35m	図1
GT15-C□NB	1.2, 3, 5m	図2
GT15-AC□B	0.6, 1.2, 3, 5m	図3
GT15-A370C□B-S1	1.2, 2.5m	図4
GT15-A370C□B	1.2, 2.5m	図5
GT15-A1SC□B	0.7, 1.2, 3, 5m	図6
GT15-A1SC□NB	0.45, 0.7, 3, 5m	図7
GT15-C□EXSS-1*1	10, 6, 20, 6, 30, 6m	図8+図9
GT15-EXCNB	0.5m	図8
GT15-C□BS	0.7, 1.2, 3, 5, 10, 20, 30m	図9
GT15-J2C10B	1m	図10

\*1: GT15-C□EXSS-1H (GT15-EXCNB+GT15-C□BS)で構成されるセット品です。(図A参照)



RS-422ケーブル

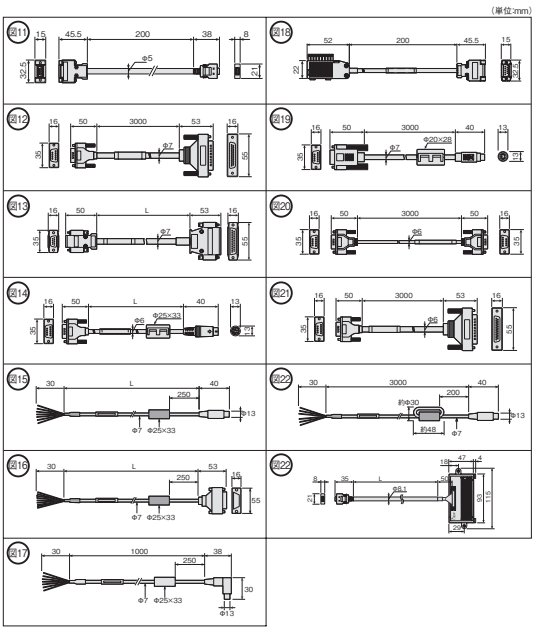
ケーブル名	ケーブル長(L)	外形寸法
GT16-C02R4-9S	0.2m	図11
GT01-C30R4-25P	3m	図12
GT01-C□R4-25P	10, 20, 30m	図13
GT01-C□R4-8P	1, 3, 10, 20, 30m	図14
GT10-C□R4-8P	1, 3, 10, 20, 30m	図15
GT10-C□R4-25P	3, 10, 20, 30m	図16
GT10-C10R4-8PL	1m	図17
GT10-C02H-9SC	0.2m	図18

RS-232ケーブル

ケーブル名	ケーブル長(L)	外形寸法
GT01-C30R2-6P	3m	図19
GT01-C30R2-9S	3m	図20
GT01-C30R2-25P	3m	図21
GT10-C30R2-6P	3m	図22

RS-485端子台変換ユニット

形名	ケーブル長(L)	外形寸法
FA-LTBTR4CBL□	0.5, 1.2m	図23



## 通信ユニット・オプションユニット

### ●通信ユニット・バス延長コネクタボックス

	品名	形名	外形寸法	
バス接続 ユニット	QCPU(Q-M) / モーションコントローラCPU (Qシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	1ch GT15-0BUS	図1	
	Q/A/ACPU / モーションコントローラCPU (Aシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	2ch GT15-0BUS2	図2	
	QCPU(Q-M) / モーションコントローラCPU (Qシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	1ch GT15-ABUS1	図1	
	Q/A/ACPU / モーションコントローラCPU (Aシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	2ch GT15-ABUS2	図2	
	QCPU(Q-M) / モーションコントローラCPU (Qシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	1ch GT15-750BUSL	図3	
	Q/A/ACPU / モーションコントローラCPU (Aシリーズ)用バス接続ユニット標準モデル	2ch GT15-750BUS2L	図3	
	RS-232C / シリアル通信ユニット (D-Su99C(オス))	1ch GT15-RS2-9P	図4	
	RS-422 / 485 / シリアル通信ユニット (D-Su99C(オス))	1ch GT15-RS4-9S	図4	
	RS-422 / 485 / シリアル通信ユニット (端子台)	1ch GT15-RS4-TE	図5	
	RS-422 / RS-232C / RS-422交換ユニット(9ピン)	1ch GT15-RS2T4-9P	図6	
交換ユニット	RS-232C-RS-422交換ユニット(25ピン)	1ch GT15-RS2T4-25P	図6	
バス延長コネクタボックス	バスコネクタ交換ボックス	A9GT-QCNB	図7	
	MELSECNET/H	光ケーブルユニット	GT15-J1LP23-25	図8
	通信ユニット	同軸バスユニット	GT15-J71BR13	図10
	CC-Link I / E / コントローラネットワーク通信ユニット	GT15-J71GP23-SX	図11	
	CC-Link I / E / フィールドネットワーク通信ユニット	GT15-J71GF13-T2	図12	
	CC-Link I / E / ネットワークデバイス局ユニット	GT15-J61BT13	図13	
	Ethernet通信ユニット	GT15-J71E1-100	図14	
	リアルタイムデータリンク接続ユニット	GT01-RS4-M	図15	
	ユークス交換アダプタ	GT10-9PTSS	図16	
	RS-232C / 485信号交換アダプタ	GT14-RS2T4-9P	図17	
CC-Link I / E / スタースユニット	GT11HS-CCL	図18		

### ●オプションユニット

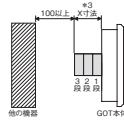
	品名	形名	外形寸法
プリンタユニット	マルチメディアユニット	GT15-PRN	図19
	ビデオ入力ユニット	GT16M-MR	図20
RGB入力ユニット	RGB入力ユニット	GT15V-75V4	図22
	RGB出力ユニット	GT16M-R2	図21
ビデオ/RGB入力ユニット	ビデオ/RGB入力ユニット	GT15V-75R1	図22
	RGB出力ユニット	GT16M-V4R1	図21
CFカードユニット	CFカード延長ユニット	GT15V-75V4R1	図22
	音声出力ユニット	GT16M-ROUT	図23
外部入出力ユニット	外部入出力ユニット	GT15V-75ROUT	図23
	ハンディgOT用コネクタ交換ボックス	GT15-CFCD	図24
		GT15-CFEX-C08SET	図25
		GT15-SOUT	図26
		GT15-DIOR	図27
		GT15-DIO	図27
		GT11H-CNB-37S	図28
		GT16H-CNB-42S	図29

\*1 形名により、コネクタ形状等が異なります。

\*2 各通信ユニットのAの寸法

形名	A	B	C	D
GT15-0BUS	2.5	12	31.5	-
GT15-0BUS2	2.5	11	29	33.5
GT15-ABUS	4.5	15	29.5	-
GT15-ABUS2	4.5	11	31	31

\*3 gOT取付け時の寸法



●gOTの本体係数

GOTの種類	Y (本体係数)
GT1695	-2
GT1595	-0.5
GT1685, GT1585	-3.5
GT167□, GT157□	-0.5
GT166□, GT1655, GT156□, GT155□	1.5

●通信ユニット・オプションユニットのオプション係数

形名	Z (オプション係数)
GT15-CFCD, GT15-CFEX-C08SET	20.5
GT16M-V4, GT16M-R2, GT16M-V4R1, GT16M-ROUT, GT15V-75V4, GT15V-75R1, GT15V-75V4R1, GT15V-75ROUT, GT15-0BUS, GT15-0BUS2, GT15-ABUS, GT15-ABUS2, GT15-RS2-9P, GT15-RS4-9S, GT15-RS4-TE, GT15-J71LP23-25, GT15-J71E1-100, GT15-J71BR13, GT15-J61BT13, GT15-PRN, GT15-DIO, GT15-DIOR, GT15-SOUT, GT16M-MMR, GT15-J71GP23-SX, GT15-J71GF13-T2	21.5
	35.5

(単位: mm)

●寸法の計算式

- 1 段取付け-Y (本体係数) + Z (オプション係数)
- 2 段取付け-Y (本体係数) + Z (オプション係数) + Z (オプション係数)
- 3 段取付け-Y (本体係数) + Z (オプション係数) + Z (オプション係数) + Z (オプション係数)

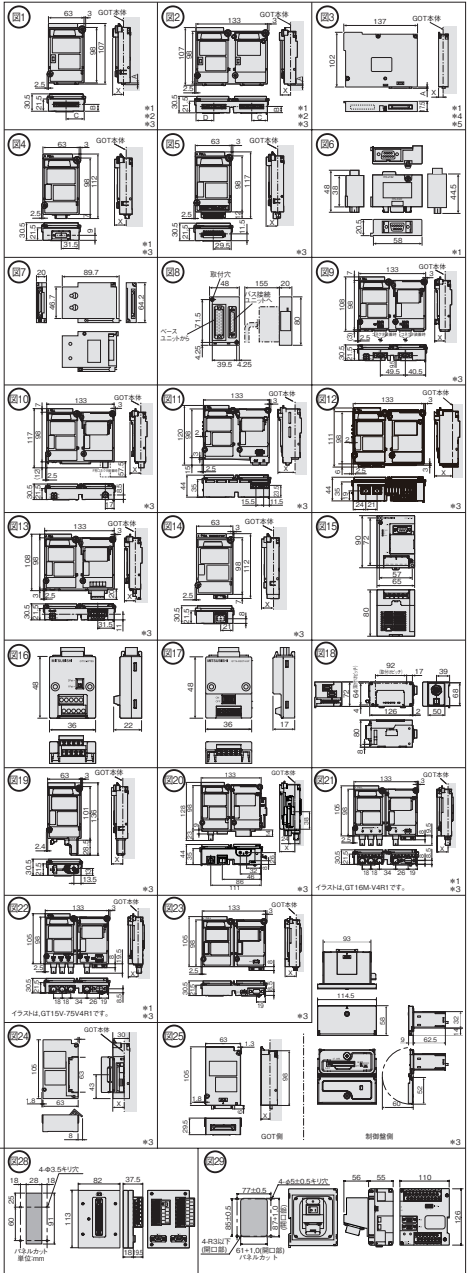
\*4 各通信ユニットのAの寸法 (単位: mm)

形名	A
GT15-750BUSL	2.5
GT15-750BUS2L	2.5
GT15-75ABUSL	4
GT15-75ABUS2L	4

\*5 gOT取付け時の寸法

●GT16の場合 ●GT15の場合

15型	6.5	5型, 10.4型	5
12.1型	5	12.1型	5
10.4型	8	8.4型, 5.7型	10
8.4型, 5.7型	10		





## 2. ソフトウェアについて

GOT を使用する際に必要なソフトウェアについて説明します。

<b>2.1 製品ラインアップ</b> .....	<b>30</b>
<b>2.2 仕様 (動作環境)</b> .....	<b>32</b>

## 2. ソフトウェアについて

### 2.1 製品ラインアップ

もっと快適に。もっと無駄なく。  
使いやすさを極め、進化した作画ソフトウェア。

GOT1000用画面作成ソフトウェア



# GT Works3

作画工数の  
削減へ！  
「簡単」機能を、  
さらに充実！

#### ワークツリー

プロジェクト全体の把握や画面の  
新規作成・追加・削除も簡単！

#### プロパティシート

選択したオブジェクトや図形の設定  
内容をツリーで表示。ダイアログを開  
かなくても、色やデバイスなどの設  
定をプロパティシート上で行えます。  
また、オブジェクトや図形を複数選択  
し、色や文字サイズなどを一括変更  
できます。

#### テンポラリエリア

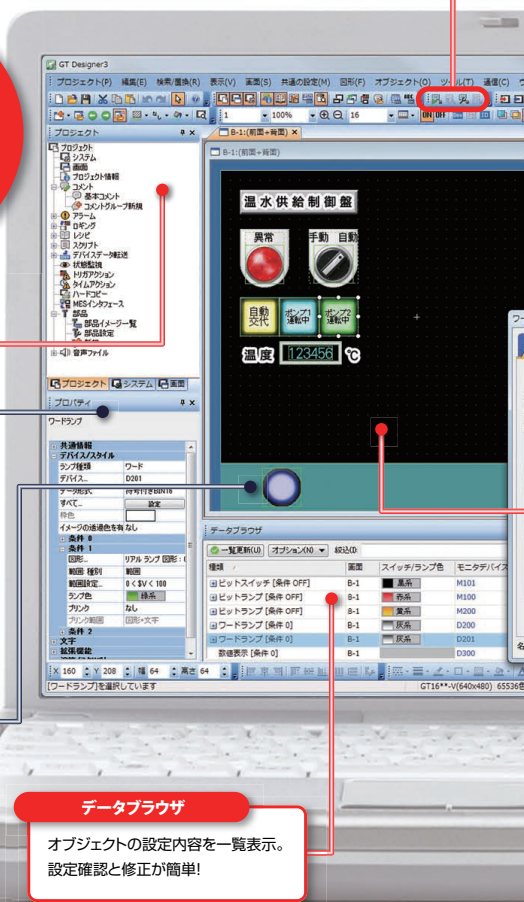
使用しないオブジェクトを一時的に退  
避させることで、画面作成・変更をス  
ムーズに行えます。

#### MELSOFT iQ Worksで設計効率アップ

MELSOFT Navigatorでのパラメータ  
一括設定やシステムラベルに対応して  
います。

#### データブラウザ

オブジェクトの設定内容を一覽表示。  
設定確認と修正が簡単！



詳しくは、  
GT Works3カタログ  
<L(名)08157>を  
ご参照ください。



### シミュレータ

ワンクリックで動作確認!

### GOTとの通信

プロジェクトに合わせてOSを  
自動選択し、GOTに転送。

### ツールバー

フルカラーアイコンで、できることが  
一目で分かる。

### ライブラリ

パーツ選びもラクラク。綺麗な画面  
を簡単作成。

### ダイアログボックス

分かりやすい表示で、スムーズ設定。

### エディタ<画面作成エリア>

効率よく作画できる便利な  
機能が満載!

### 新機能の追加で、 さらに作画効率UP!

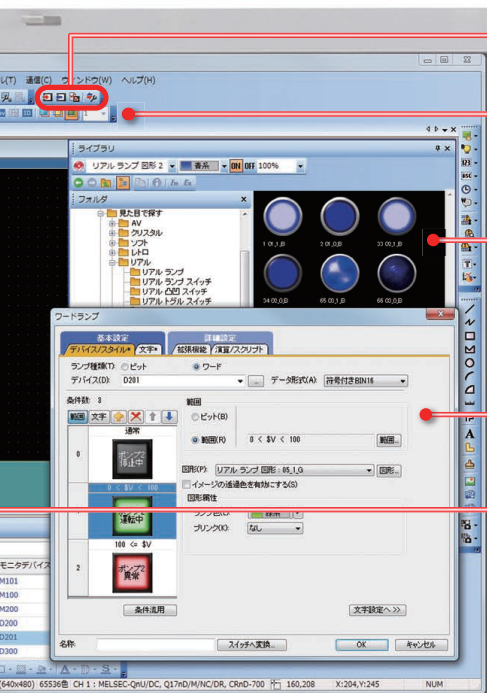
- 「テンプレート」の活用で、作画工数を大幅削減!
- 右クリックだけで、一括変換!
- 右クリックだけで、部品登録!
- 加算・減算のワードスイッチを簡単作成!

セキュリティ管理もこれで  
安心!

「ヘルプ機能」で、  
知りたい情報が即わかる!

### 関連ツール

GT Works3には、データ転送ツール  
やGT Converter2など多彩なツール  
が同梱されています。



## 2.2 仕様 (動作環境)

### GT Works3 (日本語版) 動作環境

項目	内 容		
パソコン	PC/AT 互換機で以下の OS が動作するもの		
OS (日本語版)	Microsoft® Windows® 7 (64bit/32bit) (Enterprise, Ultimate, Professional, Home Premium, Starter) Microsoft® Windows Vista® (32bit) (Enterprise, Ultimate, Business, Home Premium, Home Basic) Microsoft® Windows® XP Service Pack2 以降 (32bit) (Professional, Home Edition) Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack4		
CPU	1GHz 以上推奨		
必要メモリ	Microsoft® Windows® 7, Microsoft® Windows Vista® 使用時: 1GB 以上推奨 Microsoft® Windows® XP, Microsoft® Windows® 2000 使用時: 512MB 以上推奨		
ディスプレイ	解像度 XGA (1024 × 768 ドット) 以上		
ハードディスク空き容量	GT Designer3 インストール時: 2GB 以上推奨 GT Designer3 実行時: 512MB 以上推奨		
表示色	High Color (16 ビット) 以上		
ソフトウェア	シミュレート機能を使用しパソコン1台でシミュレートする場合は、下記のソフトウェアが必要です。 GX Works2 Version1.09K 以降*1または、GX Simulator Version5.00A 以降*1。 *シミュレートするシナリオや CPU によって、対応する GX Works2 または、GX Simulator のソフトウェアバージョンが異なります。		
	シミュレートするシナリオやCPU	GX Simulatorバージョン	GX Works2バージョン
	QCPU(Aモード), ACPU, モーションコントローラCPU(Aシリーズ)	5.00A以降	—
	QnACPU	—	—
	FX0nシリーズ, FX0nシリーズ, FX0sシリーズ, FX1シリーズ, FX1nシリーズ, FX1ncシリーズ, FX1sシリーズ, FX2シリーズ, FX2cシリーズ, FX2nシリーズ, FX2ncシリーズ	5.00E以降	1.20W以降
	QCPU(Qモード) (Q00/Q01/Q02/Q01CPUは除く)	—	—
	Q00UCPU, Q00UCPU, Q01UCPU	6.00A以降	1.09K以降
	Q02PRHCPU, Q02PRHCPU	7.20V以降	—
	Q12PHCPU, Q25PHCPU	6.10L以降	—
	Q12PRHCPU, Q25PRHCPU	6.20W以降	—
	FX3cシリーズ*, FX3uシリーズ**	7.08J以降	1.20W以降
	FX3cシリーズ**	7.22V以降	—
	FX3sシリーズ**	—	1.77F以降
	Q00UJCPU, Q00UCPU, Q01UCPU, Q02UCPU, Q03UDCPU, Q04UDHCPU, Q06UDHCPU, Q10UDHCPU, Q13UDHCPU, Q20UDHCPU, Q26UDHCPU, Q03UDECPU, Q04UDEHCPU, Q06UDEHCPU, Q10UDEHCPU, Q13UDEHCPU, Q20UDEHCPU, Q26UDEHCPU	7.23Z以降	1.09K以降
	LCPU	—	1.20W以降
	Q50UDEHCPU, Q100UDEHCPU	—	1.25B以降
その他	上記 OS で使用可能なマウス、キーボード、プリンタ、CD-ROM ドライブ (インストール時のみ)、サウンド機能 (サウンドカード)*3、スピーカ*3		
対応 GOT	GOT1000 シリーズ		
対応バージョン	GT Works3 Version*4		

- \*1: GT Simulator3, GX Developer, GX Simulator, GX Works2 は、同一言語に対応した製品を使用してください。  
\*2: GOT-A900 はシミュレートできません。  
\*3: シミュレート機能を使用時に必要な場合があります。  
\*4: 最新バージョンのソフトウェアパッケージをご使用ください。最新バージョンは MELFANSweb(<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>) ホームページで確認できます。
- 【ご注意】  
・インストール時、および、GOT-A900 シミュレート時、管理者権限または、Administrator 権限が必要です。  
・アプリケーション使用時、標準ユーザ以上のアカウントが必要です。(Windows®7, Windows Vista®の場合)  
・他のアプリケーションを連携させる場合、他のアプリケーションを管理者権限で使用時は、管理者権限で使用してください。(Windows®7, Windows Vista®の場合)  
・次の機能はサポートしていません。(Windows®7, Windows Vista®, Windows®XP の場合)  
「互換モード」、「ユーザの隠蔽切り換え」、「デスクトップテーマの変更 (フォントの変更)」、「リモートデスクトップ」  
・XP モード、Windows タッチでの動作についてはサポートしていません。(Windows®7 の場合)

### GT SoftGOT1000 Version3 (日本語版) 動作環境

項目	DOS/V パソコン使用時	内 容	パソコン CPU ユニット使用時
パソコン	PC/AT 互換機で以下の OS が動作するもの		株式会社コンテック製パソコン CPU ユニット (PPC-852-212, PPC-852-217, PPC-852-226)*3
OS (日本語版)	Microsoft® Windows® 7 (64bit/32bit) (Enterprise, Ultimate, Professional, Home Premium, Starter) Microsoft® Windows Vista® (32bit) (Enterprise, Ultimate, Business, Home Premium, Home Basic) Microsoft® Windows® XP Service Pack2 以降 (32bit) (Professional, Home Edition, Embedded*4) Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack4		
CPU	1GHz 以上推奨		
必要メモリ	Microsoft® Windows® 7, Microsoft® Windows Vista® 使用時: 1GB 以上推奨 Microsoft® Windows® XP, Microsoft® Windows® 2000 使用時: 512MB 以上推奨		
ディスプレイ	解像度 VGA (640 × 480 ドット) 以上		
ハードディスク空き容量*1	インストール時: 2GB 以上推奨 実行時: 512MB 以上推奨		
表示色	High Color (16 ビット) 以上		
ハードウェア*2	GT15-SGTKEY-U (ライセンスキー (USB ポート用)) GT15-SGTKEY-P (ライセンスキー (パラレルポート用))		GT15-SGTKEY-U (ライセンスキー (USB ポート用))
ソフトウェア	プロジェクトデータ作成・編集時: GT Designer3*5 PX Developer 連携使用時: PX Developer Version1.13P 以降 (セキュリティレベル変更使用時は、PX Developer Version1.29F 以降) GT Designer3 Version1.00A 以降		
その他	マウス、キーボード、プリンタ、CD-ROM ドライブ、サウンド機能 (サウンドカード)、スピーカ		

- \*1: GT Designer3, PX Developer を使用する場合は、別に必要な容量が必要になります。PX Developer のモニタツールを使用時に必要な空き容量については、PX Developer Version1 オペレーティングマニュアル (モニタツール編) をご参照ください。ユーザ作成アプリケーションを使用する場合は、別に必要な容量が必要になります。  
\*2: GT15-SGTKEY-U を使用する場合は、パソコンに USB ポートが必要です。GT15-SGTKEY-P を使用する場合は、パソコンにパラレルポート (セントロ/プリン コネクタ) が必要です。  
\*3: 株式会社コンテック製のパソコン CPU ユニットのみでは、使用するパソコン CPU ユニットのマニュアルをご参照ください。  
\*4: PPC-852-226 のパラレルポート用 CPU ユニットのみでは、使用するパソコン CPU ユニットのマニュアルをご参照ください。  
\*5: GT SoftGOT1000 と同じ GT Works3 に搭載されている GT Designer3 を使用してください。

- 【ご注意】  
・インストール時、管理者権限または、Administrator 権限が必要です。  
・アプリケーション使用時、標準ユーザ以上のアカウントが必要です。(Windows®7, Windows Vista®の場合)  
・他のアプリケーションを連携させる場合、他のアプリケーションを管理者権限で使用時は、管理者権限で使用してください。(Windows®7, Windows Vista®の場合)  
・次の機能はサポートしていません。(Windows®7, Windows Vista®, Windows®XP の場合)  
「互換モード」、「ユーザの隠蔽切り換え」、「デスクトップテーマの変更 (フォントの変更)」、「リモートデスクトップ」  
・XP モード、Windows タッチでの動作についてはサポートしていません。(Windows®7 の場合)

### 仕様

項目	内 容	
解像度 (ドット)	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 1024, 1600 × 1200, 解像度指定 (640 × 1920 × 480 ~ 1200)	
表示色	65536 色	
メモリ容量	57MB	
接続形態*1	バス接続*2, CPU 直接接続, 計算機リンク接続, CC-Link IE コントローラネットワーク接続, CC-Link IE フィールドネットワーク接続, MELSECNET 接続, Ethernet 接続	

- \*1: 各接続形態によって、必要な機器が異なります。  
\*2: パソコン CPU ユニット使用時のみ接続できます。

## 3. 機能について

GOT で使用できる機能について説明します。

<b>3.1 機能一覧</b> .....	<b>34</b>
<b>3.2 ご使用時の留意事項</b> .....	<b>36</b>
<b>3.3 各機能の概要</b> .....	<b>63</b>

### 3. 機能について

#### 3.1 機能一覧

##### ● 機種別機能一覧

●：使用可能 △：一部制約あり ー：使用不可

区分	機能*1	オプション機能 メモリー *2	拡張/オプション機能 OSインストール *2	その他必要機器 *3	詳細ページ	機種						
						GT16	GT15	GT14	GT11	GT10	GT SoftGOT 1000	
仕組	時計機能	●	●	(バッテリー)	P.63	●	●	●	●	△*12	●	
	プリンタ		要	(プリンタユニット)	P.86, 87	△*20	●	●	ー	●	●	
	ビデオ入力/RGB入力/RGB出力		要	ビデオ/ RGBユニット	P.64	△*19	△*4	ー	ー	ー	ー	
	USB マウス / キーボード接続		要		P.65	△*20	●	●	●	ー	ー	
本体機能	バックライト切れ検出機能	要*25				●	●	●	●	△*15	ー	
	メモリーカードからの起動	要*25 (GT15のみ)		メモリーカード	ー	●	●	●	●	ー	ー	
	FAトランスベアレント機能	要*25 (GT15のみ)			P.66	●*21	●*11	●	●*6	●	ー	
	マルチチャンネル機能	要*25 (GT15のみ)				最大 4ch	最大 4ch	最大 2ch	ー	ー	ー	
	ゲートウェイ機能		要	(メモリーカード/ USBメモリー*26)	P.67	●	●	△*24	ー	ー	ー	
	MESインタフェース機能	要*25		(メモリーカード)		●	●	ー	ー	ー	ー	
	SoftGOT-GOTリンク機能		要			●	●	●	●	●	●	
	ファイル転送機能 (FTPクライアント)		要	メモリーカード/ USBメモリー*26	P.68	●	●	△*24	ー	ー	●	
	ベース画面、ウィンドウ画面				P.69	●	●	●	●	●	●	
	ダイアログウィンドウ表示					●	●	●	●	●	●	
画面設計	図形描画	BMP画像表示				●	●	●	●	●	●	
		JPEG画像表示				●	●	●	●	●	●	
		DXFデータ				●	●	●	●	●	●	
		IGESデータ				●	●	●	●	●	●	
	標準フォント (基本)	(日本語、日本語 (欧州対応)、中国語 (簡体)、中国語 (簡体、欧州対応)、中国語 (繁体、欧州対応))				P.70	●	●	●	●	●	●
		中国語 (簡体)、中国語 (繁体)、日本語		要			●	●	●	●	●	●
	高品位フォント	TrueType フォント、TrueType フォント (7セグ)				●	●	●	●	●	●	
	Windows®フォント					●	●	●	●	●	●	
	ストローク基本フォント (拡張)		要			●	●	●	●	●	●	
	ストロークフォント (オプション)		要			●	●	●	●	●	●	
	ロゴ文字					●	●	●	●	●	●	
	部品の重ね合わせ (レイヤ機能)				P.71	●	●	●	●	●	●	
	局番切り換え					●	●	●	●	●	●	
	言語切り換え機能				P.72	●	●	●	●	●	●	
パスワード					●	●	●	●	●	●		
起動ロゴ				P.74	●	●	●	●	●	●		
データ演算機能				P.75	●	●	●	●	●	●		
オフセット機能					●	●	●	●	●	●		
セキュリティ機能	セキュリティレベル認証				●	●	●	●	●	●		
	オペレータ認証		要	(メモリーカード/ USBメモリー*16)	P.76	●	●	ー	ー	●		
ランゴ表示					●	●	●	●	●	●		
タッチスイッチ				P.77	●	●	●	●	●	●		
数値表示/入力					●	●	●	●	●	●		
データリスト表示					●	●	●	●	●	●		
ヒストリカルデータリスト表示*5		要*5		P.78	●	●	●	ー	●	●		
アスキー表示/入力					●	●	●	●	●	●		
かな漢字変換機能		要		P.79	ー	●	ー	ー	ー	ー		
かな漢字変換機能 (機能拡張版)		要			●	●	●	●	●	●		
時計表示				P.80	●	●	●	●	●	●		
コメント表示					●	●	●	●	●	●		
拡張アラーム監視/表示				(メモリーカード) (バッテリー)	P.81	●	●	●	ー	●		
アラーム表示					●	●	●	●	△*7	●		
アラーム履歴表示				(メモリーカード)	P.82	●	●	●	●	●		
アラーム流れ表示					●	●	●	●	●	●		
部品表示				(メモリーカード)	P.83	●	●	●	●	●		
部品移動				(メモリーカード)		●	●	●	●	●		
パスルメータ表示					●	●	●	●	●	●		
レベル表示					●	●	●	●	●	●		
トレンドグラフ/折れ線グラフ/棒グラフ/統計グラフ					●	●	●	●	●	●		
ヒストリカルトレンドグラフ*5		要*5		P.84, 85	●	●	●	●	●	●		
散布グラフ					●	●	●	●	●	●		
状態監視機能				P.85	●	●	●	●	●	●		
拡張レベル機能			要	(メモリーカード)		●	●	●	●	●		

●：使用可能 △：一部制約あり —：使用不可

区 分	機 能 <sup>*1</sup>	オプション 機能ボード <sup>*2</sup>	拡張/ OS/ソフトウェア ユニット <sup>*2</sup>	その他 の外部機器 <sup>*3</sup>	詳細 ページ	機 種					
						GT16	GT15	GT14	GT11	GT10	GT SoftGT 1000
画 面 設 計	レシド機能		要	(メモリカード)		●	●	●	●	●	●
	レポート機能		要	(プリンタユニット) (メモリカード)	P.86	△*20	●	—	—	—	●
	ハードコピー機能	メモリカードにファイル保存 プリンタに印刷	要	メモリカード (プリンタユニット)	P.87	△*20	●	●	—	●	●
	バーコード機能		要		P.88	△*20	●	●	△*10	●	●
	RFID機能		要		P.88	△*20	●	●	△*10	—	●
	マルチメディア機能		要	マルチメディアユニット メモリカード	P.89	△*19	—	—	—	—	—
	パソコンリモート操作 (Ethernet)		要	ライセンス	P.89	△*23	—	—	—	—	—
	パソコンリモート操作 (シリアル)		要	ビデオ / RGB 入力ユニット	P.89	△*19	△*4	—	—	—	—
	VNC <sup>®</sup> サーバ機能		要	ライセンス	P.90	●	—	—	—	—	—
	音声出力機能		要	音声出力ユニット	P.90	●	●	—	—	—	●
	外部入出力機能		要	外部入出力ユニット	P.97	●	●	—	—	—	●
	操作パネル機能		要	外部入出力ユニット	P.97	●	●	—	—	—	●
	操作ログ機能		要	メモリカード	P.92	●	●	—	—	—	●
	ドキュメント表示機能	要 <sup>*25</sup> (GT15のみ)		メモリカード	P.91	●	●	—	—	—	●
	ロギング機能		要	(メモリカード) (バッテリー)	P.92	●	●	●	—	—	●
	ログビューア機能		要	(メモリカード/USBメモリ)	P.93	●	●	—	—	—	—
	スクリプト機能	プロジェクト / 画面スクリプト オブジェクトスクリプト			P.94	●	●	●	●	●	●
	デバイスデータ転送機能		要		P.93	●	●	●	—	—	—
	システムモニタ機能		要		P.95	●	●	●	—	—	—
	デバイスモニタ機能		要		P.95	●	●	●	—	—	—
Aリスト編集機能		要		P.95	●	●	●	△*13	—	—	
FXリスト編集機能		要		P.95	●	●	●	△*14	△*15	—	
回路モニタ機能	要 <sup>*25</sup> (GT15のみ)		メモリカード	P.96	●	△*9	—	—	—	—	
ラダー編集機能	要 <sup>*25</sup> (GT15のみ)		メモリカード	P.96	△*22	△*17	—	—	—	—	
インテリジェントユニットモニタ機能		要		P.97	●	△*9	—	—	—	—	
Q モーションモニタ機能		要		P.97	●	●	—	—	—	—	
サーボアップモニタ機能		要		P.97	●	●	—	—	—	—	
ネットワークモニタ機能		要		P.97	●	●	—	—	—	—	
CNC モニタ機能		要		P.97	△*18	△*8	—	—	—	—	
SFC モニタ機能	要 <sup>*25</sup> (GT15のみ)		メモリカード	P.98	●	●	—	—	—	—	
モーション SFC モニタ機能	要 <sup>*25</sup> (GT15のみ)		メモリカード	P.98	●	●	—	—	—	—	
CNC データ入出力機能		要	メモリカード/ USBメモリ <sup>*16</sup>	P.99	△*18	△*8	—	—	—	—	
バックアップ / リストア機能		要	メモリカード/ USBメモリ <sup>*26</sup>	P.99	●	●	●	—	—	—	
MELSEC-Lトラブルシューティング機能		要		P.99	●	●	—	—	—	—	
メンテナンス時間通知機能			バッテリー	P.99	●	●	—	—	—	—	

\*1: 機種によって設定点数やデータ保存先など機能の内容が異なります。  
 \*2: オプション機能ボードは、GOT本体の機能バージョンまたはハードウェアバージョンによって必要な場合があります。また、使用するオプション機能ボードは機能によって異なります。詳細は「3.2 使用時の留意事項」をご参照ください。GT10、GT SoftGOT1000では、オプション機能ボード、拡張オプション機能 OS のインストールは不要です。  
 \*3: オプション機能ボード以外の必要なオプションまたはオプションユニットを示します。カッコで記載されている機器は使用する内容により必要となります。詳細は「3.2 使用時の留意事項」をご参照ください。  
 \*4: GT1588V/GT1597Vのみ使用できます。  
 \*5: ヒストリカルデータリスト表示、ヒストリカルトレンドグラフを使用する場合は、あらかじめロギング機能の設定が必要です。オプション機能 OS (ロギング) のインストールが必要です。  
 \*6: GT115 □HS-Q □BD をご使用の際は、構造上の制約があります。  
 \*7: ユーザーマニュアルのみ使用可能です。  
 \*8: GT1595-XTB □, GT1585(V)-STB □, GT1575(V)-STB □のみ使用できます。  
 \*9: GT1595-XTB □, GT1585(V)-STB □, GT1575(V)-STB □, GT1575-VTB □, GT157 □-VNB □, GT1565-VTB □, GT1562-VNB □, GT1555-VTB □のみ使用できます。  
 \*10: GT115 □-Q □BD, GT115 □-Q □BD □のみ使用できます。  
 \*11: GT155 □をご使用の際は、最大 2ch です。  
 \*12: GT105 □, GT104 □, GT1030 のみ使用できます。  
 \*13: GT115 □-Q □BDA のみ使用できます。  
 \*14: GT115 □-Q □BD, GT115 □HS-Q □BD のみ使用できます。  
 \*15: GT105 □のみ使用できます。  
 \*16: USB メモリは GT16 のみ使用できます。  
 \*17: GT1595-XTB □, GT1585(V)-STB □, GT1575(V)-STB □, GT1575-VTB □, GT157 □-VNB □, GT1565-VTB □, GT1562-VNB □のみ使用できます。  
 \*18: GT1695M-XTB □, GT1685M-STB □, GT1675M-STB □, GT1665M-STB □のみ使用できます。  
 \*19: GT1695M-XTB □, GT1685M-STB □, GT1675M-STB □, GT1675M-VTB □, GT1665M-STB □, GT1665M-VTB □のみ使用できます。  
 \*20: GT1695M-XTB □, GT1685M-STB □, GT1675M-STB □, GT1675M-VTB □, GT167 □-VNB □, GT1665M-STB □, GT1665M-VTB □のみ使用できます。  
 \*21: GT1665HS-VTB □をご使用の際は、構造上の制約があります。  
 \*22: GT1655 は使用できません。  
 \*23: GT1695M-XTB □, GT1685M-STB □, GT1675M-STB □, GT1675M-VTB □, GT1665M-STB □, GT1665M-VTB □, GT1655-VTB □のみ使用できます。  
 \*24: GT145 □-Q □BDE のみ使用できます。  
 \*25: オプション機能ボード「要」の機能を使用するには、オプション機能ボードが必要です。その他のオプション機能においても、GOT 本体の機能バージョンによって、オプション機能ボードが必要な場合があります。拡張 / オプション機能 OS インストール「要」の機能を使用時は、拡張 / オプション機能 OS のインストールが必要です。拡張 / オプション機能 OS のインストールにより、メモリカードやオプション機能ボードが必要になる場合があります。GOT に接続するデータ容量をご確認ください。詳細は「3.2 使用時の留意事項 ● オプション機能ボード、メモリカード (CF カード、SD カード)、USB メモリの選定について (P.36 ~)」をご参照ください。  
 \*26: GT14 は、オプション機能ボードは不要です。GT10、GT SoftGOT1000 は、オプション機能ボード、拡張 / オプション機能 OS のインストールは不要です。  
 \*26: USB メモリは GT16、GT14 のみ使用できます。

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続構成について  
 5 海外規格対応状況  
 6 機器一覧  
 7 用語集

## 3.2 ご使用時の留意事項

### ● オプション機能ボード、メモリカード(CFカード、SDカード)、USBメモリの選定について

#### (1) オプション機能・拡張機能を使用する場合

各機能を使用するには、拡張機能 OS またはオプション機能 OS とオプション機能ボードが必要です。

拡張機能 OS またはオプション機能 OS を GOT にインストールするときは、指定ドライブのユーザ領域に、次ページに示す OS の容量を空き領域として確保してください。

データ転送の詳細については下記をご参照ください。

 GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)

各 GOT で使用するオプション機能ボードを下記に示します。

GOT	オプション機能ボード
GT16	GT16-MESB * 1
GT15	GT15-FNB, GT15-QFNB, GT15-QFNB16M, GT15-QFNB32M, GT15-QFNB48M, GT15-MESB48M
GT14	不要
GT11	GT11-50FNB
GT10	不要

\* 1 GT16 ハンディは使用できません。

以下の GOT にはオプション機能ボード (GT15-FNB, GT11-50FNB) が内蔵されていません。


GOT	形名	内容* 1	
GT15	全機種	機能バージョン D 以降	
GT11	GT1155-QTBDQ, GT1155-QTBDA, GT1155-QSBDQ, GT1155-QSBDA, GT1150-QLBDQ, GT1150-QLBDA		
	GT1155-QTBD		ハードウェアバージョン A 以降
	GT1155HS-QSBD, GT1150HS-QLBD		ハードウェアバージョン B 以降
	GT1155-QSBD, GT1150-QLBD	ハードウェアバージョン C 以降	

\* 1 機能バージョンまたはハードウェアバージョンの確認方法は、下記を参照してください。

 使用する GOT の本体取扱説明書

GT15-FNB, GT11-50FNB で動作するオプション機能については、オプション機能ボードを装着しなくても使用できます。

GT16-MESB, GT15-QFNB(□M), GT15-MESB48M を必要とする機能を使用する場合や、GT15 でメモリを増設する場合、該当するオプション機能ボードを装着してください。各オプション機能に必要なオプション機能ボードについては、下記のマニュアルを参照してください。

 GOT1000 シリーズ本体取扱説明書(拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応  
なお、オプション機能ボードが内蔵されている GOT に、別のオプション機能ボードを装着しても問題ありません。(ただし、GT16 に GT15 のオプション機能ボードなど、GOT が対応していないオプション機能ボードは使用できません。)




## GT16の場合

## (a) 拡張機能 OS

○：必要（いずれが1つ） ×：使用不可

機能名	拡張機能 OS 名	OS の容量（ユーザ領域）*1		オプション機能ボード
		② 内蔵フラッシュメモリ (ROM)	① ユーザメモリ (RAM)	GT16-MESB *4
バーコード*4	バーコード	50KB	84KB	不要
RFID *4	RFID	50KB	166KB	不要
システムモニタ	システムモニタ	450KB	692KB	不要
レポート*4	レポート	150KB	235KB	不要
プリンタ (PictBridge) *4	プリンタ (PictBridge)	552KB	1104KB	不要
プリンタ (シリアル) *4	プリンタ (シリアル)	80KB	200KB	不要
ストロークフォント*2	ストロークフォント サポート機能	300KB	400KB	不要
	ストローク基本フォント (日本)	2160KB	2160KB	不要
	ストローク基本フォント (日本) (ハングルあり)	3175KB	3175KB	不要
	ストローク基本フォント (中国・簡体)	1474KB	1474KB	不要
	ストローク基本フォント (中国・簡体) (ハングルあり)	2016KB	2016KB	不要
ビデオ表示*4*5	ビデオ / RGB	298KB	480KB	不要
RGB 表示*4*5				不要
マルチメディア*4*5	マルチメディア	292KB	1074KB	不要
パソコンリモート操作 (シリアル) *4*5	ビデオ / RGB	298KB	480KB	不要
	パソコンリモート操作 (シリアル)	50KB	84KB	不要
パソコンリモート操作 (Ethernet) *4	パソコンリモート操作 (Ethernet)	860KB	5130KB	不要
VNC <sup>®</sup> サーバ機能	VNC サーバ	512KB	8192KB	不要
バックアップ/リストア*6	バックアップ/リストア	420KB	766KB	不要
	デバイス名変換ライブラリ	400KB	800KB	不要
オペレータ認証	オペレータ認証	460KB	730KB	不要
MELSEC-L トラブル シートの機能	MELSEC-L トラブル シートの機能	340KB	770KB	不要
SoftGOT-GOT リンク機能	SoftGOT-GOT リンク機能	100KB	200KB	不要
ログビューア機能	ログビューア機能	1434KB	3882KB	不要
音声出力*4	音声出力	100KB	200KB	不要
外部入出力/操作パネル*4	外部入出力/操作パネル	70KB	100KB	不要
	CNC データ入出力	210KB	383KB	不要
CNC データ入出力*3*4*5	GOT プラットフォーム ライブラリ	77KB	200KB	不要
	デバイスデータ転送	50KB	100KB	不要
USB マウス / キーボード機能*4	USB マウス / キーボード機能	80KB	200KB	不要
ファイル転送機能 (FTP クライアント)	ファイル転送機能 (FTP クライアント)	300KB	1300KB	不要

- \*1 OS の容量は、内蔵フラッシュメモリ (ROM)、ユーザメモリ (RAM) で異なります。  
内蔵フラッシュメモリ (ROM) からユーザメモリ (RAM) へ OS、通信ドライバ、プロジェクトデータなどを書き込むと OS 容量が増加しますので、総容量がユーザメモリ (RAM) 容量を超過しないようにしてください。
- \*2 フォントを使用する場合、必要に応じてオプションフォントをインストールする必要があります。  
フォントの使用方法及び設定方法については、下記のマニュアルを参照してください。

 GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)

- \*3 GT1695M-X、GT1685M-S、GT1675M-S、GT1665M-Sのみ使用できます。
- \*4 GT16 ハンディは使用できません。
- \*5 GT1655 では使用できません。
- \*6 トリガバックアップを使用する場合、バックアップ/リストアとデバイス名変換ライブラリをインストールする必要があります。  
トリガバックアップを使用しない場合は、バックアップ/リストアのみインストールします。

## (b) オプション機能 OS

○：必要 (いずれか1つ) ×：使用不可

機能名	オプション機能 OS 名	OS の容量 (ユーザ領域) *1		オプション機能ボード GT16-MESB *6
		A 内蔵フラッシュメモリ (ROM)	B ユーザーメモリ (RAM)	
メンテナンス時期通知	不要	—	—	不要
マルチチャンネル	不要	—	—	不要
漢字圏	標準フォント (中国：簡体)	1280KB	1280KB	不要
	標準フォント (中国：繁体)	1920KB	1920KB	不要
	標準フォント (日本)	1280KB	1280KB	不要
	ストロークフォント (日本)	1037KB	1037KB	不要
	ストロークフォント (中国：簡体)	1248KB	1248KB	不要
	ストロークフォント (中国：繁体)	1680KB	1680KB	不要
操作ログ	操作ログ	384KB	1221KB	不要
	デバイス名変換ライブラリ	400KB	800KB	不要
ドキュメント表示	ドキュメント表示	150KB	3072KB	不要
かな漢字変換 (機能拡張版)	かな漢字変換 (機能拡張版)	1242KB	2774KB	不要
ヒストリカルデータリスト表示	不要	—	—	不要
ヒストリカルトレンドグラフ	不要	—	—	不要
ロギング	ロギング	380KB	710KB	不要
レシビ	レシビ	70KB	100KB	不要
拡張レシビ	拡張レシビ	310KB	1187KB	不要
オブジェクトスクリプト	オブジェクトスクリプト	180KB	360KB	不要
回路モニタ	MELSEC-A 回路モニタ	342KB	674KB	不要
	MELSEC-FX 回路モニタ	342KB	674KB	不要
	MELSEC-Q/L/QnA 回路モニタ	590KB	4170KB	不要
ラダー編集 *2 *7	GOT プラットフォームライブラリ	77KB	200KB	不要
	ラダー編集	2567KB	8192KB	不要
	GOT 機能拡張ライブラリ	4729KB	19381KB	不要
A リスト編集	MELSEC-A リスト編集	542KB	1024KB	不要
FX リスト編集	MELSEC-FX リスト編集	542KB	1024KB	不要
インテリジェントユニットモニタ	インテリジェントユニットモニタ	390KB	770KB	不要
ネットワークモニタ	ネットワークモニタ	210KB	370KB	不要
Q モーションモニタ	Q モーションモニタ	390KB	770KB	不要
サーボアンプモニタ	サーボアンプモニタ	390KB	770KB	不要
CNC モニタ *3 *6 *7	CNC モニタ	390KB	770KB	不要
SFC モニタ *4 *6	GOT プラットフォームライブラリ	77KB	200KB	不要
	SFC モニタ	442KB	2108KB	不要
	GOT 機能拡張ライブラリ	4729KB	19381KB	不要
モーション SFC モニタ *5	GOT プラットフォームライブラリ	77KB	200KB	不要
	モーション SFC モニタ	1240KB	12522KB	不要
ゲートウェイ	ゲートウェイ (サーバ、クライアント)	50KB	100KB	不要
	ゲートウェイ (メール)	50KB	100KB	不要
	ゲートウェイ (FTPサーバ)	50KB	84KB	不要
MES インタフェース *6	MES インタフェース	1598KB	13461KB	○

\*1 OS の容量は、内蔵フラッシュメモリ (ROM)、ユーザーメモリ (RAM) で異なります。

内蔵フラッシュメモリ (ROM) からユーザーメモリ (RAM) へ OS、通信ドライバ、プロジェクトデータなどを書き込むと OS 容量が増加しますので、総容量がユーザーメモリ (RAM) 容量を超過しないようにしてください。

- \* 2 ラダー編集を使用する場合、GOT プラットフォームライブラリ、ラダー編集、GOT 機能拡張ライブラリをすべてインストールする必要があります。
- \* 3 GT1695M-X、GT1685M-S、GT1675M-S、GT1665M-Sのみ使用できます。
- \* 4 SFC モニタを使用する場合、GOT プラットフォームライブラリ、SFC モニタ、GOT 機能拡張ライブラリをすべてインストールする必要があります。
- \* 5 モーションSFC モニタを使用する場合、GOT プラットフォームライブラリ、モーションSFC モニタをすべてインストールする必要があります。
- \* 6 GT16 ハンディは使用できません。
- \* 7 GT1655 では使用できません。

## GT15 の場合

### (a) 拡張機能 OS

○：必要（いずれが1つ） ×：使用不可

機能名	拡張機能 OS 名	OS の容量 (ユーザ領域)	オプション機能ボード		
			GT15-FNB	GT15-QFNB GT15-QFNB □ M	GT15-MESB48M
バーコード	バーコード	84KB		不要	
RFID	RFID	166KB		不要	
システムモニタ	システムモニタ	746KB		不要	
レポート	レポート	235KB		不要	
プリンタ (PictBridge)	プリンタ (PictBridge)	1104KB		不要	
プリンタ (シリアル)	プリンタ (シリアル)	200KB		不要	
ストロークフォント * 1	ストロークフォント サポート機能	400KB		不要	
	ストローク基本フォント (日本)	2160KB		不要	
	ストローク基本フォント (日本) (ハングルあり)	3175KB		不要	
	ストローク基本フォント (中国：簡体)	1474KB		不要	
	ストローク基本フォント (中国：簡体) (ハングルあり)	2016KB		不要	
ビデオ表示 * 2	ビデオ / RGB	512KB		不要	
RGB 表示 * 2				不要	
パソコンリモート操作 (シリアル) * 2	ビデオ / RGB	512KB		不要	
	パソコンリモート操作 (シリアル)	84KB		不要	
バックアップ / リストア * 4	バックアップ / リストア	820KB		不要	
	デバイス名変換ライブラリ	800KB		不要	
オペレータ認証	オペレータ認証	784KB		不要	
音声出力	音声出力	200KB		不要	
外部入出力 / 操作パネル	外部入出力 / 操作パネル	100KB		不要	
	CNC データ入出力 * 3	437KB		不要	
	GOT プラットフォーム ライブラリ	100KB		不要	
デバイスデータ転送	デバイスデータ転送	100KB		不要	
SoftGOT-GOT	SoftGOT-GOT	200KB		不要	
リンク機能	リンク機能			不要	
ファイル転送機能 (FTP クライアント)	ファイル転送機能 (FTP クライアント)	1300KB		不要	

\* 1 フォントを使用する場合、必要に応じてオプションフォントをインストールする必要があります。フォントの使用方法や設定方法については、下記のマニュアルを参照してください。

☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)

\* 2 GT1585V-S、GT1575V-Sのみ使用できます。

\* 3 GT1595-X、GT1585V-S、GT1585-S、GT1575V-S、GT1575-Sのみ使用できます。

\* 4 トリガバックアップを使用する場合、バックアップ / リストアとデバイス名変換ライブラリをインストールする必要があります。

トリガバックアップを使用しない場合は、バックアップ / リストアのみインストールします。

## (b) オプション機能 OS

○：必要（いずれか1つ） ×：使用不可

機能名	オプション機能 OS 名	B OS の容量 (ユーザ領域)	オプション機能ボード		
			GT15-FNB	GT15-QFNB GT15-QFNB □ M	GT15-MESB48M
メンテナンス時期通知	不要	—	○	○	○
マルチチャンネル	不要	—	×	○	○
漢字圏	標準フォント（中国：簡体）	1280KB	○	○	○
	標準フォント（中国：繁体）	1920KB	○	○	○
	標準フォント（日本）	1280KB	○	○	○
	ストロークフォント （日本）	1037KB	○	○	○
	ストロークフォント （中国：簡体）	1248KB	○	○	○
	ストロークフォント （中国：繁体）	1680KB	○	○	○
操作ログ	操作ログ	1218KB	○	○	○
	デバイス名変換ライブラリ	800KB	○	○	○
ドキュメント表示	ドキュメント表示	2048KB	×	○	○
かな漢字変換	かな漢字変換	1223KB	○	○	○
かな漢字変換 （機能拡張版）	かな漢字変換 （機能拡張版）	2774KB	○	○	○
ヒストリカル データリスト表示	不要	—	○	○	○
ヒストリカル トレンドグラフ	不要	—	○	○	○
ロギング	ロギング	740KB	○	○	○
レンビ	レンビ	100KB	○	○	○
拡張レンビ	拡張レンビ	1241KB	○	○	○
オブジェクトスクリプト	オブジェクトスクリプト	360KB	○	○	○
回路モニタ*1	MELSEC-A 回路モニタ	523KB	○	○	○
	MELSEC-FX 回路モニタ	592KB	○	○	○
	MELSEC-Q/L/QnA 回路モニタ	1082KB	×	○	○
ラダー編集*2*3*4	GOT プラットフォームライブラリ	100KB	不要		
	ラダー編集	5121KB	×	○	○
	GOT 機能拡張ライブラリ	4729KB	×	○	○
A リスト編集	MELSEC-A リスト編集	1058KB	○	○	○
FX リスト編集	MELSEC-FX リスト編集	1058KB	○	○	○
インテリジェント ユニットモニタ*1	インテリジェント ユニットモニタ	384KB	○	○	○
ネットワークモニタ	ネットワークモニタ	324KB	○	○	○
Q モーションモニタ	Q モーションモニタ	607KB	○	○	○
サーボアンプモニタ	サーボアンプモニタ	524KB	○	○	○
CNC モニタ*5	CNC モニタ	588KB	○	○	○
SFC モニタ*1*6*7	GOT プラットフォームライブラリ	100KB	不要		
	SFC モニタ	1373KB	×	○	○
	GOT 機能拡張ライブラリ	4729KB	×	○	○
モーション SFC モニタ*9	GOT プラットフォームライブラリ	100KB	不要		
	モーション SFC モニタ	2477KB	×	○	○

機能名	オプション機能 OS 名	B OS の容量 (ユーザ領域)	オプション機能ボード		
			GT15-FNB	GT15-QFNB GT15-QFNB □ M	GT15-MESB48M
ゲートウェイ	ゲートウェイ (サーバ、クライアント)	100KB	○	○	○
	ゲートウェイ (メール)	100KB	○	○	○
	ゲートウェイ (FTP サーバ)	64KB	○	○	○
MES インタフェース*8	MES インタフェース	3196KB	×	×	○

- \* 1 GT1555-Q, GT1550-Q では使用できません。
- \* 2 GT1555-V, GT1555-Q, GT1550-Q では使用できません。
- \* 3 ラダー編集を使用する場合、GOT プラットフォームライブラリ、ラダー編集、GOT 機能拡張ライブラリをすべてインストールする必要があります。
- \* 4 ラダー編集を使用する場合、拡張機能 OS、オプション機能 OS のインストール用として、指定ドライブのユーザ領域に、9950KB 以上必要です。  
また、ラダー編集を使用するために必要なメモリの総容量は 21212KB です。  
上記理由により、ラダー編集を使用する場合、OS の Boot 元を「A：標準 CF カード」に設定し、16MB 以上のメモリを持つオプション機能ボードを装着してください。
- \* 5 GT1595-X, GT1585V-S, GT1585-S, GT1575V-S, GT1575-S のみ使用できます。
- \* 6 SFC モニタを使用する場合、GOT プラットフォームライブラリ、SFC モニタ、GOT 機能拡張ライブラリをすべてインストールする必要があります。
- \* 7 SFC モニタを使用する場合、拡張機能 OS、オプション機能 OS のインストール用として、指定ドライブのユーザ領域に 6202KB 以上必要です。また、SFC モニタを使用するために必要なメモリの総容量は 14393KB です。  
上記理由により、使用する GOT によって下記の設定が必要です。

GOT	必要な設定
GT1575-VN, GT1572-VN, GT1562-VN	・ OS の Boot 元を「A：標準 CF カード」に設定 ・ メモリの拡張 (増設メモリ付きオプション機能ボードの装着)
上記以外	・ メモリの拡張 (増設メモリ付きオプション機能ボードの装着)

OS の Boot 元の設定については、下記を参照してください。

 GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編)

- \* 8 GT15-MESB48M の増設メモリ (48MB) のうち、8218KB を MES インタフェース機能の動作用として使用します。
- \* 9 モーション SFC モニタを使用する場合、拡張機能 OS、オプション機能 OS のインストール用として、指定ドライブのユーザ領域に 2577KB 以上必要です。  
また、モーション SFC モニタを使用するために必要なメモリの総容量は 12622KB です。  
上記理由により、16MB 以上のメモリを持つオプション機能ボードを装着してください。

GT14の場合

(a) 拡張機能 OS

○：必要（いずれが1つ） ×：使用不可

機能名	拡張機能 OS 名	OS の容量（ユーザ領域）*1		オプション機能 ボード
		㉞ 内蔵フラッシュ メモリ（ROM）	㉞ ユーザメモリ （RAM）	
ストロークフォント*2	ストロークフォントサポート機能	400KB	1300KB	不要
	ストローク基本フォント（日本）	2160KB	2160KB	不要
	ストローク基本フォント （日本）（ハングルあり）	3175KB	3175KB	不要
	ストローク基本フォント （中国：簡体）	1474KB	1474KB	不要
	ストローク基本フォント （中国：簡体）（ハングルあり）	2016KB	2016KB	不要
バーコード機能	バーコード	83KB	83KB	不要
RFID 機能	RFID	50KB	166KB	不要
プリンタ（シリアル）	プリンタ（シリアル）	200KB	200KB	不要
USB マウス/キーボード機能	USB マウス/キーボード	80KB	200KB	不要
デバイスデータ転送機能	デバイスデータ転送	50KB	100KB	不要
システムモニタ	システムモニタ	450KB	692KB	不要
バックアップ/リストア*3	バックアップ/リストア	766KB	766KB	不要
	デバイス名変換ライブラリ	800KB	800KB	不要

- \*1 OS の容量は、内蔵フラッシュメモリ（ROM）、ユーザメモリ（RAM）で異なります。  
内蔵フラッシュメモリ（ROM）からユーザメモリ（RAM）へ OS、通信ドライバ、プロジェクトデータなどを書き込むと OS 容量が増加しますので、総容量がユーザメモリ（RAM）容量を超過しないようにしてください。
- \*2 フォントを使用する場合、必要に応じてオプションフォントをインストールする必要があります。  
フォントの使用方法及び設定方法については、下記を参照してください。  
☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（共通編）
- \*3 トリガバックアップを使用する場合、バックアップ/リストアとデバイス名変換ライブラリをインストールする必要があります。  
トリガバックアップを使用しない場合は、バックアップ/リストアのみインストールします。

(b) オプション機能 OS

○：必要（いずれが1つ） ×：使用不可

機能名	拡張機能 OS 名	OS の容量（ユーザ領域）*1		オプション機能 ボード
		㉞ 内蔵フラッシュ メモリ（ROM）	㉞ ユーザメモリ （RAM）	
漢字圏	標準フォント（中国：簡体）	1280KB	1280KB	不要
	標準フォント（中国：繁体）	1920KB	1920KB	不要
	標準フォント（日本）	1280KB	1280KB	不要
	ストロークフォント（日本）	1036KB	1036KB	不要
	ストロークフォント（中国：簡体）	1248KB	1248KB	不要
	ストロークフォント（中国：繁体）	1680KB	1680KB	不要
ロギング機能	ロギング	710KB	710KB	不要
レシビ機能	レシビ	100KB	100KB	不要
拡張レシビ機能	拡張レシビ	1024KB	1024KB	不要
オブジェクトスクリプト	オブジェクトスクリプト	360KB	360KB	不要
ゲートウェイ機能*2	ゲートウェイ （サーバ、クライアント）	100KB	100KB	不要
	ゲートウェイ（メール）	100KB	100KB	不要
	ゲートウェイ（FTP サーバ）	84KB	84KB	不要
	ファイル転送機能 （FTP クライアント）	1300KB	1300KB	不要
A リスト編集	MELSEC-A リスト編集	1024KB	1024KB	不要
FX リスト編集	MELSEC-FX リスト編集	1024KB	1024KB	不要

- \*1 OS の容量は、内蔵フラッシュメモリ（ROM）、ユーザメモリ（RAM）で異なります。  
内蔵フラッシュメモリ（ROM）からユーザメモリ（RAM）へ OS、通信ドライバ、プロジェクトデータなどを書き込むと OS 容量が増加しますので、総容量がユーザメモリ（RAM）容量を超過しないようにしてください。
- \*2 GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDE のみ使用できます。

## GT11 の場合

○：必要 ×：使用不可

機能名		拡張機能/オプション機能 OS 名	OS の容量 (ユーザ領域)	オプション機能ボード GT11-50FNB
拡張機能	バーコード	バーコード	0KB	不要
	RFID	RFID		不要
	システムモニタ	システムモニタ		不要
オプション機能	レシビ	レシビ	0KB	○
	A リスト編集*1	MELSEC-A リスト編集		○
	FX リスト編集*2	MELSEC-FX リスト編集		○

\* 1 GT1155-QTBDQ, GT1155-QSBDQ, GT1150-QLBDQ では使用できません。

\* 2 GT1155-QTBDQ, GT1155-QTBDA, GT1155-QSBDQ, GT1155-QSBDA, GT1150-QLBDQ, GT1150-QLBDA では使用できません。

## GT10 の場合

機能名		拡張機能/オプション機能 OS 名	OS の容量 (ユーザ領域)	オプション機能ボード
オプション機能	バーコード	不要	—	不要
	レシビ	不要	—	不要
	FX リスト編集*1	不要	—	不要

\* 1 GT1030, GT1020 では使用できません。

## (2) ユーザ領域の容量による選定 (データ転送に必要なドライブ容量)

GOT では、内蔵フラッシュメモリ (ROM) に格納した OS やプロジェクトデータをユーザメモリ (RAM) に展開し動作します。GT16, GT14 では、一部のデータを圧縮して内蔵フラッシュメモリ (ROM) に格納するため、ユーザメモリ (RAM) に展開する際にデータ容量が大きくなります。BootOS, 基本機能, 通信ドライバ, 拡張機能, オプション機能, 特殊データ, プロジェクトデータなどは、GOT の指定したドライブのシステム領域やユーザ領域に格納されます。C ドライブのシステム領域に格納される BootOS, 基本機能などは、データの容量を書き込み前に確認する必要はありません。(システム領域に格納されるデータは、GOT により異なります。)しかしながら、GT16, GT15, GT14 は、ユーザ領域に格納される拡張機能, オプション機能, 通信ドライバ (GT15 は 2 つ目からの通信ドライバ) やプロジェクトデータは、転送先のドライブに空き容量が不足している場合、データは転送されません。

データ転送 (OS インストール, プロジェクトデータの書き込み) を行う場合、事前に指定ドライブのユーザ領域の空き容量と、転送するデータの容量を確認するようにしてください。

## ユーザ領域の容量

転送先	ユーザ領域の容量		備考	
 GT16	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT1695M-X, GT1685M-S, GT1675M-S, GT1675M-V, GT1665M-S, GT1665M-V, GT1665-V, GT16ハンディ	15MB	拡張機能, オプション機能, 特殊データ, 通信ドライバの合計容量は必ずユーザ領域の容量以内になるようにしてください。 プロジェクトデータ, 拡張機能, オプション機能, 特殊データ, 通信ドライバおよびバッファリングエリアサイズの合計容量がユーザ領域の容量以上になる場合は, Aドライブ(A:標準CFカード), またはBドライブ(拡張メモリカード)にプロジェクトデータを書き込み(格納)してください。 (3.2 Point 参照)
		GT1675-VN, GT1672-VN, GT1662-VN	11MB	
	Aドライブ (A:標準CFカード)	CFカードの容量を確認してください。		
	Bドライブ (B:拡張メモリカード)	CFカードの容量を確認してください。		
	Eドライブ (E:USBメモリ)	USBメモリの容量を確認してください。		
 GT15	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT1595-X, GT1585V-S GT1585-S, GT1575V-S GT1575-V, GT1565-V GT1555-V, GT1555-Q, GT1550-Q	9MB	拡張機能, オプション機能, 特殊データ, 2つ目からの通信ドライバの合計容量は必ずユーザ領域の容量以内になるようにしてください。 プロジェクトデータ, 拡張機能, オプション機能, 特殊データ, 通信ドライバおよびバッファリングエリアサイズの合計容量がユーザ領域の容量以上になる場合は, 増設メモリ付きオプション機能ボードが必要です。 (3.2 Point 参照)
		GT1575-VN, GT1572-VN GT1562-VN	5MB	
	Aドライブ (A:標準CFカード)	CFカードの容量を確認してください。		
	Bドライブ (B:拡張メモリカード)	CFカードの容量を確認してください。		
 GT14	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	9MB(プロジェクトデータ用), 5MB(拡張機能, オプション機能用)		拡張機能, オプション機能の合計容量は必ずユーザ領域の容量(5MB)以内になるようにしてください。
	Aドライブ (A:標準SDカード)	SDカードの容量を確認してください。		
 GT11	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	3MB		プロジェクトデータの容量は, 最大3MBです。
 GT10	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT105 □	3MB	プロジェクトデータの容量は, 最大3MBです。
	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT104 □	3MB	プロジェクトデータの容量は, 最大3MBです。
	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT1030	1.5MB	プロジェクトデータの容量は, 最大1.5MBです。
	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)	GT1020	512KB	プロジェクトデータの容量は, 最大512KBです。
	Cドライブ (C:内蔵フラッシュ)			

各データの種類をグループに分けて **あ** **い** **A**... で表します。

後述の計算式やフローでデータの容量を計算する際に該当する容量をあてはめてください。

データの種類 (GT16)
<b>あ</b> ROMに格納される拡張機能OS
<b>い</b> ROMに格納されるオプション機能OS
<b>A</b> RAMに展開される拡張機能OS
<b>B</b> RAMに展開されるオプション機能OS
<b>C</b> 通信ドライバ
<b>D</b> 特殊データ
<b>E</b> プロジェクトデータ
<b>F</b> バッファリングエリア

データの種類 (GT15)
<b>A</b> 拡張機能OS
<b>B</b> オプション機能OS
<b>C</b> 2つ目以降の通信ドライバ
<b>D</b> 特殊データ
<b>E</b> プロジェクトデータ
<b>F</b> バッファリングエリア

データの種類 (GT14)
<b>あ</b> ROMに格納される拡張機能OS
<b>い</b> ROMに格納されるオプション機能OS
<b>A</b> RAMに展開される拡張機能OS
<b>B</b> RAMに展開されるオプション機能OS
<b>C</b> 通信ドライバ
<b>E</b> プロジェクトデータ
<b>F</b> バッファリングエリア

**あ**, **A** 拡張機能のデータサイズ

拡張機能のデータサイズは, 3.2 項(1)をご参照ください。

**い**, **B** オプション機能のデータサイズ

オプション機能のデータサイズは, 3.2 項(1)をご参照ください。



④ 通信ドライバのデータサイズ

GT16, GT14 の場合

	ユーザ領域の容量
バス接続 Q	180 KB
A/QnA/L/Q CPU, LJ71C24, QJ71C24	180 KB
MELSEC-FX	180 KB
MELSECNET/H	200 KB
CC-Link IE コントローラネットワーク	200 KB
CC-Link IE フィールドネットワーク	230 KB
ジェイテクト TOYOPUC-PC	160 KB
GE ファナックオートメーション (SNP-X)	180 KB
Ethernet(安川電機)	160 KB
Ethernet(SIEMENS S7)	200 KB
マイコン接続	230 KB
Ethernet(マイコン)	230 KB
上記以外の通信ドライバ	150 KB



GT15 の場合

通信ドライバは、1点あたり 150KB を使用します。

⑤ バッファリングエリアサイズのデータサイズ

バッファリングエリアサイズは、拡張アラームの設定をご参照ください。  
拡張アラームについては、下記マニュアルをご参照ください。

📖 GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作画編)

(a) 新規に GOT ヘデータを転送する場合

下記式を満たしているかを確認してください。

プロジェクトデータのサイズについては、下記項目をご参照ください。

📖 GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)

・ GT16

GT16 は、プロジェクトデータを C ドライブまたは A ドライブ (A: 標準 CF カード) に格納することができます。

$$\begin{aligned} \text{ユーザ領域の容量} > & \text{プロジェクトデータ (E)} + \text{拡張機能 (あ)*1} + \text{オプション機能 (い)*1*2} \\ & + \text{通信ドライバのデータサイズ (C)} + \text{特殊データ (D)} \end{aligned}$$

・ GT15

GT15 は、プロジェクトデータを C ドライブまたは A ドライブ (A: 標準 CF カード) に格納することができます。

$$\begin{aligned} \text{ユーザ領域の容量} > & \text{プロジェクトデータ (E)} + \text{拡張機能 (A)} + \text{オプション機能 (B)*2} \\ & + \text{2つめからの通信ドライバのデータサイズ (C)} + \text{特殊データ (D)} \end{aligned}$$

・ GT14

GT14 は、プロジェクトデータを C ドライブまたは A ドライブ (A: 標準 SD カード) に格納することができます。

$$\text{ユーザ領域の容量} > \text{プロジェクトデータ (E)} + \text{拡張機能 (あ)*1} + \text{オプション機能 (い)*1*2}$$

・ GT11, GT10

GT11, GT10 は、プロジェクトデータを C ドライブに格納することができます。

$$\text{ユーザ領域の容量} > \text{プロジェクトデータ}$$

\*1 拡張機能とオプション機能の容量は、内蔵フラッシュメモリ (ROM) に格納されている時の値 (あ)。

(い) で計算してください。

\*2 PX Developer (Ver.1.15 以降) により自動生成した GOT のプロジェクトデータを使用する場合には、ロギング機能、オブジェクトスクリプト機能が必要です。

詳細は「PX Developer オペレーティングマニュアル (GOT 画面生成機能編) (SH-080718)」をご参照ください。

## Point

- (1) 転送先ドライブの空き容量が十分存在するが容量不足のメッセージを表示する場合

[ プロジェクトフォルダ内全削除後書き込み ] をチェックし、プロジェクトデータを全て書き込みしてください。

なお、プロジェクトデータのバックアップが必要な場合は、プロジェクトデータを書き込みする前にパソコンやメモリカード / USB メモリへ読み出ししてください。

- (b) 格納用メモリ (ROM) と動作用メモリ (RAM)

GT16 の場合

・仕様

GT16 は格納用メモリ (ROM) に格納した OS やプロジェクトデータを動作用メモリ (RAM) に展開し、動作します。

格納用メモリ (ROM)、動作用メモリ (RAM) の容量は、GOT によって異なります。

GOT	メモリ	容量
GT1695M-X、GT1685M-S、 GT1675M-S、GT1675M-V、 GT1665M-S、GT1665M-V、 GT1665V、GT16 ハンディ	格納用メモリ (ROM) (内蔵フラッシュメモリ、標準装備)	15MB
	動作用メモリ (RAM) (ユーザメモリ、標準装備)	57MB
GT1675-VN、GT1672-VN、 GT1662-VN	格納用メモリ (ROM) (内蔵フラッシュメモリ、標準装備)	11MB
	動作用メモリ (RAM) (ユーザメモリ、標準装備)	53MB

OS やプロジェクトデータが格納用メモリ (ROM) の容量を超える場合は CF カードで格納用メモリを拡張できます。

例) GT1675M-V の場合



内蔵フラッシュメモリは「C ドライブ」、CF カードは「A ドライブ (標準)」または「B ドライブ (拡張)」です。

動作用メモリ (RAM) は拡張できません。

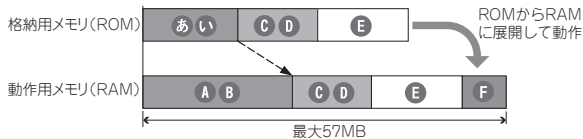
動作用メモリ (RAM) に展開される容量が上記の容量を超える場合はプロジェクトデータの削減、不要な OS の削除など見直しが必要です。

拡張機能 OS、オプション機能 OS は、圧縮したデータ **㉔**、**㉕** を格納用メモリ (ROM) に格納し、動作用メモリ (RAM) に展開する際には、データ容量が **㉖**、**㉗** のように大きくなります。

バッファリングエリア **㉘** は、ロギングや拡張アラーム等のリソースデータを蓄積するための領域で、動作用メモリ (RAM) を使用し、データ容量は設定により異なります。蓄積したリソースデータは、作画ソフトウェアでファイル保存を指定している場合に、指定した格納先 (A ドライブまたは B ドライブ) に格納されます。(格納用メモリ (ROM) は使用しません。)

動作用メモリ (RAM) に展開されるデータ容量が上記の容量を超える場合は、プロジェクトデータの削除、不要な OS の削除など見直しが必要です。

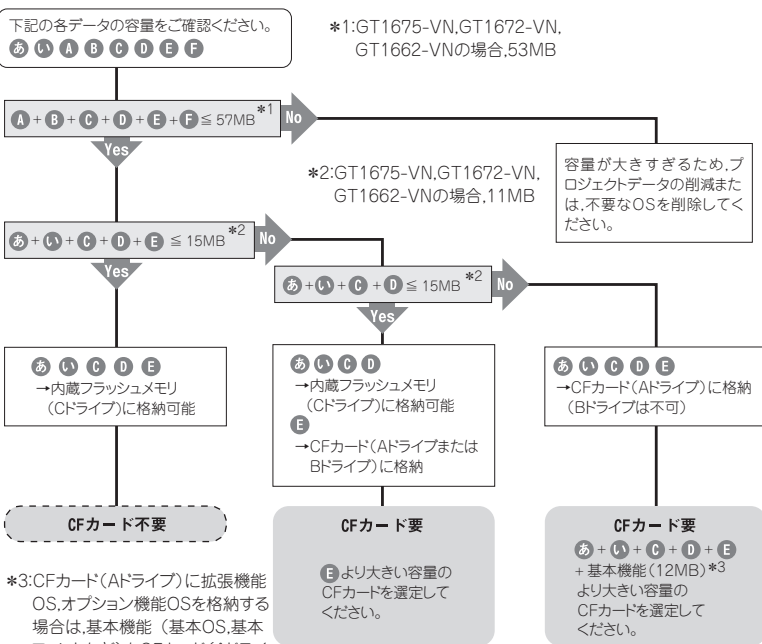
例)GT1675M-Vの場合



データの種類	
あ	ROMに格納される拡張機能OS
い	ROMに格納されるオプション機能OS
A	RAMに展開される拡張機能OS
B	RAMに展開されるオプション機能OS
C	通信ドライバ
D	特殊データ
E	プロジェクトデータ
F	バッファリングエリア

・CFカードの要否と容量

データ容量によって、CFカードの要否・CFカードの容量が変わります。  
下記のフローチャートにより、CFカードの要否・要領を選定してください。



## GT15 の場合

### 仕様

GT15 は格納用メモリ (ROM) に格納した OS やプロジェクトデータを動作用メモリ (RAM) に展開し、動作します。

格納用メモリ (ROM)、動作用メモリ (RAM) の容量は、GOT によって異なります。

GOT	メモリ	容量	最大容量 (増設メモリ付きオプション機能ボード装着時)
GT1595-X, GT1585V-S, GT1585-S, GT1575V-S, GT1575-V, GT1565-V, GT1555-V, GT1555-Q, GT1550-Q	格納用メモリ (ROM) (内蔵フラッシュメモリ, 標準 装備)	9MB	—
	動作用メモリ (RAM) (標準装備)	9MB	57MB (GT15-MESB48M 使用時)
GT1575-VN, GT1572-VN, GT1562-VN	格納用メモリ (ROM) (内蔵フラッシュメモリ, 標準 装備)	5MB	—
	動作用メモリ (RAM) (標準装備)	5MB	53MB (GT15-MESB48M 使用時)

OS やプロジェクトデータが格納用メモリ (ROM) の最大容量を超える場合は、CF カードと増設メモリ付きオプション機能ボード (GT15-QFNB □ M または、GT15-MESB48M) で拡張できます。

### 例)GT1575-V の場合



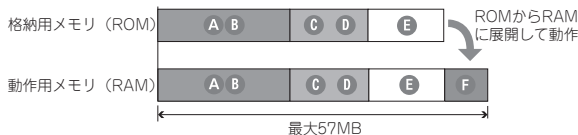
内蔵フラッシュメモリは「C ドライブ」、CF カードは「A ドライブ (標準)」または「B ドライブ (拡張)」です。

動作用メモリ (RAM) はオプション機能ボードを装着することで上記の最大容量まで拡張できます。

動作用メモリ (RAM) に展開されるデータ容量が上記の最大容量を超える場合はプロジェクトデータの削除、不要な OS の削除など見直しが必要です。

バッファリングエリア<sup>①</sup>は、ロギングや拡張アラーム等のリソースデータを蓄積するための領域で、動作用メモリ (RAM) を使用し、データ容量は設定により異なります。蓄積したリソースデータは、作画ソフトウェアでファイル保存を指定している場合に、指定した格納先 (A ドライブまたは B ドライブ) に格納されます。(格納用メモリ (ROM) は使用しません。)

例)GT1575-Vの場合

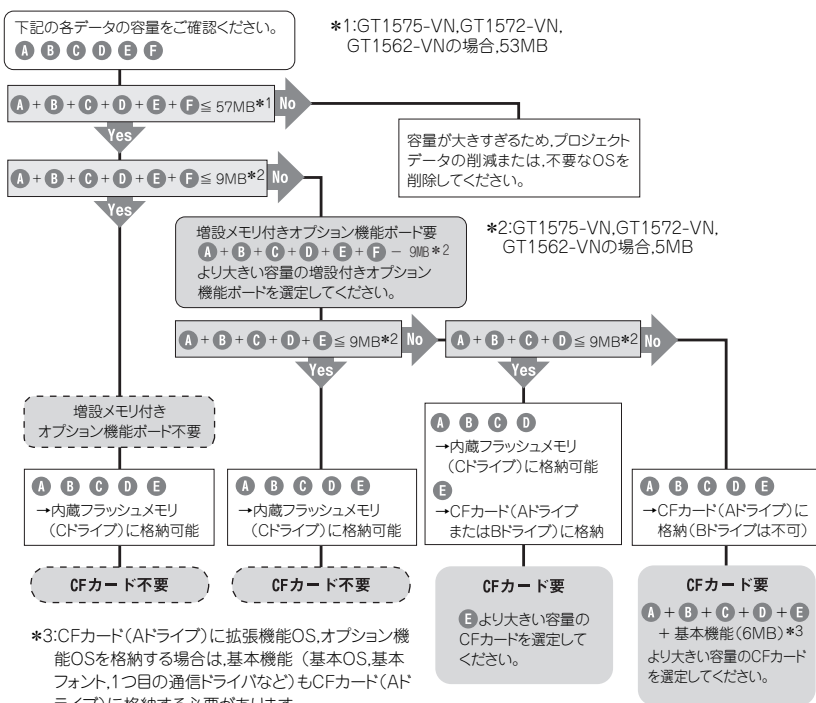


データの種類	
A	拡張機能OS
B	オプション機能OS
C	2つ目以降の通信ドライバ
D	特殊データ
E	プロジェクトデータ
F	バッファリングエリア

・CF カードの要否と容量

データ容量によって、増設メモリ付きオプション機能ボード・CF カードの要否と容量が変わります。

下記のフローチャートにより、増設メモリ付きオプション機能ボード・CF カードの要否と要領を選定してください。



## GT14 の場合

### 仕様

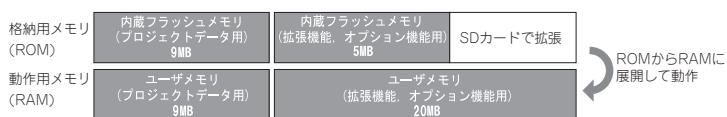
GT14 は格納用メモリ (ROM) に格納した OS やプロジェクトデータを動作用メモリ (RAM) に展開し、動作します。

格納用メモリ (ROM)、動作用メモリ (RAM) の容量を、下記に示します。

GOT	メモリ	容量
GT14	格納用メモリ (ROM) (内蔵フラッシュメモリ、標準装備)	9MB(プロジェクトデータ用)、 5MB(拡張機能、オプション機能用)
	動作用メモリ (RAM) (ユーザメモリ、標準装備)	9MB(プロジェクトデータ用)、 20MB(拡張機能、オプション機能用)

プロジェクトデータの格納用メモリ (ROM) の容量は 9MB、拡張機能 OS、オプション機能 OS の格納用メモリ (ROM) は 5MB です。

拡張機能 OS やオプション機能 OS が格納用メモリ (ROM) の容量を超える場合は SD カードで格納用メモリを拡張できます。



内蔵フラッシュメモリは C ドライブ、SD カードは A ドライブ (標準) です。

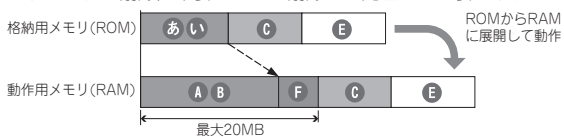
動作用メモリ (RAM) は拡張できません。

動作用メモリ (RAM) に展開されるデータ容量が上記の容量を超える場合は不要な OS の削除など見直しが必要です。

拡張機能 OS、オプション機能 OS は、圧縮したデータ **あ**、**い** を格納用メモリ (ROM) に格納し、動作用メモリ (RAM) に展開する際には、データ容量が **A**、**B** のようになり大きくなります。

バッファリングエリア **F** は、ロギングや拡張アラーム等のリソースデータを蓄積するための領域で、動作用メモリ (RAM) を使用し、データ容量は設定により異なります。蓄積したリソースデータは、作画ソフトウェアでファイル保存を指定している場合に、指定した格納先 (A ドライブまたは D ドライブ) に格納されます。(格納用メモリ (ROM) は使用しません。)

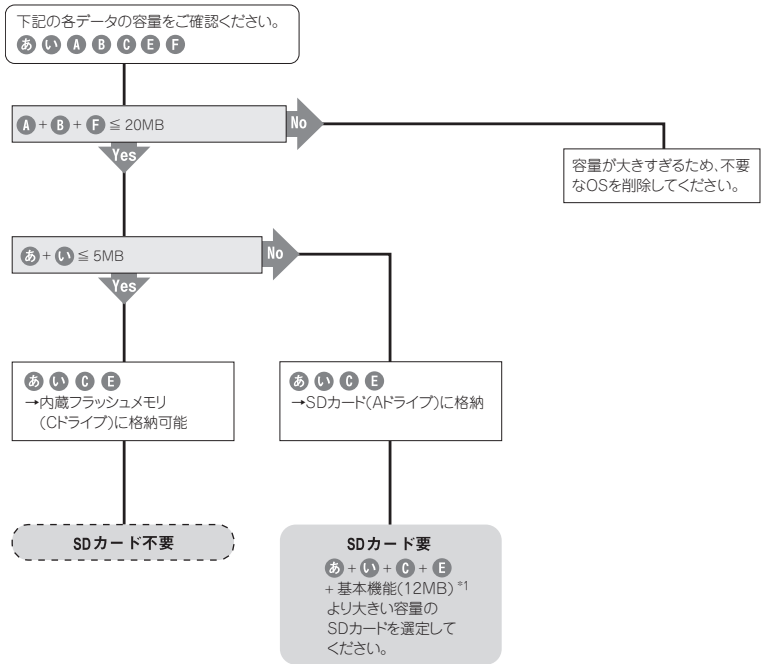
動作用メモリ (RAM) に展開されるデータ容量が上記の容量を超える場合は、プロジェクトデータの削除、不要な OS の削除など見直しが必要です。



データの種類	
<b>あ</b>	ROMに格納される拡張機能OS
<b>い</b>	ROMに格納されるオプション機能OS
<b>A</b>	RAMに展開される拡張機能OS
<b>B</b>	RAMに展開されるオプション機能OS
<b>C</b>	通信ドライバ
<b>E</b>	プロジェクト
<b>F</b>	バッファリングエリア

・SDカードの要否と容量

データ容量によって、SDカードの要否と容量が変わります。  
下記のフローチャートで、SDカードの要否と容量を選定してください。



\*1 SDカード(Aドライブ)に拡張機能OS、オプション機能OSを格納する場合は、基本機能(基本OS、基本フォントなど)もSDカード(Aドライブ)に格納する必要があります。

## OS の書き込み制限について

### (1) 基本 OS の Boot 元を C ドライブにした場合

GOT に増設メモリ付きオプション機能ボードを使用した場合でも通信ドライバ (GT15 は 2 つ目から)、拡張機能 OS、オプション機能 OS の総計が C ドライブのユーザー領域の容量を超えることはできません。

### (2) 基本 OS の Boot 元を A ドライブにした場合

GT16

GOT に動作用メモリ (RAM) が標準装備されているので通信ドライバ、拡張機能 OS、オプション機能 OS、プロジェクトデータ、特殊データの総計は最大容量まで使用可能になります。

RAM の最大容量

転送先	対象機種	最大容量
	GT1695M-X、GT1685M-S、GT1675M-S、 GT1675M-V、GT1665M-S、GT1665M-V、 GT1655-V、GT16 ハンディ	57MB
	GT1675-VN、GT1672-VN、GT1662-VN	53MB

動作用メモリ (RAM) の容量については下記のマニュアルを参照してください。

 GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)


### GT15

GOT に増設メモリ付きオプション機能ボードを使用した場合、2 つめからの通信ドライバ、拡張機能 OS、オプション機能 OS、プロジェクトデータ、特殊データの総計は、GOT に増設メモリ付きオプション機能ボードを使用した場合の最大合計容量まで使用可能になります。

増設メモリ付きオプション機能ボード使用時の最大合計容量

転送先	対象機種	最大合計容量
	GT1595-X、GT1585V-S、GT1585-S、GT1575V-S GT1575-V、GT1565-V、GT1555-V、GT1555-Q、 GT1550-Q	57MB
	GT1575-VN、GT1572-VN、GT1562-VN	53MB

増設メモリ付きオプション機能ボードの種類と容量については下記のマニュアルを参照してください。

 GT15 本体取扱説明書

### GT14

拡張機能 OS、オプション機能 OS の総計は、動作用メモリ (RAM) の最大容量 20MB まで使用可能になります。



## ● 従来品との互換について

### プロジェクトデータについて

- (1) **GT Designer/GT Designer2 → GT Works3 への互換 \***  
GT Designer2 で作成したプロジェクトデータを GT Works3 で流用することができます。  
GT Designer で作成したプロジェクトデータは、GT Designer2/GT Designer2 Classic で変換後、GT Works3 で流用できます。
- (2) **GOT900 シリーズ → GOT1000 シリーズへの互換 \***
  - ・ GOT-A900 シリーズからのデータ流用について  
GOT-A900 シリーズ用のプロジェクトデータを GOT1000 シリーズで流用することができます。  
詳細は、テクニカルニュース「GOT-A900 シリーズから GOT1000 シリーズへの置換え時の注意事項」No.GOT-D-0009 をご参照ください。
  - ・ GOT-F900 シリーズからのデータ流用について  
GOT-F900 シリーズ用のプロジェクトデータを GOT1000 シリーズで流用することができます。  
詳細は、「置き換えガイドランス (GOT1000 シリーズ対応) GOT-F900, A950 ハンディシリーズ → GOT1000 シリーズ」(JY997D38601) をご参照ください。  
\* :一部流用できないデータ・機能があります。

### ケーブルについて

- ・ GOT900 シリーズ用のバス接続ケーブル・RS-422 ケーブル・RS-232 ケーブルを GOT1000 シリーズで使用する場合は詳細については、テクニカルニュース No.GOT-D-0009 をご参照ください。
- ・ GOT-F900 シリーズ用の RS-422 ケーブルを GOT1000 で流用する場合は詳細は、テクニカルニュース No. 姫テ-シ-0047 をご参照ください。
- ・ GOT1000 シリーズ用のバス接続ケーブル・RS-422 ケーブル・RS-232 ケーブルは、GOT900 シリーズでは使用できません。  
(GOT-A900 シリーズと GOT1000 シリーズ混在システムでのバス接続ケーブルの詳細は、テクニカルニュース No.GOT-D-0009 をご参照ください)

### パネルカット寸法について

- (1) **GOT900 シリーズ → GOT1000 シリーズへの互換**
  - ・ A985GOT (-V) と GT1685/GT1585, A975/970GOT (-B) と GT167□/GT157□, F940GOT と GT1655/GT155□/GT145□/GT115□/GT105□は、パネルカット寸法が同じです。そのため、取付け穴を変更する必要がありません。
  - ・ A95□と GT1655/GT155□/GT115□-Q□BDQ/GT115□-Q□BDA は、パネルカット寸法が異なりますが、そのまま置換えでき、取付け穴を変更する必要がありません。

テクニカルニュース・置き換えガイドランスは MELFANSweb をご参照ください。

[<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>]

● マルチチャンネル機能を使用する場合< GT16, GT15, GT14 をご使用時>

マルチチャンネル機能とは、1台のGOTに複数の通信ユニットを装着、または標準インタフェースを使用して、複数台のFA機器を接続してモニタする機能です。

接続可能な組み合わせ

(1) GT16の場合

GT16では、下記の表に示すバス/ネットワーク接続(GT16ハンディを除く)、Ethernet接続、シリアル接続を組み合わせで接続できます。

	接続形態	参照先
バス / ネットワーク接続	バス接続	4.1.3 バス接続
	MELSECNET/H接続(PC 間ネット)	4.1.7 MELSECNET/H接続(PC 間ネット)
	MELSECNET/10接続(PC 間ネット)	4.1.8 MELSECNET/10接続(PC 間ネット)
	CC-Link IEコントローラネットワーク接続	4.1.9 CC-Link IEコントローラネットワーク接続
	CC-Link IEフィールドネットワーク接続	4.1.10 CC-Link IEフィールドネットワーク接続
	CC-Link接続(インテリジェントデバイス局)	4.1.11 CC-Link接続(インテリジェントユニットデバイス局)
	CNC接続(MELSECNET/10接続(PC 間ネット))	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64)接続 (MELSECNET/10接続(PC 間ネット)の場合)
	CNC接続(CC-Link接続(インテリジェントデバイス局))	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64)接続 (CC-Link接続(インテリジェントユニットデバイス局)の場合)
Ethernet接続	Ethernet接続	4.1.6 Ethernet接続
	ロボットコントローラ接続	4.2.3 ロボットコントローラ接続
	CNC接続(Ethernet接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64)接続(Ethernet接続の場合)
	他社シーケンサ接続(Ethernet接続)	他社製シーケンサ ・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY社製シーケンサとの接続
	マイコン接続(Ethernet)	マイコン接続 ・ 4.5 マイコン接続(マイコン接続(Ethernet))
	MODBUS <sup>®</sup> /TCP接続	MODBUS(R)接続 ・ 4.6 MODBUS(R)/TCP接続
シリアル接続	CPU直接接続	4.1.4 CPU直接接続
	計算機リンク接続	4.1.5 計算機リンク接続
	CC-Link接続(G4経由)	4.1.12 CC-Link接続(G4経由)
	インバータ接続	4.2.1 インバータ接続
	サーボアンプ接続	4.2.2 サーボアンプ接続
	CNC接続(シリアル接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64)接続(CPU直接接続の場合)
	GOTマルチドロップ接続	4.2.5 GOTマルチドロップ接続
	他社シーケンサ接続(シリアル接続)	他社製シーケンサ ・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.3 キーエンス社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.4 光洋電子工業社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.5 シャープマニファクチャリングシステム社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.6 ジェイテクト社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.7 東芝社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.8 東芝機械社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.9 日立産機システム社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.10 日立製作所社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.11 富士電機機器制御社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.12 パナソニック社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.16 GEファナックオートメーション社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.17 LS産電社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.19 SIEMENS社製シーケンサとの接続

(次ページへ続く)

接続形態		参照先
シリアル接続	他社安全コントローラ接続	他社製シーケンサ ・ 4.3.18 SICK 社製安全コントローラとの接続
	他社サーボアンプ接続	他社製その他の機器 ・ 4.4.1 パナソニック社製サーボアンプとの接続
	他社ロボットコントローラ接続	他社製その他の機器 ・ 2. アイエイアイ社製ロボットコントローラとの接続
	他社温度調節器接続	他社温度調節機 ・ 4.7.2 アズビル社製制御機器との接続 ・ 4.7.3 オムロン社製温度調節器との接続 ・ 4.7.4 神港テクノス社製指示調節計との接続 ・ 4.7.5 チノー社製調節計との接続 ・ 4.7.6 富士電機システムズ社製温度調節器との接続 ・ 4.7.7 横河電機社製温度調節器との接続 ・ 4.7.8 理化工業社製温度調節器との接続
	マイコン接続(シリアル)	マイコン接続 ・ 4.5 マイコン接続(マイコン接続(シリアル))
	MODBUS <sup>®</sup> /RTU 接続	MODBUS(R) 接続 ・ 4.6.2 MODBUS(R)/RTU 接続

接続可能な組み合わせ／チャンネル数／制約がある機能を、下記に示します。

○：可能 △：制約あり

項目	接続可能な組み合わせ	使用する GOT		接続形態により制約がある機能*1		Ethernet
		GT1695 GT1685 GT167 □ GT166 □ GT1655	GT16 ハンディ	トランスペアレント機能		
				RS-232	USB	
(a)	・バス/ネットワーク接続：1ch ・シリアル接続：1～3ch	最大 4ch	—	△*2	○	○
(b)	・バス/ネットワーク接続：1ch ・Ethernet 接続：1～3ch	最大 4ch	—	△*2	○	△*3
(c)	・Ethernet 接続：1～3ch ・シリアル接続：1～3ch	最大 4ch	最大 4ch	△*2	○	△*3
(d)	・バス/ネットワーク接続：1ch ・Ethernet 接続：1～2ch ・シリアル接続：1～2ch	最大 4ch	—	△*2	○	△*3
(e)	・シリアル接続：4ch	最大 4ch	—	△*2	○	○
(f)	・Ethernet 接続：4ch	最大 4ch	最大 4ch	△*2	○	×

\* 1 以下の機能を使用する場合、使用する機能の組み合わせによっては、接続できるチャンネル数に影響する場合があります。

- ・バーコード機能
  - ・RFID 機能
  - ・パソコンリモート操作機能
  - ・ビデオ表示機能
  - ・マルチメディア機能
  - ・操作パネル機能
  - ・外部入出力機能
  - ・RGB 表示機能
  - ・レポート機能
  - ・ハードコピー機能(プリンタ出力時)
  - ・音声出力機能
  - ・CF カードユニット /CF カード延長ユニットを使用する機能
  - ・ビデオ表示機能、マルチメディア機能、RGB 表示機能は同時に使用できません。
  - ・CF カードユニットと CF カード延長ユニットは同時に使用できません。
- 詳細は、下記を参照してください。

☞ 「GOT 側のインタフェースとユニットの装着について < GT16, GT15 をご使用時 >」参照

- \* 2 RS-232 での FA トランスペアレント機能は、GOT 内蔵の RS-232 インタフェースでのみ使用可能です。GOT 内蔵の RS-232 インタフェースを既に使用している場合、FA トランスペアレント機能は使用できません。
- \* 3 GOT とシーケンサ間を Ethernet 接続している場合、GOT とパソコンを Ethernet で接続することはできません。

(2) GT15 の場合

GT15 では、下記の表に示すバス／ネットワーク／Ethernet 接続、シリアル接続を組み合わせ、て接続できます。

	接続形態	参照先
バス / ネットワーク / Ethernet 接続	バス接続	4.1.3 バス接続
	Ethernet 接続	4.1.6 Ethernet 接続
	MELSECNET/H 接続 (PC 間ネット)	4.1.7 MELSECNET/H 接続 (PC 間ネット)
	MELSECNET/10 接続 (PC 間ネット)	4.1.8 MELSECNET/10 接続 (PC 間ネット)
	CC-Link IE コントローラネットワーク接続	4.1.9 CC-Link IE コントローラネットワーク接続
	CC-Link IE フィールドネットワーク接続	4.1.10 CC-Link IE フィールドネットワーク接続
	CC-Link 接続 (インテリジェントデバイス局)	4.1.11 CC-Link 接続 (インテリジェントユニットデバイス局)
	ロボットコントローラ接続	4.2.3 ロボットコントローラ接続
	CNC 接続 (MELSECNET/10 接続 (PC 間ネット))	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (MELSECNET/10 接続 (PC 間ネット) の場合)
	CNC 接続 (CC-Link 接続 (インテリジェントデバイス局))	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (CC-Link 接続 (インテリジェントユニットデバイス局) の場合)
	CNC 接続 (Ethernet 接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (Ethernet 接続の場合)
	他社シーケンサ接続 (Ethernet 接続)	他社製シーケンサ ・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY 社製シーケンサとの接続
	マイコン接続 (Ethernet)	マイコン接続 ・ 4.5 マイコン接続 (マイコン接続 (Ethernet))
	MODBUS <sup>®</sup> /TCP 接続	MODBUS(R) 接続 ・ 4.6 MODBUS(R)/TCP 接続
シリアル接続	CPU 直接接続	4.1.4 CPU 直接接続
	計算機リンク接続	4.1.5 計算機リンク接続
	CC-Link 接続 (G4 経由)	4.1.12 CC-Link 接続 (G4 経由)
	インバータ接続	4.2.1 インバータ接続
	サーボアンプ接続	4.2.2 サーボアンプ接続
	CNC 接続 (シリアル接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (CPU 直接接続の場合)
	GOT マルチドロップ接続	4.2.5 GOT マルチドロップ接続
	他社シーケンサ接続 (シリアル接続)	他社製シーケンサ ・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.3 キーエンス社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.4 光洋電子工業社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.5 シャープマニファクチャリングシステム社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.6 ジェイテック社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.7 東芝社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.8 東芝機械社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.9 日立産機システム社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.10 日立製作所社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.11 富士電機機器制御社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.12 パナソニック社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY 社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.16 GE ファナックオートメーション社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.17 LS 産電社製シーケンサとの接続 ・ 4.3.19 SIEMENS 社製シーケンサとの接続
	他社安全コントローラ接続	他社製シーケンサ ・ 4.3.18 SICK 社製安全コントローラとの接続

(次ページへ続く)

接続形態		参照先
シリアル接続	他社サーボアンプ接続	他社製その他の機器 ・ 4.4.1 パナソニック社製サーボアンプとの接続
	他社ロボットコントローラ接続	他社製その他の機器 ・ 2. アイエイアイ社製ロボットコントローラとの接続
	他社温度調節器接続	他社温度調節機 ・ 4.7.2 アズビル社制御機器との接続 ・ 4.7.3 オムロン社製温度調節器との接続 ・ 4.7.4 神港テクノス社製指示調節計との接続 ・ 4.7.5 テノー社製調節計との接続 ・ 4.7.6 富士電機システムズ社製温度調節器との接続 ・ 4.7.7 横河電機社製温度調節器との接続 ・ 4.7.8 理化工業社製温度調節器との接続
	マイコン接続 (シリアル)	マイコン接続 ・ 4.5 マイコン接続 (マイコン接続 (シリアル))
	MODBUS <sup>®</sup> /RTU 接続	MODBUS(R) 接続 ・ 4.6.2 MODBUS(R)/RTU 接続

使用する GOT によりチャンネル数や機能に違いがあります。  
 下記に接続可能な組み合わせ / チャンネル数 / 制約がある機能を示します。

○ : 可能 △ : 制約あり

項目	接続可能な組み合わせ	使用する GOT		接続形態により制約がある機能*1*2		Ethernet
		GT1595 GT1585 GT157 <input type="checkbox"/> GT156 <input type="checkbox"/>	GT155 <input type="checkbox"/>	トランスベアレント機能		
				RS-232	USB	
(a)	・バス/ネットワーク / Ethernet 接続 : 1ch ・シリアル接続 : 1 ~ 3ch	最大 4ch	最大 2ch	△*3	○	△*4
(b)	・シリアル接続 : 4ch	最大 4ch	最大 2ch	△*3	○	△*4

\*1 以下の機能を使用する場合、使用する機能の組み合わせによっては、接続できるチャンネル数に影響する場合があります。


- ・バーコード機能
- ・RFID 機能
- ・パソコンリモート操作機能
- ・ビデオ表示機能
- ・操作パネル機能
- ・外部入出力機能
- ・RGB 表示機能
- ・レポート機能
- ・ハードコピー機能 (プリンタ出力時)
- ・音声出力機能

・CF カードユニット / CF カード延長ユニットを使用する機能

ビデオ表示機能、RGB 表示機能は同時に使用できません。

CF カードユニットと CF カード延長ユニットは同時に使用できません。

詳細は、下記を参照してください。

 「GOT 側のインタフェースとユニットの装着について < GT16、GT15 をご使用時 >」参照

\*2 以下の接続形態使用時は、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、ファイル転送機能 (FTP クライアント) は使用できますが、Ethernet 接続は使用できません。

- ・バス接続
- ・MELSECNET/H 接続
- ・MELSECNET/10 接続
- ・CC-Link IE コントローラネットワーク接続
- ・CC-Link 接続
- ・MODBUS<sup>®</sup>/TCP 接続
- ・CC-Link IE フィールドネットワーク接続

\*3 RS-232 での FA トランスベアレント機能は、GOT 内蔵の RS-232 インタフェースでのみ使用可能です。GOT 内蔵の RS-232 インタフェースを既に使用している場合、FA トランスベアレント機能は使用できません。

\*4 GOT とシーケンサ間を Ethernet 接続している場合、GOT とパソコンを Ethernet で接続することはできません。

### (3) GT14 の場合

GT14 では、下記の表に示す Ethernet 接続、シリアル接続を組み合わせると接続できます。

接続形態		参照先
Ethernet 接続	Ethernet 接続	4.1.6 Ethernet 接続
	CNC 接続 (Ethernet 接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (Ethernet 接続の場合)
	他社シーケンサ接続 (Ethernet 接続)	他社製シーケンサ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY 社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.19 SIEMENS 社製シーケンサとの接続</li> </ul>
	マイコン接続 (Ethernet)	マイコン接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.5 マイコン接続 (マイコン接続 (Ethernet))</li> </ul>
	MODBUS <sup>®</sup> /TCP 接続	MODBUS(R) 接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.6 MODBUS(R)/TCP 接続</li> </ul>
	CPU 直接接続	4.1.4 CPU 直接接続
	計算機リンク接続	4.1.5 計算機リンク接続
	CC-Link 接続 (G4 経由)	4.1.12 CC-Link 接続 (G4 経由)
	インバータ接続	4.2.1 インバータ接続
	サーボアンプ接続	4.2.2 サーボアンプ接続
シリアル接続	CNC 接続 (シリアル接続)	4.2.4 CNC(MELDAS C6/64) 接続 (CPU 直接接続の場合)
	GOT マルチドロップ接続	4.2.5 GOT マルチドロップ接続
	他社シーケンサ接続 (シリアル接続)	他社製シーケンサ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.3.2 オムロン社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.3 キーエンス社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.4 光洋電子工業社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.5 シャープマニファクチャリングシステム社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.6 ジェイテクト社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.7 東芝社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.8 東芝機械社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.9 日産製作所社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.10 日立製作所社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.11 富士電機機器制御社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.12 パナソニック社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.13 安川電機社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.14 横河電機社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.15 ALLEN-BRADLEY 社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.16 GE ファナックオートメーション社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.17 LS 産電社製シーケンサとの接続</li> <li>・ 4.3.19 SIEMENS 社製シーケンサとの接続</li> </ul>
	他社安全コントローラ接続	他社製シーケンサ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.3.18 SICK 社製安全コントローラとの接続</li> </ul>
	他社ロボットコントローラ接続	他社製その他の機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2. アイエイアイ社製ロボットコントローラとの接続</li> </ul>
	他社温度調節器接続	他社温度調節機 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.7.2 アズビル社制御機器との接続</li> <li>・ 4.7.3 オムロン社製温度調節器との接続</li> <li>・ 4.7.4 神港テクノス社製指示調節計との接続</li> <li>・ 4.7.5 チノー社製調節計との接続</li> <li>・ 4.7.6 富士電機システムズ社製温度調節器との接続</li> <li>・ 4.7.7 横河電機社製温度調節器との接続</li> <li>・ 4.7.8 理化学工業社製温度調節器との接続</li> </ul>
	マイコン接続 (シリアル)	マイコン接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.5 マイコン接続 (マイコン接続 (シリアル))</li> </ul>
	MODBUS <sup>®</sup> /RTU 接続	MODBUS(R) 接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4.6.2 MODBUS(R)/RTU 接続</li> </ul>

使用する GOT によりチャンネル数や機能に違いがあります。  
 下記に接続可能な組み合わせ / チャンネル数 / 制約がある機能を示します。

○：可能 △：制約あり

項目	接続可能な組み合わせ	使用する GOT		接続形態により制約がある機能 * 1		
		GT1455-QTBDE, GT1450-QLBDE	GT1455-QTBD, GT1450-QLBD	FA トランスペアレント機能		
				RS-232	USB	Ethernet
(a)	・Ethernet 接続：1～2ch ・シリアル接続：1～2ch	最大 2ch	—	△* 2	○	△* 3
(b)	・シリアル接続：2ch	最大 2ch	最大 2ch	△* 2	○	△* 3

- \* 1 以下の機能を使用する場合、使用する機能の組み合わせによっては、接続できるチャンネル数に影響する場合があります。
  - ・バーコード機能
  - ・RFID 機能
- \* 2 RS-232 での FA トランスペアレント機能は、GOT 内蔵の RS-232 インタフェースでのみ使用可能です。GOT 内蔵の RS-232 インタフェースを既に使用している場合、FA トランスペアレント機能は使用できません。
- \* 3 GOT とシーケンサ間を Ethernet 接続している場合、GOT とパソコンを Ethernet で接続することはできません。

## 接続可能チャンネル数・装着可能ユニット数・装着可能段数について

### (1) 接続可能チャンネル数

接続できるチャンネル数は、GOTの機種によって異なります。下記の表をご参照ください。

### (2) 装着可能ユニット数・装着可能段数

マルチチャンネル機能を使用する場合、以下の方法でGOT側のインタフェースを増やします。

(a) 拡張インタフェースに通信ユニットを重ねて装着する。

(b) 拡張インタフェースに通信ユニットを装着し、標準インタフェースと組み合わせて使用する。装着可能なユニット数や段数は、GOTの機種によって異なります。下記の表をご参照ください。

\*：接続する機器の構成によっては、性能に影響する場合があります。

		GT1695 GT1685 GT167 □ GT166 □	GT1655	GT1595 GT1585 GT157 □ GT156 □	GT155 □	GT14	GT16 ハンディ	内 容
(1)	接続可能 チャンネル数	最大4ch			最大2ch	最大2ch	最大4ch	GT16/GT15の場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス接続、ネットワーク接続*1は、1つのGOTに1chのみ設定可能です。</li> <li>・Ethernet接続*2は、最大4chまで設定可能です。(GT16のみ)</li> <li>・GOT内蔵のEthernetインタフェース(GT16)またはEthernet通信ユニット(GT15)を、接続機器との通信以外*3で使用する場合は、チャンネル数に含みません。</li> <li>・外部機器*4との接続に使用するインタフェースは、チャンネル数に含みません。</li> </ul> ☞ 「ユニット使用電流の計算<GT16, GT15をご使用時>」参照
	装着可能 ユニット数	最大5台	最大3台	最大5台	最大3台	装着不可	装着不可	GT14の場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ethernet接続*2は、最大2chまで設定可能です。(GT1455-QTBDE, GT1450-QLBDEのみ)</li> <li>・GOT内蔵のEthernetインタフェースを、接続機器との通信以外*3で使用する場合は、チャンネル数に含みません。(GT1455-QTBDE, GT1450-QLBDEのみ)</li> <li>・外部機器*4との接続に使用するインタフェースは、チャンネル数に含みません。</li> </ul> ☞ 「ユニット使用電流の計算<GT16, GT15をご使用時>」参照
(2)	装着可能 段数	最大3段 (2スロット)	最大3段 (1スロット)	最大3段 (2スロット)	最大3段 (1スロット)	装着不可	装着不可	・リアルタイム通信ユニットのみ、同一ユニットを複数装着できません。消費電流計算を必要があります。 ・RS-422変換ユニットは、ユニット数に含みません。(GT1655, GT1155 □では、RS-422変換ユニットは使用できません。) ☞ 「ユニット使用電流の計算<GT16, GT15をご使用時>」参照
	装着可能 段数	最大3段 (2スロット)	最大3段 (1スロット)	最大3段 (2スロット)	最大3段 (1スロット)	装着不可	装着不可	・2スロット占有タイプ*5*6*7のユニットは、1段目に装着してください。 ・ビデオ、RGB表示、RGB出力、マルチメディア機能を使用する場合は、*6のユニットを1段目、他のユニットは2段目以降に装着してください。 ・*7のユニットを使用する場合は、他の拡張ユニットは装着できません。 ・CFカードユニットを使用する場合、最上段に装着してください。 ☞ 「15節 外形寸法図」 「GOT側のインタフェースとユニットの装着について<GT16, GT15をご使用時>」参照

\*1 MELSECNET/H接続、MELSECNET/10接続、CC-Link IEコントローラネットワーク接続、CC-Link IEフィールドネットワーク接続、CC-Link接続(インテリジェントデバイス局)

\*2 Ethernet接続、MODBUS(R)/TCP接続

\*3 ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能、Ethernetダウンロード、ファイル転送機能(FTPクライアント)、パソコンリモート操作(Ethernet)、VNC\*サーバー機能

\*4 バーコードリーダー、RFIDコントローラ、パソコン(パソコンリモート操作(シリアル)、FAトランスバレット機能、OS書き込み、プロジェクトデータ書き込み)、プリンタ(シリアル)

\*5 GT15-QBUS2, GT15-ABUS2, GT15-J71GP23-SX, GT15-J71LP23-25, GT15-J71BR13, GT15-J61BT13

\*6 GT16M-V4, GT15V-75V4, GT16M-R2, GT15V-75R1, GT16M-V4R1, GT15V-75V4R1, GT16M-ROUT, GT15V-75ROUT, GT16M-MMR

\*7 GT15-75QBUSL, GT15-75QBUS2L, GT15-75ABUSL, GT15-75ABUS2L, GT15-75J71LP23-Z, GT15-75J71BR13-Z, GT15-75J61BT13-Z

☞ 使用するGOTの本体取扱説明書

## 通信ドライバについて

使用する接続形態ごとに通信ドライバのインストールが必要です。

GT16, GT14は、通信ドライバは、ユーザ領域にインストールされます。

GT15は、2つ目以降の通信ドライバは、ユーザ領域にインストールされます。

## オプション機能ボードについて

GT16, GT14ご使用時は、不要です。

GT15ご使用時は、オプション機能ボードが必要です。

オプション機能ボードGT15-QFNB(□M)または、GT15-MESB48Mをご使用ください。GT15-FNBは使用できません。



## ● GOT側のインタフェースとユニットの装着について<GT16, GT15をご使用時>

**3段目**  
**2段目**  
**1段目**

(※GT16BS)

**拡張インタフェース1** (GT16ハンディは、拡張インタフェース1,2がないため、ユニットを装着できません)  
**拡張インタフェース2** (GT16S5, GT15S5は、拡張インタフェース1のみ)  
それぞれの拡張インタフェースに通信ユニットやオプションユニットを最大3段装着できます。

2スロット占有タイプのユニットは1段目に装着してください。ただし、下記ユニットを使用する場合は、下記ユニットを1段目に装着し、他のユニットは2段目以降に装着してください。

GT16の場合(GT16□□-VNB, GT16S5を除くGT16に、いずれか1つのみ装着可)  
●GT16M-V4, GT16M-R2, GT16-V4R1, GT16-ROUT, GT16M-MMR  
GT15の場合(GT15BSV, GT1575Vに、いずれか1つのみ装着可)  
●GT15V-75V4, GT15V-75R1, GT15V-75V4R1, GT15V-75ROUT  
下記ユニットは、他のユニットと重ねて装着できません。1段目に装着してください。  
●GT15-75BUSL, GT15-75BUSL2, GT15-75ABUSL, GT15-75ABUSL2  
●GT15-75J1LP23-Z, GT15-75J1BR13-Z, GT15-75J61BT13-Z (GT16, GT15S□は使用不可)  
GT15-CFCD取付け時、取外し時は下記に注意してください。  
●CFカードユニットの後面に拡張ユニットを装着することはできません。拡張ユニットを装着する場合、CFカードユニットは最後に装着してください。  
●CFカードユニットは拡張インタフェース1(左側)に装着する場合、拡張インタフェース2(右側)に装着する拡張ユニットの数が拡張インタフェース1(左側)より少なくなる様にしてください。CFカードの裏面がでかくなります。  
●CFカードユニットを取りはずすときは、コネクタの破損防止のため、指定した方向(△PULL)からはずしてください。

**標準インタフェース(GOT内蔵のRS-232Cインタフェース)**  
接続機器とのシリアル接続、またはバーコードリーダーなど周辺機器と接続できます。

**標準インタフェース(GOT内蔵のEthernetインタフェース)GT16のみ**  
接続機器とEthernetで接続できます。

**標準インタフェース(GOT内蔵のRS-422/485インタフェース)GT16のみ**  
接続機器とのシリアル接続できます。

例)GT15-QBUS2  
2スロット占有タイプのユニット  
2スロット(1段)占有

## ● ユニット使用電流の計算<GT16, GT15をご使用時>

複数のユニットやバーコードリーダー、RFIDコントローラを使用する場合、ユニットやバーコードリーダー、RFIDコントローラの使用電流の合計をGOTの供給可能電流以内にする必要があります。以下の値を用いて、電流値の合計がGOTの供給可能電流以内になるようにシステムを設計してください。

(1) GOTの供給可能電流

GOTの種類	供給可能電流(A)
GT1695	2.4
GT1685	2.4
GT167□	2.4
GT166□	2.4
GT1655	1.3
GT1595	2.13
GT1585 (GT1585Vを含む)	1.74
GT157□ (GT1575Vを含む)	2.2
GT156□	2.2
GT155□	1.3

(2) ユニット・バーコードリーダー・RFIDコントローラの使用電流

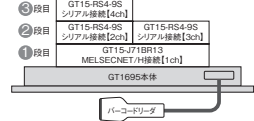
ユニットの種類	使用電流(A)	ユニットの種類	使用電流(A)
GT15-QBUS	0.275*1	バーコードリーダー	*2
GT15-QBUS2		GT15-PRN	0.09
GT15-75OBUSL	0.12	GT16M-V4	0.12*1
GT15-75OBUSL2		GT15V-75V4	0.2*1
GT15-ABUS	0.29	GT16M-R2	0*1
GT15-ABUS2		GT15V-75R1	0.2*1
GT15-75ABUSL	0.33	GT16M-V4R1	0.12*1
GT15-75ABUSL2		GT15V-75V4R1	0.2*1
GT15-RS2-9P	0.33	GT16M-ROUT	0.11*1
GT15-RS4-9S	0.3	GT15V-75ROUT	0.11
GT15-RS4-TE	0.3	GT16M-MMR	0.27*1
GT15-RS2T4-9P	0.098	GT15-CFD	0.07
GT15-J71E71-100	0.224	GT15-CFEX-C08SET	0.15
GT15-J71GP23-SX	1.07	GT15-SOUT	0.08
GT15-J71GF13-T2	0.96	GT15-DIO	0.1
GT15-J71LP23-25	0.56	GT15-DIOR	0.1
GT15-J71BR13	0.77	RFIDコントローラ	*2
GT15-J61BT13	0.56		

\*1:マルチチャンネル機能の消費電流計算に使用するための数値です。ユニット単体の仕様については、各ユニットに同梱されているマニュアルを参照してください。  
\*2:標準インタフェースから電源供給するバーコードリーダー、RFIDコントローラを使用する場合、バーコードリーダー、RFIDコントローラのDC5V時の使用電流を加算してください。(最大は0.3A以下)

(3) 計算例

GT1695に、GT15-J71BR13, GT15-RS4-9S(3台)、

バーコードリーダー(0.12Aのもの)を接続する場合



GOTの供給可能電流(A)	合計使用電流(A)
2.4	0.77+0.33+0.33+0.12=1.88

GOTの供給可能電流以内なので、使用できます。

GOTの供給可能電流以内なので、使用できます。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 機器一覧  
用語集

## ● ライセンスキーについて < GT SoftGOT1000 をご使用時 >

---

### (1) ライセンスキーとは

GT SoftGOT1000 を使用するには、ライセンスキーが必要になります。  
ライセンスキーには下記の 2 種類があります。

形名	装着タイプ
GT15-SGTKEY-U	USB ポート装着タイプ
GT15-SGTKEY-P *1	パラレルポート装着タイプ

\* 1：パソコン CPU ユニットには、パラレルポートがありませんので使用できません。  
GT15-SGTKEY-U をご使用ください。

#### (a) ライセンスキーの使用方法

ライセンスキーは、GT SoftGOT1000 でモニタを開始する前に必ず装着してください。  
ライセンスキーを装着していない状態でモニタを開始すると、約 2 時間後に自動的に GT SoftGOT1000 が終了します。  
また、モニタの開始から終了までの間、ライセンスキーは常に装着するようにしてください。  
モニタ中にライセンスキーがはずれると、GT SoftGOT1000 は自動終了します。

#### (b) ライセンスキーを装着する前に

ライセンスキーは一個の接続機器として OS に認証されます。  
そのため、他の接続機器と同様にシステムドライバ（デバイスドライバ）のインストールが必要です。  
ライセンスキーへのアクセスはシステムドライバ経由であり、システムドライバがインストールされていない場合、ライセンスキーにアクセスできません。

#### (c) ライセンスキーを使用できる対象

GT15-SGTKEY-U と GT15-SGTKEY-P は GT SoftGOT1000 専用製品です。  
GT SoftGOT2 では使用できません。

### (2) GT15-SGTKEY-U を装着するときの注意

#### (a) システムドライバをインストール／アンインストール行う場合

システムドライバのインストール／アンインストールは、GT15-SGTKEY-U を取り外した状態で行ってください。  
GT15-SGTKEY-U を装着した状態でシステムドライバをインストールした場合、USB 部分のインストールに失敗することがあります。  
インストールに失敗した場合は、GT15-SGTKEY-U を取り外した状態でシステムドライバをアンインストールし、再度インストールしてください。

### (4) GT15-SGTKEY-P を装着する場合

#### (a) GT15-SGTKEY-P が装着できるポート

GT15-SGTKEY-P は、パソコンに標準実装されているパラレルポートでのみ使用できません。  
増設または変換器により追加したパラレルポートでは使用できません。

#### (b) GT15-SGTKEY-P と他の機器を同時に使用する場合

以下の機器は、GT15-SGTKEY-P と同一ポートでの使用はできません。

- ・パラレルポート用 SCSI インタフェース
- ・パラレルポート接続型フロッピーディスクドライブ / ハードディスクドライブ / CD-ROM / ZIP ドライブ
- ・パラレルポート通信型の Interlink などのネットワークまたはセントロプリンタインタフェースの標準的な仕様から外れたデータ転送方法を持っている機器


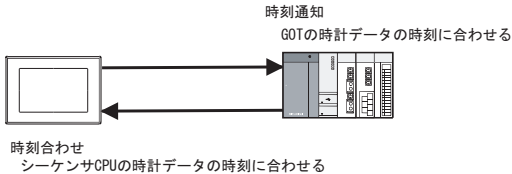
#### (c) GT15-SGTKEY-P 装着時の注意事項


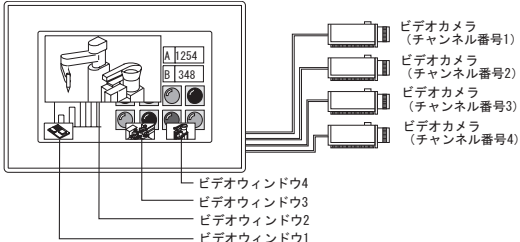

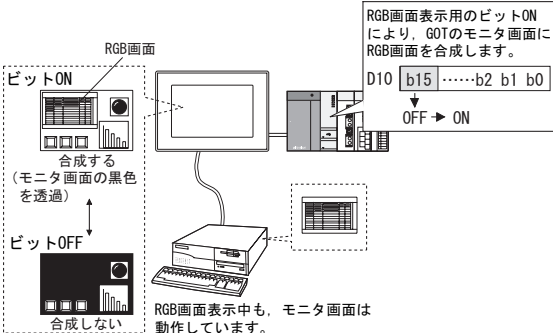
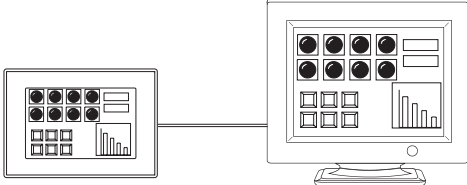
GT15-SGTKEY-P は、プリンタ切換機とパソコンの間に入るように接続してください。


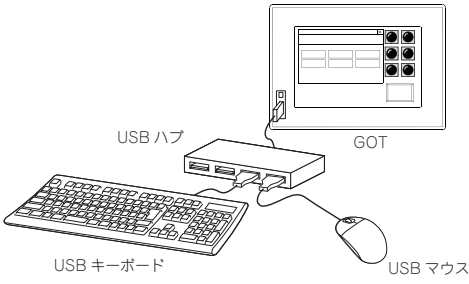

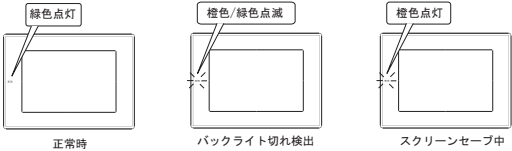
---

### 3.3 各機能の概要


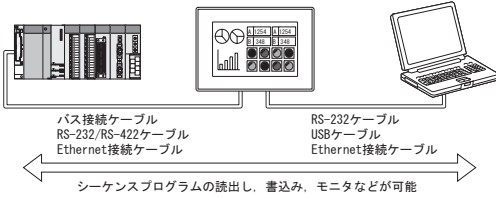

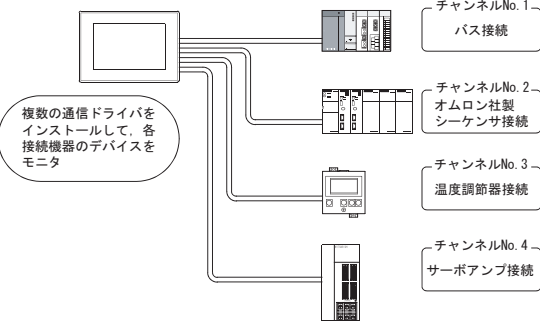
#### ● ハードウェア仕様

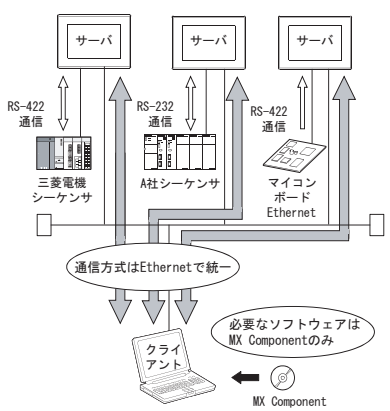
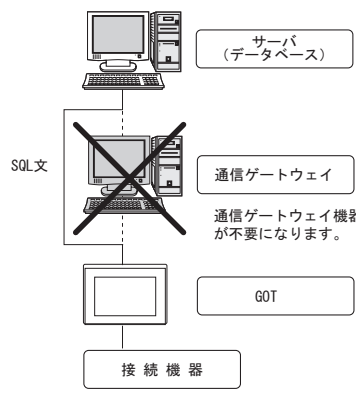
機能	概要	参照先
<p>時計機能</p> 	<p>GOTの時計データを管理する機能です。 時刻を合わせるための基準となる時計データを選択できます。 (GT1020 は時刻合わせのみ可能です。)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 2章</li> <li>☞ GT16 本体 取扱説明書 (基本ユーティリティ編) [SH-080924] 2章</li> <li>☞ GT15 本体 取扱説明書 [SH-080507] 12章</li> <li>☞ GT14 本体取扱説明書 [JY997D44101] 12章</li> <li>☞ GT11 本体 取扱説明書 [JY997D15001] 12章</li> <li>☞ GT10 本体 取扱説明書 [JY997D24101] 12章</li> <li>☞ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 11章</li> <li>☞ GT11 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D18901, JY997D18902] 11章</li> </ul>

機能	概要	参照先
<p><b>ビデオ入力</b></p> 	<p>ビデオカメラで撮った映像をビデオウィンドウで表示する機能です。ビデオウィンドウは、他の画面と独立した画面なので、ビデオウィンドウを開いたままで、ベース画面の切換えができます。</p>  <p>ビデオカメラ (チャンネル番号1) ビデオカメラ (チャンネル番号2) ビデオカメラ (チャンネル番号3) ビデオカメラ (チャンネル番号4)</p> <p>ビデオウィンドウ4 ビデオウィンドウ3 ビデオウィンドウ2 ビデオウィンドウ1</p> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 35 章</p> <p>☞ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 12 章</p>
<p><b>RGB 入力 / RGB 出力</b></p> 	<p>パソコンの画像を GOT に表示したり、GOT の画面を市販のディスプレイに出力する機能です。RGB 画面は、XGA (1024 × 768 ドット)、SVGA (800 × 600 ドット)、VGA (640 × 480 ドット) を選択して使用できます。(XGA (1024 × 768 ドット) は GT1695M-X でのみ選択できます。) RGB 画面は、デバイス (ワードデバイス内のビットデバイス) の ON/OFF 状態により、GOT のモニタ画面に合成して表示します。</p> <p>・ RGB 入力</p>  <p>RGB画面表示用のビットONにより、GOTのモニタ画面にRGB画面を合成します。</p> <p>D10 b15 ..... b2 b1 b0 OFF → ON</p> <p>RGB画面表示中も、モニタ画面は動作しています。</p> <p>・ RGB出力</p>  <p>RGB出力を実行する場合は、接続機器設定でRGB出力の設定をしてください。</p> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 38 章</p> <p>☞ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 12 章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>USB マウス / キーボード 接続</b></p> 	<p>GOTにUSBマウス、USBキーボードを接続して、GOTを操作できます。小さなタッチスイッチを操作したり、大量の文字を入力する場合に便利です。</p> <p>パソコンリモート操作 (Ethernet) と合わせて使用すれば、GOT から、ネットワーク上のパソコンをマウスとキーボードで操作できます。</p>  <p style="text-align: center;">* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) [SH-080836] 10章</p> <p>☞ GT14 本体取扱説明書 [JY997D44101] 11章</p>
<p><b>バックライト 切れ検出機能</b></p> 	<p>GOTは液晶表示用のバックライト切れを検知すると、GOT 前面の POWER LED の色で通知します。</p>  <p style="text-align: center;">* GT104 □, GT1030, GT1020 では使用できません。</p>	<p>☞ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編) [SH-080923] 9章</p> <p>☞ GT15 本体取扱説明書 [SH-080507] 19章</p> <p>☞ GT14 本体取扱説明書 [JY997D44101] 17章</p> <p>☞ GT11 本体取扱説明書 [JY997D15001] 17章</p> <p>☞ GT10 本体取扱説明書 [JY997D24101] 17章</p> <p>☞ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 18章</p> <p>☞ GT11 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D18901, JY997D18902] 18章</p>

● 本体機能

機能	概要	参照先
<p>FA トランスベアレント機能</p> 	<p>GOT と三菱電機シーケンサを接続している状態で、GOT にパソコンを接続して、GOT 経由で三菱電機シーケンサのシーケンスプログラムの読み出し、書き込み、モニタなどが行える機能です。 FA トランスベアレント機能で利用できるソフトウェアのバージョンは、各ソフトウェアにより異なります。</p>  <p>バス接続ケーブル RS-232/RS-422ケーブル Ethernet接続ケーブル</p> <p>RS-232ケーブル USBケーブル Ethernet接続ケーブル</p> <p>シーケンスプログラムの読み出し、書き込み、モニタなどが可能</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080838] 22 章</p> <p>➡ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 31 章</p> <p>➡ GT11 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D18901, JY997D18902] 58 章</p>
<p>マルチチャンネル機能</p> 	<p>GOT に複数の通信ドライバをインストールして、1 台の GOT で最大 4 台 (4 チャンネル) の接続機器 (シーケンサ CPU、温度調節器、インバータなど) をモニタする機能です。 マルチチャンネル機能の仕様や留意事項については、3.2 節 ご使用時の留意事項をご参照ください。</p>  <p>複数の通信ドライバをインストールして、各接続機器のデバイスをモニタ</p> <p>チャンネルNo. 1 バス接続</p> <p>チャンネルNo. 2 オムロン社製シーケンサ接続</p> <p>チャンネルNo. 3 温度調節器接続</p> <p>チャンネルNo. 4 サーボアンプ接続</p> <p>* GT155 □, GT145 □の場合は、最大 2 台 (2 チャンネル) となります。 * GT16 ハンディは下記の組み合わせのみ可能です。 ・ Ethernet 接続+シリアル接続 ・ Ethernet 接続</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080838] 21 章</p> <p>➡ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 30 章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>ゲートウェイ機能</b></p> <p>er16 er15 er14</p>	<p>異なるメーカーの接続機器を一台の GOT やパソコンでモニタしたり、GOT で発生したアラームをメールで送信したりする機能です。事務所から生産現場へのリモート監視、リモートメンテナンスをサポートします。</p>  <p>通信方式はEthernetで統一</p> <p>必要なソフトウェアは MX Componentのみ</p> <p>MX Component</p> <p>* GT14 では、GT145□-Q□BDEのみ使用できます。</p>	<p>➡ GOT1000 ゲートウェイ機能マニュアル GT Works3 対応 [SH-080842]</p>
<p><b>MES インタフェース機能</b></p> <p>er16 er15</p>	<p>MES インタフェース機能は、GOT から Ethernet で接続されたサーバ用パソコンのデータベースに SQL 文を送信し、GOT のデバイス値をデータベースに書き込んだり、データベースの値を読み込み、GOT のデバイスにセットする機能です。直接、サーバ用パソコンと通信を行うことで、通信用のゲートウェイ機器が不要になるため、メンテナンスコストの削減、信頼性の向上を実現します。</p>  <p>サーバ (データベース)</p> <p>通信ゲートウェイ 通信ゲートウェイ機器が不要になります。</p> <p>GOT</p> <p>接続機器</p> <p>SQL文</p> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ MES インタフェース機能マニュアル GT Works3 対応 [SH-080843]</p>

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて


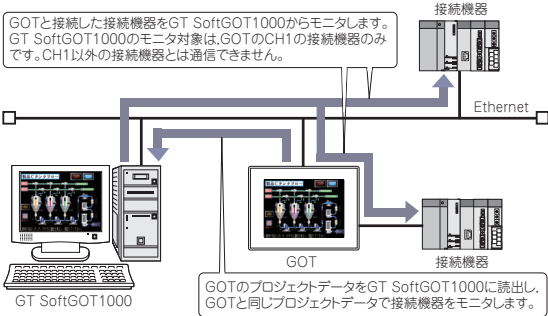

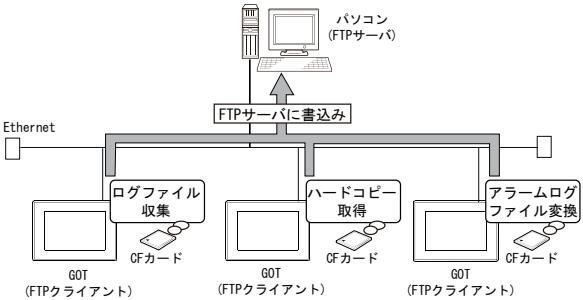
3 機能について

4 接続構成について

5 海外規格対応状況


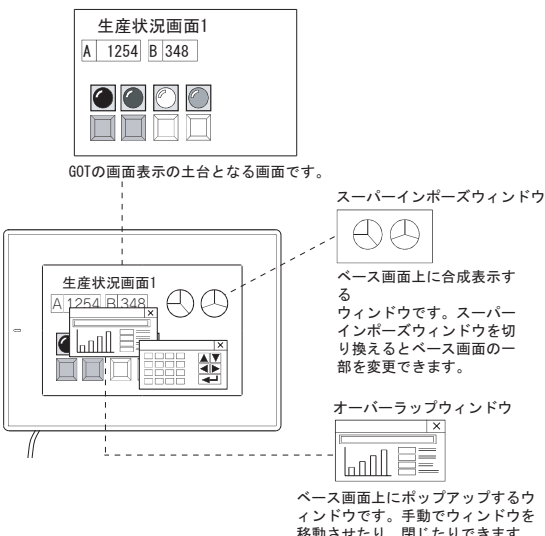

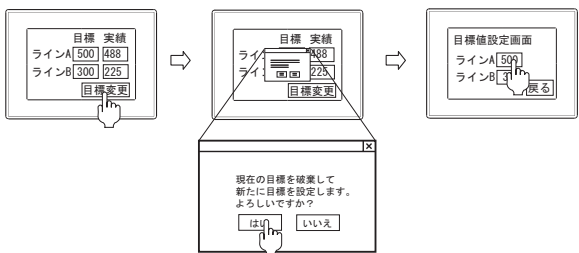
6 機器一覧

7 用語集


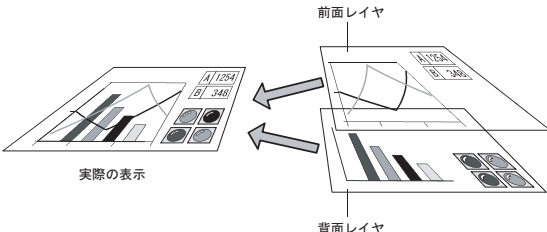

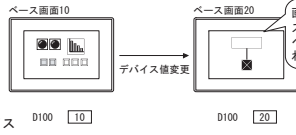
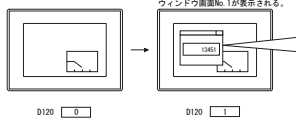

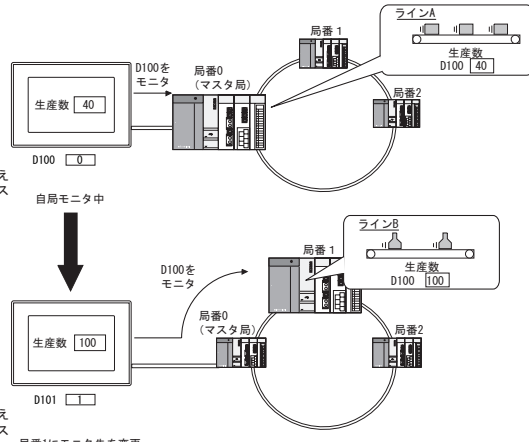
機能	概要	参照先
<p><b>SoftGOT-GOT リンク機能</b></p> 	<p>SoftGOT-GOT リンク機能は、GT SoftGOT1000 と GOT を Ethernet で接続し、GT SoftGOT1000 と GOT のプロジェクトデータ、リソースデータを同期する機能です。            入力オブジェクト（タッチスイッチ、数値入力、アスキー入力）などを操作する場合、GT SoftGOT1000 と GOT での同時操作を防ぐため、どちらか一方のみの操作を許可します。            GOT と接続した接続機器を、GT SoftGOT1000 からモニタすることもできます。</p>  <p>GOT と接続した接続機器を GT SoftGOT1000 からモニタします。GT SoftGOT1000 のモニタ対象は、GOT の CH1 の接続機器のみです。CH1 以外の接続機器とは通信できません。</p> <p>GOT のプロジェクトデータを GT SoftGOT1000 に読み出し、GOT と同じプロジェクトデータで接続機器をモニタします。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 10 章</p> <p>☞ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 [SH-080844] 5 章</p>
<p><b>ファイル転送機能 (FTP クライアント機能)</b></p> 	<p>GOT (FTP クライアント) からの操作で、パソコン (FTP サーバ) にリソースデータなどの各種ファイルを書き込みできます。            GOT からパソコン内のリソースデータを更新する場合などに使用します。</p>  <p>FTPサーバに書き込み</p> <p>パソコン (FTPサーバ)</p> <p>ログファイル収集 CFカード</p> <p>ハードコピー取得 CFカード</p> <p>アラームログファイル変換 CFカード</p> <p>GOT (FTPクライアント)      GOT (FTPクライアント)      GOT (FTPクライアント)</p> <p>* GT14 では、GT145 □ -Q □ BDE のみ使用できます。</p>	<p>☞ GOT1000 ゲートウェイ 機能マニュアル GT Works3 対応 [SH-080842] 7 章</p>



● 画面設計

機能	概要	参照先
<p>ベース画面</p> <p>スーパーインポーズウィンドウ表示</p> <p>オーバーラップウィンドウ表示</p> 	 <p>GOTの画面表示の土台となる画面です。</p> <p>スーパーインポーズウィンドウ</p> <p>ベース画面上に合成表示するウィンドウです。スーパーインポーズウィンドウを切り換えるとベース画面の一部を変更できます。</p> <p>オーバーラップウィンドウ</p> <p>ベース画面上にポップアップするウィンドウです。手動でウィンドウを移動させたり、閉じたりできます。</p>	<p>GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 2章</p>
<p>ダイアログ ウィンドウ表示</p> 	 <p>ユーザーがカスタマイズしたシステムメッセージや、ユーザーが作成したメッセージを、ダイアログウィンドウで GOT に表示できます。</p> <p>操作時に、メッセージに答えないと次の画面を表示しないダイアログや、確実に内容を確認させるためのダイアログなどをユーザーで作成して、表示させることができます。</p>	<p>GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>図形描画</b></p> 	<p>GOT では、ユーザが描画した図形、文字、作画ソフトでインポートした BMP、JPEG、DXF、IGES 形式のデータを表示できます。 (JPEG は GT16、GT15、GT14、GT SoftGOT1000 のみ、IGES は GT16、GT15、GT14、GT SoftGOT1000、GT11 のみ使用できます)</p>  <p>BMP/JPEGファイルなど                      図形                      文字</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 2章</p>
<p><b>フォント</b></p> 	<p>Unicode2.1 に対応した標準フォントから Windows® で使用可能なフォントまで様々な種類のフォントが使用できます。</p> <p>標準フォント   <sup>*1</sup></p> <p>高品位フォント  </p> <p>TrueTypeフォント  </p> <p>TrueType数字  </p> <p>Windows®フォント  </p> <p>ストロークフォント*2  </p> <p>* 1 : GT1020 では使用できません。 * 2 : GT11,GT10 では使用できません。</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 2章</p>
<p><b>ロゴ文字</b></p> 	<p>文字にグラデーションなどのさまざまな装飾が可能です。</p> 	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 4章</p>
<p><b>漢字圏</b></p> 	<p>漢字を使用している地域（日本、中国（簡体）、中国（繁体））により、同意語で書体の異なる文字があります。 漢字圏を使用すると、それぞれの地域の漢字が表示できます。 (GT11 では対応する標準フォントをインストールすることにより、日本語・中国語（簡体）が表示できます。ただし、中国語（繁体）は表示できません。)</p>  <p>日本                      中国（簡体）-明朝                      中国（繁体）-ゴシック</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 2章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>部品の重ね合わせ(レイヤ機能)</b></p> 	<p>2種類のシート(レイヤ)を重ね合わせて、1つの画面として合成表示することができます。</p> <p>レイヤ機能により、オブジェクトの重ね合わせが可能になります。</p> 	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 5章</p>
<p><b>画面切り換え</b></p> 	<p>画面切り換え用のデバイスの値により GOT で表示する画面を切り換えます。</p> <p><b>ベース画面の切り換え</b></p>  <p><b>オーバーラップウィンドウ1の切り換え</b></p> 	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>
<p><b>局番切り換え</b></p> 	<p>局番切り換え用のデバイスの値によりオブジェクトのモニタ先の局番を切り換える機能です。</p> <p>ネットワークと同じ制御を行う機械が複数接続されているシステムの場合、同じモニタ画面で複数の機械をモニタできます。</p> 	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて


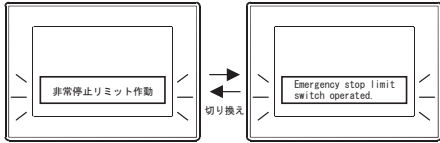

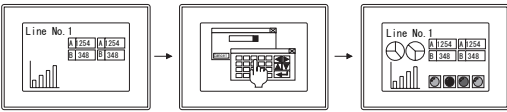

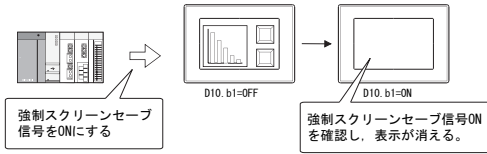
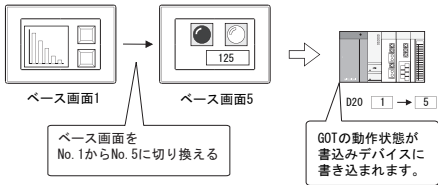
3 機能について

4 接続構成について




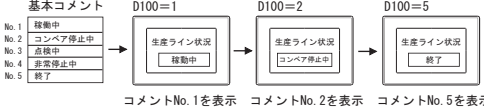
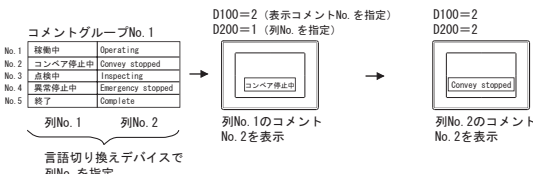

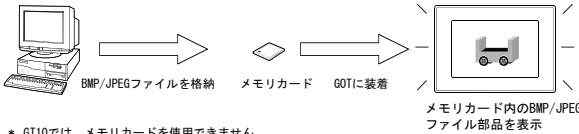
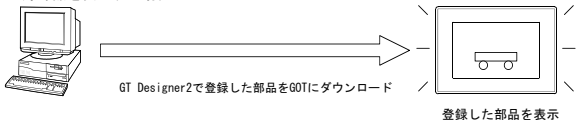
5 海外規格対応状況


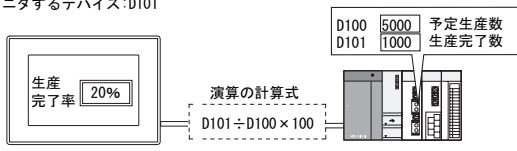


6 機能一覧


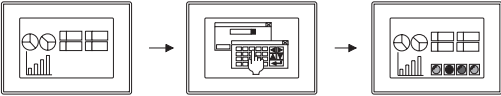
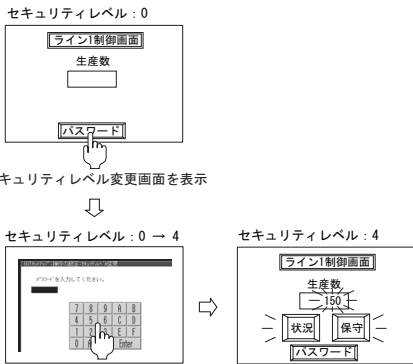
7 用語集

機能	概要	参照先
<p><b>言語切り換え機能</b></p> 	<p>複数の言語をコメントグループに列単位で登録することで、言語切り換えデバイスの値により表示するコメントの言語を切り換えることができます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>日本語                      英語</p> </div>	<p>👉 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>
<p><b>パスワード設定</b></p> 	<p>オブジェクトや画面の表示・操作・読み出し操作・ユーティリティ操作に、パスワードを設定する機能です。それぞれのパスワードを設定することで、操作するユーザを制限できます。</p> <div style="text-align: center;"> <p>セキュリティレベル: 2                      セキュリティレベル: 10</p>  <p>パスワード入力して高いセキュリティレベルに合わせたセキュリティレベルに変わります。</p> </div>	<p>👉 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>
<p><b>システム情報</b></p> 	<p>デバイスに書き込まれた内容により、GOTの動作（画面の消去、キー入力を無効にするなど）を接続機器などから制御したり、GOTの状態を接続機器などへ通知することができます。</p> <div style="text-align: center;"> <p>GOTの動作を接続機器から制御する</p>  <p>強制スクリーンセーブ信号をONにする → D10.b1=OFF → 強制スクリーンセーブ信号ONを確認し、表示が消える。</p>   <p>GOTの状態を接続機器に通知する</p>  <p>ベース画面を No. 1からNo. 5に切り換える → D20 1 → 5</p> <p>GOTの動作状態が書き込みデバイスに書き込まれます。</p> </div>	<p>👉 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>


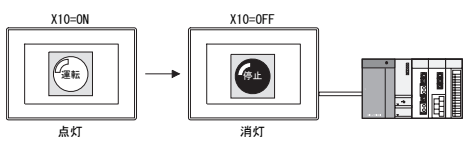

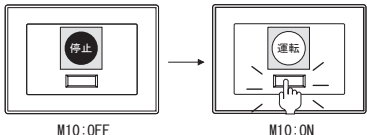

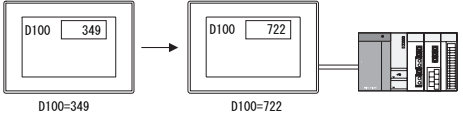
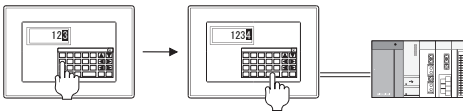
機能	概要	参照先
<p data-bbox="112 164 216 185"><b>接続機器設定</b></p> <div data-bbox="116 239 224 321"> </div> <p data-bbox="240 572 800 611">GOTと接続機器を通信するための設定（接続形態、通信インタフェース）を行います。</p> <div data-bbox="255 635 728 823"> <p data-bbox="509 635 655 655">拡張インタフェース</p> <p data-bbox="576 689 722 710">標準インタフェース</p> <p data-bbox="442 823 711 862">通信インタフェースの設定 (マルチチャンネル機能使用時の例)</p> </div> <div data-bbox="255 885 638 995"> <p data-bbox="257 980 403 1000">通信ドライバの設定</p> <p data-bbox="532 980 632 1000">シーケンサCPU</p> </div>	<p data-bbox="834 148 1002 297">☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル (三菱電機機器 接続編) GT Works3 対応 [SH-080838] 1 章</p> <p data-bbox="834 305 1002 439">☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル (他社機器接続編1) GT Works3 対応 [SH-080839] 1 章</p> <p data-bbox="834 446 1002 580">☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル (他社機器接続編2) GT Works3 対応 [SH-080840] 1 章</p> <p data-bbox="834 588 1002 752">☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 1 章</p> <p data-bbox="834 760 1002 870">☞ GT16 本体 取扱説明書 (基本ユーティ リティ編) [SH-080924] 3 章</p> <p data-bbox="834 878 1002 987">☞ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 12 章</p> <p data-bbox="834 995 1002 1074">☞ GT15 本体 取扱説明書 [SH-080507] 10 章</p> <p data-bbox="834 1081 1002 1160">☞ GT14 本体 取扱説明書 [JY997D44101] 10 章</p> <p data-bbox="834 1168 1002 1246">☞ GT11 本体 取扱説明書 [JY997D15001] 10 章</p> <p data-bbox="834 1254 1002 1332">☞ GT10 本体 取扱説明書 [JY997D24101] 10 章</p> <p data-bbox="834 1340 1002 1434">☞ GT11 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D18901, JY997D18902] 9 章</p>	<p data-bbox="1058 133 1092 305">1 GOTについて</p> <p data-bbox="1058 313 1092 493">2 ソフトウェアについて</p> <p data-bbox="1058 501 1092 682">3 機能について</p> <p data-bbox="1058 689 1092 870">4 接続構成について</p> <p data-bbox="1058 878 1092 1058">5 海外規格対応状況</p> <p data-bbox="1058 1066 1092 1246">6 機器一覧</p> <p data-bbox="1058 1254 1092 1434">7 用語集</p>


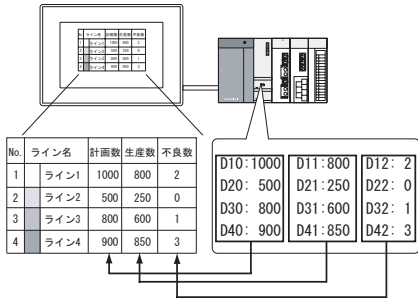
機能	概要	参照先
<p><b>起動ロゴ</b></p> 	<p>GOT 起動時に表示されるロゴを、任意の BMP 画面に変更できます。</p> <p>GOT起動時</p>  <p>元画面 → 設定したBMP画面に変更</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>
<p><b>コメント登録</b></p> 	<p>ユーザが作成した文字列を、コメントとして登録できます。登録したコメントは、複数のオブジェクト機能により表示することができます。</p> <p>コメントの種類は、基本コメントとコメントグループの2種類があります。(基本コメントで使用できるフォントは、16ドット(標準/高品位明朝)のみです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本コメントの表示例 コメント表示によりデバイスの値に対応したコメントNo. のコメントを表示します。</li> </ul>  <p>コメントNo. 1を表示    コメントNo. 2を表示    コメントNo. 5を表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントグループの表示 コメント表示によりデバイスの値に対応したコメントNo. のコメントを表示し、さらに言語切り換えデバイスで表示するコメントの列を切り換えることができます。</li> </ul>  <p>コメントグループNo. 1    D100=2 (表示コメントNo. を指定)    D100=2 D200=1 (列No. を指定)    D200=2</p> <p>列No. 1    列No. 2    列No. 1のコメント    列No. 2のコメント No. 1 稼働中    Operating    No. 1のコメント    No. 2を表示 No. 2 コンベア停止中    Convey stopped    No. 2を表示</p> <p>言語切り換えデバイスで列No. を指定</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>
<p><b>部品登録</b></p> 	<p>ユーザが作成した図形を部品として登録できます。登録した部品は、オブジェクト機能により表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BMP/JPEGファイル部品を表示する場合</li> </ul>  <p>BMP/JPEGファイルを格納    メモリカード    GOTに装着    メモリカード内のBMP/JPEGファイル部品を表示</p> <p>* GT10では、メモリカードを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録部品を表示する場合</li> </ul>  <p>GT Designer2で登録した部品をGOTにダウンロード    登録した部品を表示</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (共通編) [SH-080836] 4章</p>


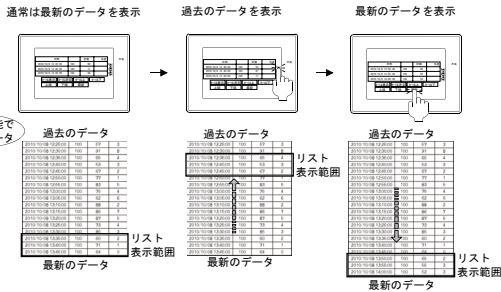
機能	概要	参照先
<p><b>データ演算機能</b></p> 	<p>ワードデバイスの値に対して、データ演算で設定した演算を行い、演算後の値を使用してモニタ/書き込みする機能です。</p> <p>数値表示機能でデータ演算を使用する モニタするデバイス:D101</p>  <p>演算の計算式 <math>D101 \div D100 \times 100</math></p> <p>予定に対する完了率を表示</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 5章</p>
<p><b>オフセット機能</b></p> 	<p>1つのデバイス設定で、複数のデバイスを切り換えてモニタできる機能です。</p> <p>ライン1からライン3へ表示を切り換える D100=326 D300=442</p>  <p>ライン1 (D100)の実績数を モニタしています。</p> <p>実績数が見たい ラインに切り換えます。</p> <p>ライン3 (D300)の実績数が モニタされます。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 5章</p>


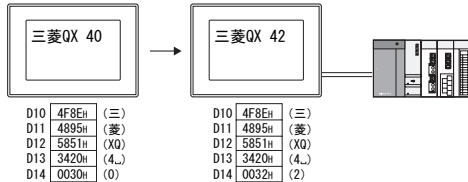
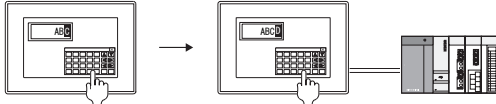



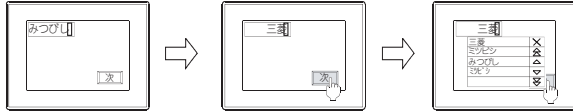
機能	概要	参照先
<p><b>セキュリティ機能</b></p> 	<p>画面の表示を、ユーザのセキュリティレベルに合わせて制限できます。セキュリティレベルを変更時の認証方法には、セキュリティレベル認証とオペレータ認証があります。</p> <p>セキュリティレベル：2 <span style="margin-left: 200px;">セキュリティレベル：10</span></p>  <p>オペレータ名、パスワードを 入力して高いセキュリティ レベルに変更します。</p> <p>変更したセキュリティレベル に合わせて、オブジェクトが 表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オペレータ認証 セキュリティレベル変更後、ユーザ別に設定したオペレータ情報により、認証を行う方式です。 オペレータ認証には、下記の認証方法があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) パスワード認証 (GT16, GT15, GT Soft GOT1000) ユーザが入力したオペレータ名とパスワードにより、認証を行います。</li> <li>(b) 外部認証 (GT16, GT15) 外部認証機器から入力された外部認証用IDにより、認証を行います。</li> </ul> </li> <li>・ セキュリティレベル認証 セキュリティレベル変更時、各セキュリティレベルに対応するパスワードで認証を行う方式です。</li> </ul> <p>セキュリティレベルを0から4に変更する</p>  <p>セキュリティレベル0 のパスワードを入力</p> <p>セキュリティレベル4 のパスワードを入力</p> <p>セキュリティ機能により、制限されていた オブジェクト機能が表示されます。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 5章</p>




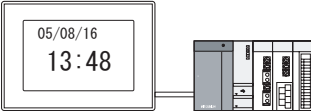

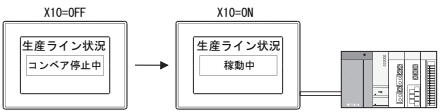
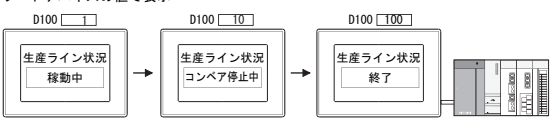
機能	概要	参照先
<p><b>ランプ表示</b></p> 	<p>ビットデバイスの ON/OFF や、ワードデバイスの値によってランプの点灯色を変更させる機能です。</p> <p><b>ビットランプ</b></p> 	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 3章</p>
<p><b>タッチスイッチ</b></p> 	<p>タッチして、ビットデバイスの ON/OFF を行ったり、GOT の画面を切り換えたりする機能です。</p> 	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 2章</p>
<p><b>数値表示 / 数値入力</b></p> 	<p>接続機器のデバイスに格納されているデータを GOT へ数値で表示したり、GOT から、接続機器のデバイスに、任意の値を書き込む機能です。</p> <p><b>数値表示</b></p>  <p><b>数値入力</b></p>  <p>タッチスイッチや、キーウィンドウで入力する</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 5章</p>


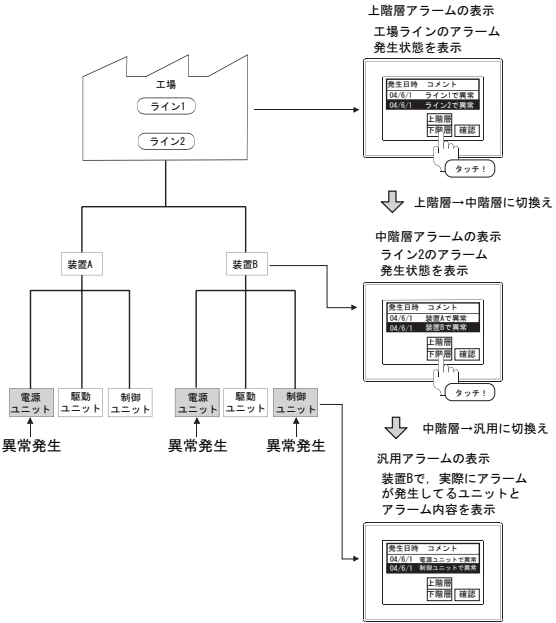
機能	概要	参照先																																					
<p>データリスト表示</p> 	<p>複数のワードデバイスの値を、表形式で表示する機能です。表の行番号や罫線は、自動的に表示されます。</p>  <table border="1" data-bbox="319 352 520 478"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>ライン名</th> <th>計画数</th> <th>生産数</th> <th>不良数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ライン1</td> <td>1000</td> <td>800</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ライン2</td> <td>500</td> <td>250</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ライン3</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ライン4</td> <td>900</td> <td>850</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="532 352 739 478"> <tbody> <tr> <td>D10:1000</td> <td>D11:800</td> <td>D12: 2</td> </tr> <tr> <td>D20: 500</td> <td>D21:250</td> <td>D22: 0</td> </tr> <tr> <td>D30: 800</td> <td>D31: 600</td> <td>D32: 1</td> </tr> <tr> <td>D40: 900</td> <td>D41:850</td> <td>D42: 3</td> </tr> </tbody> </table>	No.	ライン名	計画数	生産数	不良数	1	ライン1	1000	800	2	2	ライン2	500	250	0	3	ライン3	800	600	1	4	ライン4	900	850	3	D10:1000	D11:800	D12: 2	D20: 500	D21:250	D22: 0	D30: 800	D31: 600	D32: 1	D40: 900	D41:850	D42: 3	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 7章</p>
No.	ライン名	計画数	生産数	不良数																																			
1	ライン1	1000	800	2																																			
2	ライン2	500	250	0																																			
3	ライン3	800	600	1																																			
4	ライン4	900	850	3																																			
D10:1000	D11:800	D12: 2																																					
D20: 500	D21:250	D22: 0																																					
D30: 800	D31: 600	D32: 1																																					
D40: 900	D41:850	D42: 3																																					



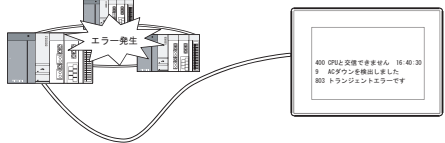

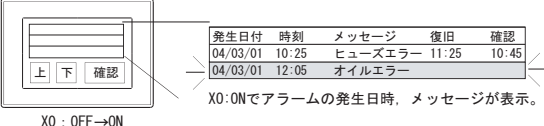
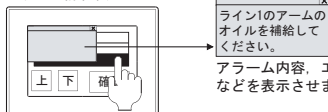
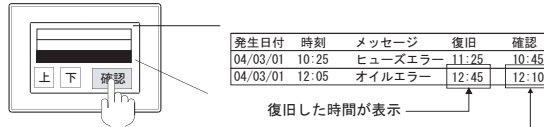
<p>ヒストリカルデータリスト表示</p> 	<p>ロギング機能で収集したデバイスのデータを、時系列にリスト表示する機能です。</p>  <p>通常は最新のデータを表示</p> <p>過去のデータを表示</p> <p>最新のデータを表示</p> <p>過去のデータ</p> <p>過去のデータ</p> <p>過去のデータ</p> <p>リスト表示範囲</p> <p>リスト表示範囲</p> <p>リスト表示範囲</p> <p>最新のデータ</p> <p>最新のデータ</p> <p>最新のデータ</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 8章</p>
	<p>* ヒストリカルデータリスト表示を使用するには、あらかじめロギング機能の設定が必要です。</p>	


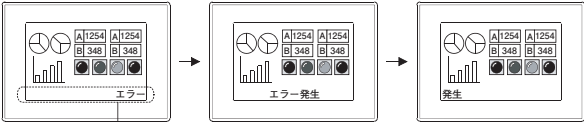


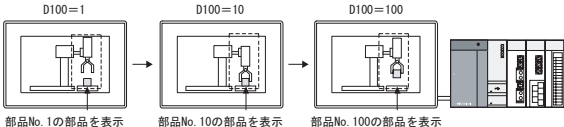


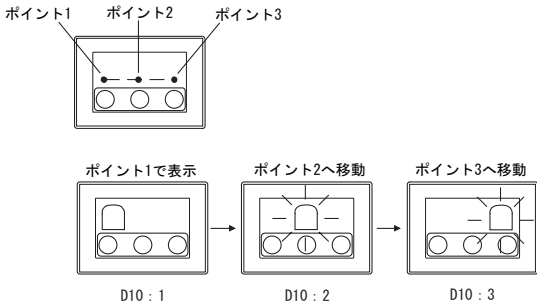


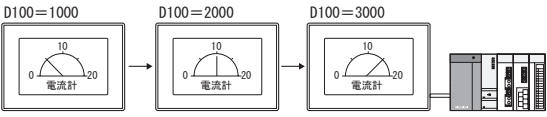

機能	概要	参照先
<p><b>アスキー表示 / アスキー入力</b></p> 	<p>ワードデバイスに格納されているデータを、文字コードとみなし、文字列を表示したり、入力した文字を文字コードで、ワードデバイスに書き込み機能です。</p> <p><b>アスキー表示</b></p>  <p>D10 4F8Eh (三) D11 4B95h (菱) D12 5851h (XQ) D13 3420h (4.) D14 0030h (0)</p> <p>D10 4F8Eh (三) D11 4B95h (菱) D12 5851h (XQ) D13 3420h (4.) D14 0032h (2)</p> <p><b>アスキー入力</b></p>  <p>文字をタッチスイッチや、キーウィンドウで入力する</p> <p>D10 0000h D11 0000h</p> <p>書き込みキー（キーコード：000Dh）により、入力された文字を文字コードで書き込む</p> <p>D10 4241h (BA) D11 4443h (DC)</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編） [SH-080837] 6章</p>
<p><b>かな漢字変換機能</b></p> 	<p>アスキー入力で入力したひらがなを漢字に変換する機能です。単文節の変換のみできます。</p>  <p>アスキー入力でひらがなを入力</p> <p>変換スイッチをタッチ</p> <p>ひらがなを漢字に変換</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編） [SH-080837] 6章</p>
<p><b>かな漢字変換機能 (機能拡張版)</b></p> 	<p>アスキー入力で入力したひらがなを漢字に変換する機能です。連文節（2語以上の単語を組み合わせさせた熟語）の変換ができます。また、変換する候補を候補選択ウィンドウで表示します。</p>  <p>初回変換時、変換候補が1つ表示される</p> <p>再変換時、候補選択ウィンドウが表示される</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル（作画編） [SH-080837] 6章</p>


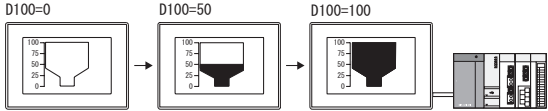


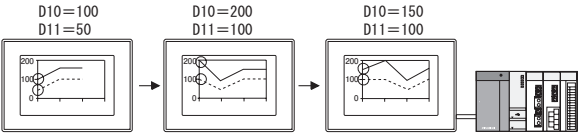


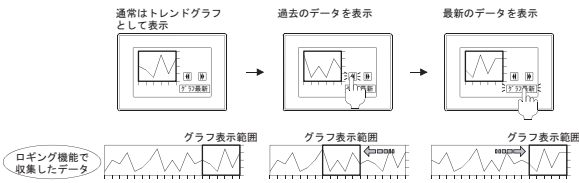


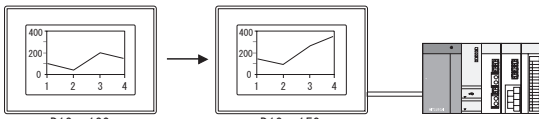


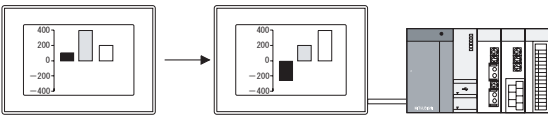

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

機能	概要	参照先
<p><b>時計表示</b></p> 	<p>GOT に日付や時間を表示する機能です。</p>  <p>* GOT16, GOT15, GT14, GT11, GT105□, GT104□, GT1030 : GOT またはシーケンサ CPU の時計データを使用します。  GT SoftGOT1000 : パソコンの時計データを使用します。  GT1020 : シーケンサ CPU の時計データを使用します。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 9章</p>
<p><b>コメント表示</b></p> 	<p>ビットデバイスの ON/OFF, またはワードデバイスの値に対応づけたコメントを表示する機能です。</p> <p>ビットデバイスの ON/OFF で表示</p>  <p>ビットデバイス OFF 時のコメント      ビットデバイス ON 時のコメント</p> <p>ワードデバイスの値で表示</p>  <p>コメント番号1のコメントを表示      コメント番号10のコメントを表示      コメント番号100のコメントを表示</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 10章</p>


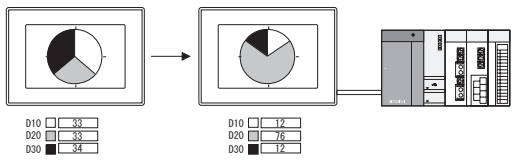
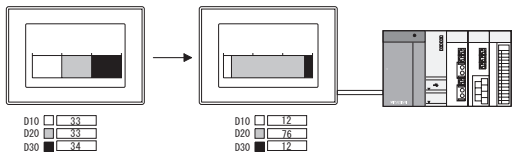

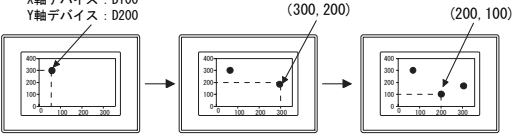

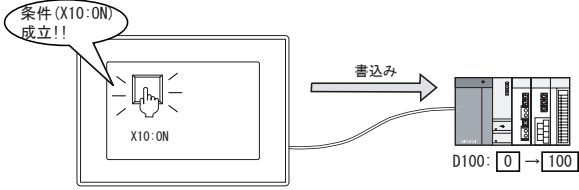

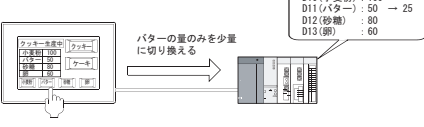
機能	概要	参照先
<p><b>拡張アラーム監視 / 表示</b></p> 	<p>従来のアラーム機能（システムアラーム，ユーザアラーム）を，大幅に拡張した機能です。1つのアラーム発生時に対するコメントを，3つの階層（上階層，中階層，汎用）に分けて表示できるので，大規模システムでのアラーム発生時などに，アラームの発生状況をより詳しく表示できます。</p>  <p>上階層アラームの表示 工場ラインのアラーム発生状態を表示</p> <p>上階層→中階層に切換え</p> <p>中階層アラームの表示 ライン2のアラーム発生状態を表示</p> <p>中階層→汎用に切換え</p> <p>汎用アラームの表示 装置Bで，実際にアラームが発生してるユニットとアラーム内容を表示</p>	<p>参照先</p> <p>GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 11章</p>

機能	概要	参照先																														
<p><b>アラーム表示</b></p> 	<p>ユーザが作成したアラーム（ユーザアラーム）や、システムのエラー（システムアラーム）を表示する機能です。（GT10 では、ユーザアラームのみ使用できます。）</p> <p>ユーザアラーム表示 ユーザが独自にアラームを作成して表示したい場合に使用します。</p>  <p>システムアラーム表示 接続機器、GOT、ネットワークのエラーを表示したい場合に使用します。</p> 	<p>GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル （作画編） [SH-080837] 11 章</p>																														
<p><b>アラーム履歴表示</b></p> 	<p>アラーム検出用として指定したデバイスの条件成立時（ビット ON → OFF 時 / ワードデバイス範囲）の発生時刻やコメントを GOT の内蔵メモリに保存して履歴の一覧を表示します。</p> <p>アラーム発生</p>  <table border="1" data-bbox="459 846 784 893"> <thead> <tr> <th>発生日付</th> <th>時刻</th> <th>メッセージ</th> <th>復旧</th> <th>確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>04/03/01</td> <td>10:25</td> <td>ヒューズエラー</td> <td>11:25</td> <td>10:45</td> </tr> <tr> <td>04/03/01</td> <td>12:05</td> <td>オイルエラー</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>X0:ONでアラームの発生日時、メッセージが表示。</p> <p>アラーム詳細表示</p>  <p>ライン1のアームのオイルを補給してください。</p> <p>アラーム内容、エラーの処置方法などを表示させます。</p> <p>詳細表示用のウィンドウは、コメントウィンドウ／ベース画面／ウィンドウ画面のいずれかで表示します。</p> <p>アラーム確認時刻／システム復旧</p>  <table border="1" data-bbox="481 1246 800 1293"> <thead> <tr> <th>発生日付</th> <th>時刻</th> <th>メッセージ</th> <th>復旧</th> <th>確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>04/03/01</td> <td>10:25</td> <td>ヒューズエラー</td> <td>11:25</td> <td>10:45</td> </tr> <tr> <td>04/03/01</td> <td>12:05</td> <td>オイルエラー</td> <td>12:45</td> <td>12:10</td> </tr> </tbody> </table> <p>復旧した時間が表示</p> <p>アラーム履歴表示用タッチスイッチでアラームの確認時刻を表示させます。</p>	発生日付	時刻	メッセージ	復旧	確認	04/03/01	10:25	ヒューズエラー	11:25	10:45	04/03/01	12:05	オイルエラー			発生日付	時刻	メッセージ	復旧	確認	04/03/01	10:25	ヒューズエラー	11:25	10:45	04/03/01	12:05	オイルエラー	12:45	12:10	<p>GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル （作画編） [SH-080837] 11 章</p>
発生日付	時刻	メッセージ	復旧	確認																												
04/03/01	10:25	ヒューズエラー	11:25	10:45																												
04/03/01	12:05	オイルエラー																														
発生日付	時刻	メッセージ	復旧	確認																												
04/03/01	10:25	ヒューズエラー	11:25	10:45																												
04/03/01	12:05	オイルエラー	12:45	12:10																												

機能	概要	参照先
<b>アラーム流れ表示</b> 	<p>アラームの発生時に、ユーザが作成したコメントをベース画面の右から左へ流れ表示する機能です。 表示は、アラームの発生原因を解消するまで繰り返し行います。 コメントの表示位置はベース画面の最上部、中央、最下部から選択できます。</p> <p>発生したアラームに対応したコメントが、右から左へ流れて表示されます。</p>  <p>アラーム流れ表示</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 11章
<b>部品表示</b> 	<p>登録した部品を、デバイスの状態に応じて表示する機能です。</p>  <p>部品No. 1の部品を表示      部品No. 10の部品を表示      部品No. 100の部品を表示</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 21章
<b>部品移動</b> 	<p>ワードデバイスの値により、部品の位置を変更して表示（移動表示）する機能です。</p> <p>「ポイント指定」により、部品の移動表示をする場合</p>  <p>ポイント1      ポイント2      ポイント3</p> <p>ポイント1で表示      ポイント2へ移動      ポイント3へ移動</p> <p>D10 : 1      D10 : 2      D10 : 3</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 22章
<b>パネルメータ表示</b> 	<p>ワードデバイスの値を、設定した上限値、下限値に対する相対値で、メータ（針の振れ）表示する機能です。</p>  <p>D100=1000      D100=2000      D100=3000</p> <p>電流計      電流計      電流計</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 13章

機能	概要	参照先
<b>レベル表示</b>  	<p>ワードデバイスの値を、設定した上限値/下限値に対する比率で、指定範囲内を塗りつぶす機能です。</p> 	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 12章
<b>トレンドグラフ</b>  	<p>ワードデバイスのデータを継続して収集し、トレンドグラフで表示する機能です。</p>  <p>グラフ1(―) : D10 グラフ2(⋯) : D11</p> <p>以降のグラフ表示を、スクロールしながらデータ収集を続けます。</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 15章
<b>ヒストリカル トレンドグラフ</b>  	<p>ロギング機能で収集したデバイスのデータを、トレンドグラフで時系列に表示する機能です。</p>  <p>通常はトレンドグラフとして表示</p> <p>過去のデータを表示</p> <p>最新のデータを表示</p> <p>ロギング機能で収集したデータ</p> <p>グラフ表示範囲</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 20章
<b>折れ線グラフ</b>  	<p>複数のワードデバイスのデータを一括で収集し、折れ線グラフで表示する機能です。</p>  <p>D10=100 D11=50 D12=200 D13=150</p> <p>D10=150 D11=100 D12=250 D13=350</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 14章
<b>棒グラフ</b>  	<p>ワードデバイスのデータを収集し、棒グラフで表示する機能です。</p>  <p>■ 100 □ 400 □ 200</p> <p>■ -200 □ 200 □ 400</p>	 GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 16章



機能	概要	参照先																								
<p><b>統計グラフ</b></p> 	<p>収集した複数のワードデバイスのデータ全体に対する割合で円／帯グラフ表示する機能です。</p> <p><b>統計円グラフ</b></p>  <table border="1" data-bbox="296 352 375 399"> <tr><td>D10</td><td>33</td></tr> <tr><td>D20</td><td>33</td></tr> <tr><td>D30</td><td>34</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="498 352 576 399"> <tr><td>D10</td><td>12</td></tr> <tr><td>D20</td><td>76</td></tr> <tr><td>D30</td><td>12</td></tr> </table> <p><b>統計帯グラフ</b></p>  <table border="1" data-bbox="296 572 375 619"> <tr><td>D10</td><td>33</td></tr> <tr><td>D20</td><td>33</td></tr> <tr><td>D30</td><td>34</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="498 572 576 619"> <tr><td>D10</td><td>12</td></tr> <tr><td>D20</td><td>76</td></tr> <tr><td>D30</td><td>12</td></tr> </table>	D10	33	D20	33	D30	34	D10	12	D20	76	D30	12	D10	33	D20	33	D30	34	D10	12	D20	76	D30	12	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 17章</p> <p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 18章</p>
D10	33																									
D20	33																									
D30	34																									
D10	12																									
D20	76																									
D30	12																									
D10	33																									
D20	33																									
D30	34																									
D10	12																									
D20	76																									
D30	12																									
<p><b>散布グラフ</b></p> 	<p>2つのワードデバイスの値を、X軸／Y軸の座標としてグラフに点を表示します。</p> <p>X軸デバイス：D100 Y軸デバイス：D200</p> 	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 19章</p>																								
<p><b>状態監視機能</b></p> 	<p>指定した条件が成立すると、デバイスのON/OFF、デバイス値の書き込みなどを行う機能です。</p> <p>条件(X10:ON)成立!!</p> 	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 27章</p>																								
<p><b>拡張レシピ機能</b></p> 	<p>レシピ機能を拡張した機能です。 レシピ設定数・デバイス点数・レコード点数が増加し、また、拡張レシピ設定、レコードを組み合わせ、柔軟なレシピデータの作成ができます。</p> <p>1種類の材料のみ量を変更する。</p> <table border="1" data-bbox="240 1293 375 1356"> <tr><td>クッキー</td><td>大量</td><td>少量</td></tr> <tr><td>小麦粉</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>バター</td><td>50</td><td>25</td></tr> <tr><td>砂糖</td><td>80</td><td>40</td></tr> <tr><td>卵</td><td>60</td><td>30</td></tr> </table> <p>パターンの量のみを少量に切り換える</p>  <table border="1" data-bbox="688 1293 823 1356"> <tr><td>D10(小麦粉)</td><td>100</td></tr> <tr><td>D11(バター)</td><td>50 → 25</td></tr> <tr><td>D12(砂糖)</td><td>80</td></tr> <tr><td>D13(卵)</td><td>60</td></tr> </table>	クッキー	大量	少量	小麦粉	100	50	バター	50	25	砂糖	80	40	卵	60	30	D10(小麦粉)	100	D11(バター)	50 → 25	D12(砂糖)	80	D13(卵)	60	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 25章</p>	
クッキー	大量	少量																								
小麦粉	100	50																								
バター	50	25																								
砂糖	80	40																								
卵	60	30																								
D10(小麦粉)	100																									
D11(バター)	50 → 25																									
D12(砂糖)	80																									
D13(卵)	60																									

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて




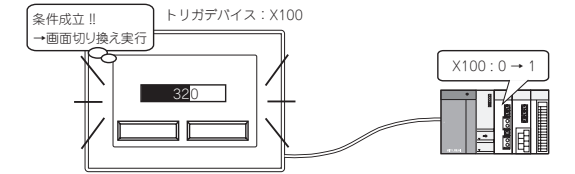

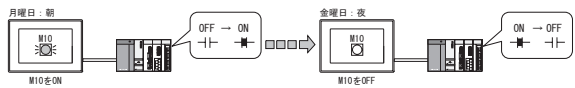

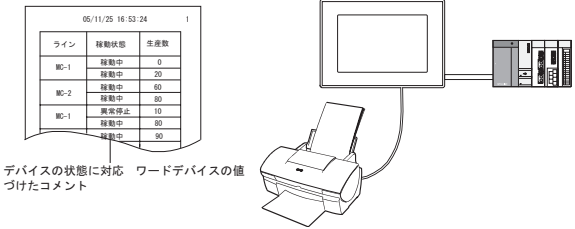
3 機能について


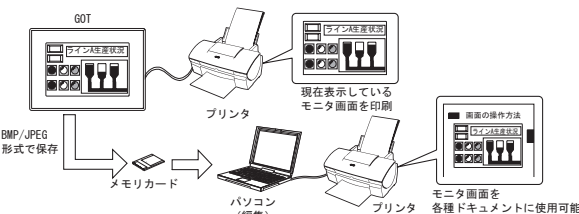

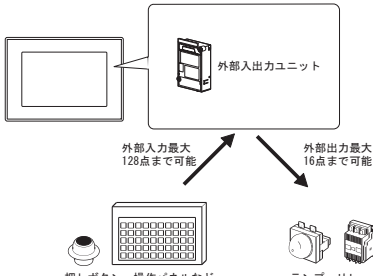

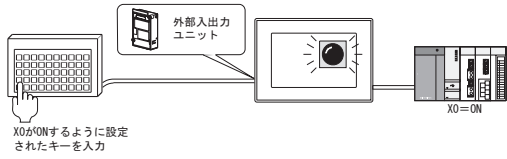
4 接続構成について


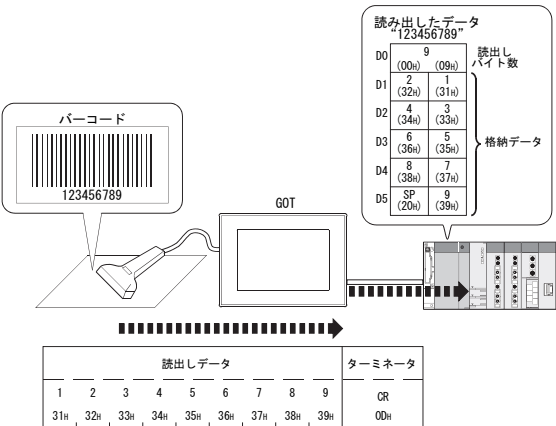

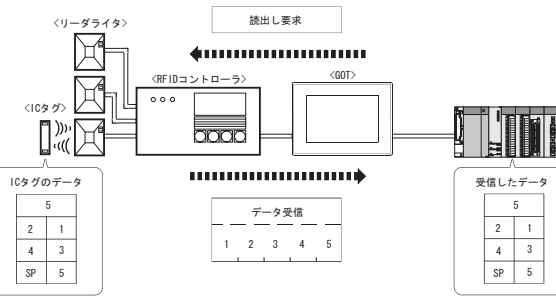
5 海外規格対応状況


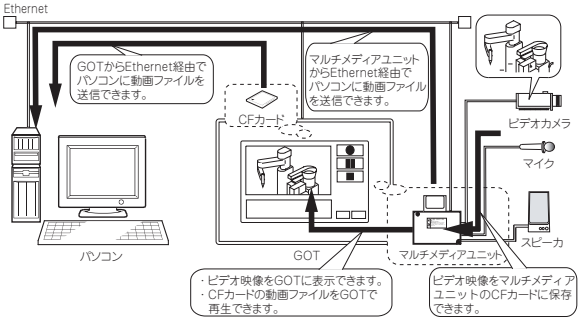

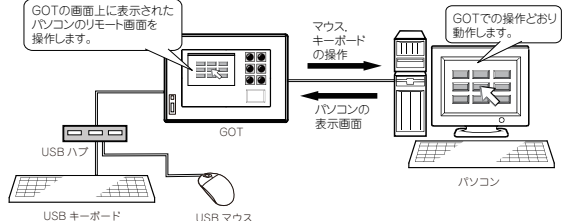
6 機器一覧

7 用語集

機能	概要	参照先																								
<p><b>レシピ機能</b></p> 	<p>材料の配合条件や加工条件などのデータ（デバイス値）を GOT 内に保持し、GOT から必要なデータをシーケンサ等へ書き込み・読出しする機能です。</p> <p>生産する製品により、使用する材料の量を変更する。</p> 	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 25 章</p>																								
<p><b>トリガクション機能</b></p> 	<p>指定した条件が成立時、画面切り換えを行う機能です。</p> 	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 28 章</p>																								
<p><b>タイムアクション機能</b></p> 	<p>設定された曜日・時刻になるとビットデバイスの ON/OFF、ワードデバイスへの値の書き込みなどを行う機能です。 GOT 本体の曜日・時刻で動作します。</p> <p>月曜日: 朝 M10をON</p>  <p>金曜日: 夜 M10をOFF</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 29 章</p>																								
<p><b>レポート機能</b></p> 	<p>生産管理や生産状況などのデータを収集して、収集したデータ内容を印字する機能です。 レポート機能では、以下の内容を印字できます。 ・ワードデバイスの値 ・デバイスの状態に対応づけたコメント</p>  <table border="1" data-bbox="266 1042 442 1183"> <thead> <tr> <th>ライン</th> <th>稼働状態</th> <th>生産数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC-1</td> <td>稼働中</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>MC-2</td> <td>稼働中</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稼働中</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稼働中</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>MC-1</td> <td>異常停止</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稼働中</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稼働中</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>デバイスの状態に対応、ワードデバイスの値づけたコメント</p> <p>* 下記の通信ユニットは、プリンタユニットと重ねて装着できません。 ・パス接続ユニット（薄型タイプ）：GT15-75QBUS(2)L、GT15-75ABUS(2)L ・MELSECNET/10 通信ユニット：GT15-75J71LP23-Z、GT15-75J71BR13-Z ・CC-Link 通信ユニット：GT15-75J61BT13-Z * GT16 ハンディでは使用できません。</p>	ライン	稼働状態	生産数	MC-1	稼働中	0	MC-2	稼働中	20		稼働中	60		稼働中	80	MC-1	異常停止	10		稼働中	80		稼働中	90	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 39 章</p> <p>➤ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 13 章</p>
ライン	稼働状態	生産数																								
MC-1	稼働中	0																								
MC-2	稼働中	20																								
	稼働中	60																								
	稼働中	80																								
MC-1	異常停止	10																								
	稼働中	80																								
	稼働中	90																								

機能	概要	参照先
<p><b>ハードコピー機能</b></p> 	<p>現在表示している GOT のモニタ画面をプリンタで印刷したり、BMP/JPEG ファイル形式でメモリカードに保存する機能です。メモリカードに保存した BMP/JPEG ファイルは、パソコン上で各種ドキュメントに使用できます。</p>  <p>* 下記の通信ユニットは、プリンタユニットと重ねて装着できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス接続ユニット (薄型タイプ) : GT15-75QBUS(2)L, GT15-75ABUS(2)L</li> <li>・ MELSECNET/10 通信ユニット : GT15-75J71LP23-Z, GT15-75J71BR13-Z</li> <li>・ CC-Link 通信ユニット : GT15-75J61BT13-Z</li> </ul> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p> <p>* GT10 はメモリカードが使用できないため、ファイル出力ができません。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 40 章</p> <p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 13 章</p>
<p><b>外部入出力機能</b></p> 	<p>外部入出力ユニットを使用して、外部からの入力や、外部への出力 (ランプやリレー) を行う機能です。外部入出力機能を使用する場合、GT Designer2 の設定は不要です。</p>  <p>外部入力最大 128 点まで可能</p> <p>外部出力最大 16 点まで可能</p> <p>押しボタン、操作パネルなど</p> <p>ランプ、リレー</p> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 37 章</p> <p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 7 章</p>
<p><b>操作パネル機能</b></p> <p>*</p> 	<p>外部入出力ユニットを使用して、操作パネルから入力操作 (タッチ入力、数値入力、画面切換えなど) を行う機能です。操作パネル機能を使用する場合、GT Designer2 で操作パネルの設定をします。</p>  <p>X0がONするように設定されたキーを入力</p> <p>X0=ON</p> <p>* GT SoftGOT1000 は、キーボード入力機能を使用することで、操作パネル機能と同等の操作ができます。</p> <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 37 章</p> <p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 7 章</p>

機能	概要	参照先
<p>バーコード機能</p> 	<p>GOT 本体にバーコードリーダを接続して、バーコードリーダで読み出したデータを接続機器に書き込む機能です。 バーコードリーダは、GOT の RS-232 インタフェースに接続します。</p>  <p>* GOT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル ( 作画編 ) [SH-080837] 31 章</p> <p>☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル ( マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編 ) GT Works3 対応 [SH-080841] 9 章</p>
<p>RFID 機能</p> 	<p>GOT 本体に RFID コントローラを接続して、リーダライタでデータの送信、受信を行い、受信したデータをデバイスに書き込む機能です。 RFID コントローラは、GOT の RS-232 インタフェースに接続します。</p>  <p>* GOT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル ( 作画編 ) [SH-080837] 32 章</p> <p>☞ GOT1000 シリーズ接続 マニュアル ( マイコン・ 周辺機器接続編 ) GT Works3 対応 [SH-080841] 15 章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>マルチメディア機能</b></p> 	<p>マルチメディア機能は、マルチメディアユニットに接続したビデオカメラの映像を表示／録画したり、CFカードに保存した動画ファイルを再生する機能です。</p> <p>録画したビデオ映像は、マルチメディアユニットに装着したCFカードに保存されます。</p> <p>保存した動画ファイルは、Ethernet 経由で GOT / マルチメディアユニットからパソコンに送信できます。</p>  <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 36 章</p> <p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 14 章</p> <p>➡ GT16 本体取扱説明書 (基本ユーティリティ編) [SH-080924] 2 章</p>
<p><b>パソコンリモート操作 (Ethernet)</b></p> 	<p>Ethernet 経由で、GOT からパソコンを操作する機能です。</p> <p>USB マウス / キーボード機能を組み合わせることで、USB マウス、キーボードを使用できます。</p> <p>サーバ用の OS がインストールされたパソコンを使用すれば、ターミナルサーバ機能により複数の GOT からパソコンリモート操作 (Ethernet) を行うこともできます。</p>  <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作画編) [SH-080837] 33 章</p> <p>➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 10 章</p>

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて


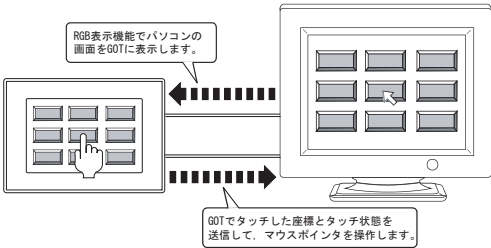

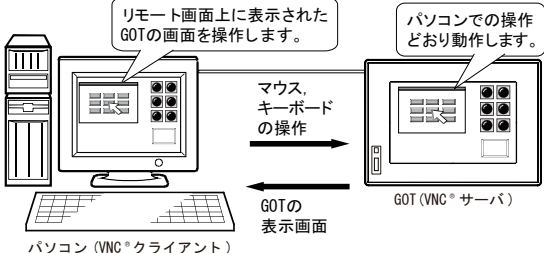

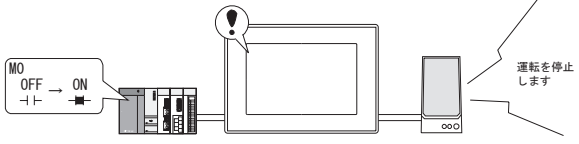
3 機能について


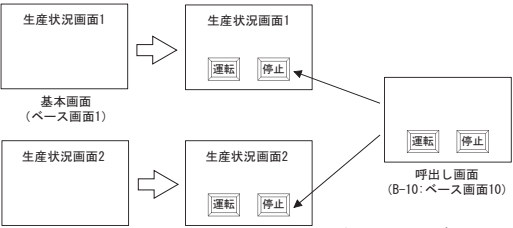

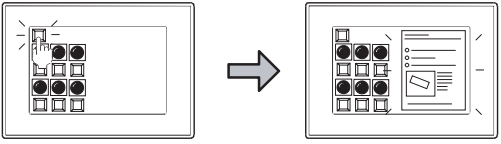
4 接続構成について


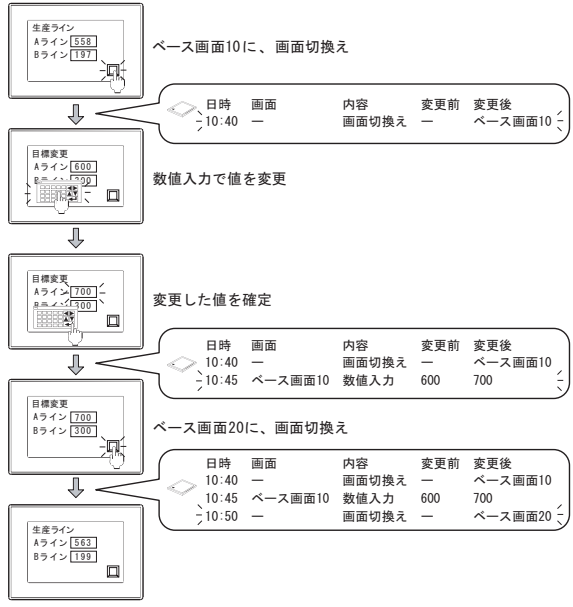

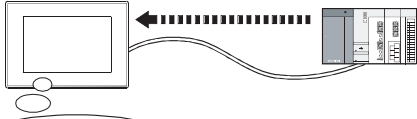
5 海外規格対応状況

6 機器一覧


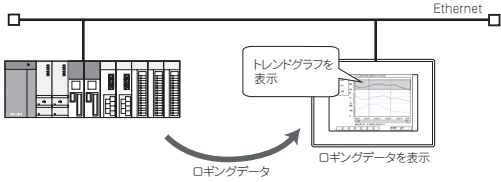
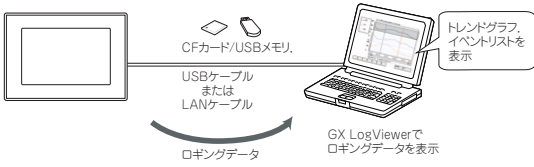

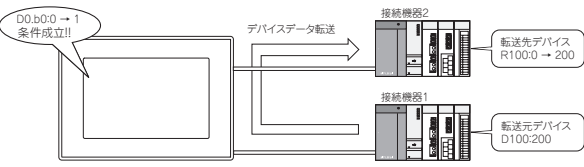
7 用語集


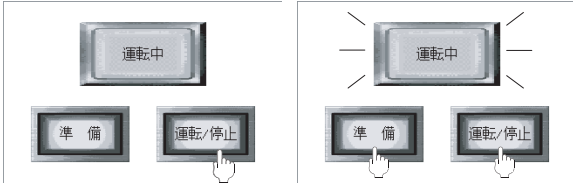
機能	概要	参照先
<p>パソコン リモート操作 (シリアル)</p> 	<p>RGB表示機能を使用して、GOTに表示したパソコンの画面をタッチすることにより、パソコンのマウスポインタを操作する機能です。 USBマウス/キーボード機能を組み合わせることで、USBマウスを使用できます。(GT16のみ)</p>  <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 33章</p> <p>➤ GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 10章</p>
<p>VNC® サーバ 機能</p> 	<p>Virtual Network Computing(VNC®)により、Ethernet 経由で遠隔地にあるパソコンから GOT をリモート操作する機能です。 GOT を VNC® サーバ、パソコンを VNC® クライアントとして使用します。</p>  <p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 34章</p> <p>➤ GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 11章</p> <p>➤ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 65章</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 41章</p> <p>➤ GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 6章</p>
<p>音声出力機能</p> 	<p>GOT に接続したスピーカなどから音声を出力する機能です。 音声出力は以下の機能で使用できます。 ・ タッチスイッチ機能 ・ 状態監視機能 ・ タイムアクション機能 GOT で音声を出力するには、本設定で、出力する音声ファイルを登録する必要があります。</p>  <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➤ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 41章</p> <p>➤ GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・ MODBUS・ 周辺機器接続編) GT Works3 対応 [SH-080841] 6章</p>

機能	概要	参照先
<p><b>画面呼出し機能</b></p> 	<p>基本となる画面上に、他のベース画面やウィンドウ画面を呼び出して、1つの画面として表示します。 複数の画面に同一オブジェクトを設定したい場合、メモリ容量を節約できます。</p>  <p>タッチスイッチ専用の画面を作成し、各画面から呼び出します。</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 10章</p>
<p><b>ドキュメント表示機能</b></p> 	<p>パソコンで作成したドキュメント (Microsoft® Word や Microsoft® Excel など) を GOT に表示する機能です。 仕様書やマニュアルなどのドキュメントを GOT に表示できるので、トラブルシューティング用の画面にドキュメントを流用したり、モニタ中に操作用のドキュメントを表示したりできます。</p>  <p>スイッチなどを操作するためのドキュメントを GOT に表示する</p>	<p>☞ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (共通編) [SH-080836] 10章</p>


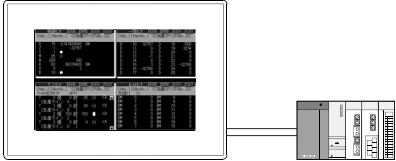

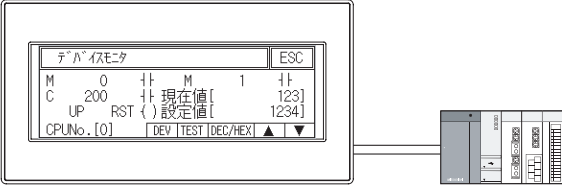

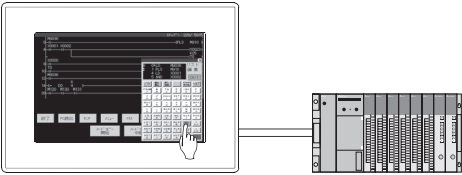

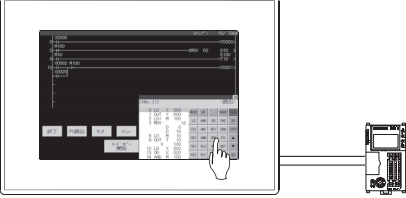
機能	概要	参照先																																													
<p><b>操作ログ機能</b></p> 	<p>ユーザが GOT に対して行った操作を、履歴としてメモリカードに保存する機能です。</p> <p>操作を履歴として保存しておけば、製造現場でのトラブル発生時、原因調査などに使用できます。</p> <p>保存した履歴は、以下の方法で確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GOT のユーティリティで表示</li> <li>・ CSV ファイル / Unicode テキストファイルに保存してパソコンで表示</li> </ul>  <p>ベース画面10に、画面切換え</p> <table border="1" data-bbox="397 431 812 486"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>画面</th> <th>内容</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:40</td> <td>—</td> <td>画面切換え</td> <td>—</td> <td>ベース画面10</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値入力で値を変更</p> <p>変更した値を確認</p> <table border="1" data-bbox="397 674 812 736"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>画面</th> <th>内容</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:40</td> <td>—</td> <td>画面切換え</td> <td>—</td> <td>ベース画面10</td> </tr> <tr> <td>10:45</td> <td>ベース画面10</td> <td>数値入力</td> <td>600</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>ベース画面20に、画面切換え</p> <table border="1" data-bbox="397 791 812 870"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>画面</th> <th>内容</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:40</td> <td>—</td> <td>画面切換え</td> <td>—</td> <td>ベース画面10</td> </tr> <tr> <td>10:45</td> <td>ベース画面10</td> <td>数値入力</td> <td>600</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>10:50</td> <td>—</td> <td>画面切換え</td> <td>—</td> <td>ベース画面20</td> </tr> </tbody> </table>	日時	画面	内容	変更前	変更後	10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10	日時	画面	内容	変更前	変更後	10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10	10:45	ベース画面10	数値入力	600	700	日時	画面	内容	変更前	変更後	10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10	10:45	ベース画面10	数値入力	600	700	10:50	—	画面切換え	—	ベース画面20	<p>→ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 23章</p>
日時	画面	内容	変更前	変更後																																											
10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10																																											
日時	画面	内容	変更前	変更後																																											
10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10																																											
10:45	ベース画面10	数値入力	600	700																																											
日時	画面	内容	変更前	変更後																																											
10:40	—	画面切換え	—	ベース画面10																																											
10:45	ベース画面10	数値入力	600	700																																											
10:50	—	画面切換え	—	ベース画面20																																											
<p><b>ロギング機能</b></p> 	<p>任意のタイミングまたは周期で接続機器のデバイス値を収集し、蓄積する機能です。</p> <p>収集したデータは、ヒストリカルトレンドグラフで表示、または CSV ファイル / Unicode テキストファイルに保存してパソコンで表示できます。</p>  <p>ロギングデータ</p> <table border="1" data-bbox="308 1238 593 1340"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>ライン1</th> <th>ライン2</th> <th>ライン3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2005/03/26 10:30:00</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>2005/03/26 10:30:10</td> <td>152</td> <td>98</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>2005/03/26 10:30:20</td> <td>158</td> <td>95</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>2005/03/26 10:30:30</td> <td>170</td> <td>92</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	日 時	ライン1	ライン2	ライン3	2005/03/26 10:30:00	150	100	250	2005/03/26 10:30:10	152	98	260	2005/03/26 10:30:20	158	95	270	2005/03/26 10:30:30	170	92	280	<p>→ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 24章</p>																									
日 時	ライン1	ライン2	ライン3																																												
2005/03/26 10:30:00	150	100	250																																												
2005/03/26 10:30:10	152	98	260																																												
2005/03/26 10:30:20	158	95	270																																												
2005/03/26 10:30:30	170	92	280																																												



機能	概要	参照先
<p><b>ログビューア機能</b></p> 	<p>ログビューアは、高速データロガーユニット、LCPUで取得したロギングデータを GOT で表示させたり、ファイル管理を行うことができます。</p> <p>ロギングデータをパソコンレスで表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ログビューアを使用することで、高速データロガーユニット、LCPUのCFカードまたはSDカードに保存したロギングデータを GOT で閲覧できます。</li> <li>GOT に装着している CF カードまたは USB メモリにロギングデータを格納して、GOT で表示できます。</li> </ul>  <p>ロギングデータを GOT から取出しが可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高速データロガーユニット、LCPU から取得したロギングデータを GOT からパソコンへ取出しできます。</li> </ul> 	<p>1 GOT について</p> <p>2 ソフトウェアについて</p> <p>3 機能について</p> <p>4 接続構成について</p> <p>5 接続構成について</p> <p>6 海外規格対応状況</p> <p>7 機器一覧</p> <p>→ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・オプション機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 16 章</p>
<p><b>デバイスデータ転送機能</b></p> 	<p>デバイスデータ転送機能は、任意のタイミングまたは周期で、指定したデバイスの値を読み出して、別のデバイスに書き込む機能です。</p>  <p>D0:b0:0 → 1 条件成立!!</p> <p>デバイスデータ転送</p> <p>接続機器2 転送先デバイス R100:0 → 200</p> <p>接続機器1 転送元デバイス D100:200</p>	<p>→ GT Designer3 Version1 画面設計 マニュアル (作画編) [SH-080837] 26 章</p>


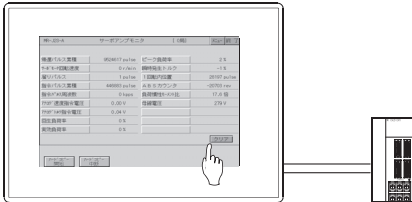

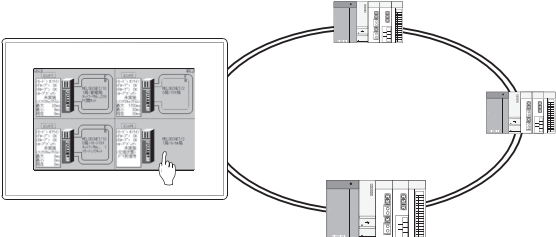

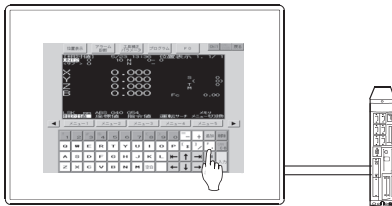
機能	概要	参照先
<p>スクリプト機能</p> 	<p>GOT 独自のプログラム（スクリプト）を組むことにより、より複雑な GOT の表示制御ができる機能です。  GOT の表示制御を GOT 側のスクリプトで行うことにより、システム側（接続機器）の表示に関する負荷を大幅に軽減することができます。</p> <p>例) タッチスイッチにインタロックを設定する</p>  <p>準備 スwitchをONせずに 運転/停止 スwitchを ONしても 運転中 ランプは点灯しません</p> <p>準備 スwitchと 運転/停止 スwitchをONすると 運転中 ランプが点灯します</p> <p>* GOT11 は、オブジェクトスクリプト機能を使用できません。</p>	<p>➡ GT Designer3  Version1  画面設計  マニュアル  （作画編）  [SH-080837]  30 章</p>


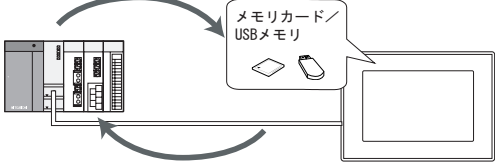

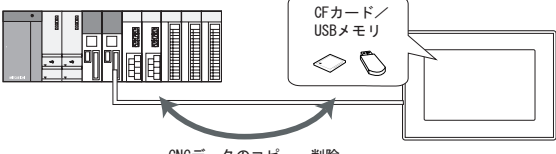

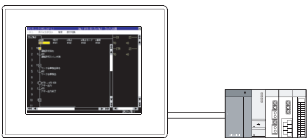


● 保全機能


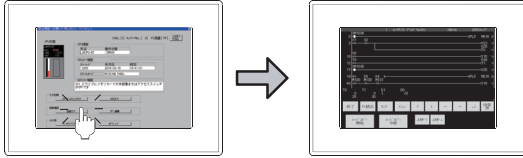


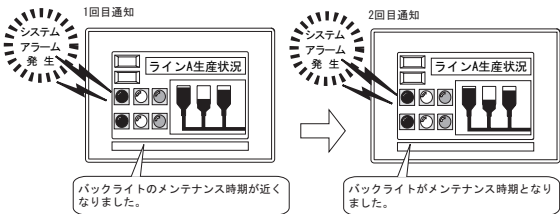
機能	概要	参照先
<p>システムモニタ機能</p> 	<p>専用の画面を使用して、シーケンサ CPU のデバイス、インテリジェント機能ユニットのバッファメモリをモニタ、テストする機能です。デバイスチェック用の保全画面を準備する必要がなくなります。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応 [SH-080849] 2 章</p>
<p>デバイスモニタ機能</p> 	<p>接続している FA 機器のデバイスに対して、強制 ON/OFF や設定値、現在値の変更が行えます。</p> 	<p>➡ GT10 本体取扱説明書 [JY997D2410] 14 章</p>
<p>A リスト編集機能</p> 	<p>ACPU のシーケンスプログラムをリスト編集できます。現場での簡単なプログラム変更が、GOT で行えます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応 [SH-080849] 4 章</p>
<p>FX リスト編集機能</p> 	<p>FXCPU のシーケンスプログラムをリスト編集できます。現場での簡単なプログラム変更が、GOT で行えます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応 [SH-080849] 5 章</p>

\* GT1030、GT1020 では使用できません。

機能	概要	参照先
<p><b>回路モニタ機能</b></p>	<p>専用の画面を使用して、シーケンサ CPU のシーケンスプログラムをラダー形式でモニタできます。回路モニタ機能を使用すると、故障の原因究明が GOT で行えます。</p>	<p>☞ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 3章</p>
<p><b>ラダー編集機能</b></p>	<p>専用の画面を使用して、シーケンサ CPU のシーケンスプログラムをラダー図形式で編集できます。</p>	<p>☞ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 14章</p>
<p><b>インテリジェントユニットモニタ機能</b></p>	<p>専用の画面を使用して、インテリジェント機能ユニットのパツファメモリを専用画面でモニタ、データ変更できます。また、入出力ユニットの信号状態をモニタできます。</p>	<p>☞ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 6章</p>
<p><b>Q モーションモニタ機能</b></p>	<p>専用の画面を使用して、モーションコントローラ CPU (Q シリーズ) のサーボモニタ、パラメータ設定ができます。</p>	<p>☞ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 8章</p>

機能	概要	参照先
<p>サーボアンブ モニタ機能</p> 	<p>専用の画面を使用して、サーボアンブの各種のモニタ機能、パラメータ変更、テスト運転などができます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 9章</p>
<p>ネットワーク モニタ機能</p> 	<p>専用の画面を使用して、CC-Link IE コントローラネットワーク、MELSECNET/H、MELSECNET/10、MELSECNET (II)、MELSECNET/B のネットワーク状態をモニタできます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 7章</p>
<p>CNC モニタ機能</p> 	<p>専用の画面を使用して、MELDAS 専用表示器と同等の位置表示モニタ、アラーム診断モニタ、工具補正パラメータ、プログラムデータなどができます。</p>  <p>* GT16 ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 (拡張機能・ オプション 機能編) GT Works3 対応 [SH-080849] 10章</p>

機能	概要	参照先
<p>バックアップ/ リストア機能</p> 	<p>GOT と接続した接続機器の設定情報（シーケンスプログラム、パラメータ、設定値など）を、GOT に装着したメモリカードに保存（バックアップ）して、必要に応じて保存した設定を機器に戻す（リストア）ことができます。システムのバックアップ / リストアを、パソコンなしで行うことができます。</p> <p>接続機器の設定情報をメモリカード / USBメモリにバックアップ</p>  <p>メモリカード / USBメモリ</p> <p>バックアップした接続機器 の設定情報をリストア</p> <p>* USBメモリは、GT16のみ対応します。</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 （拡張機能・ オプション 機能編） GT Works3 対応 [SH-080849] 11章</p>
<p>CNC データ入 出力機能</p> 	<p>GOT と接続した CNC に対して、加工プログラムやパラメータなどのコピーや削除が行えます。</p>  <p>CFカード / USBメモリ</p> <p>CNCデータのコピー, 削除</p> <p>* USBメモリは、GT16のみ対応します。 * GT16ハンディでは使用できません。</p>	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 （拡張機能・ オプション 機能編） GT Works3 対応 [SH-080849] 12章</p>
<p>SFC モニタ機 能</p> 	<p>専用の画面を使用して、シーケンサ CPU のプログラムを SFC 図形式（MELSAP3 形式、MELSAP-L 形式）でモニタできます。SFC モニタ機能を使用すると、故障の原因究明が GOT で行えます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 （拡張機能・ オプション 機能編） GT Works3 対応 [SH-080849] 13章</p>
<p>モーション SFC モニタ 機能</p> 	<p>モーション SFC モニタは、GOT と接続したモーションコントローラ CPU(Q シリーズ)内のモーション SFC プログラムのモニタ、およびデバイス値のモニタを行うことができます。</p> 	<p>➡ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書 （拡張機能・ オプション 機能編） GT Works3 対応 [SH-080849] 17章</p>

機能	概要	参照先
<b>MELSEC-L トラブル シュート機能</b>  	<p>MELSEC-L トラブルシュートは、GOT と接続した LCPU の状態、エラーの表示や、GOT のエラーを表示できます。また、MELSEC-L トラブルシュート画面から回路モニタなどを起動し、トラブルシュートやメンテナンスが行えます。</p>  <p style="text-align: center;">MELSEC-L トラブルシュート画面から回路モニタを起動</p>	<p>☞ GOT1000 シリーズ 本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編） GT Works3 対応 [SH-080849] 15 章</p>
<b>メンテナンス 時期通知機能</b>   	<p>バックライトの通電時間（タッチキーの押下回数、内蔵フラッシュメモリへの書き込み回数）などを自動でカウントし、メンテナンス時期を 2 段階で通知することができます。</p> 	<p>☞ GT16 本体取扱説明書（基本ユーティリティ編） 2 章 [SH-080924] 2 章</p> <p>☞ GT15 本体取扱説明書 [SH-080507] 16 章</p> <p>☞ GT16 ハンディ GOT 取扱説明書 [JY997D40501, JY997D40502] 11 章</p>





## 4. 接続構成について

GOT1000 シリーズでは、三菱シーケンサをはじめ様々な FA 機器と接続できます。  
GOT を接続する機器を選んでご参照ください。

4.1 三菱電機製シーケンサ .....	102
4.2 三菱電機製その他の機器 .....	200
4.3 他社製シーケンサ.....	227
4.4 他社製その他の機器.....	264
4.5 マイコン接続.....	270
4.6 MODBUS(R) 接続 .....	276
4.7 他社温度調節器 .....	283
4.8 その他の機器 .....	300
4.9 注意事項 .....	315

## 4. 接続構成について

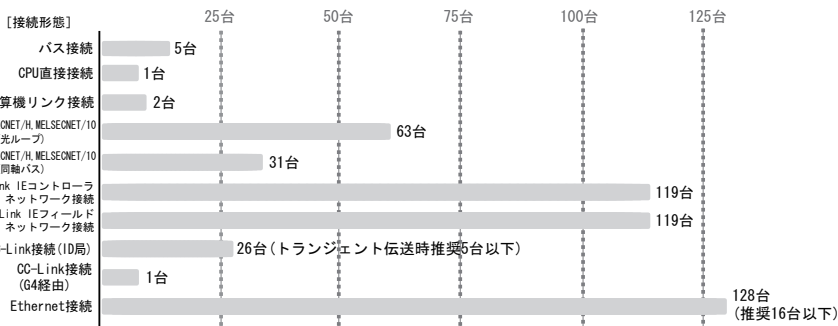
### 4.1 三菱電機製シーケンサ

#### 4.1.1 各接続形態について

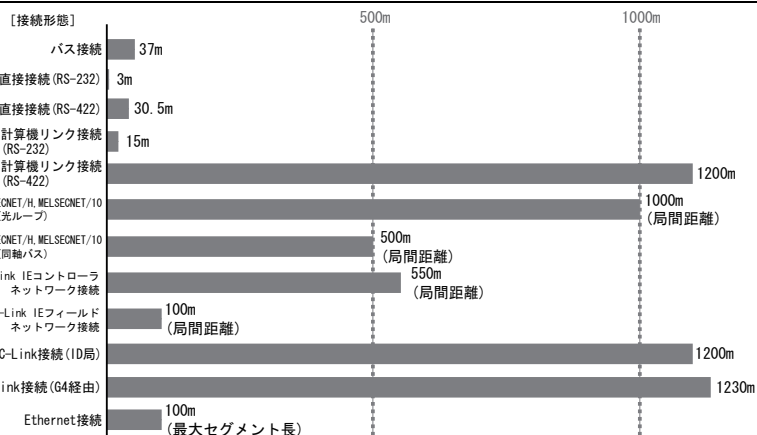
##### ● 各接続形態の特徴

接続形態	特徴
バス接続	タッチスイッチで押しボタンと同等の高速応答を実現できます。
CPU 直接接続	MELSEC-Q/L/QnA/A/FX シリーズと最も安価に接続できます。
計算機リンク接続	シリアル通信で簡単に GOT を接続できます。
MELSECNET/H、MELSECNET/10 接続 (PC 簡ネット)	複数台の GOT を遠隔操作ターミナルとして使用できます。
CC-Link IE コントローラネットワーク接続	大容量の高速通信を実現します。
CC-Link IE フィールドネットワーク接続	装置の制御データと管理データの混在に対応します。
CC-Link(ID) 接続	CC-Link システムのインテリジェントデバイス局として接続できます。
CC-Link(G4 経由) 接続	AJ65BT-G4-S3 または AJ65BT-R2N 経由で CC-Link システムと接続できます。
Ethernet 接続	Ethernet システムに GOT を組み込み、事務所から生産現場へのリモートメンテナンスが実現できます。

##### ● 接続可能な GOT の最大接続台数 (QCPU と接続時)



##### ● 接続可能な GOT の最大設置距離 (QCPU と接続時)



## ● GOT 機種選定システムについて

インターネットによる三菱電機 FA 機器技術情報サービスである MELFANSweb ホームページ (<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>) では、GOT 機種選定システムを用意しています。GOT 機種選定システムは、MELSEC シーケンサに対応する GOT の機種を選定するのに必要な項目を選択していただくと、選択した内容に合わせた、システム構成や必要な機器のリストが作成できます。「どの GOT を選定すればいいの?」「GOT を設置するには何が 필요한の?」が簡単にわかります。

① GOT と接続したいシーケンサを選択します。

② GOT の台数、機種を選択します。

GOT で使用する機能 (拡張機能・オプション機能) も選択できます。

③ 接続形態を選択します。

④ 必要なケーブル長を選択します。

品名	機種	台数	仕様	標準価格	合計
GT1675M-STBA	1	1	12.5m SVGA TFTカラー AC電源	¥390,000	¥390,000
GT15-QB002	1	1	10.4インチ液晶カラーパネル付(10.4インチ)	¥40,000	¥40,000
GT15-QC100	1	1	10.4インチ液晶カラーパネル付(10.4インチ)	¥40,000	¥40,000
GT1675M-STBA	1	1	10.4インチ SVGA TFTカラー AC電源	¥390,000	¥390,000
GT15-QB005	1	1	10.4インチ液晶カラーパネル付(10.4インチ)	¥20,000	¥20,000
GT15-QC100	1	1	10.4インチ液晶カラーパネル付(10.4インチ)	¥20,000	¥20,000
			合計	¥860,000	¥860,000

選択したシステム構成の結線図が表示されます。

選択したシステム構成に必要な機器のリストが表示されます。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続形態について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 機器一覧  
用語集

## ● 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11											GT SoftGOT1000											GT10				
		接続形態						接続形態					接続形態		接続形態		接続形態											
		H/A接続 ※3	CPU直接接続	計算機リンク ※1	MELSEC NET/H ※1	CCLink (E)プロトコ クォーター*1	CCLink (D) ※1	Ethernet ※1	CCLink (G4経由)	CCLink (ID)	Ethernet	CCLink (G4経由)	CCLink (ID)	CCLink (E)プロトコ クォーター	CCLink (E)プロトコ クォーター	MELSEC NET/H	計算機リンク	CPU直接接続	計算機リンク	MELSEC NET/H	USB 接続	CPU直接接続	計算機リンク	MELSEC NET/H	CCLink (E)プロトコ クォーター	CCLink (G4経由)	計算機リンク	CCLink (G4経由)
○	○																										○	○
MELSEC-Q シリーズ (Qモード)	Q00JCPU								X																		○	
	Q00CPU																X										○	
	Q01CPU																										○	
	Q02CPU																										○	
	Q02HCPU																										○	
	Q06HCPU																										○	
	Q12HCPU																										○	
	Q25HCPU																										○	
	Q02PHCPU																											○
	Q06PHCPU																											○
	Q12PHCPU																											○
	Q25PHCPU																											○
	二重化システム (基本ベース)	Q12PRHCPU	X	○	X	○	○	○	○	X							X											○
	二重化システム (増設ベース)	Q12PRHCPU	X	○	X	○	○	○	○	X							X											○
		Q25PRHCPU	X	X	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X							○
		Q00JCPU																										○
		Q00UCPU																										○
		Q01UCPU																										○
		Q02UCPU																										○
		Q03UDCPU																										○
Q04UDHCPU			○							X																	○	
Q06UDHCPU			○																								○	
Q10UDHCPU			○																								○	
Q13UDHCPU			○																								○	
Q20UDHCPU																											○	
Q26UDHCPU				○																							○	
Q03UDECPU																											○	
Q04UDEHCPU																											○	
Q06UDEHCPU																											○	
Q10UDEHCPU																											○	
Q13UDEHCPU																											○	
Q20UDEHCPU																											○	
Q26UDEHCPU		○							X																	○		
Q50UDEHCPU																										○		
Q100UDEHCPU																										○		
C言語コントロール	Q12DCCPU-V *6	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X						○		
MELSEC-QS シリーズ	QS001CPU	X	X	X	○	○	○	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	X	○	○	○	○	○	
	L02CPU																										○	
MELSEC-L シリーズ	L26CPU-BT	X	○	○	X	X	X	○	○	○	○	X	X	X	X	X	X	X	X	○						○		
	L02CPU-P																										○	
	L26CPU-PBT																										○	
MELSEC-Q シリーズ (Aモード)	Q02CPU-A	X	○		○	X	X	X	○	X	X	○	X	X	X	X	X	X	X	○						○		
	Q02HCPU-A																										○	
	Q06HCPU-A																										○	
MELSEC-QnA シリーズ (QnACPU タイプ)	Q2ACPU																										○	
	Q2ACPU-S1																										○	
	Q3ACPU																										○	
	Q4ACPU																										○	
	Q4RACPU	○			X	○	X	X	○	X	○	○	X	X	X	X	X	X	X	X	○						○	
MELSEC-QnA シリーズ (QnASoCPU タイプ)	Q2ASCPU																										○	
	Q2ASCPU-S1																										○	
	Q2ASHCPU																										○	
	Q2ASHCPU-S1																										○	
MELSEC-A シリーズ (AnCPU タイプ)	A2UCPU																										○	
	A2UCPU-S1																										○	
	A3UCPU																										○	
	A4UCPU																										○	
	A2ACPU	○	○	X		X	X	○	○	X	X	○	X	X	X	X	X	X	X	X	○						○	
	A2ACPU-FP21																										○	
	A2NCGPUR21																										○	
	A2ACPU-S1																										○	
	A2ACPU-FP21-S1																										○	
	A2ACPU-R21-S1																										○	
A3ACPU																										○		

- \* 1: GT16, GT15のみの対応となります。(GT14, GT16ハンディはEthernet接続のみ対応)
- \* 2: バス接続は, GT SoftGOT1000をパソコンCPUにインストールした場合のみ対応となります。
- \* 3: GT16, GT15, GT115 □-Q □BDQ, GT115 □-Q □BDAのみの対応となります。
- \* 4: GOTマルチドロップ接続に対応します。GT11ハンディは対応していません。
- \* 5: マルチCPUのQCPU経由(RS-232C)をアクセスしてください。
- \* 6: Q12DCCPU-VのシリアルNo. 上5桁12042以降を使用してください。
- \* 7: RS-232C接続する場合は, L6AD9-R2が必要です。
- \* 8: マルチCPUで他機種に管理されているC24シリアルポートを使用してください。
- \* 9: GT14は対応していません。



シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11											GT SoftGOT1000											GT10		
		接続形態											接続形態											接続形態		
		バス接続 ※3	CPU直接接続	計装機リンク	MELSEC NET/H	MELSEC NET/0	CC-Link IE 2ポート ※1	CC-Link IE 1ポート ※1	CC-Link (ID) ※1	CC-Link (G4経由)	Ethernet ※1	バス接続	CPU直接接続	計装機リンク	MELSEC NET/H	MELSEC NET/0	CC-Link IE 2ポート ※1	CC-Link IE 1ポート ※1	CC-Link (ID) ※1	CC-Link (G4経由)	Ethernet	CPU直接接続	計装機リンク	CC-Link (G4経由)		
CC-Link IE フィールドネットワークヘッドユニット	LJ72GF15-T2	x	x	o	x	x	x	o	x	x	x	x	o	x	o	x	x	x	x	x	x	o	x	x	x	
CC-Link IE フィールドネットワーク Ethernetアダプタユニット	NZ2GF-ETB	x	x	x	x	x	x	o	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	x	x	x		
CNC C70	Q173NCCPU	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o		
ロボット	CRnQ-700	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o		
コントローラ	CRnD-700	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o	x	x	x	x		
MELSEC-FXシリーズ	FX0																									
	FX0S																									
	FX0N																									
	FX1																									
	FX2																									
	FX2C																									
	FX1S										x															
	FX1N	x		x	x	x	x	x	x	x											o	x		x		
	FX2N																									
	FX1NC																									
	FX2NC																									
	FX3G																									
	FX3GC																									
FX3U																										
FX3UC										o										o						

- \* 1: GT16, GT15のみの対応となります。(GT14, GT16ハンディはEthernet接続のみ対応)
  - \* 2: バス接続は, GT SoftGOT1000をパソコンCPUにインストールした場合のみ対応となります。
  - \* 3: GT16, GT15, GT115□-Q□BDQ, GT115□-Q□BDAのみの対応となります。
  - \* 4: GOTマルチポート接続に対応します。GT111ハンディは対応していません。
  - \* 5: CRnQ-700のDISP I/Fは使用できません。
- EthernetユニットまたはマルチCPUのQCPUのEthernet経由でアクセスしてください。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。








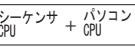



シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernetで接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernetで接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernetで接続時	GT1145□-Q□BDE	
	RS-232, RS-422で接続時	GT1115□-Q□BD	
GT11	バス接続時	GT1115□-Q□BDQ, GT1115□-Q□BDA	
	RS-232, RS-422で接続時	GT1115□-Q□BDQ, GT1115□-Q□BD	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422で接続時	GT1115□HS-Q□BD	
	GT105□	RS-232, RS-422で接続時	GT105□-Q□BD
GT10	GT104□	RS-232, RS-422で接続時	GT104□-Q□BD
	RS-232で接続時	GT1030-L□D2/L□DW2/H□D2/H□DW2, GT1020-L□D2/L□DW2 GT1030-L□D/L□DW/H□D/H□DW, GT1030-L□L□LW/H□L/H□LW, GT1020-L□D/L□DW, GT1020-L□L□LW (ただし, GT1030-L□L□LW/H□L/H□LW, GT1020-L□L□LWは, MELSEC-FXCPU接続のみ)	









## 4.1.2 バス接続

### システム構成

- ① QCPU (Q モード) / C 言語コントローラ / モーションコントローラ CPU (Q シリーズ) / CNC C70 / ロボットコントローラ

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU ・C言語 *6 コントローラ ・モーション *1 コントローラ CPU (Q シリーズ) ・CNC C70 *1 ・CRnQ-700 *1 	 GT15-QC□B GT15-QC□BS	複数のユニットを装着する場合  GT15-QBUS*2 GT15-QBUS2*2  1段のみで薄型タイプ  GT15-75QBUSL*2 GT15-75QBUS2L*2	 *5 GT16/GT15	最大接続台数 5台  最大接続距離 37 m
・Q170MCPUCPU *5 		不要 GOT本体に内蔵	 *5 GT11	詳細は 4.1.3 項を参照
<b>接続先</b>  シーケンサ + パソコン CPU *3 			 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	
			パソコンCPUにインストール 	

- ② QnA/ACPU/ モーションコントローラ CPU(A シリーズ)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QnA/ACPU ・モーション コントローラ CPU (A シリーズ) 	 QnA/ACPU GT15-C□NB GT15-AC□B GT15-A1SC□B GT15-A1SC□NB GT15-C□EXSS-1 GT15-C□BS GT15-J2C□B  モーション コントローラ (Aシリーズ) GT15-C□NB GT15-AC□B GT15-A1SC□B GT15-C□EXSS-1 GT15-C□BS GT15-A370C□B-S1 GT15-A370C□B	複数のユニットを装着する場合  GT15-ABUS*4 GT15-ABUS2*4  1段のみで薄型タイプ  GT15-75ABUSL*4 GT15-75ABUS2L*4	 GT16/GT15	最大接続台数 3台  最大接続距離 36.6 m
		不要 GOT本体に内蔵	 GT11	詳細は 4.1.3 項を参照

\* 1: マルチ CPU システムを構成してください。

\* 2: 下記の機能を使用する場合は、GT15-QBUS(2)をご使用ください。GT15-75QBUS(2)Lは使用できません。  
 マルチメディア機能、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、CF カードユニット / CF カード延長ユニットを使用する機能、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能  
 ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できません。

\* 3: パソコン CPU は、同一ベース上のシーケンサと接続します。

\* 4: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)Lは使用できません。  
 マルチメディア機能、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、CF カードユニット / CF カード延長ユニットを使用する機能、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能  
 ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。

\* 5: GT15-QC□B を直接、または増設ベースユニット (Q52B/Q55B) に接続してください。

\* 6: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。



接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □HS-Q □ BD

## ⚠ 注意事項

### ■ その他の注意事項

- GT15-C □ EXSS-1 のケーブル形状については、1.5 外形寸法をご参照ください。
- パソコンリモート操作機能、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、ビデオ /RGB 表示、RGB 出力、外部入出力、操作パネル機能、音声出力、マルチメディア機能、CF カードユニット /CF カード延長ユニットを使用する機能、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能使用時は、GT15-QBUS(2) または GT15-ABUS(2) をご使用ください。  
GT15-75QBUS(2)L, GT15-75ABUS(2)L は使用できません。  
ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。
- GOT を複数台接続する場合、GOT1000 シリーズ、GOT-A900 シリーズ、GOT800 シリーズ、A77GOT の混在はできません。
- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU, Q01CPU, Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- MELSEC-Q シリーズ(Q モード) の Q00JCPU, Q00UJCPU と接続時  
バス延長コネクタボックスを使用する場合は、増設ベースに装着してください。(基本ベースには装着できません)
- MELSEC-QnA シリーズ(QnACPU タイプ) の Q4ARCPU と接続時  
Q4ARCPU 二重化システムの場合、最終段の二重化用増設ベース A68RB (バージョン B 以降) に GOT をバス接続してください。
- MELSEC-A シリーズ(AnSCPU タイプ) の A1SJCPU, A1SJCPU-S3, A1SJHCPU と接続時  
増設ベースを接続している場合は、バス接続できません。
- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 K\*\*\*\*\* 以降、Q173CPU 製造番号 J\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合  
SV13, SV22, SV43 使用時、下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00E 以降、SW6RN-SV22Q □ : 00E 以降、SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
  - ・ Q172CPUN, Q173CPUN の場合  
SV13, SV22, SV43 使用時、下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
- モーションコントローラ CPU(A シリーズ)(小形タイプ) と接続時  
増設ベース使用時は、A168B をご使用ください。
- その他 バス接続時の注意事項については、4.1.3 バス接続の詳細をご参照ください。

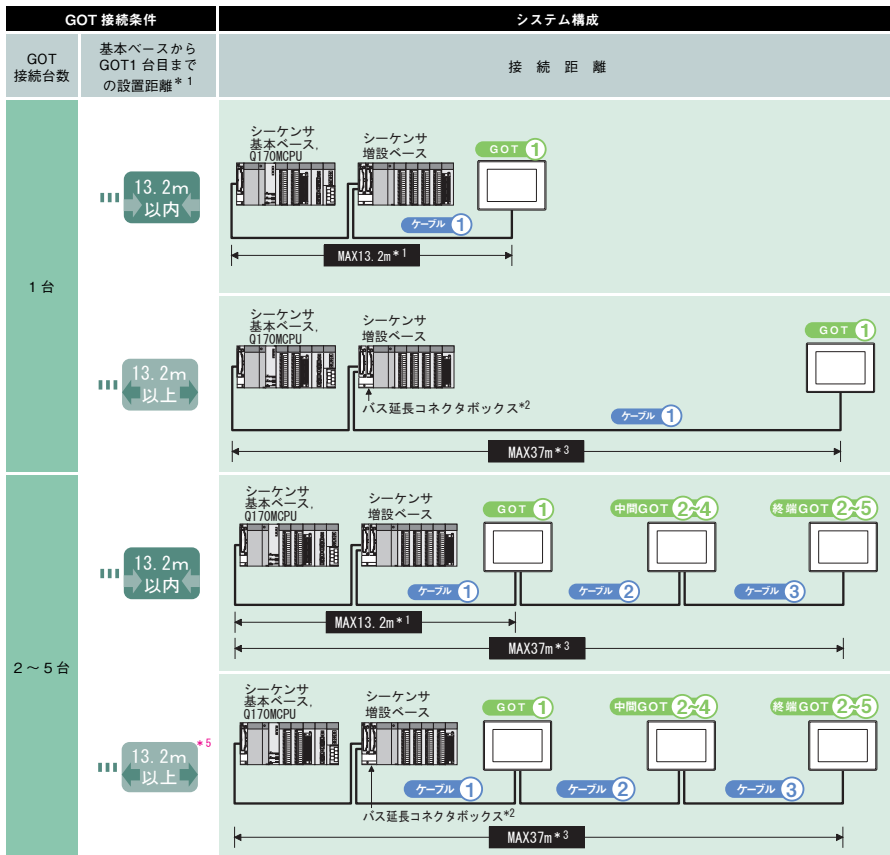
## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ バス接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 5 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- ➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.1.3 バス接続の詳細

## ● QCPU(Q モード)/ モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) との接続時

GOT最大接続台数  
5台



- \*1: 増設ベースユニットを使用時は、増設ケーブル長（ベースユニット間）をみます。
- \*2: 基本ベースの増設ベース間のケーブルについては、シーケンサ MELSEC-Q カタログ (L (全) 08032) をご覧ください。
- \*3: 1台目の GOT を 13.2m 以上離れた場所に設置する場合は、バス延長コネクタボックスが必要で、増設ベースユニットを使用しない場合は、基本ベースユニットに装着します。
- \*4: 増設ベースユニットを使用する場合、最終段の増設ベースユニットに装着します。
- \*5: (Q00JCPU と接続時は、基本ベースには装着できません。増設ベースに装着してください。)
- \*6: シーケンサの基本ベースから終端の GOT までのケーブル長の合計が 37m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \*7: ケーブル形名の見方 (例) 「GT15-QC □ B 06.0.6m」 → GT15-QC06B
- \*8: GOT を 3 台以上接続する場合、総ケーブル長により以下の制約があります。
- \*9: シーケンサ及び全ての GOT の電源を同一とし、全て同時に ON/OFF してください。

○: 制約なし △: 制約あり

GOT 接続台数	総ケーブル長			
	15m 以内	20m 以内	25m 以内	37m 以内
2 台以下	○	○	○	○
3 台	○	○	○	△
4 台	○	○	△	△
5 台	○	△	△	△

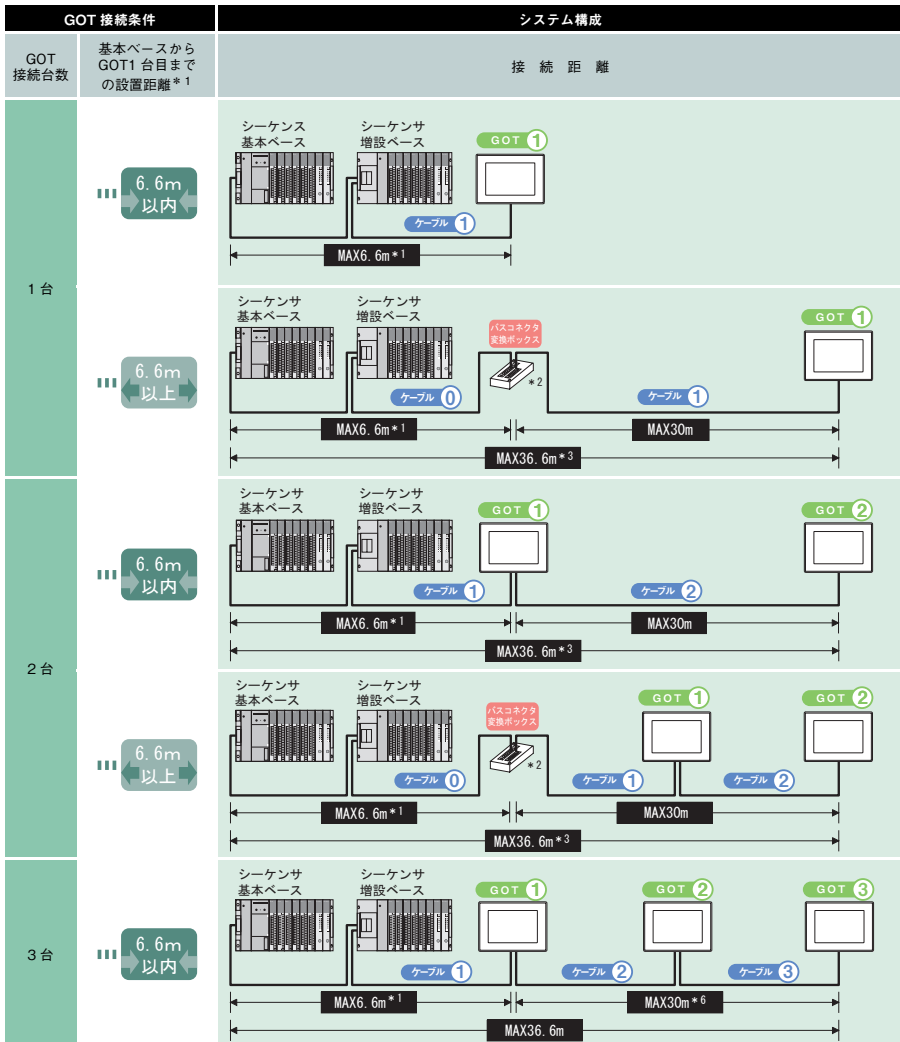
- \*6: 下記の機能を使用する場合は、GT15-QBUS(2) を使用ください。GT15-75QBUS(2L) は使用できません。
- マルチメディア機能、ビデオ/RGB 表示、RGB 出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、CF カードユニット /CF カード延長ユニット
- ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できません。
- \*7: GT115 □ (V) を接続専用) では、バス接続ユニットは不要です。



		GOT 本体		バス接続ユニット * 6				GOT 本体		バス接続ユニット * 6				GOT 本体		バス接続ユニット * 6		
	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L													
		12.1 型 GT1685	GT15-QBUS	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2													
		10.4 型 GT167 □		10.4 型 GT167 □														
		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □														
		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □														
		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655														
		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □														
		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)														
AGT-QC/NB	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m GT15-QC □ BS 150 : 15m 200 : 20m 250 : 25m 300 : 30m 350 : 35m	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L													
		12.1 型 GT1685	GT15-QBUS	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2													
		10.4 型 GT167 □		10.4 型 GT167 □														
		10.4 型 GT157 □		10.4 型 GT157 □														
		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □														
		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □														
		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655														
		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □														
		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)														
	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m	15 型 GT1695	GT15-750BUS2L	15 型 GT1595	GT15-QBUS	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m GT15-QC □ BS 150 : 15m 200 : 20m 250 : 25m 300 : 30m 350 : 35m	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2
		12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2						10.4 型 GT167 □	GT15-QBUS	10.4 型 GT167 □	GT15-QBUS2	10.4 型 GT157 □		10.4 型 GT157 □	
		10.4 型 GT167 □		10.4 型 GT167 □							8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □	
		10.4 型 GT157 □		10.4 型 GT157 □							8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □	
		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □							5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655	
		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □							5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □	
		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655							5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)	
		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □														
		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)														
AGT-QC/NB	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m GT15-QC □ BS 150 : 15m 200 : 20m 250 : 25m 300 : 30m 350 : 35m	15 型 GT1695	GT15-750BUS2L	15 型 GT1595	GT15-QBUS2	GT15-QC □ B 06 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m GT15-QC □ BS 150 : 15m 200 : 20m 250 : 25m 300 : 30m 350 : 35m	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L	15 型 GT1695	GT15-750BUSL	15 型 GT1595	GT15-750BUS2L	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2
		12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2	12.1 型 GT1685	GT15-QBUS2						10.4 型 GT167 □	GT15-QBUS	10.4 型 GT167 □	GT15-QBUS2	10.4 型 GT157 □		10.4 型 GT157 □	
		10.4 型 GT167 □		10.4 型 GT167 □							8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □	
		10.4 型 GT157 □		10.4 型 GT157 □							8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □	
		8.4 型 GT166 □		8.4 型 GT166 □							5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655	
		8.4 型 GT156 □		8.4 型 GT156 □							5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □	
		5.7 型 GT1655		5.7 型 GT1655							5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)	
		5.7 型 GT155 □		5.7 型 GT155 □														
		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)		5.7 型 GT115 □ * 4 (バス接続専用)														

## ● QnACPU タイプ、AnCPU タイプとの接続時

QnA、AnA、AnA接続時  
 3台  
 100m最大接続長さ  
 上記以外のCPU接続時  
 2台  
 100m最大接続長さ



- \*1: 増設ベースユニットを使用時は、増設ケーブル長（ベースユニット間）を含みます。  
 基本ベースは増設ベース間のケーブルについては、シーケンサ MELSEC-A/QnA カタログ（L（巻）08024）をご覧ください。
- \*2: 1台目の GOT を 6.6m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ変換ボックスが必要です。
- \*3: シーケンサの基本ベースから終端の GOT までのケーブル長の合計が 36.6m 以内になるようにケーブルを選定してください。



		GOT 本体		バス接続ユニット*7				GOT 本体		バス接続ユニット*7				GOT 本体		バス接続ユニット*7	
		GT15-C□NB 12:1.2m 30:3m 50:5m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□+H (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2													
GT15-AC□B 06:0.6m 12:1.2m 30:3m 50:5m	A7GT-CNB	GT15-C□EXSS-1 100:10m 200:20m 300:30m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□+H (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2													
		GT15-C□NB 12:1.2m 30:3m 50:5m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07:0.7m 12:1.2m 30:3m 50:5m 100:10m 200:20m 300:30m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□+H (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										
GT15-AC□B 06:0.6m 12:1.2m 30:3m 50:5m	A7GT-CNB	GT15-C□EXSS-1 100:10m 200:20m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07:0.7m 12:1.2m 30:3m 50:5m 100:10m 200:20m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□+H (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										
		GT15-C□NB 12:1.2m 30:3m 50:5m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07:0.7m 12:1.2m 30:3m 50:5m 100:10m 200:20m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07:0.7m 12:1.2m 30:3m 50:5m 100:10m 200:20m	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□								

\*4: GT15-C□EXSS-1について  
-GT15-EXCNB(0.6m)とGT15-C□BS(10~30m)で構成されています。  
-ケーブル長を計算する場合、GT15-C100EXSS-1(10m)、GT15-C200EXSS-1(20m)、GT15-C300EXSS-1(30m)で計算してください。  
-GT15-C□EXSS-1は、コネクタを下記のようにつなごうください。  
コネクタ [COM1] → シーケンサ CPU 側  
コネクタ [COM2] → GOT 側

\*5: ケーブル形名の見方 (例) [GT15-AC□B 06.0.6m] → GT15-AC06B

\*6: 必ずケーブル長の合計が30m以内になるようにケーブルを選択してください。

\*7: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2L)は使用できません。  
マルチメディア機能、ビデオ/RGB表示、RGB出力、レポート機能、ハードコピー(プリンタ出力時)、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能、CFカードユニット/CFカード延長ユニット

\*8: GT115□(バス接続専用)では、バス接続ユニットは不要です。

● QnASCPU タイプ, AnSCPU タイプとの接続時 (増設ベースユニットを使用しない場合)

A173UHCPU (-S1) 接続時 **3台** **GOT 最大接続台数**  
 A171SHCPU/A172SHCPU 接続時 **2台** **GOT 最大接続台数**

GOT 接続条件		システム構成	
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台目までの設置距離	接続距離	
1台	5m 以内		
	5m 以上 30m 以内		
	5m 以上 35m 以内		
2台	5m 以内		
	5m 以上		
	5m 以上 35m 以内		
3台	5m 以内		

- \*1: 1台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ交換ボックスが必要です。
- \*2: シーケンサの基本ベースから終端の GOT までのケーブル長の合計が 35m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \*3: 必ずケーブル長の合計が 30m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \*4: GT15-C10EXSS-1 について  
 ・GT15-EXCNE (0.5m) と GT15-C口BS (10 ~ 30m) で構成されています。  
 ・ケーブル長を計算する場合、GT15-C100EXSS-1 (10m)、GT15-C200EXSS-1 (20m)、GT15-C300EXSS-1 (30m) で計算してください。



		GOT 本体		バス接続 ユニット * 6				GOT 本体		バス接続 ユニット * 6				GOT 本体		バス接続 ユニット * 6				
		GT15-A1SC □ B	15 型 GT1695 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2															
		GT15-C □ EXSS-1	15 型 GT1695 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m	15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2															
GT15-A1SC □ NB 05 : 0.45m 07 : 0.7m 30 : 3m 50 : 5m	A7GT-CNB	GT15-C □ EXSS-1	15 型 GT1695 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m	15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2															
		GT15-A1SC □ B	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS	15 型 GT1695 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m	15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2											
		GT15-C □ EXSS-1	100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2											
GT15-A1SC □ NB 05 : 0.45m 07 : 0.7m 30 : 3m 50 : 5m	A7GT-CNB	GT15-C □ EXSS-1	100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2											
		GT15-A1SC □ B	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2	GT15-C □ BS	07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1596 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 10.4 型 GT157 8.4 型 GT166 8.4 型 GT156 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 5.7 型 GT115 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2							

\* 5: ケーブル形態の見方 (例)「GT15-A1SC □ NB 05.0.45m」→ GT15-A1SC05NB  
 \* 6: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)Lは使用できません。  
 マルチメディア機能、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能、CF カードユニット / CF カード延長ユニット  
 ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。  
 \* 7: GT115 □ (バス接続専用) では、バス接続ユニットは不要です。

● QnASCPU タイプ, AnSCPU タイプとの接続時 (増設ベースユニットを使用する場合)

A173UHCPU (S1) 増設ベース 3台 最大接続台数  
 A171SHCPU/A172SHCPU 増設ベース 2台 最大接続台数

GOT 接続条件		システム構成
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台目までの設置距離	接続距離
1 台	6m 以内	<p>(a) + (b) = MAX6m * 1</p>
		<p>(b) = MAX30m                  (a) + (b) = MAX36m * 1 * 3</p>
	6m 以上	<p>(a) + (b) = MAX6m * 1                  (c) = MAX30m                  (a) + (b) + (c) = MAX36m * 1 * 3</p>
2 台	6m 以内	<p>(a) + (b) = MAX6m * 1                  (c) = MAX30m                  (a) + (b) + (c) = MAX36m * 1 * 3</p>
		<p>(a) + (b) = MAX6m * 1                  (c) + (d) = MAX30m * 6                  (a) + (b) + (c) + (d) = MAX36m * 1</p>
	6m 以上	<p>(a) + (b) = MAX6m * 1                  (c) + (d) = MAX30m * 6                  (a) + (b) + (c) + (d) = MAX36m * 1</p>
3 台	6m 以内	<p>(a) + (b) = MAX6m * 1                  (c) + (d) = MAX30m * 6                  (a) + (b) + (c) + (d) = MAX36m * 1</p>

- \*1: 増設ケーブル長 (バスユニット間) を含みます。  
 基本ベース⇄増設ベース間のケーブルについては、シーケンサ MELSEC-A/QnA カタログ (L (名) 08024) をご覧ください。
- \*2: 1 台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ変換ボックスが必要です。
- \*3: シーケンサから終端の GOT までのケーブル長の合計が 36m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \*4: GT15-C 口 EXSS-1 について  
 ・GT15-EXCXB (0.5m) と GT15-C 口 BS (10 ~ 30m) で構成されています。  
 ・ケーブル長を計算する場合、GT15-C10EXSS-1 (10m)、GT15-C20EXSS-1 (20m)、GT15-C30EXSS-1 (30m) で計算してください。





		GOT 1		GOT 2		GOT 3	
		GOT 本体	バス接続 ユニット*7	GOT 本体	バス接続 ユニット*7	GOT 本体	バス接続 ユニット*7
	GT15-A1SC□B	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2				
	GT15-C□EXSS-1	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2				
GT15-A1SC□NB	A7GT-CNB	GT15-C□EXSS-1	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2			
	GT15-A1SC□B	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2	
	GT15-C□EXSS-1	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2	
GT15-A1SC□NB	A7GT-CNB	GT15-C□EXSS-1	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□ 5.7型 GT115□ (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2
	GT15-A1SC□B	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS	15型 GT1695 15型 GT1595 12.1型 GT1685 12.1型 GT1585 10.4型 GT167□ 10.4型 GT157□ 8.4型 GT166□ 8.4型 GT156□ 5.7型 GT1655 5.7型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	

\*5: ケーブル形名の見方 (例)「GT15-A1SC□NB 05.0.45m」→GT15-A1SC05NB  
 \*6: 必ずケーブル両側の合計が30m以内になるようケーブルを決定してください。  
 \*7: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(L)を必ず使用ください。GT15-75ABUS2(L)は使用できません。  
 マルチメディア機能、ビデオ/RGB表示、RGB出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能、CFカードユニット /CFカード拡張ユニット  
 ただし、GT16ではEthernetインタフェースを使用して、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能が使用できます。  
 \*8: GT115□(バス接続専用)では、バス接続ユニットは不要です。

● モーションコントローラ CPU(A273UCPU, A273UHCPU(-S3), A373UCPU(-S3)) との接続時  
(増設ベースユニットを使用しない場合)

GOT最大接続台数  
3台

GOT 接続条件		システム構成
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台までの設置距離	接続距離
1 台	2.5m 以内	
	2.5m以上 32.5m以内	
2 台	2.5m 以内	
	2.5m以上 32.5m以内	
3 台	2.5m 以内	

- \* 1: 1 台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、パソコンクタ変換ボックスが必要です。
- \* 2: シーケンサの基本ベースから最終の GOT までのケーブル長の合計が 32.5m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \* 3: 必ずケーブル長の合計が 30m 以内になるようにケーブルを選定してください。



		GOT 本体		バス接続ユニット*6				GOT 本体		バス接続ユニット*6				GOT 本体		バス接続ユニット*6	
		GT15-A370C□B-S1 12: 1.2m 25: 2.5m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□ 5.7 型 GT115□*7 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2													
GT15-A370C□B 12: 1.2m 25: 2.5m	A7GT-ONB	GT15-C□EXSS-1 100: 10m 200: 20m 300: 30m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□ 5.7 型 GT115□*7 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2													
		GT15-A370C□B-S1 12: 1.2m 25: 2.5m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□	GT15-75ABUS2L GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m 100: 10m 200: 20m 300: 30m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□ 5.7 型 GT115□*7 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										
GT15-A370C□B 12: 1.2m 25: 2.5m	A7GT-ONB	GT15-C□EXSS-1 100: 10m 200: 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m 100: 10m 200: 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□ 5.7 型 GT115□*7 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										
		GT15-A370C□B-S1 12: 1.2m 25: 2.5m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□	GT15-75ABUS2L GT15-ABUS2	GT15-C□BS 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m 100: 10m 200: 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167□ 10.4 型 GT157□ 8.4 型 GT166□ 8.4 型 GT156□ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155□ 5.7 型 GT115□*7 (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										

\*4: GT15-C□EXSS-1について  
-GT15-EXCNB (0.6m) と GT15-C□BS (10 ~ 30m) で構成されています。  
-ケーブル長を計算する場合、GT15-C10EXSS-1 (10m)、GT15-C20EXSS-1 (20m)、GT15-C300EXSS-1 (30m) で計算してください。  
\*5: ケーブル形状の見方 (例) GT15-A1SC□N6 (0.6/0.45m) → GT15-A1SC□N6

\*6: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)Lは使用できません。  
マルチメディア機能、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、CF カードユニット / CF カード拡張ユニット  
ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。









\*7: GT115□ (バス接続専用) では、バス接続ユニットは不要です。

● モーションコントローラ CPU(A273UCPU, A273UHCPU(-S3), A373UCPU(-S3)) との接続時  
(増設ベースユニットを使用する場合)



GOT 接続条件		システム構成
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台目までの設置距離	接続距離
1 台	6.6m 以内	
	6.6m 以上	
2 台	6.6m 以内	
	6.6m 以上	
3 台	6.6m 以内	

- \* 1: 増設ケーブル長（バスユニット間）を含みます。  
基本ベース⇄増設ベース間のケーブル長については、シーケンサ MELSEC-A/QnA カタログ（L（名）08024）をご覧ください。
- \* 2: 1 台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ交換ボックスが必要です。
- \* 3: シーケンサから終端の GOT までのケーブル長の合計が 36m 以内になるようにケーブルを選定してください。
- \* 4: GT15-C 口 EXSS-1 について  
・GT15-EXCNB (0.5m) と GT15-C 口 BS (10 ~ 30m) で構成されています。  
・ケーブル長を計算する場合、GT15-C10EXSS-1 (10m)、GT15-C200EXSS-1 (20m)、GT15-C300EXSS-1 (30m) で計算してください。

ケーブル ①		バスコネクタ 変換ボックス		ケーブル ①		GOT ①		ケーブル ②		GOT ②		ケーブル ③		GOT ③	
															
				GOT 本体		バス接続 ユニット*7				GOT 本体		バス接続 ユニット*7			
		GT15-C □ NB 08 : 1.2m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m		15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-75ABUS2L GT15-ABUS GT15-ABUS2										
GT15-AC □ B 08 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	A7GT-ONB	GT15-C □ EXSS-1 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m	*6	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2										
		GT15-C □ NB 08 : 1.2m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m		15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2							
GT15-AC □ B 08 : 0.6m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	A7GT-ONB	GT15-C □ EXSS-1 100 : 10m 200 : 20m	*6	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2							
		GT15-C □ NB 08 : 1.2m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m		15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS2	GT15-C □ BS 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2	GT15-C □ BS 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2	GT15-C □ BS 100 : 10m 200 : 20m	15 型 GT1695 15 型 GT1595 12.1 型 GT1685 12.1 型 GT1585 10.4 型 GT167 □ 10.4 型 GT157 □ 8.4 型 GT166 □ 8.4 型 GT156 □ 5.7 型 GT1655 5.7 型 GT155 □ 5.7 型 GT115 □ <sup>※</sup> (バス接続専用)	GT15-75ABUSL GT15-ABUS GT15-ABUS2	

\*5: ケーブル形名の見方 (例)「GT15-A1SC □ NB 05.0.45m」→ GT15-A1SC05NB

\*6: 必ずケーブル長の合計が 30m 以内になるようにケーブルを選定してください。

\*7: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)は使用できません。

アルチメディア機能、ビデオ/RGB表示、RGB出力、レポート機能、ハードコピー（プリンタ出力時）、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能、CFカードユニット/CFカード延長ユニット

ただし、GT16ではEthernetインタフェースを使用して、Ethernetダウンロード、ゲートウェイ機能、MESインタフェース機能が使用できます。

\*8: GT115 □ (バス接続専用)では、バス接続ユニットは不要です。

● モーションコントローラ CPU(A171SHCPUN, A172SHCPUN, A173UHCPU(-S1)) との接続時  
(増設ベースユニットを使用しない場合)

A173UHCPU(-S1) 接続時  
GOT 最大接続台数  
3台

A171SHCPUN  
A172HCPUN 接続時  
GOT 最大接続台数  
2台

GOT 接続条件		システム構成
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台目までの設置距離	接続距離
1 台	3m 以内	
	3m 以上 30m 以内	
	3m 以上 33m 以内	
2 台	3m 以内	
	3m 以上 33m 以内	
3 台	3m 以内	

- \* 1: 1 台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ交換ボックスが必要です。
- \* 2: シーケンサの基本ベースから終端の GOT までのケーブル長の合計が 33m 以内になるようにケーブルを選択してください。
- \* 3: 必ずケーブル長の合計が 30m 以内になるようにケーブルを選択してください。



		GOT 本体	バス接続 ユニット*6	GOT 本体	バス接続 ユニット*6	GOT 本体	バス接続 ユニット*6						
	GT15-A1SC□B 07 : 0.7m 12 : 1.2m 30 : 3m 50 : 5m	15 型 GT1695	GT15-75ABUSL										
		15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L										
GT15-A1SC□NB 05 : 0.45m 07 : 0.7m 30 : 3m 50 : 5m	A7GT-CNB	12.1 型 GT1685	GT15-ABUS										
		12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2										
		10.4 型 GT167□											
		10.4 型 GT157□											
		8.4 型 GT166□											
		8.4 型 GT156□											
		5.7 型 GT1655											
		5.7 型 GT155□											
		5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)										
		GT15-C□EXSS-1*4											
		15 型 GT1695	GT15-75ABUSL										
		15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L										
		12.1 型 GT1685	GT15-ABUS										
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												
GT15-C□EXSS-1*4													
15 型 GT1695	GT15-75ABUSL												
15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L												
12.1 型 GT1685	GT15-ABUS												
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												
GT15-C□BS													
15 型 GT1695	GT15-75ABUSL												
15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L												
12.1 型 GT1685	GT15-ABUS												
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												
GT15-A1SC□NB	A7GT-CNB												
05 : 0.45m 07 : 0.7m 30 : 3m 50 : 5m													
GT15-C□EXSS-1*4													
15 型 GT1695	GT15-75ABUSL												
15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L												
12.1 型 GT1685	GT15-ABUS												
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												
GT15-C□BS													
15 型 GT1695	GT15-75ABUSL												
15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L												
12.1 型 GT1685	GT15-ABUS												
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												
GT15-C□BS													
15 型 GT1695	GT15-75ABUSL												
15 型 GT1595	GT15-75ABUS2L												
12.1 型 GT1685	GT15-ABUS												
12.1 型 GT1585	GT15-ABUS2												
10.4 型 GT167□													
10.4 型 GT157□													
8.4 型 GT166□													
8.4 型 GT156□													
5.7 型 GT1655													
5.7 型 GT155□													
5.7 型 GT115□* 4</td <td>(バス接続専用)</td>	(バス接続専用)												

\*4: GT15-C□EXSS-1について  
 -GT15-EXCNB (0.5m) と GT15-C□BS (10 ~ 30m) で構成されています。  
 ケーブル長を計算する場合、GT15-C100EXSS-1 (10m)、GT15-C200EXSS-1 (20m)、GT15-C300EXSS-1 (30m) で計算してください。

\*5: ケーブル形態の互換性 (例) [GT15-A1SC□NB 05, 0.45m] → GT15-A1SC05NB

\*6: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)Lは使用できません。  
 マルチメディア機能、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、CF カードユニット / CF カード延長ユニット  
 ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能可以使用です。

\*7: GT115□ (バス接続専用) では、バス接続ユニットは不要です。

● モーションコントローラ CPU(A171SHCPUN, A172SHCPUN, A173UHCPU(-S1)) との接続時 (増設ベースユニットを使用する場合)

A173UHCPU(-S1) 接続時  
最大接続台数  
3台

A171SHCPUN  
A172SHCPUN接続時  
最大接続台数  
2台

GOT 接続条件		システム構成	
GOT 接続台数	基本ベースから GOT1 台目までの設置距離	接続距離	
1 台	3m 以内		
	3m 以上		
	3m 以上		
2 台	3m 以内		
	3m 以上		
3 台	3m 以内		

\* 1: 増設ケーブル長 (ベースユニット間) を含みます。  
基本ベース⇄増設ベース間のケーブルについては、シーケンサ MELSEC-A/QnA カタログ (L (名) 08024) をご覧ください。  
\* 2: 1 台目の GOT を 30m 以上離れた場所に設置する場合は、バスコネクタ交換ボックスが必要です。



ケーブル ①		ケーブル ①		GOT ①		ケーブル ②		GOT ②		ケーブル ③		GOT ③	
バスコンネクタ 交換ボックス		*5		*5		*5		*5		*5		*5	
		GOT本体		バス接続 ユニット*7				GOT本体		バス接続 ユニット*7			
GT15-A1SC □ B 05: 0.45m 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m	A7GT-ONB	GT15-C □ EXSS-1 100: 10m 200: 20m 300: 30m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-75ABUS2L								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									
GT15-A1SC □ NB 05: 0.45m 07: 0.7m 30: 3m 50: 5m	A7GT-ONB	GT15-C □ EXSS-1 100: 10m 200: 20m 300: 30m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-75ABUS2L								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									
GT15-A1SC □ B 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m		GT15-C □ BS 100: 10m 200: 20m 300: 30m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-ABUS2								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									
GT15-A1SC □ NB 05: 0.45m 07: 0.7m 30: 3m 50: 5m	A7GT-ONB	GT15-C □ EXSS-1 100: 10m 200: 20m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-ABUS2								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									
GT15-A1SC □ B 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m		GT15-C □ BS 100: 10m 200: 20m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-ABUS2								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									
GT15-A1SC □ B 07: 0.7m 12: 1.2m 30: 3m 50: 5m		GT15-C □ BS 100: 10m 200: 20m	15 型	GT1695	GT15-75ABUSL								
			15 型	GT1595	GT15-ABUS2								
			12.1 型	GT1685	GT15-ABUS								
			12.1 型	GT1585	GT15-ABUS2								
			10.4 型	GT167 □									
			10.4 型	GT157 □									
			8.4 型	GT166 □									
			8.4 型	GT156 □									
			5.7 型	GT1655									
			5.7 型	GT155 □									
			5.7 型	GT115 □*8									
			5.7 型	(バス接続専用)									

\*3: シーケンサから終端の GOT までのケーブル長の合計が 33m 以内になるようにケーブルを測定してください。

\*4: GT15-C □ EXSS-1 について

- GT15-EXONB (0.5m) と GT15-C □ BS (10 ~ 30m) で構成されています。

- ケーブル長を計算する場合は、GT15-C10EXSS-1 (10m)、GT15-C20EXSS-1 (20m)、GT15-C30EXSS-1 (30m) で計算してください。

\*5: ケーブル形態の増分 (例) GT15-A1SC □ B(0.45m) → GT15-A1SC □ NB

\*6: 必ずケーブル長の合計が 30m 以内になるようにケーブルを測定してください。

\*7: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2) をご使用ください。GT15-75ABUS(2)L は使用できません。

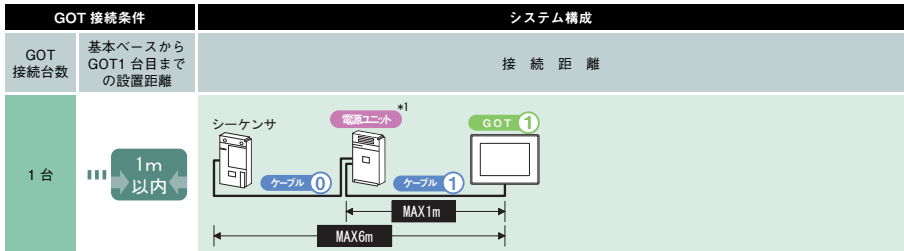
マルチメディア機能、ビデオ / RGB 表示、RGB 出力、レポート機能、ハードコピー (プリンタ出力時)、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、CF カードユニット / CF カード接続ユニット

ただし、GT16 では Ethernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。

\*8: GT115 □ (バス接続専用) では、バス接続ユニットは不要です。

## 4.1 三菱電機製シーケンサ

### 4.1.3 バス接続の詳細



- \* 1: GOT 接続時は電源ユニットが必要です。
- \* 2: ケーブル形状の見方 (例)「GT15-J2C口 B 10 : 1m」→ GT15-J2C10B
- \* 3: 下記の機能を使用する場合は、GT15-ABUS(2)をご使用ください。GT15-75ABUS(2)Lは使用できません。  
マルチメディア機能、ビデオ/RGB表示、RGB出力、レシート機能、ハードコピー（プリンタ出力時）、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能、CF カードエJECT/GF カード延長ユニット  
ただし、GT16ではEthernet インタフェースを使用して、Ethernet ダウンロード、ゲートウェイ機能、MES インタフェース機能が使用できます。  
● GT115口（バス接続専用）では、バス接続ユニットは不要です。

● バス接続時の注意事項

GOTの増設段数、スロットNo.の設定について

1. シーケンサ CPU から見た GOT  
GOT をバス接続した場合、シーケンサ CPU は、GOT を下記のように認識します。  
● OCPU (Q モード) : I/O 点数 16 点のインテリジェント機能ユニット  
● OCPU (Q モード) 以外 : I/O 点数 32 点のインテリジェント機能ユニット
2. I/O 割付について  
(1) OCPU (Q モード) と接続時  
GOT 接続時の増設段数を 1 段 (16 点 × I/O スロット分) 設けて、GOT を I/O スロットに割り付けてください。(基本ベース/増設ベースの空き I/O スロットには割付けできません。)  
備考 GOT を使用しない I/O スロットを空き (0 点) に設定することで、16 点 × 空きスロット分の入出力番号を他で使用できるようになります。(設定は、GX Developer の「PC パラメータ設定」→「I/O 割付け設定」で行います。)  
参照 「注意事項」9.QCPU (Q モード) と接続時
- (2) OCPU (Q モード) 以外と接続時  
GOT を増設ベース上の空き I/O スロットに割り付けてください。  
増設ベースがない、または増設ベースに空き I/O スロットがない場合は、増設段数をあらかじめ一段設けて、GOT を I/O スロットに割り付けてください。(基本ベースの空き I/O スロットには割付けできません。)  
参照 「注意事項」10.An(S)CPU タイプ、An(S)CPU タイプと接続時

注意事項

1. GOT の電源投入時

- (1) システム構築  
シーケンサ CPU は、GOT が起動するまでリセット状態となります。そのため、シーケンサプログラムは起動しません。シーケンサプログラムから GOT の電源を ON させるような、システムは構築できません。
- (2) GOT 電源投入後、シーケンサが RUN するまでの時間  
GOT の電源投入後、GOT が起動し、シーケンサが RUN するまでに 10 秒程度掛かります。  
既存システムへ GOT を新規導入または置換える場合に、シーケンサの上立り時間を考慮してシステムのタイミングを調整する必要があります。
- (3) GOT を 3 台以上接続する場合の電源投入順序 (OCPU (Q モード) と接続時)  
参照 9. (1) GOT 接続台数に対する総ケーブル長の制約
- (4) Q4ARCPU 二重化システムと接続する場合の電源投入順序  
参照 13. (2) GOT および Q4ARCPU 二重化システムの電源投入順序
- (5) 上記 (3) (4) 以外の GOT とシーケンサの電源投入順序  
GOT とシーケンサの電源をどちらから先に投入しても、立ち上げできます。(電源投入順序は、特に決まりはありません) ただし、GOT → シーケンサの順で電源を投入した場合は、下記のような動作になります。  
GOT の電源 ON 時にシーケンサの電源が OFF 状態の場合、システムアラーム (No.402 : タイムアウトエラー) が発生します。シーケンサ CPU が ON 状態になれば、GOT は自動的にモニタを開始します。  
システム情報を使用してアラームのリセットを行ってください。

2. GOT の電源 OFF、再投入 (OFF → ON) 時

- (1) GOT の電源再投入 (OFF → ON) 時の注意事項  
シーケンサの電源 ON 中に、GOT の電源を再投入 (OFF → ON) しないでください。  
GOT の電源を再投入 (OFF → ON) する場合は、必ずシーケンサの電源を OFF してから行ってください。  
備考 GOT1000 シリーズで自動的にリブートされる操作

GOT1000 シリーズでは、下記の場合に自動的にリブートされますので、GOT の電源を再投入 (OFF → ON) する必要はありません。

- GT Designer2 または CF カードから OS をインストールした場合
  - エディタの設定内容を変更した場合
- (2) GOT にユーザ作成画面が表示される前に、GOT の電源 OFF した場合  
GOT にユーザ作成画面が表示される前に、GOT の電源 OFF すると、以降通信ができなくなる場合があります。  
上記場合には、シーケンサ CPU と GOT の電源を再投入してください。
  - (3) GOT を 3 台以上接続する場合の電源投入順序 (OCPU (Q モード) と接続時)  
参照 9. (1) GOT 接続台数に対する総ケーブル長の制約
  3. GOT 本体のリセットスイッチについて  
バス接続時は、GOT 本体のリセットスイッチは動作しません。
  4. シーケンサの電源 OFF またはリセット時  
(1) モニタ中にシーケンサの電源 OFF またはリセットした場合  
モニタ中にシーケンサの電源 OFF またはリセットすると、システムアラーム (No.402 : タイムアウトエラー) が発生します。シーケンサ CPU が復帰すれば、GOT は自動的にモニタを再開します。  
システム情報を使用してアラームのリセットを行ってください。
  - (2) GOT にユーザ作成画面が表示される前に、シーケンサ CPU の電源 OFF またはリセットした場合  
GOT にユーザ作成画面が表示される前に、シーケンサ CPU の電源 OFF またはリセットすると、以降通信ができなくなる場合があります。  
上記場合には、シーケンサ CPU と GOT の電源を再投入してください。
  - (3) GOT を 3 台以上接続する場合の電源投入順序 (OCPU (Q モード) と接続時)  
参照 9. (1) GOT 接続台数に対する総ケーブル長の制約

GOT の接続位置

GOT は必ずベースユニットの後段に接続してください。  
ベースユニット間には GOT は接続できません。

通信ドライバをインストールしないでシーケンサ CPU とバス接続した場合  
GOT に基本機能 OS とバス接続用の通信ドライバをインストールせずにシーケンサ CPU とバス接続した場合、シーケンサ CPU がリセット状態になります。(GX Developer などを使用してシーケンサ CPU と通信できなくなります。)  
上記場合、GOT のバス接続ケーブルをはずせばシーケンサ CPU のリセットは解除されます。

7. システム設計時

GOT の電源 OFF 時、シーケンサ CPU 側 (基本ベースユニットの電源ユニット) から GOT に下記消費電流が供給されます。  
(GOT の電源 OFF 時、GOT は動作しません) 基本ベースユニットに装着するユニットの DC5V 消費電流と、GOT の消費電流を合計した値が、使用する電源ユニットの DC5V 定格出力電流を越えないようにシステムを設計してください。

接続先 OCPU	GOT の接続台数	合計消費電流
OCPU (Q モード) と接続時	5台	2200mA
	4台	1760mA
	3台	1320mA
	2台	880mA
	1台	440mA
OCPU (Q モード) 以外と接続時	3台	360mA
	2台	240mA
	1台	120mA

8. GOT の入出力信号を割付け時

シーケンサ CPU に割り付けた入出力信号は GOT のシステムが使用するため、シーケンサプログラムなどでは使用しないでください。  
使用した場合は、GOT として機能を保証できません。



A0UC□B  
(0.3:0.3m (標準仕様)  
0.6:0.55m (設置専用)  
1.0:1m (延長用)  
2.0:2m (延長用))

A0U2-PW

GT15-J2C10B  
10:1m

GOT 本体		バス接続ユニット*7	
15型	GT1695	GT15-75ABUSL	
15型	GT1595	GT15-75ABUSL	
12.1型	GT1685	GT15-ABUS	
12.1型	GT1585	GT15-ABUS2	
10.4型	GT167□		
10.4型	GT157□		
8.4型	GT166□		
8.4型	GT156□		
5.7型	GT1655□		
5.7型	GT155□		
5.7型	GT115□*4		
			(バス接続専用)

9. QCPU (Qモード) と接続時

(1) GOT 接続数に対する総ケーブル長の制約

GOT を3台以上接続する場合、以下の制約があります。

GOT接続台数	総ケーブル長			
	15m以内	15～20m以内	20～25m以内	25～37m以内
1台	○	○	○	○
2台	○	○	○	○
3台	○	○	○	△
4台	○	○	△	△
5台	○	△	△	△

○: 制約はありません。

△: ショートケーブルおよび全てのGOTの電源を同一とし、全て同時にON/OFFしてください。

(2) Q00JCPU, Q00UJCPU を使用時

バス延長コネクタボックスは、増設ベースユニットのみ装着できます。(基本ベースユニットには装着できません。)

(3) Q00J/Q00/Q01/Q02U/Q00U/Q00U/Q01UCPU を使用時

Q00JCPU とバス接続時は、GOT を含めた増設段数を2段以内にする必要があります。

Q00CPU, Q01CPU, Q02UCPU とバス接続時は、GOT を含めた増設段数を4段以内にする必要があります。

(4) QA1S6 □ B形増設ベースユニットを使用時

すべての増設ベースユニットの後段にGOTを接続しますが、GOTの増設段数の設定はQ□□B形増設ベースユニットの後ろに割り付けてください。QA1S6 □ B形増設ベースユニットの増設段数は、GOTの増設段数の後ろに割り付けます。



10. QnA(S)CPU タイプ, An(S)CPU タイプと接続時

(1) QnA(S)CPU タイプ, An(S)CPU タイプと接続時  
基本ベース上の片側の増設コネクタにのみ GOT を接続することができます。(両側の増設コネクタに同時に GOT を接続することはできません。)

(2) Q4A(R)CPU, Q3ACPU, A3 □ CPU, A4UCPU の場合

最大増設段数範囲内に空き I/O スロットが必要になります。

(3) A0J2HCPU の場合

GOT を増設1段の I/O スロット 0～3 に割り付けてください。

上記 (2) (3) 以外の CPU の場合

最大増設段数を使用して、かつ空き I/O スロットがない場合でも、入出力点数に32点以上の空きがあるときは、通信インタフェースを下記のように設定することで、GOT を接続することができます。

接続先CPU	最大増設段数	通信インタフェースの設定	
		増設段数	スロットNo.
A1ICPU/A2ISCPU(-S1)	1	2	0
A2ICPU/Q2ACPU	3	4	0
A3ICPU/A4ICPU	7	4	0
Q3ACPU/Q4ACPU	7		
A0J2HCPU	1		

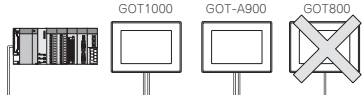
11. GOT の混装接続時

(1) GOT の混在システム

GOT1000 シリーズは、GOT-A900 シリーズと混在して接続できます。混在させる場合は、下記テクニカルニュースを参照してください。

☞ GOT-A900 シリーズから GOT1000 シリーズへの遷換時の注意事項 (GOT-D-0009)

GOT1000 シリーズは、GOT-A900 シリーズ以外の GOT と混在させることはできません。



(2) GOT 接続台数の制約

接続先 CPU および装着するインテリジェント機能ユニットの台数により、接続できる GOT の台数に制限があります。

接続先CPU		GOTの接続可能台数	GOT+インテリジェント機能ユニット*1の合計接続可能台数
QCPU (Qモード)	モーションコントローラCPU (Qシリーズ)	最大5台	GOT15台+インテリジェント機能ユニット6台*2
	QCPU (Aモード)	接続不可	—
ACPU	AnQCPU	最大3台	合計6台
	AnQCPU	最大3台	合計6台
	A1QCPU	接続不可	合計6台
モーションコントローラCPU (Aシリーズ)	A273QCPU, A273HCPU (-S3)	最大3台	合計6台
	A273QCPU (-S3), A173HCPU (-S1)	最大2台	合計4台

\*1: 下記形名のインテリジェント機能ユニットを示します。  
AD51 (S3), AD51H (S3), AD51FD (S3), AD57G (S3), AJ71C21 (S1), AJ71C22 (S1), AJ71C23, AJ71C24 (S3/S6/S8), AJ71UC24, AJ71E17 (-S3), AJ71E17N-B2/B5/T/B5T, AJ71E17N3-T, A161BT11 (インテリモード時のみ), A1S1J1C24 (-R2/PRF/R0), A1S1J1UC24 (-R2/PRF/R0), A1S1J7E17-B2/B5 (-S3), A1S1J7E17N-B2/B5/T/B5T, A1S1J7E17N3-T, A1SD51S, A1S161BT11 (インテリモード時のみ)  
\*2: QCPU (Qモード) に接続可能なインテリジェント機能ユニットは A1SD51S のみです。

12. シーケンサ CPU をダイレクト方式で接続時

接続先シーケンサ CPU の入出力制御方式をダイレクト方式で使用し、5m 増ケーブル (GT15-AC50B, GT15-A1SC50NB) を使用して、1台目の GOT と基本/増設ベースユニットを接続する場合、空き I/O スロットの入力 X は使用できませんので注意してください。

入出力制御方式がリフレッシュ方式の場合は、制約はありません。入出力制御方式をスイッチで切り換えることのできるシーケンサ CPU は、リフレッシュ方式に設定して使用してください。

備考 空き I/O スロットの入力 X の使用例

- MELSECNET/10 ネットワークで入力 X を割り付ける場合
- 計算機リソースユニットから空き I/O スロットの入力 X を ON/OFF する場合
- GOT のタッチスイッチ機能 (ビット SET/RESET / オルタネート / モーメンタリ) で空き I/O スロットの入力 X を ON/OFF する場合

13. Q4ARCPU 二重化システムと接続時

(1) Q4ARCPU 二重化システムとバス接続時

Q4ARCPU 二重化システムの最終段の二重化増設ベースユニット (A68RB) に GOT を接続してください。また、二重化増設ベースユニットは、バージョン B 以降の製品を使用してください。二重化増設ベースユニットのバージョンは、定格銘版の DATE 欄で確認できます。

備考 Q4ARCPU 二重化システム構成時の注意事項

- 下記システム構成では、GOT が正常に動作しません。
- 二重化増設ベースユニット (A32RB/A33RB) のバス切換ユニット (A6RAF) に GOT をバス接続した場合
- バージョン A の二重化増設ベースユニット (A68RB) に GOT をバス接続した場合

(2) GOT および Q4ARCPU 二重化システムの電源投入順序

GOT および Q4ARCPU 二重化システムの電源投入は、下記の順番で行ってください。















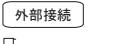



- ① GOT の電源を投入します。
- ② GOT にモニタ画面が表示されたあとに、Q4ARCPU 二重化システムの電源を投入します。このとき、システムアラームにはタイムアウトが表示されず、そので、システム情報を使用してアラームの処理を行ってください。

## 4.1.4 CPU 直接接続



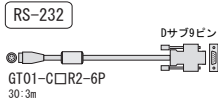



### ● QCPU/C 言語コントローラ /LCPU/ モーションコントローラ CPU(Q シリーズ)/CNC C70 /ロボットコントローラ

#### システム構成

##### ① RS-232




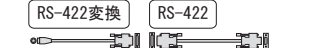









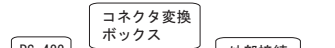





接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・QCPU *4 ・C言語コントローラ *1*3*9 ・LCPU *10 ・モーションコントローラ CPU(Qシリーズ) *3*11 ・CNC C70 *2*3 ・CRnQ-700 *2*3 ・MELSECNET/H リモートI/O局 *2 	 RS-232 GT01-C□R2-6P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 GOT16/GT15	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m	
		不要 GOT本体に内蔵 GT14/GT11			 GOT14/GT11
		不要 GOT本体に内蔵 GT105□/GT104□	 GT105□/GT104□		
		RS-232  GT01-RS4-M *7	GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。		
・Q170MCPU *8 	 RS-232 GT10-C□R2-6P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT1030/GT1020	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m	
	 RS-232 GT01-C□R2-6P 30:3m	コネクタ変換ボックス 外部接続  GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m
	中継  GT11H-C□R2-6P 15:1.5m (1.5mを超える場合 ユーザ作成)	外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT11ハンディ	
 RS-232 GT11H-C□R2-6P 30:3m	コネクタ変換ボックス Dサブコネクタ  GT11H-CNB-37S	不要 GOT本体に内蔵	GOT11ハンディ		

- \* 1: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 2: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, GT SoftGOT1000 のみ
- \* 3: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 4: Q □ UDE(H)CPU と接続時は、マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 7: QCPU のみ対応
- \* 8: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCPU のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。
- \* 9: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 10: CPU 直接接続する場合は、アダプタ L6ADP-R2 が必要です。
- \* 11: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU *15 ・C言語 コントローラ ・LCPU *20 ・モーション *14*21 コントローラ CPU(Qシリーズ) ・CNC C70 *13*15 ・CRnQ-700 *13*15 ・MELSECNET/H *13 リモートI/O局  ・Q170MCPU *18 	 RS-232 Dサブ9ピン GT01-C□R2-6P 30:3m	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232 ボード	 DOS/V/パソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー パソコン 最大接続台数 1台または2台 *17 最大接続距離 3m
<b>GOT</b>			
		シーケンサ + パソコン *16 CPU CPU 	 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台または2台 *17 最大接続距離 3m






- \* 12: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 13: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, GT SoftGOT1000 のみ
- \* 14: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 15: Q □ UDE(H)CPU と接続時は、マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 16: パソコン CPU は、他ベース上のシーケンサと接続します。
- \* 17: RS-232 接続、USB 接続併用時
- \* 18: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCPU のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。
- \* 19: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 20: CPU 直接接続する場合は、アダプタ L6ADP-R2 が必要です。
- \* 21: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ

② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU *24 ・LCPUI *27 ・モーションコントローラ CPU (Qシリーズ) ・CNC C70 *22*23 ・CRnQ-700 *22*23 ・MELSECNET/H リモートI/O局 	 <p>RS-422変換 RS-422 RS-422変換</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT101-C□R4-25P GT16-C□R4-9S</p> <p>2402:0.2m 30:3m 200:20m 02:0.2m                      2405:0.5m 100:10m 300:30m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16</p> <p>GOT                      最大接続台数 1台                      最大接続距離 30.7m</p>	
	 <p>RS-422変換 RS-422</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT01-C□R4-25P</p> <p>2402:0.2m 30:3m 200:20m                      2405:0.5m 100:10m 300:30m</p>	 <p>RS-422変換 *25                      GT15-RS2T4-9P</p>	 <p>GT16*29/GT15</p>	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m
	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16/GT15</p>		
	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT14/GT11</p>		
	 <p>RS-422変換 RS-422</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT01-C□R4-25P</p> <p>2402:0.2m 30:3m 200:20m                      2405:0.5m 100:10m 300:30m</p>	 <p>RS-422/485                      GT15-RS4-9S</p>	 <p>GT105□/GT104□</p>	GOTとの接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。
 <p>RS-422変換 RS-422</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT10-C□R4-25P</p> <p>2402:0.2m 30:3m                      2405:0.5m 100:10m 200:20m 300:30m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT                      最大接続台数 1台                      最大接続距離 30.5m</p>		
 <p>RS-422</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT16H-C□-42P</p> <p>2402:0.2m 30:3m 60:6m                      2405:0.5m 100:10m</p> <p>コネクタ変換ボックス 外部接続</p> <p>GT16H-CNB-42S</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16Hハンディ</p>	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13.5m	
 <p>中継</p> <p>GT11H-C□R4-25P</p> <p>15:1.5m (1.5mを超える場合ユーザー作成)</p>	外部接続	 <p>GT11ハンディ</p>		
 <p>RS-422</p> <p>FA-CNV□CBL*26 GT11H-C□-37P</p> <p>2402:0.2m 30:3m 60:6m                      2405:0.5m 100:10m</p> <p>コネクタ変換ボックス 外部接続</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT11ハンディ</p>		

- \* 22: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOTのみ
- \* 23: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 24: Q □ UDE(H)CPUと接続時は、マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 25: GT15 □ を使用する場合は、GT15-RS4-9S をご使用ください。
- \* 26: FA-CNV □ CBL は紹介品となります。  
三菱電機エンジニアリング(株) (URL <http://www.mee.co.jp>) より購入ください。
- \* 27: CPU 直接接続する場合は、アダプタ L6ADP-R2 が必要です。
- \* 28: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOTのみ
- \* 29: QnUCPU のみに対応しています。

### ③ USB

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU *30 ・LCPU *34 ・CNC C70 *29 ・CRnQ-700 *29 	 USB TYPE-A*31 ユニバーサルモデル以外のQCPU USB2-30 AU2-30  ユニバーサルモデルQCPU MR-J3USBCBL3M GT09-C30USB-5P USB-M53 USB2-30+AD-USBFTM5M AU2-30+AUXUBM5 ZUM-430	不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン ← GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 1台または2台*32 最大接続距離 3m
		シーケンサ + パソコン CPU *33 	 GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 1台または2台*32 最大接続距離 3m

- \* 29: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 30: Q □ UDE(H)CPU と接続時は、マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 31: USB 通信ケーブルは紹介品となります。エレコム (株)、(株) ハッパアロコクコサプライ、ロアス (株) より購入ください。
- \* 32: RS-232 接続、USB 接続併用時
- \* 33: パソコン CPU は、他ベース上のシーケンサと接続します。
- \* 34: CPU 直接接続する場合は、アダプタ L6ADP-R2 が必要です。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
GT11	ハス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD	
	GT105 □	GT105 □ -Q □ BD	
GT10	GT104 □	GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続確認について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集



## 注意事項

### ■その他の注意事項

- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU, Q01CPU, Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合
    - (1) 下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 K\*\*\*\*\* 以降, Q173CPU 製造番号 J\*\*\*\*\* 以降
    - (2) SV13, SV22, SV43 使用時, 下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00E 以降, SW6RN-SV22Q □ : 00E 以降, SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
  - ・ Q172CPUN, Q173CPUN の場合  
SV13, SV22, SV43 使用時, 下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
- GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT を Q170MCPU 以外のモーションコントローラ CPU (Q シリーズ), CNC C70, CRnQ-700 と接続時  
Q170MCPU 以外のモーションコントローラ CPU (Q シリーズ), CNC C70, CRnQ-700 にアクセスする場合は、マルチ CPU システムの QCPU の RS-232 経由でアクセスしてください。
- GT SoftGOT1000 を CNC C70, CRnQ-700 と接続時  
CNC C70, CRnQ-700 にアクセスする場合は、マルチ CPU システムの QCPU の RS-232 , または USB 経由でアクセスしてください。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について
- .....
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- .....
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- .....
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
- ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- .....
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 6 章

GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章


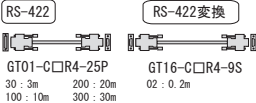

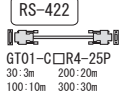



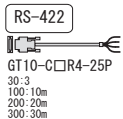

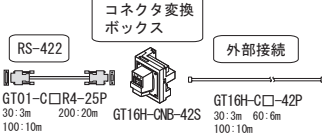


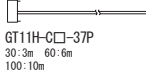


GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章

GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章



システム構成

① RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ QnA</li> <li>・ ACPU</li> <li>・ モーション *1 コントローラ CPU(Aシリーズ)</li> </ul> 	 <p>RS-422 RS-422変換</p> <p>GT01-C□R4-25P GT16-C□R4-9S</p> <p>30 : 3m 200 : 20m 02 : 0.2m 100 : 10m 300 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30.2m</p>	
	 <p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-25P</p> <p>30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m</p>	<p>RS-422 変換 *2</p> <p>GT15-RS2T4-9P</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GT15</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30m</p>
		<p>RS-422/485</p> <p>GT15-RS4-9S</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT14/GT11</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT105□/GT104□</p>	
		<p>RS-422 *3</p> <p>GT01-RS4-M</p>	<p>GOT との接続についての詳細は、 4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご 参照ください。</p>	
	 <p>RS-422</p> <p>GT10-C□R4-25P</p> <p>30 : 3 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30m</p>	
 <p>RS-422 コネクタ変換ボックス 外部接続</p> <p>GT01-C□R4-25P GT16H-C□-42P</p> <p>30 : 3m 200 : 20m 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m 100 : 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>		
<p>中継</p>  <p>GT11H-C□R4-25P</p> <p>15 : 1.5m (1.5mを超える場合 ユーザ作成)</p>	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□-37P</p> <p>30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m</p>	
<p>RS-422</p>  <p>GT01-C□R4-25P GT11H-CNB-37S</p> <p>30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m</p>				

\* 1: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, Gt SoftGOT1000のみ  
 \* 2: GT1655, GT155 □を使用する場合は、GT15-RS-4-9Sをご使用ください。  
 \* 3: ACPUのみ対応

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続確認について  
 5 海外規格対応状況  
 6  
 7 機器一覧  
 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ QnA ・ ACPU ・ モーションコントローラ CPU (Aシリーズ)	<p>RS-422 RS-422変換器 FX-422CAB FX-422CAB-150 FX-232AW FX-232AWC</p> <p>RS-232 変換 F2-232CAB AC30N2A 市販品 (Dサブ25ピン ↔ Dサブ9ピン) Dサブ9ピン F2-232CAB-1</p>	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232ボード	<p>DOS/Vパソコン ← GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
			シーケンサ + パソコン CPU *8 <p>GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
	<p>RS-422変換 *5 変換 *5 DAFX1H-CAB D232V-CAB (Dサブ25ピン ↔ Dサブ9ピン) DCR4-003 *6 DCONV9F-RS42R *7 (Dサブ25ピン ↔ Dサブ9ピン) DCNV25M-RS42R (Dサブ25ピン ↔ Dサブ9ピン) DAFX1H-CABV (Dサブ25ピン ↔ Dサブ9ピン)</p>	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232ボード	<p>DOS/Vパソコン ← GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
			シーケンサ + パソコン CPU *8 <p>GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m

- \* 4: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, GT SoftGOT1000 のみ
- \* 5: 紹介品となります。ダイヤトレッド (株) より購入ください。
- \* 6: DCR4-003 (D サブ25 ピン ↔ D サブ 25 ピン) のケーブル長は、3m 以内で使用してください。
- \* 7: DCONV9F-RS42R を使用する場合は、必ずシーケンサシステムの FG を接地してください。
- \* 8: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
GT10	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時 GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GT SoftGOT1000 とモーションコントローラ (A シリーズ) を接続時、他の MELSOFT 製品 (GX Developer など) との同時接続はできません。
- モーションコントローラ (A シリーズ) のリモート I/O 局への接続はできません。

### ■ その他の注意事項

- MELSEC-A シリーズ (AnCPU タイプ)\*1、MELSEC-A シリーズ (AnSCPU タイプ)\*2、MELSEC-A シリーズ\*3 をモニタする場合は、下記ソフトウェアバージョン以降のみ書込みできます。それより前のバージョンでは書込みできません。

- ・ AnNCPU(S1) : リンク付きはバージョン L 以降、リンクなしはバージョン H 以降
- ・ A2SCPU : バージョン H 以降
- ・ A0J2HCPU (リンク付き / なし) : バージョン E 以降
- ・ A0J2HCPU-DC24 : バージョン B 以降
- ・ A2CCPU : バージョン H 以降

\* 1 : A1NCPU, A1NCPUP21, A1NCPUR21, A2NCPU, A2NCPUP21, A2NCPUR21, A2NCPU-S1, A2NCPUP21-S1, A2NCPUR21-S1, A3NCPU, A3NCPUP21 接続時

\* 2 : A2SCPU 接続時

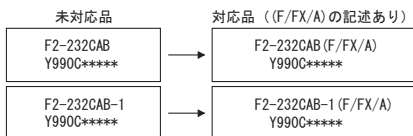
\* 3 : A0J2HCPU, A0J2HCPUP21, A0J2HCPUR21, A0J2HCPU-DC24, A2CCPU 接続時

- 変換器 / ケーブルを抜き差しする場合 (GT SoftGOT1000 の場合)

- ・ DC5V 電源を受電する変換器 / ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器 / ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
- ・ DC5V 電源を受電しない変換器 / ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない (外部電源より受給する) 周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
  - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
  - ② パソコン側の電源を OFF する。
  - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
  - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器 / ケーブルを抜き差しする。
  - ⑤ 変換器の電源を ON する。
  - ⑥ パソコンの電源を ON する。
  - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。

- RS-232 ケーブル (F2-232CAB, F2-232CAB-1) は、QnACPU、ACPU 対応製品をご使用ください。(GT SoftGOT1000 の場合)

QnACPU、ACPU 対応製品の見分け方は、ケーブルに付いている形名ラベルの表示方法で確認してください。(未対応品は、使用できません。)




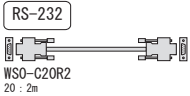








## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 6 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

🔍 システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・WSCPU 	 RS-232 WSO-C20R2 20 : 2m	不要 GOT本体に内蔵 RS-232 GT15-RS2-9P	 GT16/GT15	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
		RS-232 WSO-C20R2 20 : 2m RS-232 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020
	 RS-232 WSO-C20R2 20 : 2m コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S 外部接続 GT16H-C□-42P 30 : 3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 5m
	 RS-232 WSO-C20R2 20 : 2m コネクタ変換ボックス GT11H-CNB-37S 外部接続 GT11H-C□-37P 30 : 3m	不要 GOT本体に内蔵	 ハンディGOT	

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW
			(ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)








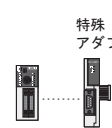


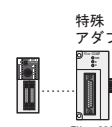
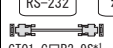

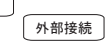

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成, 接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項, 制約事項について
  - ・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 6 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約, 注意事項については, 各マニュアルをご参照ください。

● FXシリーズ (FX1S, FX1N, FX2N, FX1NC, FX2NC)

🔍 システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX1S</li> <li>FX1N</li> <li>FX2N</li> </ul> 	 <p>RS-232</p> <p>GT01-C□R2-9S*1 30 : 3m</p> <p>GT01-C□R2-25P*2 30 : 3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GT15</p> <p>GOT 最大接続台数 1台*3 最大接続距離 15m</p>	
		<p>RS-232</p>  <p>GT15-RS2-9P</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT14/GT11</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT105□/GT104□</p>
		<p>RS-232</p>  <p>GT01-RS4-M</p>	<p>GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX1NC</li> <li>FX2NC</li> </ul> 	<p>RS-232</p>  <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT 最大接続台数 1台*3 最大接続距離 15m</p>	
	<p>RS-232</p>  <p>GT01-C□R2-9S*1 30 : 3m</p> <p>GT01-C□R2-25P*2 30 : 3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p> <p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>外部接続</p>  <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m</p>	

\* 1: FX1S,FX1N,FX2N .....機能拡張ボード (FX□N-232-BD) または特殊アダプタ (FX2NC-232ADP) を使用時

FX1NC,FX2NC .....特殊アダプタ (FX2NC-232ADP) を使用時

\* 2: 特殊アダプタ (FXON-232ADP) を使用時

\* 3: \* 1, \* 2の機能拡張ボードまたは特殊アダプタを使用時

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続確認について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 機器一覧  
用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX1S ・ FX1N ・ FX2N  	<p>中継 ユーザ作成</p> <p>外部接続 GT11H-C□-37P 30:3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT11ハンディ</p>	
・ FX1NC ・ FX2NC  	<p>外部接続 GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>	不要 パソコンに内蔵	<p>DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー</p>	
<b>GOT</b>				
		シーケンサ + パソコン CPU CPU *7 	<p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	

\* 4 FX1S,FX1N,FX2N .....機能拡張ボード (FX □ N-232-BD) または特殊アダプタ (FX2NC-232ADP) を使用する  
FX1NC,FX2NC .....特殊アダプタ (FX2NC-232ADP) を使用する


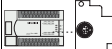
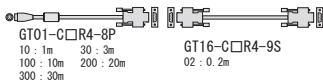


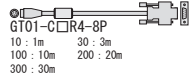






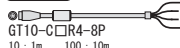


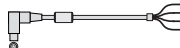
\* 5: 特殊アダプタ (FX□N-232ADP) を使用する

\* 6: FX□N-232ADP 使用時は、パソコン側が D サブ 9 ピンとなります。  
FX □ N-232-BD、FX2NC-232ADP 使用時は、パソコン側が D サブ 25 ピンとなります。

\* 7: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。



## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FX1S</li> <li>・ FX1N</li> <li>・ FX2N</li> </ul>  機能拡張ボード  FX1N-422-BD	 <p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P</p> <p>10 : 1m    30 : 3m 100 : 10m    200 : 20m 300 : 30m</p> <p>RS-422変換</p> <p>GT16-C□R4-9S</p> <p>02 : 0.2m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16</p> <p>GOT 最大接続台数 1台または 2台*9 最大接続距離 30.2m</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FX1NC</li> <li>・ FX2NC</li> </ul> 	 <p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P</p> <p>10 : 1m    30 : 3m 100 : 10m    200 : 20m 300 : 30m</p>	RS-422 変換  GT15-RS2T4-9P	 <p>GT16/GT15</p> <p>GOT 最大接続台数 1台または 2台*9 最大接続距離 30m</p>
 RS-422/485 GT15-RS4-9S		不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT14/GT11</p>	
		不要 GOT本体に内蔵	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT105□/GT104□</p>
		 RS-422 GT01-RS4-M	不要 GOT本体に内蔵	<p>GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。</p>
	 RS-422 GT10-C□R4-8P 10 : 1m    100 : 10m 30 : 3m    200 : 20m 300 : 30m	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT 最大接続台数 1台または 2台*9 最大接続距離 30m</p>	
 GT10-C□R4-8PC 10 : 1m    100 : 10m 30 : 3m    200 : 20m 300 : 30m				
 GT10-C□R4-8PL*10 10 : 1m				

\* 8: GT1655、GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

\* 9: FX1S、FX1N、FX2N .....機能拡張ボード (FX □ N-422-BD) 併用時  
FX1NC、FX2NC .....RS-422 接続では、1台のみ

\* 10: GT10-C10R4-8PLは、FX1S、FX1N、FX2Nのみ使用できます。

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて










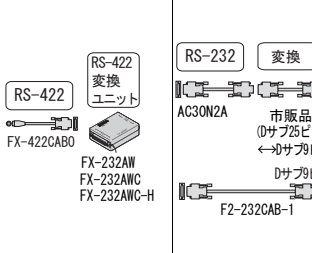

3 機能について

4 接続確認について

5 海外規格対応状況

6 機器一覧

7 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX1S ・ FX1N ・ FX2N   機能拡張 ボード  FXCN-422-8D	 RS-422 コネクタ変換ボックス 外部接続 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
	 中継 GT11H-C□R4-8P 15 : 1.5m (1.5mを超える場合は ユーザ作成) 外部接続 GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	
・ FX1NC ・ FX2NC  	 RS-422 コネクタ変換ボックス 外部接続 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m GT11H-CNB-37S GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m
	 RS-422 変換ユニット FX-422CABO RS-232AW FX-232AWC FX-232AWC-H RS-232C 変換 AG3ON2A 市販品 (Dサブ25ピン ←Dサブ9ピン) Dサブ9ピン F2-232CAB-1	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232 ボード	 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m

\* 11: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ □ BD
	バス接続時	GT115 □ □ BDQ, GT115 □ □ BDA
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時
GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ □ BD
GT10	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)
	RS-422 で接続時	

## ⚠ 注意事項

### ■ セットアップ時の注意事項



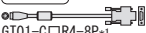


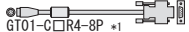






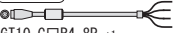




- 変換器／ケーブルを抜き差しする場合 (GT SoftGOT1000 の場合)
  - ・ DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
  - ・ DC5V 電源を受電しない変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない (外部電源より受給する) 周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
    - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
    - ② パソコン側の電源を OFF する。
    - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
    - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器／ケーブルを抜き差しする。
    - ⑤ 変換器の電源を ON する。
    - ⑥ パソコンの電源を ON する。
    - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。

## 📖 マニュアルナビ













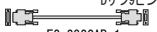




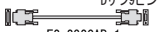
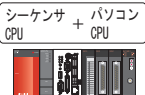
- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて  
・ 注意事項、制約事項について  
・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について  
➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 6 章
  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について  
➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について  
➡ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について  
・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について  
➡ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

システム構成

① RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX0</li> <li>FX0s</li> <li>FX0n</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>FX1 *4</li> <li>FX2 *4</li> <li>FX2c *4</li> </ul> 	<p>RS-422</p>  <p>GT01-C□R4-8P*1 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m</p> <p>RS-422変換</p>  <p>GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m</p> <p>GT01-C□R4-25P*2 30 : 3m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30.2m</p>	
	<p>RS-422</p>  <p>GT01-C□R4-8P *1 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m</p>  <p>GT01-C□R4-25P *2 30 : 3m 100 : 10m 200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>RS-422変換 *3</p>  <p>GT15-RS2T4-9P</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30m</p>
		<p>RS-422/485</p>  <p>GT15-RS4-9S</p>			
		<p>RS-422</p>  <p>GT01-RS4-M</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT105□/GT104□</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30m *5</p>
		<p>RS-422</p>  <p>GT10-C□R4-8P *1 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m</p>  <p>GT10-C□R4-8PC *1 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m</p>  <p>GT10-C□R4-8PL *1 10 : 1m</p>  <p>GT10-C□R4-25P *2 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT1030/GT1020</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30m *5</p>

\* 1: FX0, FX0s, FX0n 接続時に使用  
 \* 2: FX1, FX2, FX2c 接続時に使用  
 \* 3: GT1655, GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。  
 \* 4: GT1030-L□□□LW/H□□LW, GT1020-L□□□LW/H□□LWとの接続はできません。  
 \* 5: GT1030-L□□□LW/H□□LW, GT1020-L□□□LW/H□□LW と接続時は最大接続距離が3mになります。

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・ FX0 ・ FX0S ・ FX0N    ・ FX1 ・ FX2 ・ FX2C  	 RS-422 GT01-C□R4-8P *6 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m  コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m 外部接続	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m	
	中継  GT11H-C□R4-8P*6 15: 1.5m(1.5mを超える場合ユーザ作成)  GT11H-C□R4-25P*7 15: 1.5m(1.5mを超える場合ユーザ作成) 外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ		
	 RS-422 GT01-C□R4-8P *6 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m  コネクタ変換ボックス GT11H-CNB-37S GT01-C□R4-25P *7 30: 3m 100: 10m	RS-232 変換  AC30N2A 市販品 (Dサブピン ↔ Dサブピン) Dサブピン  F2-232CAB-1	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232ボード		 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー
 RS-422 FX-422CAB*7 FX-422CAB-150*7 FX-232AW FX-232AHC FX-422CAB0*6 FX-232AHC-H RS-422 変換ユニット 	RS-232 変換  AC30N2A 市販品 (Dサブピン ↔ Dサブピン) Dサブピン  F2-232CAB-1	<b>GOT</b>		 シーケンサ + パソコン CPU *8 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m

\* 6: FX0, FX0S, FX0N 接続時に使用  
 \* 7: FX1, FX2, FX2C 接続時に使用  
 \* 8: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT15	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT11	Ethernet で接続時	GT1145 □-Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
GT10	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD
	GT105 □	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	GT104 □-Q □ BD
GT10	RS-232, RS-422 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L □ LW/H □ L □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L □ LW (ただし、GT1030-L □ L □ LW/H □ L □ LW, GT1020-L □ L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)



## 注意事項

### ■ その他の注意事項

- 変換器／ケーブルを抜き差しする場合 (GT SoftGOT1000 の場合)
  - ・ DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
  - ・ DC5V 電源を受電しない変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない (外部電源より受給する) 周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
    - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
    - ② パソコン側の電源を OFF する。
    - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
    - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器／ケーブルを抜き差しする。
    - ⑤ 変換器の電源を ON する。
    - ⑥ パソコンの電源を ON する。
    - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。












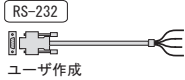



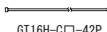

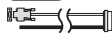



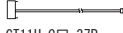

## マニュアルナビ

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて</li> <li>・ 注意事項、制約事項について</li> <li>・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について</li> </ul> | ➤ | <p>GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br/>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br/>(SH-080838) 第 6 章</p>  |
| <hr/>   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GOT がモニタできるアクセス範囲について</li> </ul>   | ➤ | <p>GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br/>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br/>(SH-080838) 第 3 章</p>  |
| <hr/>   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンディ GOT での接続方法について</li> </ul>   | ➤ | <p>GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書<br/>(JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章<br/>GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書<br/>(JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章</p> |
| <hr/>   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GT SoftGOT1000 での接続方法について</li> <li>・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について</li> </ul>            | ➤ | <p>GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル<br/>GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章</p>  |
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

● FX シリーズ (FX3G)


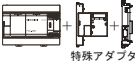




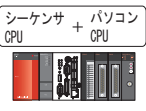
システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX3G 機能拡張 ボード  FX3G-232-BD  特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-INV-ADP 特殊アダプタ FX3G-232ADP  機能拡張ボード FX3G-232-8D  特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-INV-ADP 機能拡張ボード FX3G-232-8D 特殊アダプタ FX3G-232ADP	RS-232  GT01-C□R2-9S 30 : 3m (3mを超える場合ユーザ作成)	不要 GOT本体に内蔵  GT16/GT15	GOT 最大接続台数 2台*1 最大接続距離 15m	
		RS-232  GT15-RS2-9P 		不要 GOT本体に内蔵  GT14/GT11
		不要 GOT本体に内蔵  GT105□/GT104□		GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。
		RS-232  GT01-RS4-M 		
機能拡張ボード FX3G-232-8D  特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-INV-ADP 機能拡張ボード FX3G-232-8D 特殊アダプタ FX3G-232ADP	RS-232  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵  GT1030/GT1020	GOT 最大接続台数 2台*1 最大接続距離 15m	
	RS-232  コネクタ変換 ボックス GT01-C□R2-9S 30 : 3m (3mを超える場合 ユーザ作成) GT16H-C□-42P 30 : 3m GT16H-CNB-42S 	外部接続  GT16ハンディ 		
特殊アダプタ FX3G-232ADP  機能拡張ボード FX3G-232-8D 特殊アダプタ FX3G-232ADP	中継  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵  GT11ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m	
	RS-232  コネクタ変換 ボックス GT01-C□R2-9S 30 : 3m (3mを超える場合 ユーザ作成) GT11H-CNB-37S 			外部接続  GT11H-C□-37P 30 : 3m
	外部接続  GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m			

\* 1: 機能拡張ボード (FX3G-232-BD) または特殊アダプタ (FX3U-232ADP) を使用時 (GT1030-L□L/L□LW/H□L/H□LW、GT1020-L□L/L□LW/H□L/H□LW は 2 台同時接続できません)

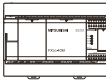
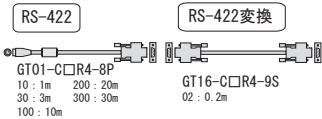


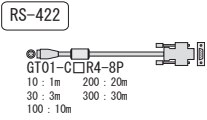







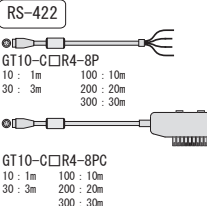

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<p>・ FX3G</p> <p>機能拡張ボード</p>  <p>FX3G-232-BD</p> <p>特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-DNV-ADP</p>  <p>特殊アダプタ FX3G-232ADP</p> <p>機能拡張ボード FX3G-232-BD</p> <p>特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-DNV-ADP</p>  <p>機能拡張ボード FX3G-232-BD</p> <p>特殊アダプタ FX3G-232ADP</p>	<p>RS-232</p>  <p>Dサブ9ピン</p> <p>GT01-C□R2-9S 30:3m</p> <p>Dサブ25ピン</p>  <p>GT01-C□R2-25P 30:3m</p>	<p>不要</p> <p>パソコンに内蔵</p> <hr/> <p>市販RS-232 ボード</p>	<p>GOT</p>  <p>DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p> <p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m</p>	
<p>GOT</p>  <p>シーケンサ CPU + パソコン CPU *2 ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>			<p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m</p>	

\* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。







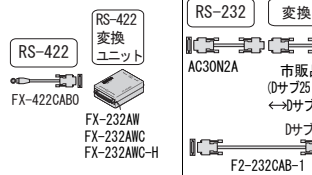

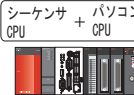


## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX3G 	RS-422  GT01-C□R4-8P 10 : 1m 200 : 20m 30 : 3m 300 : 30m 100 : 10m GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16	GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30.2m
機能拡張 ボード  FX3G-422-BD	RS-422  GT01-C□R4-8P 10 : 1m 200 : 20m 30 : 3m 300 : 30m 100 : 10m	RS-422 変換  *3 GT15-RS2T4-9P	 GT16/GT15	GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30m
		RS-422/485  *3 GT15-RS4-9S	 GT14/GT11	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
		RS-422  *3 GT01-RS4-M	GOT との接続についての詳細は、 4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。	
特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-0N-ADP 機能拡張ボード FX3G-422-BD  FX3G-232ADP 特殊アダプタ FX3G-232ADP	RS-422  GT10-C□R4-8P 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m GT10-C□R4-8PC 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30m





\* 3: GT1655, GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

\* 4: CPUポート (RS-422) と機能拡張ボード (FX3G-422-BD) 使用時 (GT1030-L□L□LW/H□L/H□LW, GT1020-L□L□LW/H□L/H□LW は 2台同時接続できません。)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX3G 	 RS-422 コネクタ変換ボックス 外部接続 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m GT16H-CNB-42S	不要 GOT本体に内蔵	 GT16Hハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
機能拡張ボード  FX3G-422-BD	 中継 GT11H-C□R4-8P 15 : 1.5m (1.5mを超える場合 ユーザ作成) 外部接続 GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11Hハンディ	
特殊アダプタ接続用 変換アダプタ FX3G-CNB-ADP 機能拡張ボード FX3G-422-BD 特殊アダプタ FX3U-232ADP	 RS-422 コネクタ変換ボックス GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m GT11H-CNB-37S RS-422 変換ユニット AC30N2A 市販品 (Dサブ25ピン ←→サブピン) Dサブピン F2-232CAB-1 RS-232C 変換 FX-232AW FX-232ANC FX-232ANC-H	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232 ボード	 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m
<b>GOT</b>			 シーケンサ + パソコン CPU *5	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー

\* 5: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

### ③ USB

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・ FX3G 	 USB TYPE-A MR-J3USBCBL3M GOT09-C30USB-5P	不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m
<b>GOT</b>			 シーケンサ + パソコン CPU *6	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー

\* 6: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
		RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
			GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と接続できる機能拡張ボード／特殊アダプタは、FX3G-232-BD、FX3G-422-BD、FX3U-232ADP のみです。

### ■ セットアップ時の注意事項

- 変換器／ケーブルを抜き差しする場合（GT SoftGOT1000 の場合）
  - ・ DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
  - ・ DC5V 電源を受電しない変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない（外部電源より受給する）周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
    - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
    - ② パソコン側の電源を OFF する。
    - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
    - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器／ケーブルを抜き差しする。
    - ⑤ 変換器の電源を ON する。
    - ⑥ パソコンの電源を ON する。
    - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。

### ■ その他の注意事項

- FXCPU（FX3G シリーズ）にキーワード登録されていると、GOT でモニタできない場合があります。再度 I/O チェック（I/O チェックを行う）を行ってください。I/O チェックが正常な場合、CPU のキーワード登録状態を確認してください。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて  
・ 注意事項、制約事項について  
・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について  
➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル（三菱電機機器接続編）GT Works3 対応（SH-080838）第 6 章
  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について  
➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル（三菱電機機器接続編）GT Works3 対応（SH-080838）第 3 章
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について  
➤ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書（JY997D40501, JY997D40502）第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書（JY997D18901, JY997D18902）第 22 章
  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について  
・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について  
➤ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応（SH-080844）第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

● FXシリーズ (FX3GC)

システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
	<p>RS-232 GT01-C□R2-9S 30:3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT16/GT15</p>	GOT 最大接続台数 2台*1 最大接続距離 15m
		RS-232 GT15-RS2-9P		
		不要 GOT本体に内蔵	<p>GT14/GT11</p>	
		不要 GOT本体に内蔵	<p>GT105□/GT104□</p>	
	<p>RS-232 ユーザ作成</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT1030/GT1020</p>	GOT 最大接続台数 2台*1 最大接続距離 15m
<ul style="list-style-type: none"> <li>・FX3GC-□□/D</li> <li>・FX3GC-□□/DSS</li> </ul> <p>特殊アダプタ FX3U-232ADP</p>	<p>RS-232 GT01-C□R2-9S 30:3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続 GT16H-C□-42P 30:3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT16ハンディ</p>	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m
	<p>中継 ユーザ作成</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT11ハンディ</p>	
	<p>RS-232 GT01-C□R2-9S 30:3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続 GT11H-C□-37P 30:3m</p>			
	<p>外部接続 GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>			
	<p>RS-232 GT01-C□R2-9S 30:3m</p> <p>Dサブ9ピン</p> <p>GT01-C□R2-25P 30:3m</p> <p>Dサブ25ピン</p>			
	<p>外部接続 GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232ボード	<p>DOS/Vパソコン</p> <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m
			<b>GOT</b>	
	<p>RS-232 GT01-C□R2-9S 30:3m</p> <p>Dサブ25ピン</p> <p>GT01-C□R2-25P 30:3m</p>	シーケンサ + パソコン CPU *2 	<p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m

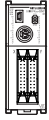










\* 1: 特殊アダプタ (FX3U-232ADP) 使用時は、GOT を FXCPU と特殊アダプタに 1 台ずつ接続することができます。

\* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

② RS-422

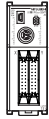

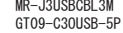




接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
	<p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P 10 : 1m 200 : 20m 30 : 3m 300 : 30m 100 : 10m</p> <p>RS-422変換</p> <p>GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30.2m</p>	
<p>・ FX3GC-□□/D ・ FX3GC-□□/DSS</p>	<p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P 10 : 1m 200 : 20m 30 : 3m 300 : 30m 100 : 10m</p>	<p>RS-422変換</p> <p>GT15-RS2T4-9P</p>	<p>GT16/GT15</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30m</p>	
		<p>RS-422/485</p> <p>GT15-RS4-9S</p>			<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT105□/GT104□</p>		
		<p>RS-422</p> <p>GT01-RS4-M</p>	<p>GOT との接続についての詳細は、 4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。</p>		
					<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>
	<p>RS-422</p> <p>GT10-C□R4-8P 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m</p> <p>GT10-C□R4-8PC 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 30m</p>	
	<p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m</p> <p>外部接続</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16ハンディ</p>		
	<p>中継</p> <p>GT11H-C□R4-8P 15 : 1.5m (1.5mを超える場合 ユーザ作成)</p> <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT11ハンディ</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 13m</p>	
	<p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>				

\* 3: GT1655, GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX3GC-□□/ D</li> <li>FX3GC-□□/ DSS</li> </ul> 	 RS-422  FX-422CABO  RS-422 変換ユニット  FX-232AW  FX-232AHC  FX-232AHC-H	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232ボード	 DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m
		RS-232 変換  AC30N2A 市販品 (Dサブ25ピン ←Dサブ9ピン) Dサブピン  F2-232CAB-1	不要 シーケンサ + パソコン CPU 

\* 4: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

③ USB

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX3GC-□□/ D</li> <li>FX3GC-□□/ DSS</li> </ul> 	 USB TYPE-A  MR-J3USBCBL3M  GT09-C3OUSB-5P	不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m
		シーケンサ + パソコン CPU 	 ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 3m

\* 5: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
GT11	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時 GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と接続できる特殊アダプタは、FX3U-232ADP のみです。

### ■ セットアップ時の注意事項

- 変換器／ケーブルを抜き差しする場合 (GT SoftGOT1000 の場合)
  - ・ DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器／ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
  - ・ DC5V 電源を受電しない変換器／ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない (外部電源より受給する) 周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
    - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
    - ② パソコン側の電源を OFF する。
    - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
    - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器／ケーブルを抜き差しする。
    - ⑤ 変換器の電源を ON する。
    - ⑥ パソコンの電源を ON する。
    - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。

### ■ その他の注意事項

- FXCPU (FX3GC シリーズ) にキーワード登録されていると、GOT でモニタできない場合があります。再度 I/O チェック (I/O チェックを行う) を行ってください。I/O チェックが正常な場合、CPU のキーワード登録状態を確認してください。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて  
・ 注意事項、制約事項について  
・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について  
➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 6 章

---

  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について  
➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章

---

  - ・ ハンディ GOT での接続方法について  
➤ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章

---

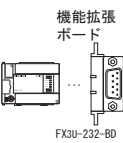
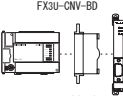







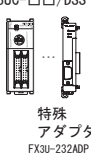
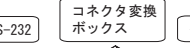


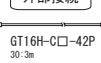


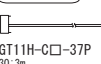



  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について  
・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について  
➤ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。



● FX シリーズ (FX3u, FX3uC)

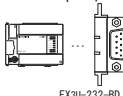
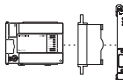




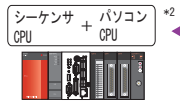
① システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT			
<ul style="list-style-type: none"> <li>- FX3U</li> <li>- FX3UC-□□-LT (-2)</li> </ul>  <p>機能拡張ボード FX3U-232-BD</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機能拡張ボード</li> <li>FX3U-422-BD</li> <li>FX3U-232-BD</li> <li>FX3U-ONV-BD</li> </ul>  <p>特殊アダプタ FX3U-232ADP</p>	 <p>RS-232</p> <p>GT01-C□R2-9S 30 : 3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 2台*1</p> <p>最大接続距離 15m</p>		
		<p>RS-232</p>  <p>GT15-RS2-9P</p>			<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT14/GT11</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>		 <p>GT105□/GT104□</p>	<p>GOTとの接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。</p>
		<p>RS-232</p>  <p>GT01-RS4-M</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>		 <p>GT1030/GT1020</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>- FX3UC-□□/D</li> <li>- FX3UC-□□/DS</li> <li>- FX3UC-□□/DSS</li> </ul>  <p>特殊アダプタ FX3U-232ADP</p>	<p>RS-232</p>  <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 2台*1</p> <p>最大接続距離 15m</p>		
	<p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>外部接続</p>  <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>			
	<p>中継</p>  <p>ユーザ作成</p>	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□-37P 30 : 3m</p>			<p>GOT</p> <p>最大接続台数 1台</p> <p>最大接続距離 6m</p>	
	<p>RS-232</p>  <p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>GT01-C□R2-9S 30 : 3m (3mを超える場合ユーザ作成)</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m</p>				











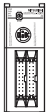
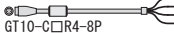



\* 1: 機能拡張ボード (FX3U-232-BD) または特殊アダプタ (FX3U-232ADP) 使用時は、GOT を FXCPU と機能拡張ボード/特殊アダプタに1台ずつ接続することができます。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>FX3U</li> <li>FX3UC-□□-LT(-2)</li> </ul> <p>機能拡張 ボード</p>  <p>FX3U-232-BD</p> <p>機能拡張 ボード</p> <p>FX3U-232-BD FX3U-USB-BD FX3U-485-BD FX3U-CNV-BD FX3U-422-BD</p>  <p>特殊 アダプタ</p> <p>FX3U-232ADP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FX3UC-□□/D</li> <li>FX3UC-□□/DS</li> <li>FX3UC-□□/DSS</li> </ul>  <p>特殊 アダプタ</p> <p>FX3U-232ADP</p>	<p>RS-232</p>  <p>Dサブ9ピン</p> <p>GT01-C□R2-9S 30:3m</p>  <p>Dサブ25ピン</p> <p>GT01-C□R2-25P 30:3m</p>	<p>不要</p> <p>パソコンに内蔵</p> <hr/> <p>市販RS-232 ボード</p>	<p>GOT</p>  <p>DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー</p> <p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m</p>	
<p>GOT</p>  <p>シーケンサ + パソコン CPU + CPU *2 ←</p> <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>			<p>GOT</p> <p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m</p>	

\* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。


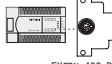






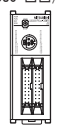






## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・ FX3U ・ FX3UC-□□-LT(-2)  機能拡張 ボード  FX□□N-422-B0	<b>RS-422</b>  RS-422変換 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 200 : 20m 30 : 3m 300 : 30m 100 : 10m GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30.2m
	<b>RS-422</b>  GT01-C□R4-8P 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m	<b>RS-422変換</b>  *3 GT15-RS2T4-9P	 GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30m
		<b>RS-422/485</b>  GT15-RS4-9S	 GOT本体に内蔵
		不要 GOT本体に内蔵	 GOTとの接続についての詳細は、 4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。
・ FX3UC-□□/D ・ FX3UC-□□/DS ・ FX3UC-□□/DS 	<b>RS-422</b>  GT10-C□R4-8P 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m  GT10-C□R4-8PC 10 : 1m 100 : 10m 30 : 3m 200 : 20m 300 : 30m  GT10-C□R4-8PL*5 10 : 1m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT 最大接続台数 2台*4 最大接続距離 30m

\* 3: GT1655、GT155□を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

\* 4: 機能拡張ボード (FX3U-232-DB) 使用時は、GOTをFXCPUと機能拡張ボード/特殊アダプタに1台ずつ接続することができます。

\* 5: GT10-C10R4-8PLは、FX3U、FX3UC-□□-LT(-2)のみ使用できます。

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・FX3U ・FX3UC-□□-LT(-2)   機能拡張 ボード  FXCN-422-BD	 RS-422 コネクタ変換 ボックス 外部接続 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m  GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
	 中継 GT11H-C□R4-8P 15 : 1.5m (1.5mを超える場合 ユーザ作成) RS-422 コネクタ変換 ボックス 外部接続 GT01-C□R4-8P 10 : 1m 30 : 3m 100 : 10m  GT11H-CNB-37S GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	
・FX3UC-□□/D ・FX3UC-□□/DS ・FX3UC-□□/DSS 	RS-422 変換 ユニット FX-422CABO  RS-232 変換 AC30N2A  市販品 (Dサプ25ピン ←Dサプピン) Dサプピン F2-232CAB-1 	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232 ボード	 DSS/パソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m
	GOT 	シーケンサ + パソコン CPU + CPU *6 	GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 4.5m

\* 6: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT1145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT1115 □ -Q □ BDQ, GT1115 □ -Q □ BDA	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と接続できる機能拡張ボード/特殊アダプタは、FX3U-232-BD、FX3U-422-BD、FX3U-232ADP のみです。

### ■ セットアップ時の注意事項

- 変換器/ケーブルを抜き差しする場合 (GT SoftGOT1000 の場合)
  - ・ DC5V 電源を受電する変換器/ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電する変換器/ケーブルを抜き差しする場合は、シーケンサ側の電源を OFF してから操作するようにしてください。
  - ・ DC5V 電源を受電しない変換器/ケーブルを抜き差しする場合  
シーケンサ側から DC5V 電源を受電しない (外部電源より受給する) 周辺機器、およびケーブルを抜き差しする場合は、下記手順で操作してください。
    - ① 作業前に必ずアースバンドもしくは接地された金属などに触れて、ケーブルや人体などに帯電している静電気を放電する。
    - ② パソコン側の電源を OFF する。
    - ③ 変換器の電源を OFF する。FG 端子がある場合は接地する。
    - ④ パソコンとシーケンサ間の変換器/ケーブルを抜き差しする。
    - ⑤ 変換器の電源を ON する。
    - ⑥ パソコンの電源を ON する。
    - ⑦ ソフトウェアパッケージを立ち上げる。

### ■ その他の注意事項

- FXCPU (FX3U/FX3UC シリーズ) にキーワード登録されていると、GOT でモニタできない場合があります。再度 I/O チェック (I/O チェックを行う) を行ってください。I/O チェックが正常な場合、CPU のキーワード登録状態を確認してください。
- FX3UCCPU に FX-232AWC-H を接続した場合は、伝送速度 9600/19200/38400/57600/115200bps が使用できます。  
FX-232AWC または FX-232AW を接続した場合は、伝送速度 9600/19200bps のいずれかが使用できます。

## 📖 マニュアルナビ













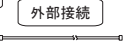

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CPU 直接接続するまでの概略手順・チェック方法について
  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 6 章
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 20 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.1.5 計算機リンク接続




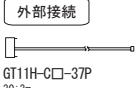






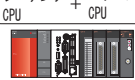


- QCPU(Qモード)/C言語コントローラ/LCPU/モーションコントローラ CPU(Qシリーズ)  
/CNC C70/ロボットコントローラ

### システム構成

#### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU(Qモード) ・C言語 *10*11 コントローラ ・LCPU ・モーション コントローラ CPU(Qシリーズ) *3*12 ・CNC C70 *2*3 ・CRnQ-700 *2*3 ・MELSECNET/H *1 リモートI/O局 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク ヘッドユニット  シリアル コミュニケーション ユニットの ・Q170MCPU *8*9 	 RS-232 GT09-C□R2-9P*4 30 : 3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16/GT15	GOT 最大接続台数 1台または 2台*5 最大接続距離 15m
		RS-232  GT15-RS2-9P		
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
		RS-232  *13 GT01-RS4-M	GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照くださ い。	
	 RS-232 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	GOT 最大接続台数 1台または 2台*5 最大接続距離 15m
	 RS-232 GT09-C□R2-9P*4 30 : 3m  コネクタ変換 ボックス  外部接続 GT16H-C□-42P 30 : 3m GT16H-CNB-42S	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m


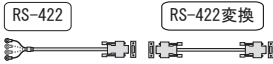





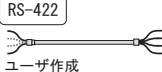

- \*1: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOTのみ
- \*2: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, GT SoftGOT1000のみ
- \*3: マルチ CPU システムを構成してください。
- \*4: 紹介品となります。三菱電機システムサービス(株)より購入ください。
- \*5: QJ71C24N(-R2/R4) 使用時は2台
- \*8: GT SoftGOT1000との接続は、Q170MCPUのシーケンサ CPU 部 (1号機) のみ接続できます。
- \*9: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1段目に接続します。
- \*10: シリアル No. の上5桁が12042以降を使用してください。
- \*11: マルチ CPU で他号機に管理されているシリアルコミュニケーションユニットのシリアルポートを使用してください。
- \*12: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOTのみ
- \*13: QCPUのみ対応

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU (Qモード) ・C言語 *21*22 コントローラ ・LCPU ・モーション コントローラ CPU (Qシリーズ) *16*23 ・CNC C70 *15*16 ・CRnQ-700 *15*16 ・MELSECNET/H リモートI/O局 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク ヘッドユニット  シリアル コミュニケーション ユニット ・Q170MCPU *19*20 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           中継              ユーザ作成         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           外部接続              GT11H-C□-37P            30:3m         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           コネクタ変換            ボックス              GT09-C□R2-9P*17            30:3m            GT11H-CNB-37S         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           外部接続              GT11H-C□            30:3m 60:6m         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           RS-232              ユーザ作成         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           不要            GOT本体に内蔵         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           不要            パソコンに内蔵            市販RS-232            ボード         </div>	 GT11ハンディ	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           不要            パソコンに内蔵            市販RS-232            ボード         </div>	 DOS/Vパソコン  GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
		<b>GOT</b>		
		 シーケンサ + パソコン CPU *18  GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	 パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	

- \* 14: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 15: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT, GT SoftGOT1000 のみ
- \* 16: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 17: 紹介品となります。三菱電機システムサービス (株) より購入ください。
- \* 18: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。
- \* 19: GT SoftGOT1000との接続は、Q170MCPUのシーケンサCPU部 (1号機) のみ接続できます。
- \* 20: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1段目に接続します。
- \* 21: シリアルNo.の上5桁が12042以降を使用してください。
- \* 22: マルチCPUで他号機に管理されているシリアルコミュニケーションユニットのシリアルポートを使用してください。
- \* 23: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ


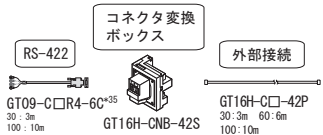

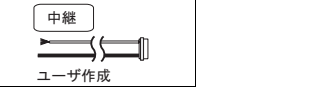


1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続確認について  
 5 海外規格対応状況  
 6 機器一覧  
 7 用語集

② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・QCPU (Qモード) ・C言語 *29 *30 コントローラ ・LCPU ・モーション コントローラ CPU (Qシリーズ) *25*31 ・CNC C70 *24*25 ・CRnQ-700 *24*25 ・MELSECNET/H *24 リモートI/O局 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク ヘッドユニット  シリアル コミュニケーション ユニット	 RS-422      RS-422変換 GT09-C□R4-6C*26    GT16-C□R4-9S 30 : 3m    200 : 20m    02:0.2m 100 : 10m    300 : 30m	不要 GOT本体に内蔵		GOT 最大接続台数 * 28 1台または 2台 最大接続距離 1200m	
	 RS-422 GT09-C□R4-6C*26 30 : 3m 100 : 10m	RS-422 *27 変換 GT15-RS2T4-9P	不要 GOT本体に内蔵		 GT16/GT15
		RS-422/485 GT15-RS4-9S			
		不要 GOT本体に内蔵	不要 GOT本体に内蔵		 GT14/GT11
			不要 GOT本体に内蔵		 GT105□/GT104□
			RS-422 *32 GT01-RS4-M		GOT との接続についての詳細は、 4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参 照ください。
 RS-422 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	GOT 最大接続台数 * 28 1台または 2台 最大接続距離 1200m		

- \* 24: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 25: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 26: 紹介品となります。三菱電機システムサービス (株) より購入ください。
- \* 27: GT1655, GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9S をご使用ください。
- \* 28: QJ71C24N(-R2/R4) 使用時は 2 台
- \* 29: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 30: マルチ CPU で他号機に管理されているシリアルコミュニケーションユニットのシリアルポートを使用してください。
- \* 31: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ
- \* 32: QCPU のみ対応



接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU (Qモード) ・C言語 *36*37 コントローラ ・LCPU ・モーション コントローラ CPU (Qシリーズ) *34*38 ・CNC C70 *33*34 ・CRnQ-700 *33*34 ・MELSECNET/H リモートI/O局 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク ヘッドユニット  シリアル コミュニケーション ユニット	 <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>RS-422</p> <p>GT09-C□R4-6C*35 30:3m 100:10m</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
	 <p>中継</p> <p>ユーザ作成</p> <p>外部接続</p> <p>RS-422</p> <p>GT09-C□R4-6C*35 30:3m 100:10m</p> <p>GT11H-CNB-37S</p> <p>GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
	 <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>		

- \* 33: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 34: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 35: 紹介品となります。三菱電機システムサービス (株) より購入ください。
- \* 36: シリアル No. の上5桁が12042以降を使用してください。
- \* 37: マルチ CPU で他号機に管理されているシリアルコミュニケーションユニットのシリアルポートを使用してください。
- \* 38: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L □ LW
			(ただし、GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)

## 使用可能なユニット

シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット* 39		
形名	CH1	CH2
QJ71C24 * 40	RS-232	RS-422/485
QJ71C24-R2 * 40	RS-232	RS-232
QJ71C24N	RS-232	RS-422/485
QJ71C24N-R2	RS-232	RS-232
QJ71C24N-R4 * 41	RS-422/485	RS-422/485
QJ71CMO * 42	モジュロコネクタ	RS-232
QJ71CMON * 42	モジュロコネクタ	RS-232
LJ71C24	RS-232	RS-422/485
LJ71C24-R2	RS-232	RS-232

\* 39 RS-485 による通信は行えません。A0J2-C214-S1 は使用不可。

\* 40 機能バージョン A は、CH1、CH2 のいずれかのみ使用可能。機能バージョン B 以降は、CH1、CH2 併用可能。

\* 41 GT SoftGOT1000 では使用できません。

\* 42 CH2 でのみ接続可能。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT は、ベーシックモデル QCPU の直接接続を推奨しているため、ベーシックモデル QCPU のシリアルコミュニケーション機能には対応していません。
- シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット側には終端抵抗 (330Ω 1/4W( 橙橙茶口 )) を接続してください。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。

### ■ その他の注意事項

- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU, Q01CPU, Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降, Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU, Q173CPU, Q172CPUN, Q173CPUN の場合  
SV13, SV22, SV43 使用時, 下記、本体 O S バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 計算機リンク接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 7 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 21 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- 
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。





システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
QnACPUタイプ シリアル コミュニケーション ユニット	<p>RS-232 GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT09-C□R2-25P*1 30 : 3m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> <p>RS-232 </p> <p>GT15-RS2-9P</p>	<p>GT16/GT15</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m</p>	
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT14/GT11</p>	
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT105□/GT104□</p>	
			<p>RS-232 </p> <p>GT01-RS4-M</p>	<p>GOTとの接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照ください。</p>
		<p>RS-232</p> <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m</p>
	<p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>RS-232</p> <p>GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT09-C□R2-25P*1 30 : 3m</p> <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m GT16H-CNB-42S</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16ハンディ</p>	
	<p>中継</p> <p>ユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>RS-232</p> <p>GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT09-C□R2-25P*1 30 : 3m</p> <p>GT11H-C□-37S 30 : 3m</p>	<p>外部接続</p> <p>GT11H-C□-37P 30 : 3m 100 : 10m</p>	<p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m</p>	
	<p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT11ハンディ</p>	


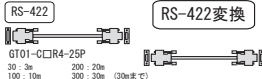

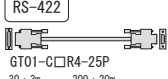









\* 1: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。

\* 2: QCPUのみ対応

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QnACPUタイプ  シリアル コミュニケーション ユニット	 AC30N2A Dサブ25ピン	<input type="checkbox"/> 不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
		<input type="checkbox"/> 市販RS-232 ボード	<b>GOT</b>  シーケンサ + パソコン CPU + CPU *3 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m

\* 3: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QnACPUタイプ  シリアル コミュニケーション ユニット	 RS-422 RS-422変換 GT01-C□R4-25P 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m (30mまで) GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m	<input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	 GT16 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 1200m または 500m * 7	
	 RS-422 GT01-C□R4-25P 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m (30mまで) GT09-C□R4-6C*4 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m	<input type="checkbox"/> RS-422変換 *6 GT15-RS2T4-9P  <input type="checkbox"/> RS-422/485 GT15-RS4-9S 	 GT16/GT15 <input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	GOT との接続についての詳細は、4.2.5 GOT マルチドロップ接続をご参照くだ さい。
	 RS-422 GT09-C□R4-6C*4 30 : 3m 200 : 20m 100 : 10m 300 : 30m	<input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11 <input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	
	 RS-422 ユーザ作成	<input type="checkbox"/> RS-422 *5 GT01-RS4-M 	<input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□ <input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵
			<input type="checkbox"/> 不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 1200m または 500m * 7

\* 4: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。

\* 5: QCPUのみ対応

\* 6: GT1655、GT155□を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

\* 7: A1SJ71UC24 使用時

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16ハンディ</p>
<p>・QnACPUタイプ</p> <p>シリアル コミュニケーション ユニット</p>	<p>中継</p> <p>ユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>RS-422</p> <p>GT01-C□R4-25P 30: 3m 100: 10m</p> <p>GT11H-CNB-37S</p> <p>GT09-C□R4-6C*8 30: 3m 100: 10m</p> <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30: 3m 60: 6m 100: 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m</p> <p>GT11ハンディ</p>

\* 8: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L □ LW (ただし, GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

## 使用可能なユニット

シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット*9		
形名	CH1	CH2
AJ71QC24*10	RS-232	RS-422/485
AJ71QC24-R2*10	RS-232	RS-232
AJ71QC24-R4*10*11	RS-422	RS-422/485
AJ71QC24N*10	RS-232	RS-422/485
AJ71QC24N-R2*10	RS-232	RS-232
AJ71QC24N-R4*10*11	RS-422	RS-422/485
A1SJ71QC24*10	RS-232	RS-422/485
A1SJ71QC24-R2*10	RS-232	RS-232
A1SJ71QC24N*10	RS-232	RS-422/485
A1SJ71QC24N-R2*10	RS-232	RS-232
A1SJ71QC24N1*10	RS-232	RS-422/485
A1SJ71QC24N1-R2*10	RS-232	RS-232
AJ71UC24*10*12	RS-232	RS-422/485
A1SJ71UC24-R2*12	RS-232	-
A1SJ71UC24-R4*12	RS-422/485	-

\* 9 RS-485 による通信は行えません。A0J2-C214-S1 は使用不可。

QnACPU に A シリーズ用計算機リンクを使用した場合、モニタできるデバイス範囲は、AnACPU をモニタする場合のデバイス範囲で、AnACPU に存在するデバイスと同じ名前のみモニタできます。ただし、下記デバイスはモニタできません。

- ・ QnACPU で新たに増えたデバイス
- ・ ラッチリレー (L) およびステップリレー (S)  
(QnACPU の場合、ラッチリレー (L) およびステップリレー (S) は内部リレー (M) と別デバイスですが、いずれを指定しても内部リレーに対してアクセスします。)
- ・ ファイルレジスタ (R)

\* 10 CH1、CH2 いずれかのみ使用可能。

\* 11 GT SoftGOT1000 では使用できません。

\* 12 AnACPU のデバイス範囲で動作します。(R デバイスは使用できません)



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット側には終端抵抗 (330Ω 1/4W( 橙橙茶口 )) を接続してください。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。

### ■ セットアップ時の注意事項

- QnACPU に A シリーズ用計算機リンクユニットを使用した場合、GT SoftGOT1000 ではモニタできません。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 計算機リンク接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第7章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第3章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第21章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第22章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第4章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

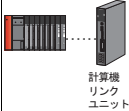


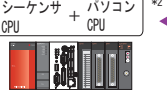
システム構成

① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・QCPU(Aモード) ・ACPUタイプ ・モーション コントローラ CPU(Aシリーズ)	<p>RS-232 GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT09-C□R2-25P*1</p>	不要 GOT本体に内蔵 RS-232 GT15-RS2-9P	<p>GT16/GT15</p>	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	
		不要 GOT本体に内蔵	<p>GT14/GT11</p>		
		不要 GOT本体に内蔵	<p>GT105□/GT104□</p>		
		<p>RS-232 ユーザー作成</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT1030/GT1020</p>	
	<p>計算機 リンク ユニット</p>	<p>RS-232 コネクタ変換 ボックス 外部接続 GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT16H-C□-42P 30 : 3m GT09-C□R2-25P*1 GT16H-CNB-42S</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT16ハンディ</p>	
		<p>中継 ユーザー作成 外部接続</p>			GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m
	<p>RS-232 コネクタ変換 ボックス 外部接続 GT09-C□R2-9P*1 30 : 3m GT11H-C□-37P 30 : 3m GT11H-CNB-37S GT09-C□R2-25P*1</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT11ハンディ</p>		
	<p>外部接続 GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m</p>				

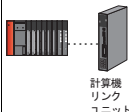










\* 1: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。



接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・GCPU (Aモード) ・ACPUタイプ  ・モーションコントローラCPU (Aシリーズ)   計算機リンクユニット	 Dサブ25ピン AC30N2A	不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m
		市販RS-232ボード	<b>GOT</b>  シーケンサ + パソコンCPU *2 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000用ライセンスキー パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m




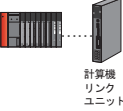
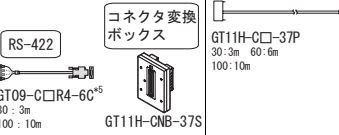


\* 2: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・GCPU (Aモード) ・ACPUタイプ  ・モーションコントローラCPU (Aシリーズ)   計算機リンクユニット	RS-422  RS-422変換 GT09-C□R4-6C*3    GT16-C□R4-9S 30 : 3m    200 : 20m    02 : 0.2m 100 : 10m    300 : 30m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16	
	RS-422  GT09-C□R4-6C*3 30 : 3m    200 : 20m 100 : 10m    300 : 30m	RS-422変換  *4 GT15-RS2T4-9P	 GOT16/GT15	GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 500m
		RS-422/485  GT15-RS4-9S	 GOT14/GT11	
	RS-422  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GOT105□/GT104□	
		不要 GOT本体に内蔵	 GOT1030/GT1020	

\* 3: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。

\* 4: GT1655、GT155□を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・CCPU (Aモード) ・ACPUタイプ	 <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>RS-422</p> <p>GT09-C□R4-6C*5 30 : 3m 100 : 10m</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>	
・モーションコントローラ CPU (Aシリーズ)	 <p>中継</p> <p>ユーザ作成</p>			GOT 最大接続台数 1台
 <p>計算機リンクユニット</p>	 <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>RS-422</p> <p>GT09-C□R4-6C*5 30 : 3m 100 : 10m</p> <p>GT11H-CNB-37S</p> <p>GT11H-C□-37P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>	最大接続距離 13m
	 <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m</p>			

\* 5: 紹介品となります。三菱電機システムサービス（株）より購入ください。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT1145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT1115 □ -Q □ BDQ, GT1115 □ -Q □ BDA
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ HS-Q □ BD
	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時
GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
GT1030 GT1020	RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

### 使用可能なユニット

CPU シリーズ	シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット*6		
	形名	CH1	CH2
MELSEC-Q シリーズ (A モード)	A1SJ71UC24-R2	RS-232	-
	A1SJ71UC24-R4*9	RS-422/485	-
MELSEC-A シリーズ モーションコントローラ CPU(A シリーズ)	AJ71UC24*7*8	RS-232	RS-422/485
	AJ71C24-S8*11	RS-232	RS-422
	A1SJ71UC24-R2*8	RS-232	-
	A1SJ71UC24-R4*8*9	RS-422/485	-
	A1SJ71C24-R2*8*10	RS-232	-
	A1SJ71C24-R4*8*9*10	RS-422/485	-
	A1SCPUC24-R2*8	RS-232	-
	A2CCPUC24*7	RS-232	RS-422/485

\* 6 RS-485 による通信は行えません。A0J2-C214-S1 は使用不可。

\* 7 CH1, CH2 いずれかのみ使用可能。

\* 8 A1SHCPU, A2SCPU, A2SHCPU, A1SJHCPU, A0J2HCPU, A171SHCPU (N), A172SHCPU と接続する場合は, 計算機リンクユニットの S/W バージョン U 以降をご使用ください。

\* 9 GT SoftGOT1000 では使用できません。

\* 10 AnACPU のデバイス範囲で動作します。(R デバイスは使用できません)

\* 11 GT SoftGOT1000 のみ使用できます。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- シリアルコミュニケーションユニット / 計算機リンクユニット側には終端抵抗 (330Ω 1/4W (橙橙茶 □)) を接続してください。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- モーションコントローラ (A シリーズ) のリモート I/O 局への接続はできません。

### ■ セットアップ時の注意事項

- GT11 と A 計算機リンクユニットを接続する場合  
GT11 と A 計算機リンクユニットを RS-232 通信で接続する場合は, 計算機リンクのパッファメモリを「CD 信号チェックしない」設定にしてください。

## マニュアルナビ










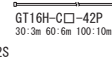






---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 計算機リンク接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第7章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第3章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第21章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第22章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第4章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.1.6 Ethernet 接続

- QCPU/C 言語コントローラ / 安全コントローラ / LCPU / モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) / モーションコントローラ CPU(A シリーズ) / CNC C70 / ロボットコントローラ / CC-Link IE フィールドネットワーク Ethernet アダプタユニット

### システム構成

接続先	ケーブル* 14	通信ユニット	GOT	
・QCPU ・C言語 コントローラ*3+11 ・QSCPU ・LCPU ・QnA/ACPU ・モーション コントローラCPU (Qシリーズ)*1+3 ・モーション コントローラCPU (Aシリーズ) ・CNC C70*1+2 ・CRnQ-700*1 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク Ethernetアダプ タユニット ・MELSECNET/H リモートI/O局*3 	Ethernet  ツイストペアケーブル*4	不要 GOT本体に内蔵	 *8 GT16	GOT 最大 接続台数 128 台 * 12 * 14 (推奨 16 台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m * 15
		Ethernet  GT15-J71E71-100	 GT15	
		不要 GOT本体に内蔵	 *16+17 GT14	
・CNC C70*1+2 ・CRnQ-700*1 ・CC-Link IE フィールド ネットワーク Ethernetアダプ タユニット ・MELSECNET/H リモートI/O局*3 	Ethernet  ツイストペア ケーブル*4  コネクタ変換 ボックス 外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m GT16H-CNB-42S	不要 GOT本体に内蔵	 GT16Hハンディ	パソコン 最大接続台数 128 台 * 6 * 14 (推奨 16 台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m * 15
		不要 パソコンに内蔵	 DOS/V/パソコン	
・Q170MCP *9+10 	Ethernet  ツイストペアケーブル*4	市販Ethernet ボード *5	GOT	パソコン 最大接続台数 128 台 * 6 * 14 (推奨 16 台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m * 15
		シーケンサ + パソコン CPU *7 	 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	

\* 1: マルチ CPU システムを構成してください。

\* 2: Display I/F と接続します。

\* 3: GT SoftGOT1000 は使用できません。

\* 4: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・ 10BASE-T  
シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・ 100BASE-TX  
シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 5: 使用可能な Ethernet ボード / カードについては、次ページを参照してください。

\* 6: GT SoftGOT1000 を複数起動している場合、複数起動している GT SoftGOT1000 の台数も含まれます。

\* 7: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

\* 8: 機能バージョン A の GT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合は、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 9: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCP のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。

\* 10: Ethernet ユニツト使用時は、増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。

\* 11: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。

\* 12: GT16、GT15 とユニバーサルモデル QCPU/C 言語コントローラ / LCPU を接続時は、16 台までです。

- \* 13: ツイストペアケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。  
使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバ、無線 LAN アダプタ (NZ2WL-JPA, NZ2WL-JPS) などの構成機器に接続してください。  
ケーブル、コネクタ、ハブは、IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。  
Ethernet ユニットとの接続時は、クロスケーブルによる接続が可能です。  
無線 LAN アダプタの接続が可能な相手機器および無線 LAN アダプタの設定方法については、使用する無線 LAN アダプタのマニュアルを参照してください。
- \* 14: 1 ネットワークに対する GOT 接続可能台数は、63 台 (最大) です。
- \* 15: ハブとノード間の長さです。  
最長距離は、ご使用の Ethernet 機器により異なります。  
リピータハブ使用時、接続可能な台数は、下記のとおりです。  
・10BASE-T: カスケード接続最大 4 台 (500m)  
・100BASE-TX: カスケード接続最大 2 台 (205m)  
スイッチングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。  
制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカーに確認してください。
- \* 16: Ethernet 接続に対応している GT14 は、GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDE のみです。
- \* 17: GT14 は、MELSEC-QS と接続できません。

## 使用可能なユニット

CPU シリーズ	Ethernet ユニット * 18	
MELSEC-Q シリーズ (Q モード) * 19 MELSEC-QS シリーズ モーションコントローラ CPU (Q シリーズ) CNC C70 ロボットコントローラ (CRnQ-700)	QJ71E71-100 QJ71E71-B5 QJ71E71-B2 QJ71E71	
MELSEC-QnA シリーズ	AJ71QE71N3-T AJ71QE71N-B5 AJ71QE71N-B2 AJ71QE71N-T AJ71QE71N-B5T AJ71QE71 AJ71QE71-B5	A1SJ71QE71N3-T A1SJ71QE71N-B5 A1SJ71QE71N-B2 A1SJ71QE71N-T A1SJ71QE71N-B5T A1SJ71QE71-B5 A1SJ71QE71-B2
MELSEC-Q シリーズ (A モード) MELSEC-A シリーズ モーションコントローラ CPU (A シリーズ)	AJ71E71N3-T AJ71E71N-B5 AJ71E71N-B2 AJ71E71N-T AJ71E71N-B5T AJ71E71-S3	A1SJ71E71N3-T A1SJ71E71N-B5 A1SJ71E71N-B2 A1SJ71E71N-T A1SJ71E71N-B5T A1SJ71E71-B5-S3 A1SJ71E71-B2-S3
CC-Link IE フィールドネットワーク Ethernet アダプタユニット	NZ2GF-ETB	

- \* 18 QnACPU に A シリーズ用 Ethernet ユニットを使用した場合、モニタできるデバイス範囲は、AnACPU をモニタする場合のデバイス範囲で、AnACPU に存在するデバイスと同じ名前のみモニタできます。  
ただし、下記デバイスはモニタできません。  
・QnACPU で新たに増えたデバイス  
・ラッチリレー (L) およびステップリレー (S)  
(QCPU/QnACPU の場合、ラッチリレー (L) およびステップリレー (S) は内部リレー (M) と別デバイスですが、いずれを指定しても内部リレーに対してアクセスします。)  
・ファイルレジスタ (R)
- \* 19 QnUDE(H) で内蔵 Ethernet ポートを使用する場合、Ethernet ユニットは不要です。

## GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード / カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink III LAN PC Card	Ethernet ボード / カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
① GT16 本体取扱説明書（ハードウェア詳細編）
- QnA(S)CPU タイプと接続時  
Ethernet ユニット (QnA シリーズ) とシーケンサ CPU (QnA/QnASCPU タイプ) は、機能バージョン B 以降を使用してください。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。
- モーションコントローラ (A シリーズ) のリモート I/O 局への接続はできません。
- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワークおよび他ネットワークのシーケンサ CPU をモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。
- QSCPU 使用時  
QSCPU は、デバイス値、回路モニタ使用時のシーケンスプログラムの読み出しのみ可能です。QSCPU に書き込みはできません。

### ■ その他の注意事項

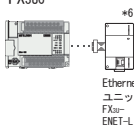













- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU、Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降、Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU、Q173CPU、Q172CPUN、Q173CPUN の場合  
SV13、SV22、SV43 使用時、下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU、Q01CPU、Q02CPU、Q02HCPU、Q06HCPU、Q12HCPU、Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- QnACPU に A シリーズ用 Ethernet ユニットを使用した場合、GT SoftGOT1000 ではモニタできません。

## 📖 マニュアルナビ

- |   |   |  |
|---|---|--|
| ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて                  | ➤ | GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br>(SH-080838) 第 8 章 |
| ・ 注意事項、制約事項について                         |   |  |
| ・ Ethernet 接続するまでの概略手順・チェック方法について       |   |  |
| .....                                   |   |  |
| ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について                 | ➤ | GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br>(SH-080838) 第 3 章 |
| .....                                   |   |  |
| ・ ハンディ GOT での接続方法について                   | ➤ | GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書<br>(JY997D40501、JY997D40502) 第 22 章            |
| .....                                   |   |  |
| ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について             |   |  |
| ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について | ➤ | GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル<br>GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章    |

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

システム構成

接続先	ケーブル*7	通信ユニット	GOT	
・FX3U ・FX3UC 	 Ethernet  ツイストペアケーブル*1	不要 GOT本体に内蔵	*5  GT16	GOT 最大 接続台数 2台 (推奨 16台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m *8
		Ethernet  GT15-J71E71-100	 GT15	
		不要 GOT本体に内蔵	*9  GT14	
	Ethernet コネクタ変換 ボックス 外部接続 ツイストペア ケーブル*1 GT16H-CN-B-42S GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	
	Ethernet  ツイストペアケーブル*1	不要 パソコンに内蔵 *2 市販Ethernet ボード	  DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 2台*3 (推奨 16台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m *8
		<b>GOT</b>		
		シーケンサ + パソコン CPU *4 	  ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	パソコン 最大接続台数 2台*3 (推奨 16台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m *8

- \* 1: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。
  - ・ 10BASE-T シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
  - ・ 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e
- \* 2: 使用可能な Ethernet ボード / カードについては、次ページを参照してください。
- \* 3: GT SoftGOT1000 を複数起動している場合、複数起動している GT SoftGOT1000 の台数も含みます。
- \* 4: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。
- \* 5: 機能バージョン A の GT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合は、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。
  - ・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- \* 6: FX3UC シリーズで Ethernet ユニットを使用する場合、FX3UC-1PS-5V、または FX2NC-CNV-IF が必要です。
- \* 7: Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。ケーブル、コネクタ、ハブは、IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。Ethernet ユニットとの接続時は、クロスケーブルによる接続が可能です。
- \* 8: ハブとノード間の長さです。
  - ・ 最長距離は、ご使用の Ethernet 機器により異なります。
  - ・ リピータハブ使用時、接続可能な台数は、下記のとおりです。
    - ・ 10BASE-T: カスケード接続最大 4 台 (500m)
    - ・ 100BASE-TX: カスケード接続最大 2 台 (205m)
  - ・ スwitchングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカーに確認してください。
- \* 9: Ethernet 接続に対応している GT14 は、GT1455-QTBD、GT1450-QLBDE のみです。



## 使用可能なユニット

CPU シリーズ	Ethernet ユニット
MELSEC-FX	FX3U-ENET-L

## GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード／カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink III LAN PC Card	Ethernet ボード／カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
① GT16 本体取扱説明書（ハードウェア詳細編）
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器（GOT を含む）を接続した場合  
同一セグメントに複数のネットワーク機器（GOT を含む）を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。
- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワークおよび他ネットワークのシーケンサ CPU をモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。










## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ Ethernet 接続するまでの概略手順・チェック方法について
  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 8 章
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 22 章
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。










## 4.1.7 MELSECNET/H 接続

### システム構成

#### ① 光ループ

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・QCPU</li> <li>・Q言語コントローラ*10</li> <li>・QSCPU</li> <li>・モーションコントローラCPU (Qシリーズ)*1*2</li> <li>・CNC C70 *2</li> <li>・CRnQ-700 *2</li> </ul>  <p>ネットワークユニット</p>	 <p>光ファイバ *3</p>	 <p>MELSEC NET/H GT15-J71LP23-25</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>最大接続台数 63台 最大接続距離 1km *4</p>
		<p>*5</p>  <p>MELSEC NET/H ボード Q80BD-J71LP21-25 Q80BD-J71LP21G</p>	 <p>DOS/パソコン</p>  <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	<p>パソコン 最大接続台数 64台 最大接続距離 1km *4</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q170MCPUCPU *8*9</li> </ul> 		<p>*6</p>  <p>シーケンサ + パソコン CPU + MELSECNET/H ネットワークユニット</p> <p>← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコンCPUにインストール</p>		<p>パソコン 最大接続台数 64台 最大接続距離 1km *4</p>

#### ② 同軸バス

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・QCPU</li> <li>・Q言語コントローラ*10</li> <li>・QSCPU</li> <li>・モーションコントローラCPU (Qシリーズ)*1*2</li> <li>・CNC C70 *2</li> <li>・CRnQ-700 *2</li> </ul>  <p>ネットワークユニット</p>	 <p>同軸 *3</p>	 <p>MELSEC NET/H GT15-J71BR13</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>最大接続台数 31台 最大接続距離 500m *7</p>
		<p>*5</p>  <p>MELSEC NET/H ボード Q80BD-J71BR11</p>	 <p>DOS/パソコン</p>  <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	<p>パソコン 最大接続台数 32台 最大接続距離 500m *7</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Q170MCPUCPU *8*9</li> </ul> 		<p>*6</p>  <p>シーケンサ + パソコン CPU + MELSECNET/H ネットワークユニット</p> <p>← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー パソコンCPUにインストール</p>		<p>パソコン 最大接続台数 32台 最大接続距離 500m *7</p>

\*1: GT SoftGOT1000 は使用できません。

\*2: マルチ CPU システムを構成してください。

\*3: 使用するケーブルの種類については、MELSECNET/Hのリファレンスマニュアルをご覧ください。

\*4: QS1光ケーブル使用時の局間距離です。

総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類・総局数によって異なります。

詳細についてはMELSECNET/Hリファレンスマニュアルをご覧ください。

\*5: Q二重化システムに接続時、MELSECNET/Hボードのドライバ (SW0DNC-MNETH-B) はバージョンK以降を使用してください。

\*6: パソコンCPUは、他のシーケンサと接続します。

\*7: 5C-2V 同軸ケーブル使用時の局間距離です。

総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類・総局数によって異なります。

詳細についてはMELSECNET/Hリファレンスマニュアルをご覧ください。

\*8: GT SoftGOT1000との接続は、Q170MCPUCPUのシーケンサCPU部 (1号機)のみ接続できます。

\*9: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1段目に接続します。

\*10: シリアルNo.の上5桁が12042以降を使用してください。

## 使用可能なユニット

CPU シリーズ	MELSECNET/H ユニット	
	光ループ	同軸バス
MELSEC-Q シリーズ (Q モード)*11 MELSEC-QS シリーズ	QJ71LP21 QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	QJ71BR11*11
C 言語コントローラ	QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	QJ71BR11*11

\*11 CPU、MELSECNET/H ネットワークユニットは、機能バージョン B 以降をご使用ください。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- 接続可能ネットワーク
  - GOT は、下記のネットワークシステムに通常局として接続します。
    - ・ MELSECNET/H ネットワークシステム (PC 間ネット) 光ループシステム
    - ・ MELSECNET/H ネットワークシステム (PC 間ネット) 同軸バスシステム
- MELSECNET/H ネットワークユニットを使用する場合  
MELSECNET/H ネットワークユニットを MELSECNET/H ネットワークシステムに接続する場合は、ネットワーク種別を MELSECNET/H モードまたは、MELSECNET/H 拡張モードに設定してください。
- ネットワーク構築時  
GOT を含んだネットワークは、MELSECNET/H (PC 間ネット) でネットワークを構築してください。GOT を含む下記のネットワークは、構築できません。
  - ・ MELSECNET/H (リモート I/O ネット)
- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU ののみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。
- ネットワーク種別の設定
  - ・ ネットワーク種別設定時、同一ネットワーク内のネットワークユニットは、すべて同一のネットワーク種別に設定してください。  
(MELSECNET/H モードと MELSECNET/H 拡張モードの混在設定はできません。)
  - ・ QCPU 二重化システムで MELSECNET/H 接続する場合、ネットワーク種別に「MELSECNET/H 拡張モード」は設定できません。
- QCPU (Q モード) と接続時  
MELSECNET/H ネットワークユニットと QCPU (Q モード) は、機能バージョン B 以降を使用してください。
- モーションコントローラ (A シリーズ) のリモート I/O 局への接続はできません。
- QSCPU 使用時  
QSCPU は、デバイス値、回路モニタ使用時のシーケンサプログラムの読み出しのみ可能です。QSCPU に書き込みはできません。

### ■ セットアップ時の注意事項

- スイッチ設定を変更した場合  
MELSECNET/H 通信ユニットを GOT に装着後に、スイッチ設定を変更した場合は、GOT をリセットしてください。
- 同軸ケーブル用コネクタは、正しくハンダ付けしてください。  
ハンダ付けが不完全になっていると、誤動作の原因になります。

### ■ その他注意事項

- GOT を接続するマルチ CPU (Q00CPU, Q01CPU, Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- QCPU 二重化システムでは、MELSECNET/H 拡張モードは使用できません。
- モーションコントローラ CPU (Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降, Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU, Q173CPU, Q172CPUN, Q173CPUN の場合  
SV13, SV22, SV43 使用時, 下記、本体 OS パーティションがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降, SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降

## マニュアルナビ





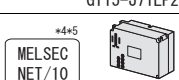






---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ MELSECNET/H 接続するまでの概略手順・  
チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 9 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とア  
クセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。





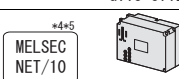

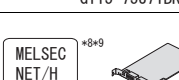


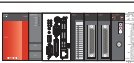

## 4.1.8 MELSECNET/10 接続

### システム構成

#### ① 光ルーブ

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU ・C 言語 *13 コントローラ ・QSCPU ・QnA/ACPU (管理局/通常局) ・モーション コントローラCPU (Qシリーズ) *1*2 ・モーション コントローラCPU (Aシリーズ) *1*2 ・CNC C70 *2 ・CRnQ-700 *2  ネットワーク ユニット	 光ファイバ *3	 *8 MELSEC NET/H GT15-J71LP23-25	 GT16/GT15 最大接続台数 63台 最大接続距離 1km *6
		 *4*5 MELSEC NET/10 GT15-75J71LP23-Z	 GT15 最大接続台数 64台 最大接続距離 1km *6
		 *8*9 MELSEC NET/H ボード Q80BD-J71LP21-25 Q80BD-J71LP21G	 ← DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー パソコン 最大接続台数 64台 最大接続距離 1km *6
<b>GOT</b>			
・Q170MCPU *11*12 		シーケンサ + パソコン + MELSECNET/H CPU CPU ネットワークユニット *7 	 パソコン 最大接続台数 64台 最大接続距離 1km *6 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー ← パソコンCPUに インストール

#### ② 同軸バス

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU ・C 言語 *13 コントローラ ・QSCPU ・QnA/ACPU (管理局/通常局) ・モーション コントローラCPU (Qシリーズ) *1*2 ・モーション コントローラCPU (Aシリーズ) *1*2 ・CNC C70 *2 ・CRnQ-700 *2  ネットワーク ユニット	 同軸 *3	 *8 MELSEC NET/H GT15-J71BR13	 GT16/GT15 最大接続台数 31台 最大接続距離 500m *10
		 *4*5 MELSEC NET/10 GT15-75J71BR13-Z	 GT15 最大接続台数 32台 最大接続距離 500m *10
		 *8*9 MELSEC NET/H ボード Q80BD-J71BR11	 ← DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー パソコン 最大接続台数 32台 最大接続距離 500m *10
<b>GOT</b>			
・Q170MCPU *11*12 		シーケンサ + パソコン + MELSECNET/H CPU CPU ネットワークユニット *7 	 パソコン 最大接続台数 32台 最大接続距離 500m *10 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー ← パソコンCPUに インストール

- \*1: GT SoftGOT1000 は使用できません。
- \*2: マルチ CPU システムを構成してください。
- \*3: 使用するケーブルの種類については、MELSECNET/H のリファレンスマニュアルをご覧ください。
- \*4: GT155 口では、使用できません。
- \*5: Q00UJCPU, Q00UCPU, Q01UCPU, Q02UCPU, Q03UCPU, Q04UDHCPU, Q05UDHCPU, Q10UDHCPU, Q13UDHCPU, Q20UDHCPU, Q26UDHCPU, Q03JDCPU, Q04JDCPU, Q05JDCPU, Q06JDCPU, Q10JDCPU, Q13JDCPU, Q20JDCPU, Q26JDCPU, Q20UDHCPU, Q26UDHCPU, Q20JDCPU, Q10UDHCPU, Q13JDCPU, Q173DCPU, Q170MCPU, CNC C70, CRnQ-700 と接続には使用できません。
- \*6: CSI 光ケーブル使用時の局間距離です。  
 総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類、総線数によって異なります。  
 詳細については MELSECNET/H リファレンスマニュアルをご覧ください。

- \*7: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。  
 詳細については MELSECNET/10 モードにして、使用してください。
- \*8: 接続機器設定を MELSECNET/10 モードにして、使用してください。
- \*9: Q 二重化システムに接続時、MELSECNET/H ボードのドライバ (SW00NC-MNET-B) はバージョン K 以降を使用してください。
- \*10: 5C-2V 同軸ケーブル使用時の局間距離です。  
 総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類、総線数によって異なります。  
 詳細については MELSECNET/H リファレンスマニュアルをご覧ください。
- \*11: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCPU のシーケンサ CPU 部 (1号機) のみ接続できます。
- \*12: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。
- \*13: シリアル No. の上 5桁が 12042 以降を使用してください。

## 使用可能なユニット

CPU シリーズ	MELSECNET/H(NET/10 モード), MELSECNET/10 ユニット	
	光ループ	同軸バス
MELSEC-Q シリーズ (Q モード) *14 MELSEC-QS シリーズ	QJ71LP21 QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	QJ71BR11 *14
C 言語コントローラ	QJ71LP21-25 QJ71LP21S-25	QJ71BR11 *14
MELSEC-QnA シリーズ	AJ71QLP21 AJ71QLP21S A1SJ71QLP21 A1SJ71QLP21S	AJ71QBR11 A1SJ71QBR11
MELSEC-Q シリーズ (A モード) MELSEC-A シリーズ モーションコントローラ CPU(A シリーズ)	AJ71LP21 A1SJ71LP21	AJ71BR11 A1SJ71BR11

\* 14 CPU, MELSECNET/H ネットワークユニットは、機能バージョン B 以降をご使用ください。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- 接続可能ネットワーク  
GOT は、下記のネットワークシステムに通常局として接続します。
  - ・ MELSECNET/10 ネットワークシステム (PC 間ネット) 光ループシステム
  - ・ MELSECNET/10 ネットワークシステム (PC 間ネット) 同軸バスシステム
- MELSECNET/H ネットワークユニットを使用する場合  
MELSECNET/H ネットワークユニットを MELSECNET/10 ネットワークシステムに接続する場合は、ネットワーク種別を MELSECNET/10 モードに設定してください。
- ネットワーク構築時  
GOT を含んだネットワークは、MELSECNET/H (PC 間ネット) の MELSECNET/10 モード、または MELSECNET/10 (PC 間ネット) でネットワークを構築してください。  
GOT を含む下記のネットワークは、構築できません。
  - ・ MELSECNET/H (リモート I/O ネット)
  - ・ MELSECNET/10 (リモート I/O ネット)
- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU ののみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。  
GT15-75J71LP23-Z、GT15-75J71BR13-Z では、ルーチングパラメータは設定できません。ルーチングパラメータを設定したい場合は、GT15-J71LP23-25、GT15-J71BR13 を使用してください。
- QCPU (Q モード) と接続時  
MELSECNET/H ネットワークユニットと QCPU (Q モード) は、機能バージョン B 以降を使用してください。
- QCPU 二重化システムでは、MELSECNET/H 拡張モードは使用できません。
- QSCPU 使用時  
QSCPU は、デバイス値、回路モニタ使用時のシーケンスプログラムの読出しのみ可能です。  
QSCPU に書き込みはできません。

### ■ セットアップ時の注意事項

- スイッチ設定を変更した場合  
MELSECNET/H 通信ユニット、MELSECNET/10 通信ユニットを GOT に装着後に、スイッチ設定を変更した場合は、GOT をリセットしてください。
- 同軸ケーブル用コネクタは、正しくハンダ付けしてください。  
ハンダ付けが不完全になっていると、誤動作の原因になります。

### ■ その他注意事項

- GOT を接続するマルチ CPU (Q00CPU、Q01CPU、Q02CPU、Q02HCPU、Q06HCPU、Q12HCPU、Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- モーションコントローラ (A シリーズ) のリモート I/O 局への接続はできません。
- モーションコントローラ CPU (Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU、Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降、Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU、Q173CPU、Q172CPUN、Q173CPUN の場合  
SV13、SV22、SV43 使用時、下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
- Q17nDCPU、CNC C70、CRnQ-700 は、MELSECNET/H (PC 間ネット) のみ対応します。  
MELSECNET/10 (PC 間ネット) と接続する場合は、MELSECNET/H (PC 間ネット) の MELSECNET/10 モードに設定してください。

## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ MELSECNET/10 接続するまでの概略手順・  
チェック方法について
- .....
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。










GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 10 章



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章



## 4.1.9 CC-Link IE コントローラネットワーク接続

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・QCPU (Qモード)</li> <li>・C言語コントローラ *7</li> <li>・QSCPU</li> <li>・モーションコントローラCPU (Qシリーズ) *2*3</li> <li>・CNC C70 *3</li> <li>・CRnQ-700 *3</li> </ul>  <p>ネットワークユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Q170MCPU *5*6</li> </ul> 	<p>光ファイバ *1</p> 	<p>CC-Link IE コントローラ通信ユニット</p>  <p>GT15-J71GP23-SX</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>GOT</p> <p>最大接続台数 119台*1</p> <p>最大接続距離 —*4</p>
		<p>CC-Link IE コントローラネットワークインタフェースボード</p>  <p>Q80BD-J71GP21-SX Q80BD-J71GP21S-SX</p>	 <p>DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>	<p>パソコン</p> <p>最大接続台数 120台*1</p> <p>最大接続距離 —*4</p>

- \*1: 接続可能な CPU 機種・バージョン、CC-Link IE コントローラネットワークユニットのバージョン制約、ケーブル、接続台数など、接続先のシステム構成については、CC-Link IE コントローラネットワークリファレンスマニュアルをご参照ください。
- \*2: GT SoftGOT1000 は使用できません。
- \*3: マルチ CPU システムを構成してください。
- \*4: 総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類・総局数によって異なります。詳細については CC-Link IE コントローラネットワークリファレンスマニュアルをご覧ください。
- \*5: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCPU のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。
- \*6: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。
- \*7: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。

### 使用可能なユニット

CPU シリーズ	CC-Link IE コントローラネットワークユニット
MELSEC-Q シリーズ (Q モード)	QJ71GP21-SX *8
C 言語コントローラ	QJ71GP21S-SX *8
MELSEC-QS シリーズ	

- \*8: 拡張モードの場合は、シリアル No. の上 5 桁が 12052 以降を使用してください。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU のみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。
- QSCPU 使用時  
QSCPU は、デバイス値、回路モニタ使用時のシーケンサプログラムの読出しのみ可能です。QSCPU に書き込みはできません。

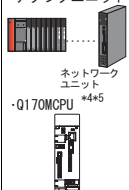





1 GOT について  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続確認について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 機器一覧  
用語集

## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CC-Link IE コントローラネットワーク接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 11 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

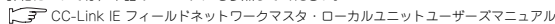
## 4.1.10 CC-Link IE フィールドネットワーク接続

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU (Qモード) *7 ・C言語コントローラ *6 ・MELSEC-QS ・MELSEC-L ・CNC C70 *2 ・CRnQ-700 *2 ・CC-Link IEフィールドネットワークヘッドユニット ・CC-Link IEフィールドネットワークEthernetアダプタユニット  ネットワークユニット *4+5 ・Q170M CPU *4+5	 Ethernet ツイストペアケーブル*1	CC-Link IE コントローラ ネットワーク 通信ユニット  GT15-J71GF13-T2	 GT16/GT15	GOT 最大接続台数 120台 最大接続距離 — *3
		CC-Link IE フィールド ネットワーク インタフェース ボード  Q81BD-J71GF11-T2	 DOS/Vパソコン ← GOT Soft/GOT1000 + GT Soft/GOT1000 用ライセンス キー	パソコン 最大接続台数 120台 最大接続距離 — *3

- \* 1: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。  
 1000BASE-T の規格を満たす Ethernet ケーブル: カテゴリ 5e 以上、(二重シールド付・STP) ストレートケーブル  
 ハブは、下記の条件を満たすハブを使用してください。  
 ・IEEE802.3 (1000BASE-T) 規格に準拠  
 ・オート MDI/MDI-X 機能を搭載  
 ・オートネゴシエーション機能を搭載  
 ・スイッチングハブ (リピータハブは使用できません)  
 スwitchングハブ推奨品 (三菱電機製品)

種類	形名
産業用スイッチングハブ	NZ2EH6-T8

詳細については、下記のマニュアルを参照してください。

- \* 2: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 3: 総延長距離および局間距離は、接続方式 (ライン、スター、リング)、システム構成などにより異なります。詳細については、下記のマニュアルを参照してください。  

 CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル
- \* 4: シーケンサ CPU 部は、シリアル No. の上 5 桁が "12012" 以降を使用してください。  
 シーケンサ CPU 部のみモニタ可能です。
- \* 5: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。
- \* 6: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 7: ユニバーサルモデルのみ対応します。

### 使用可能なユニット

CPU シリーズ	CC-Link IE フィールドネットワークユニット
MELSEC-Q シリーズ (ユニバーサルモデル) C 言語コントローラ	QJ71GF11-T2
MELSEC-QS	QS0J71GF11-T2
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- モニタ可能範囲  
 GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU のみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。

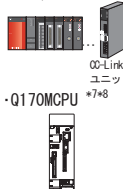





## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CC-Link IE フィールドネットワーク接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第12章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第3章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第4章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.1.11 CC-Link(インテリジェントデバイス局)接続

### システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU ・C言語 コントローラ*9 ・LCPU ・QnA/ACPU (マスター/ ローカル局) ・モーション コントローラCPU (Qシリーズ)*1 ・モーション コントローラCPU (Aシリーズ) ・CNC C70 *1 ・CRnQ-700 *1  CC-Link ユニツト ・Q170MCPU *7*8	 CC-Link専用 *2	CC-Link  GT15-J61BT13*3	 GT16/GT15
		CC-Link  GT15-75J61BT13-Z*4*5	 GT15
			最大接続台数 26台 最大接続距離 1200m *6

- \* 1: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 2: CC-Link 専用ケーブルの仕様、お問い合わせ先については、下記を参照してください。  
 CC-Link 協会ホームページ: <http://www.cc-link.org/>
- \* 3: CC-Link Ver.2 対応で接続する場合に使用します。  
 CC-Link Ver.1 対応でも接続できますが、接続機器設定でモード設定を Ver.1 にして使用してください。
- \* 4: GT155 □では、使用できません。
- \* 5: Q00UJCPU, Q00UCPU, Q01UCPU, Q02UCPU, Q03UDCPU, Q04UDHCPU, Q06UDHCPU, Q10UDHCPU, Q13UDHCPU, Q20UDHCPU, Q26UDHCPU, Q03UDECPU, Q04UDEHCPU, Q06UDEHCPU, Q10UDEHCPU, Q13UDEHCPU, Q20UDEHCPU, Q26UDEHCPU, Q50UDEHCPU, Q100UDEHCPU, Q172DCPU, Q173DCPU, Q170MCPU, CNC C70, CRnQ-700と接続時には使用できません。
- \* 6: CC-Link 専用ケーブル 156kbps の場合です。  
 最大ケーブル総延長および局間ケーブル長は、使用するケーブルの種類・伝送速度などにより異なります。
- \* 7: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCPU のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。
- \* 8: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。
- \* 9: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。

#### 使用可能なユニット

CPU シリーズ	CC-Link ユニツト
MELSEC-Q シリーズ (Q モード) C 言語コントローラ	QJ61BT11 QJ61BT11N *10
MELSEC-L	LJ61BT11
MELSEC-QnA シリーズ	AJ61QBT11 A1SJ61QBT11
MELSEC-Q シリーズ (A モード) MELSEC-A シリーズ モーションコントローラ CPU (A シリーズ)	AJ61BT11 A1SJ61BT11

- \* 10 CC-Link Ver.2 対応もしくは CC-Link Ver.1/Ver.2 対応混在で接続する場合に使用します。



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

#### ● サイクリック伝送使用時

- (1) マスタ局に対する入出力信号  
マスタ局から GOT に対する出力信号（リモート出力：RY）の中で、使用禁止の出力信号は ON しないでください。  
使用禁止の出力信号を ON すると、シーケンサシステムが誤動作する危険性があります。
- (2) モニタ可能アクセス範囲  
CC-Link システムのマスタ局のモードにより、リモート入出力（RX, RY）、リモートレジスタ（RWr, RWw）のモニタ可能範囲が異なります。

マスタ局のモード	モニタ可否	
	CC-Link Ver.1 対応の各局の情報	CC-Link Ver.2 対応の各局の情報
リモートネットモード	○	—
リモートネット Ver.1 モード	○	—
リモートネット Ver.2 モード	○	○*1
リモートネット追加モード	○	○*1

○：モニタ可、×：モニタ不可（すべて 0 となる）、—：システム構築不可

\*1: GT15-J61BT13 形 CC-Link 通信ユニット使用時のみ、モニタ可能です。

#### ● トランジェント伝送使用時

- (1) 対象局の CC-Link ユニットの  
下記の CC-Link ユニットのトランジェント伝送を行う場合は、機能バージョン B、ソフトウェアバージョン J 以降の CC-Link ユニットのシーケンサ CPU 側に装着してください。  
機能バージョン A、ソフトウェアバージョン I 以前の CC-Link ユニットのサイクリック伝送でのみ通信が可能です。  
・AJ61BT11 ・A1SJ61BT11  
・AJ61QBT11 ・A1SJ61QBT11
- (2) モニタ可能アクセス範囲  
GOT は、CC-Link システムのマスタ局およびローカル局を装着しているシーケンサ CPU へアクセス可能です。CC-Link ユニットの経由し、他ネットワークへのアクセスはできません。

- CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時の GOT の起動について  
CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時、GOT を立ち上げてから約 10 秒でデータリンクを開始します。

### ■ セットアップ時の注意事項

- GT15-75J65BT13-Z 形 CC-Link 通信ユニットを GOT に装着後に、スイッチ設定を変更した場合は、GOT をリセットしてください。
- GX Developer の「ネットワークパラメータ」設定について  
・CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット -Ver.2 モード」の場合は、「リモート局点数」が設定可能になります。「リモート局点数」は、リモート I/O 局用の設定です。GOT は、デフォルト値 (32 点) を使用してください。  
・局情報設定は、CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット -Ver.2 モード」または「リモートネット -追加モード」の場合は、「Ver.1 インテリジェントデバイス局」に設定してください。

### ■ その他の注意事項

- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時  
・Q172CPU、Q173CPU の場合  
下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。  
Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降、Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降  
・Q172CPU、Q173CPU、Q172CPUN、Q173CPUN の場合  
SV13、SV22、SV43 ご使用時は下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。  
SW6RN-SV13Q □：00H 以降、SW6RN-SV22Q □：00H 以降、SW6RN-SV43Q □：00B 以降
- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU、Q01CPU、Q02CPU、Q02HCPU、Q06HCPU、Q12HCPU、Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。
- システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合  
CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時に、システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合、エラー要因を取り除いても、システムアラーム表示を消去することはできません。システムアラーム表示を消去するには、GOT を再起動してください。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CC-Link 接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 13 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧





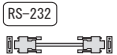





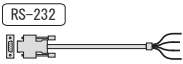

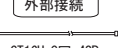

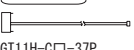


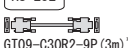


7

用語集

## 4.1.12 CC-Link(G4 経由) 接続

### システム構成


















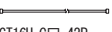

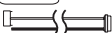




#### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・QCPU (Qモード) ・C言語 コントローラ*8 ・LCP ・モーション コントローラ CPU (Qシリーズ) *2*9 ・CNC C70 *2*3 ・CRnQ-700 *2*3  CC-Link ユニット *4  CC-Link 専用ケーブル  GPP機能用 周辺機器 接続ユニット (AJ65BT-R2N) ・Q170MCP *6*7 	 RS-232 GT09-C30R2-9P (3m) *1	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 GT16/GT15 最大接続台数 1台 最大接続距離 1215m *5	
	不要 GOT本体に内蔵 GT14/GT11 	不要 GOT本体に内蔵 GT105□/GT104□ 	不要 GOT本体に内蔵 GT1030/GT1020 	
	 RS-232 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵 GT16ハンドィ 	不要 GOT本体に内蔵 GT16H-C□-42P 30:3m 	
	 中継 ユーザ作成 外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵 GT11ハンドィ 	不要 GOT本体に内蔵 GT11H-C□ 30:3m 60:6m 	最大接続台数 1台 最大接続距離 6m
	 RS-232 GT09-C30R2-9P (3m) *1  コネクタ変換 ボックス GT11H-CNB-37S 外部接続 			

- \* 1: 紹介品となります。三菱電機システムサービス(株)より購入ください。
- \* 2: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 3: GT16、GT15、GT14、GT11、ハンディ GOTのみ
- \* 4: CC-Link 専用ケーブルの仕様、お問い合わせ先については、下記を参照してください。
- \* 5: CC-Link 専用ケーブル 156Kbps (1200m) + RS-232 ケーブル (15m) の場合
- \* 6: GT SoftGOT1000 との接続は、Q170MCP のシーケンサ CPU 部 (1 号機) のみ接続できます。
- \* 7: 増設ベースユニット (Q52B/Q55B) の、1 段目に接続します。
- \* 8: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 9: GT16、GT15、GT14、GT11、GT10、ハンディ GOT のみ



② RS-422 (周辺機器接続ユニット経由)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・QCPU (Qモード) ・C言語コントローラ*15 ・LCPU ・モーションコントローラCPU (Qシリーズ) *10*16 ・CNC C70 *10*11 ・CRnQ-700 *10*11  CC-Link専用ケーブル *12  GPP機能用周辺機器接続ユニット (AJ65BT-G4-S3) *13 	  RS-422変換 GT01-C□R4-25P 30: 3m 200: 20m 100: 10m GT16-C□R4-9S 02: 0.2m 300: 30m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16	最大接続台数 1台 最大接続距離 1230m * 14	
	 RS-422 GT01-C□R4-25P 30: 3m 200: 20m 100: 10m 300: 30m	RS-422変換 *13  GT15-RS2T4-9P RS-422/485  GT15-RS4-9S	不要 GOT本体に内蔵		 GT16/GT15
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11		
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□		
		不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020		
		RS-422  GT10-C□R4-25P 30: 3m 200: 20m 100: 10m 300: 30m	不要 GOT本体に内蔵		 GT1030/GT1020
		RS-422  GT01-C□R4-25P 30: 3m 100: 10m コネクタ変換ボックス  GT16H-CNB-42S 外部接続  GT16H-C□-42P 30: 3m 60: 6m 100: 10m	不要 GOT本体に内蔵		 GT16ハンディ
	中継  GT11H-C□R4-25P 15: 1.5m RS-422  GT01-C□R4-25P 30: 3m 100: 10m コネクタ変換ボックス  GT11H-CNB-37S 外部接続  GT11H-C□-37P 30: 3m 60: 6m 100: 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	最大接続台数 1台 最大接続距離 13m	

- \* 10: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 11: GT16, GT15, GT14, GT11, ハンディ GOT のみ
- \* 12: CC-Link 専用ケーブルの仕様。お問い合わせ先については、下記を参照してください。  
 CC-Link 協会ホームページ: <http://www.cc-link.org/>
- \* 13: GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9S をご使用ください。
- \* 14: CC-Link 専用ケーブル 156Kbps(1200m) + RS-422 ケーブル (30m) の場合
- \* 15: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。
- \* 16: GT16, GT15, GT14, GT11, GT10, ハンディ GOT のみ

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続構成について  
 5 海外規格対応状況  
 6 機器一覧  
 7 用語集

### ③ RS-422 (CC-Link インタフェースユニット経由)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・QCPU (Qモード) ・C言語 コントローラ *19 ・モーション コントローラ CPU (Qシリーズ) *17		不要 GOT本体に内蔵	GT16ハンディ 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
・CNC C70 *17 ・CRnQ-700 *17 CC-Link ユニット		不要 GOT本体に内蔵	GT11ハンディ

- \* 17: マルチ CPU システムを構成してください。
- \* 18: CC-Link 専用ケーブルの仕様。お問い合わせ先については、下記を参照してください。  
 CC-Link 協会ホームページ : <http://www.cc-link.org/>
- \* 19: シリアル No. の上 5 桁が 12042 以降を使用してください。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT16 ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT11	Ethernet で接続時	GT1145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT1115 □ -Q □ BDQ, GT1115 □ -Q □ BDA
GT10	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時 GT1115 □ HS-Q □ BD
	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □ -Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時 GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)

#### 使用可能なユニット \* 20

CPU シリーズ	CC-Link ユニット	周辺機器ユニット
MELSEC-Q シリーズ (Q モード)	QJ61BT11	AJ65BT-R2N
C 言語コントローラ	QJ61BT11N	AJ65BT-G4-S3
MELSEC-L	LJ61BT11	

\* 20 GT11, GT10 は、マスタ局のみモニタが可能です。

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- AJ65BT-G4 は、GOT と接続できません。

### ■ セットアップ時の注意事項

- GX Developer の「ネットワークパラメータ」設定について
  - ・ CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット -Ver.2 モード」の場合は、「リモート局点数」が設定可能になります。「リモート局点数」は、リモート I/O 局用の設定です。GOT は、デフォルト値 (32 点) を使用してください。
  - ・ 局情報設定は、CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット -Ver.2 モード」または「リモートネット - 追加モード」の場合は、「Ver.1 インテリジェントデバイス局」に設定してください。

### ■ その他の注意事項


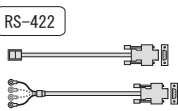



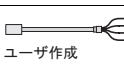

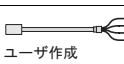

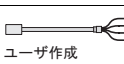

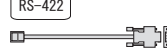

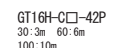
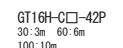




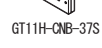




- モーションコントローラ CPU(Q シリーズ) と接続時
  - ・ Q172CPU, Q173CPU の場合
    - 下記、製造番号の本体ユニットをご使用ください。
    - Q172CPU 製造番号 N\*\*\*\*\* 以降、Q173CPU 製造番号 M\*\*\*\*\* 以降
  - ・ Q172CPU, Q173CPU, Q172CPUN, Q173CPUN の場合
    - SV13, SV22, SV43 使用時は下記、本体 OS バージョンがインストールされているモーションコントローラをご使用ください。
    - SW6RN-SV13Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV22Q □ : 00H 以降、SW6RN-SV43Q □ : 00B 以降
- GOT を接続するマルチ CPU(Q00CPU, Q01CPU, Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU) は、CPU 機能バージョン B 以降をご使用ください。Q17nDCPU, CNC C70, CRnQ-700 は、CC-Link Ver.2 のみ対応します。CC-Link(G4 経由) と接続する場合は、CC-Link Ver.2 に設定してください。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CC-Link 接続するまでの概略手順・チェック方法について
  - ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 14 章
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 23 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 22 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.2 三菱電機製その他の機器

### 4.2.1 インバータ接続

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・インバータ  FREQROL500 シリーズ FREQROL700 シリーズ	 RS-422 ユーザ作成	RS-422 変換 GT15-RS2T4-9P <sup>*1</sup>  RS-422/485 GT15-RS4-9S <sup>*1</sup> 	 GT16/GT15
	 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11
	 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□
	 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020
	 RS-422 ユーザ作成  コネクタ変換 ボックス  GT16H-CNB-42S 外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
	 中継 ユーザ作成  RS-422 ユーザ作成  コネクタ変換 ボックス  GT11H-CNB-37S 外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ
	 外部接続  GT11H-C□ 30:3m 60:6m		

\* 1 : GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

## 接続可能な機種一覧

形名	RS-422	RS-232
FREQROL-S500/S500E	○	×
FREQROL-E500	○	×
FREQROL-F500/F500L	○	×
FREQROL-F500J	○	×
FREQROL-A500/A500L	○	×
FREQROL-V500/V500L	○	×
FREQROL-E700	○	×
FREQROL-F700/F700P	○	×
FREQROL-F700PJ	○	×
FREQROL-A700	○	×
FREQROL-D700	○	×

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の時計管理  
インバータには時計機能がないため, GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても, 無効 (無処理) となります。
- インバータ側の各種通信パラメータは GOT から変更しないで下さい。
- 変更するとインバータとの通信が出来なくなります。
- 画面切換, システム情報デバイスは必ず G D を使用して下さい。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成, 接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項, 制約事項について
  - ・ インバータ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 15 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 25 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 54 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約, 注意事項については, 各マニュアルをご参照ください。


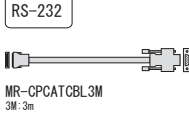



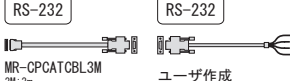

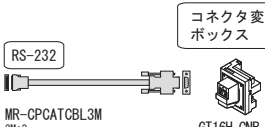

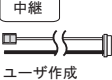

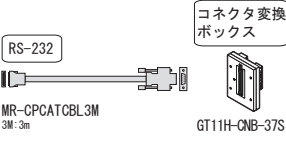

## 4.2.2 サーボアンプ接続

### ● MELSERVO-J2-Super シリーズ, MELSERVO-J2M シリーズ


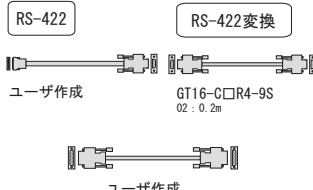

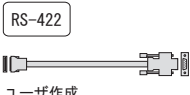



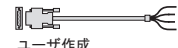



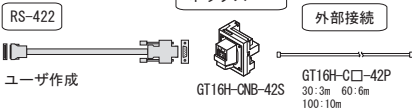

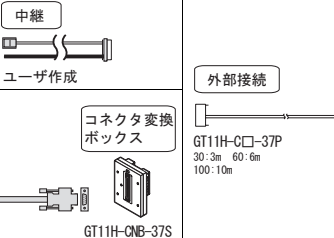



#### システム構成

#### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・サーボアンプ  MELSERVO-J2-Super シリーズ MELSERVO-J2M シリーズ	 <p>RS-232</p> <p>MR-CPCATCBL3M 3M : 3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16/GT15</p>	
	 <p>RS-232</p> <p>ユーザ作成</p>	RS-232 GT15-RS2-9P	 <p>GT14/GT11</p>	
	 <p>RS-232</p> <p>MR-CPCATCBL3M 3M : 3m</p> <p>RS-232</p> <p>ユーザ作成</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT105□/GT104□</p>	
	 <p>RS-232</p> <p>MR-CPCATCBL3M 3M : 3m</p> <p>コネクタ変換 ボックス</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>外部接続</p> <p>GT16H-C□-42P 30 : 3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT16ハンディ</p>	
	 <p>中継</p> <p>ユーザ作成</p>	外部接続 GT11H-C□-37P 30 : 3m	不要 GOT本体に内蔵	 <p>GT11ハンディ</p>
	 <p>RS-232</p> <p>MR-CPCATCBL3M 3M : 3m</p> <p>コネクタ変換 ボックス</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>	外部接続 GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m	不要 GOT本体に内蔵	
	 <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m</p>			

② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・サーボアンプ  MELSERVO-J2-Super シリーズ MELSERVO-J2M シリーズ	 RS-422 ユーザ作成 RS-422変換 GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT16
	 RS-422 ユーザ作成	RS-422 <sup>*1</sup> 変換 GT15-RS2T4-9P 	 GT16/GT15
		RS-422/485 GT15-RS4-9S 	
	 RS-422 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11  GT105□/GT104□
		不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020
	 RS-422 ユーザ作成 コネクタ変換 ボックス 外部接続 GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
	 中継 ユーザ作成 外部接続 GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m コネクタ変換 ボックス ユーザ作成 GT11H-CNB-37S	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ
外部接続 GT11H-C□ 30:3m 60:6m			

\* 1 : GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 海外規格対応状況  
 5 接続確認について  
 6 機器一覧  
 7 用語集

● MELSERVO-J4 シリーズ, MELSERVO-J3 シリーズ

システム構成

① RS-232


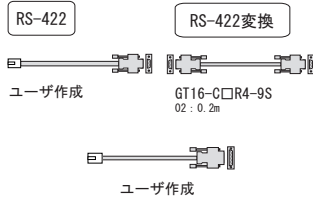

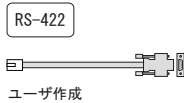



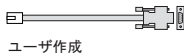


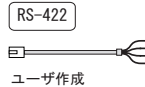



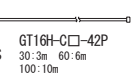


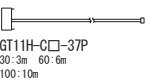

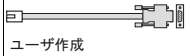


接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・サーボアンプ  MELSERVO-J4 シリーズ MELSERVO-J3 シリーズ	<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT16/GT15</p>
	<p>RS-232</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p>	不要 GOT本体に内蔵	
	<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p> <p>RS-232</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT105□/GT104□</p>
	<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p> <p>RS-232</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p> <p>ユーザー作成</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT1030/GT1020</p>
	<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p> <p>RS-232</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p> <p>コネクタ変換 ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>GT16H-C□-42P 30:3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT16ハンディ</p>
	<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p> <p>RS-232</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p> <p>中継</p> <p>ユーザー作成</p> <p>外部接続</p> <p>コネクタ変換 ボックス</p> <p>GT11H-CNB-37S</p> <p>GT11H-C□-37P 30:3m</p>	不要 GOT本体に内蔵	<p>GT11ハンディ</p>
<p>RS-422/232 変換器 RS-232</p> <p>DSV-CABV*1</p> <p>FA-T-RS40VS*2</p> <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>	不要 GOT本体に内蔵		

\* 1 : DSV-CABV はダイヤトレンド株式会社の製品です。詳細は、ダイヤトレンド株式会社にお問い合わせください。

\* 2 : FA-T-RS40VS は、三菱電機エンジニアリング株式会社の製品です。詳細は、三菱電機エンジニアリング株式会社にお問い合わせください。  
 ケーブル (RS-PCATCBL-0.5M(0.5m), RS-422SCBL-2M(2m)) が同梱されています。  
 同梱ケーブルを使用して接続してください。



② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・サーボアンプ   MELSERVO-J4 シリーズ MELSERVO-J3 シリーズ	 <p>RS-422</p> <p>RS-422変換</p> <p>ユーザー作成</p> <p>GT16-C□R4-9S 02: 0.2m</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p>	
	 <p>RS-422</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>RS-422変換<sup>*2</sup></p>  <p>GT15-RS2T4-9P</p>	 <p>GT16/GT15</p>	
		<p>RS-422/485</p>  <p>GT15-RS4-9S</p>		
	 <p>RS-422</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT14/GT11</p>	
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT105□/GT104□</p>	
	 <p>RS-422</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT1030/GT1020</p>	
	 <p>RS-422</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>外部接続</p>  <p>GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>
	<p>中継</p>  <p>ユーザー作成</p>	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>
<p>RS-422</p>  <p>ユーザー作成</p> <p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>GT11H-CNB-37S</p>	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□<sup>*3</sup> 30:3m 60:6m</p>			

\* 2: GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

\* 3: GT11H-C □は、モジュラーコネクタを含みません。ユーザーにて、モジュラーコネクタを準備してください。

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて

3 機能について

4 海外規格対応状況

5 接続確認について

6 機器一覧

7 用語集

## 接続可能な機種一覧

	形名	RS-422	RS-232
MELSERVO-J4 シリーズ	MR-J4-□ A	○	○
MELSERVO-J3 シリーズ	MR-J3-□ A	○	○
	MR-J3-□ T	○	○
MELSERVO-J2-Super シリーズ	MR-J2S-□ A	○	○
	MR-J2S-□ CP	○	○
	MR-J2S-□ CL	○	○
MELSERVO-J2M シリーズ	MR-J2M-P8A	○	○
	MR-J2M□ DU	○	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145□-Q□ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115□-Q□ BD	
	バス接続時	GT115□-Q□ BDQ, GT115□-Q□ BDA	
	ハンディ GOT	GT115□ HS-Q□ BD	
GT10	GT105□	RS-232, RS-422 で接続時	GT105□-Q□ BD
	GT104□	RS-232, RS-422 で接続時	GT104□-Q□ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L□ D2/L□ DW2/H□ D2/H□ DW2, GT1020-L□ D2/L□ DW2 GT1030-L□ D/L□ DW/H□ D/H□ DW, GT1030-L□ L/L□ LW/H□ L/L□ LW, GT1020-L□ D/L□ DW, GT1020-L□ L/L□ LW (ただし, GT1030-L□ L/L□ LW/H□ L/H□ LW, GT1020-L□ L/L□ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の時計管理  
サーボアンプには時計機能がないため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効 (無処理) となります。

### ■ その他の注意事項

- GOT を用いたサーボアンプ・テスト運転  
サーボアンプ・テスト運転中、GOT とサーボアンプ間の通信が 0.5[ms] 以上中断すると、サーボアンプは減速停止しサーボロックします。  
サーボ・テスト運転中は、GOT の画面上でサーボアンプの状態表示をモニタするなど、絶えず通信を継続してください。






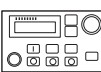







## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ サーボアンプ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 16 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 26 章  
➤ GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 55 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.2.3 ロボットコントローラ接続

### システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
	 Ethernet  ツイストペアケーブル*1	不要 GOT本体に内蔵	 *5 GOT16
		Ethernet  GT15-J71E71-100	 GOT15
・CRnD-700 *6 	Ethernet  ツイストペアケーブル*1 コネクタ変換ボックス 外部接続  GT16H-CNB-42S    GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16ハンディ
	Ethernet  ツイストペアケーブル*1	不要 パソコンに内蔵 *2 市販Ethernetボード	 DOS/パソコン    GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー
			パソコン 最大 接続台数 1台*3 最大接続距離 最大 セグメント長 100m
			GOT
		シーケンサ + パソコン CPU    CPU  *4	 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー
			パソコン 最大 接続台数 1台*3 最大接続距離 最大 セグメント長 100m

\*1：ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・10BASE-T  
シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・100BASE-TX  
シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\*2：使用可能な Ethernet ボード/カードについては、次ページを参照してください。

\*3：GT SoftGOT1000 を複数起動している場合、複数起動している GT SoftGOT1000 の台数も含みます。

\*4：パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

\*5：機能バージョン A の GOT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合は、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。

機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

- ・GOT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\*6：CRnQ-700 との接続については、4.1.6 項 Ethernet 接続を参照してください。

#### GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード/カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink III LAN PC Card	Ethernet ボード/カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、ロボットコントローラ、ハブなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
① GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- ネットワークシステムの経由  
シーケンサ (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。



## マニュアルナビ

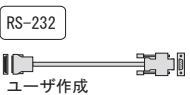




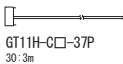



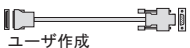



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて</li> <li>・ 注意事項、制約事項について</li> </ul>                              | ➤ | <p>GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br/>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br/>(SH-080838) 第 17 章</p> <p>GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書<br/>(JY997D40501, JY997D40502) 第 27 章</p> |
|  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GOT がモニタできるアクセス範囲について</li> </ul>  | ➤ | <p>GOT1000 シリーズ接続マニュアル<br/>(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応<br/>(SH-080838) 第 3 章</p>   |
|  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GT SoftGOT1000 での接続方法について</li> <li>・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について</li> </ul> | ➤ | <p>GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章</p>   |
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.2.4 CNC(MELDAS C6/C64) 接続


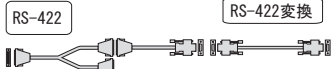






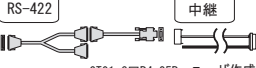

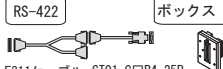

### ● CPU 直接接続

#### ① システム構成

##### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
MELDAS C6/C64	 <p>RS-232 ユーザ作成</p>	<p>不要 GOT本体に内蔵</p> <p>RS-232 GT15-RS2-9P</p>	 <p>GT16/GT15</p>	<p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m</p>
	 <p>コネクタ変換ボックス 外部接続</p> <p>RS-232 ユーザ作成</p> <p>GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30:3m</p>	<p>不要 パソコンに内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>	
	<p>中継</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□-37P 30:3m</p>	<p>不要 パソコンに内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>	<p>GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 6m</p>
	<p>コネクタ変換ボックス</p>  <p>RS-232 ユーザ作成</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>			
	<p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>			
	 <p>RS-232 ユーザ作成</p>	<p>不要 パソコンに内蔵</p> <p>市販RS-232 ボード</p>	 <p>DOS/パソコン GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー</p>	<p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m</p>
		<p style="text-align: center;"><b>GOT</b></p>		
	 <p>シーケンサ + パソコン CPU</p> <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー</p>		<p>パソコン 最大接続台数 1台 最大接続距離 15m</p>	

② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
MELDAS C6/C64 	 <p>RS-422 RS-422変換                      F311ケーブル GT01-C□R4-25P GT16-C□R4-9S                      30 : 3m 100 : 10m 02 : 0.2m                      200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>不要                      GOT本体に内蔵</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30.7m
	 <p>RS-422                      F311ケーブル GT01-C□R4-25P                      30 : 3m 100 : 10m                      200 : 20m 300 : 30m</p>	<p>RS-422変換 *1                      GT15-RS2T4-9P                      RS-422/485                      GT15-RS4-9S</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m
		<p>不要                      GOT本体に内蔵</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m
	 <p>RS-422 コネクタ変換ボックス 外部接続                      F311ケーブル GT01-C□R4-25P GT16H-C□-42P                      30 : 3m 100 : 10m 30 : 3m 60 : 6m                      100 : 10m</p>	<p>不要                      GOT本体に内蔵</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
	 <p>RS-422 中継                      F311ケーブル GT01-C□R4-25P ユーザ作成                      30 : 3m 100 : 10m</p>	<p>外部接続                      GT11H-C□-37P                      30 : 3m 60 : 6m                      100 : 10m</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m
	 <p>RS-422 コネクタ変換ボックス                      F311ケーブル GT01-C□R4-25P GT11H-CNB-37S                      30 : 3m 100 : 10m</p>	<p>不要                      GOT本体に内蔵</p>	 GOT 最大接続台数 1台 最大接続距離 13m

\* 1 : GT15 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

## 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	接続形態		
		CPU 直接接続		
		GT16/GT15	GT14/GT11	GT SoftGOT1000
MELDAS C6/C64	FCA C6	○	○	○
	FCA C64	○	○	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
GT11	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- MELDAS C6/C64 のバージョン  
MELDAS C6/C64 は、NC システムソフトウェアバージョン D0 版以降のものを使用してください。

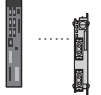





## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CNC 接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 18 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 28 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 57 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

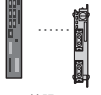





## ● MELSECNET/10 接続

### システム構成

#### ① 光ループ

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・MELDAS C6/C64  拡張ユニット	 光ファイバ *1	MELSEC NET/H *3  GT15-J71LP23-25		最大接続台数 63台 最大接続距離 *4
		MELSEC NET/10 *2  GT15-75J71LP23-Z		

#### ② 同軸バス

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・MELDAS C6/C64  拡張ユニット	 同軸 *1	MELSEC NET/H *3  GT15-J71BR13		最大接続台数 31台 最大接続距離 *4
		MELSEC NET/10 *2  GT15-75J71BR13-Z		

\*1：使用するケーブルの種類については、MELSECNET/Hのリファレンスマニュアルをご覧ください。

\*2：GT155□では、使用できません。

\*3：接続機器設定をMELSECNET/10モードで、使用してください。

\*4：総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類・総局数によって異なります。

詳細については、下記のマニュアルを参照してください。

・MELDAS C6/C64/C64T 総合・保守説明書  
 ・MELDAS C6/C64/C64T ネットワーク説明書

#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	接続形態		
		MELSECNET/10 接続		
		GT16/GT15	GT14/GT11	GT SoftGOT1000
MELDAS C6/C64	FCA C6	○	×	×
	FCA C64	○	×	×

#### MELDAS C6/C64 と接続時に使用可能なユニット

シリーズ	MELSECNET/H(NET/10 モード), MELSECNET/10 ユニット	
	光ループ	同軸バス
	MELDAS C6/C64	FCU6-EX879



## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- 接続可能ネットワーク  
GOT は、下記のネットワークシステムに通常局として接続します。
  - ・ MELSECNET/10 ネットワークシステム (PC 間ネット) 光ループシステム
  - ・ MELSECNET/10 ネットワークシステム (PC 間ネット) 同軸バスシステム
- MELSECNET/H ネットワークユニットを使用する場合  
MELSECNET/H ネットワークユニットを MELSECNET/10 ネットワークシステムに接続する場合は、ネットワーク種別を MELSECNET/10 モードに設定してください。
- ネットワーク構築時  
GOT を含んだネットワークは、MELSECNET/H (PC 間ネット) の MELSECNET/10 モード、または MELSECNET/10 (PC 間ネット) でネットワークを構築してください。  
GOT を含む下記のネットワークは、構築できません。
  - ・ MELSECNET/H (リモート I/O ネット)
  - ・ MELSECNET/10 (リモート I/O ネット)
- モニタ可能範囲  
GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU および CNC のみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。  
GT15-75J71LP23-Z、GT15-75J71BR13-Z では、ルーチングパラメータは設定できません。ルーチングパラメータを設定したい場合は、GT15-J71LP23-25、GT15-J71BR13 を使用してください。
- CNC のバージョン  
MELDAS C6/C64 は、NC システムソフトウェアバージョン D0 版以降のものを使用してください。
- CNC 接続 (MELSECNET/10 接続) 時の GOT の起動について  
CNC 接続 (MELSECNET/10 接続) 時、GOT を立ち上げてから約 10 秒でデータリンクを開始します。
- システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合  
CNC 接続 (MELSECNET/10 接続) 時に、システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合、エラー要因を取り除いても、システムアラーム表示を消去することはできません。  
システムアラーム表示を消去するには、GOT を再起動してください。

### ■ セットアップ時の注意事項

- スイッチ設定を変更した場合  
MELSECNET/H 通信ユニット、MELSECNET/10 通信ユニットを GOT に装着後に、スイッチ設定を変更した場合は、GOT をリセットしてください。
- 同軸ケーブル用コネクタは、正しくハンダ付けしてください。  
ハンダ付けが不完全になっていると、誤動作の原因になります。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ MELSECNET/10 接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 18 章

- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について









GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## ● CC-Link(インテリジェントデバイス局)接続



### システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・MELDAS C6/C64  拡張ユニット	 CC-Link専用 *1	CC-Link  GT15-J61BT13 *2		最大接続台数 26台 最大接続距離 *4
		CC-Link  GT15-75J61BT13-Z *3		

\*1 : CC-Link 専用ケーブルの仕様、お問い合わせ先については、下記を参照してください。

CC-Link 協会ホームページ : <http://www.cc-link.org/>

\*2 : CC-Link Ver.2 対応で接続する場合に使用します。

CC-Link Ver.1 対応でも接続できますが、接続機器設定でモード設定を Ver.1 にして使用してください。

\*3 : GT155□では、使用できません。

\*4 : 総延長距離および局間距離は、使用するケーブルの種類・総局数によって異なります。

詳細については、下記のマニュアルを参照してください。

- ・MELDAS C6/C64/C64T 結合・保守説明書
- ・MELDAS C6/C64/C64T ネットワーク説明書

### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	接続形態		
		CC-Link(インテリジェントデバイス局)接続		
		GT16/GT15	GT14/GT11	GT SoftGOT1000
MELDAS C6/C64	FCA C6	○	×	×
	FCA C64	○	×	×

### MELDAS C6/C64 と接続時に使用可能なユニット

シリーズ	CC-Link ユニット
MELDAS C6/C64	FCU6-HR865



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

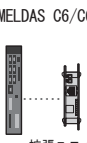
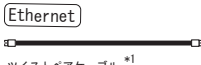




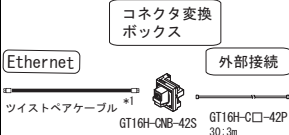

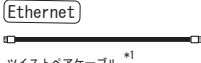



- サイクリック伝送使用時
  - (1) マスタ局に対する入出力信号  
マスタ局から GOT に対する出力信号（リモート出力：RY）の中で、使用禁止の出力信号は ON しないでください。  
使用禁止の出力信号を ON すると、MELDAS(C6/C64) が誤動作する危険性があります。
  - (2) CC-Link のモードについて  
CNC は、CC-Link Ver.2 には対応していません。
- トランジェント伝送使用時
  - (1) モニタ可能アクセス範囲  
GOT は、CC-Link システムのマスタ局およびローカル局を装着しているシーケンサ CPU へアクセス可能です。CC-Link ユニットを経由し、他ネットワークへのアクセスはできません。
- CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時の GOT の起動について  
CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時、GOT を立ち上げてから約 10 秒でデータリンクを開始します。
- MELDAS C6/C64 のバージョン  
MELDAS C6/C64 は、NC システムソフトウェアバージョン D0 版以降のものを使用してください。
- **セットアップ時の注意事項**
- GT15-75J61BT13-Z 形 CC-Link 通信ユニットを GOT に装着後に、スイッチ設定を変更した場合は、GOT をリセットしてください。
- GX Developer の「ネットワークパラメータ」設定について
  - ・ CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット-Ver.2 モード」の場合は、「リモート局点数」が設定可能になります。「リモート局点数」は、リモート I/O 局用の設定です。GOT は、デフォルト値（32 点）を使用してください。
  - ・ 局情報設定は、CC-Link ユニットの「モード設定」が「リモートネット-Ver.2 モード」または「リモートネット-追加モード」の場合は、「Ver.1 インテリジェントデバイス局」に設定してください。
- **その他の注意事項**
- システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合  
CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局）時に、システムアラームにネットワークに関するエラーが発生した場合、エラー要因を取り除いても、システムアラーム表示を消去することはできません。システムアラーム表示を消去するには、GOT を再起動してください。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ CC-Link 接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 18 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
 <p>MELDAS C6/C64<sup>*7</sup></p> <p>拡張ユニット</p>	 <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル<sup>*1</sup></p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p><sup>*4</sup></p>  <p>GT16</p>
		 <p>Ethernet</p> <p>GT15-J71E71-100</p>	 <p>GT15</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p><sup>*6</sup></p>  <p>GT14</p>
	 <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル<sup>*1</sup></p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>GT16H-C□-42P</p> <p>30:3m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>
	 <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル<sup>*1</sup></p>	<p>不要</p> <p>パソコンに内蔵</p>	<p><sup>*2</sup></p> <p>市販Ethernetボード</p>
		<b>GOT</b>	
		<p>シーケンサ + CPU</p> 	<p>DOS/Vパソコン</p>  <p>GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000用ライセンスキー</p>  <p>パソコン</p> <p>最大接続台数 128台<sup>*3</sup> (推奨16台以下) 最大接続距離 最大セグメント長 100m<sup>*5</sup></p>


\* 1 : ツリストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・ 10BASE-T シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・ 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 2 : 使用可能な Ethernet ボード/ノードについては、次ページを参照してください。

\* 3 : GT SoftGOT1000を複数起動している場合、複数起動している GT SoftGOT1000の台数を含みます。

\* 4 : 機能バージョン A の GT16を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合は、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

 GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 5 : ハブとノード間の長さです。

最長距離は、ご使用の Ethernet 機器により異なります。

リピータハブ使用時、接続可能な台数は、下記のとおりです。

・ 10BASE-T : カスケード接続最大4台 (500m)

・ 100BASE-TX : カスケード接続最大2台 (205m)

スイッチングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。

制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカーに確認してください。

\* 6 : Ethernet 接続に対応している GT14は、GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDEのみです。

\* 7 : CNC C70 との接続については、4.1.6 項 Ethernet 接続を参照してください。

## 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	接続形態	
		Ethernet 接続	
		GT16/GT15/GT14	GT SoftGOT1000
MELDAS C6/C64	FCA C6	○	○
	FCA C64	○	○

### GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード / カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink III LAN PC Card	Ethernet ボード / カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード

### MELDAS C6/C64 と接続時に使用可能なユニット

シリーズ	Ethernet ユニット
MELDAS C6/C64	FCU6-EX875

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
① GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- ネットワークシステムの経由  
 CNC (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークの CNC へアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。
- モニタ可能範囲  
 GOT は、同一ネットワーク No. のシーケンサ CPU のみモニタ可能です。ただし、他ネットワークをモニタする場合、ルーチングパラメータ設定が必要です。
- MELDAS C6/C64 のバージョン  
 MELDAS C6/C64 は、NC システムソフトウェアバージョン D0 版以降のものを使用してください。

### ■ セットアップ時の注意事項

- MELDAS(C6/C64) (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークの MELDAS(C6/C64) へアクセスすることはできません。
- Ethernet ケーブルの接続  
 Ethernet ケーブルはノイズの影響を受け易いため、動力線 / 電力線との分離配線を行い、制御ユニット側にフェライトコア (付属) の取り付けを行ってください。

## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ Ethernet 接続するまでの概略手順・チェック方法について
- .....
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- .....
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- .....
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 18 章

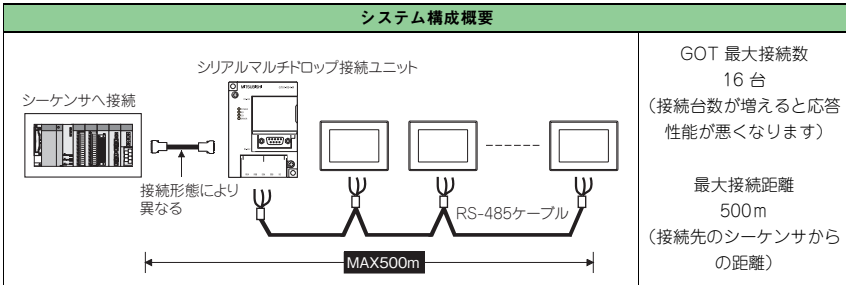
➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章

➤ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GT  
Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章

## 4.2.5 GOT マルチドロップ接続

### システム構成

#### ① システム構成の概要


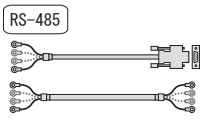







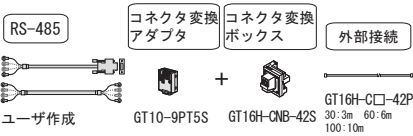



#### ② 1 台目の GOT までの接続

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
<p>・シリアルマルチドロップ接続ユニット</p> <p>シーケンサ</p> <p>システム構成については、下記をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4.1.4 CPU 直接接続</li> <li>・4.1.5 計算機リンク接続</li> </ul>	<p>RS-485</p> <p>ユーザー作成</p> <p>RS-485</p> <p>RS-422 変換</p> <p>ユーザー作成</p> <p>GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m</p> <p>RS-485</p> <p>RS-485端子台変換ユニット</p> <p>ユーザー作成</p> <p>FA-LTBGTR4CBL□ 05 : 0.5m 10 : 10m 20 : 20m 30 : 30m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16</p>
	<p>RS-485</p> <p>ユーザー作成</p>	<p>RS-422/485</p> <p>GT15-RS4-TE</p> <p>RS-422/485</p> <p>GT15-RS4-9S</p> <p>RS-422 変換 *1</p> <p>GT15-RS2T4-9P</p>	<p>GT16/GT15</p>




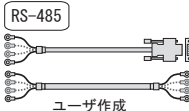


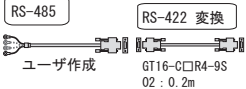


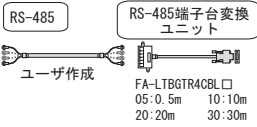


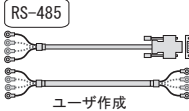


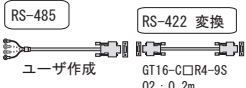




\* 1 : GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
<p>・シリアルマルチドロップ 接続ユニット</p>  <p>シーケンサ</p> <p>システム構成については、 下記をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4.1.4 CPU 直接接続</li> <li>・4.1.5 計算機リンク接続</li> </ul>	 <p>RS-485</p> <p>ユーザ作成</p>	 RS-422/485 GT14-RS2T4-9P 不要 GOT本体に内蔵	 GT14	
		 RS-422/485 GT10-9PT5S 不要 GOT本体に内蔵	 GT11	
		 RS-422/485 GT10-9PT5S 不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	
		 <p>RS-485</p> <p>コネクタ変換アダプタ</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>ユーザ作成</p> <p>GT10-9PT5S</p> <p>GT16H-CNB-42S</p> <p>GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ



### ③ 2 台目以降の GOT との接続

GOT	ケーブル	通信ユニット	GOT
 GT16		不要 GOT本体に内蔵	 GT16
 GT16/GT15	 ユーザー作成	RS-422/485 GT15-RS4-TE	 GT16/GT15
 GT14	 ユーザー作成	RS-422 変換 GT15-RS2T4-9P	 GT14
 GT11	 ユーザー作成	RS-422/485 GT14-RS2T4-9P	 GT11
 GT105□/GT104□	 ユーザー作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□
 GT1030/GT1020	 ユーザー作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020
 GT16ハンディ	 コネクタ変換アダプタ + コネクタ変換ボックス + 外部接続 GT10-9PT5S + GT16H-CNB-42S + GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ

\* 2 : GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続確認について  
5 海外規格対応状況  
6  
7 機器一覧  
用語集

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW
			(ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

#### GOT マルチドロップ接続が可能な GOT

対応ハードウェアバージョンについては MELFANSweb ホームページにてテクニカルニュース No. 姫テ - シ -0039 を参照ください。

【<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>】



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の局番設定  
局番の重複がないように設定してください。局番が重複した場合、局番が重複した GOT は正常にモニタできません。
- 保全機能  
GOT マルチドロップ接続時、GOT の保全機能は使用できません。  
GOT の保全機能については、下記を参照してください。
  - ☞ GOT1000 シリーズ本体取扱説明書（拡張機能・オプション機能編）GT Works3 対応
  - ☞ GT16 本体取扱説明書（ハードウェア詳細編）
  - ☞ GT15 本体取扱説明書
- システムアラーム（GT16、GT15のみ）  
システムアラームは、マルチドロップユニットのアラームを表示します。接続されているシーケンサのアラームは表示しません。
- シリアルマルチドロップ接続ユニットの起動  
マスタユニットは起動した時点で接続されているスレーブ GOT を検出します。この時点で検出できなかったスレーブ局は再検出されるまで時間がかかる場合があります。スレーブ GOT が起動し、通信可能な状態でマスタユニットを起動してください。
- デバイスの更新周期
  - ・ スレーブ GOT の接続台数及び、各 GOT のデバイス点数の合計が大きくなると、画面上のデバイス更新周期が遅くなる場合があります。このような場合には、各 GOT のデバイス点数の合計を削減することをお薦めします。（合計点数 500 点を目安としてください。）また、タイムアウトエラーが発生する場合には、スレーブ GOT の接続機器設定よりタイムアウト時間を伸ばしてください。
  - ・ デバイス番号をランダムに設定すると、連続に設定した場合と比べてデバイス更新周期が遅くなります。デバイス番号を連続して設定されることをお薦めします。
  - ・ デバイス点数：組み合わせによっては画面切り換えに時間がかかる場合があります。このとき、他のスレーブ局のデバイス更新周期にも影響があります。
- GOT マルチドロップ接続で FA トランスベアレント機能を使用する場合  
GOT マルチドロップ接続システム内の各 GOT で FA トランスベアレント機能が使用できます。
  - (1) 基本機能 OS インストール、通信ドライバの書き込み  
GOT マルチドロップ接続で FA トランスベアレント機能を使用する場合、GT Designer3 (Version 1.18U 以降) から GOT へ基本機能 OS、通信ドライバの書き込みとともに、シリアルマルチドロップ接続ユニットへも基本機能 OS、通信ドライバの書き込みが必要です。
  - (2) パソコン接続台数  
パソコンはマルチドロップ接続のシステム内に 1 台のみ接続可能です。
  - (3) GOT のモニタ速度  
モニタしている GOT の台数に応じて、モニタ速度は遅くなります。FA トランスベアレント機能の使用中は、マルチドロップシステム全体のモニタ性能が低下します。その結果、システム内の GOT に、タイムアウトエラーが発生する場合があります。




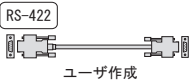


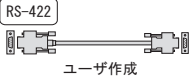

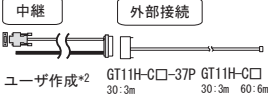


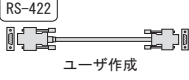

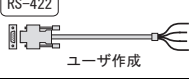


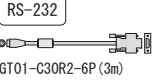
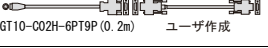

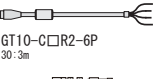
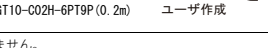

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ GOT マルチドロップ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ☞ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 19 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- ☞ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.2.6 GT14, GT11, GT10 複数台接続

### システム構成

#### ① 先頭接続機器が RS-232 接続

接続先	GOT(1 台目) * 1	ケーブル	GOT(2 台目) * 1
システム構成については、下記をご参照ください。 ・4.1.4 CPU 直接接続 ・4.1.5 計算機リンク接続 * 5	 GT14	 RS-422 ユーザ作成	 GT14
	 GT11	 RS-422 ユーザ作成	 GT11
		 中継 外部接続 ユーザ作成*2 GT11H-C□-37P GT11H-C□ 30:3m 30:3m 60:6m	 ハンディ GOT
	 GT105□/GT104□	 RS-422 ユーザ作成	 GT105□/GT104□
		 RS-422 ユーザ作成	 GT1030/ GT1020 *3
	 GT1030/ GT1020	 RS-232 GT01-C30R2-6P (3m)  GT10-C02H-6PT9P (0.2m) ユーザ作成	 GT105□/GT104□
		 RS-232 GT10-C□R2-6P 30:3m  GT10-C02H-6PT9P (0.2m) ユーザ作成	 GT1030/ GT1020 *4

\* 1 : GT14, GT11, GT10 を混在させた場合、複数台接続をサポートしません。













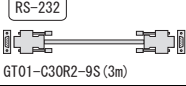

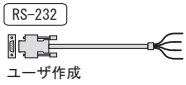


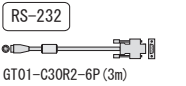

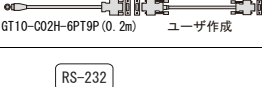

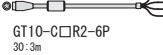

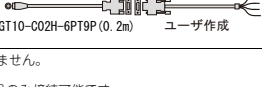

\* 2 : GT11H-C□-37P 使用時に必要。

\* 3 : 2 台目の GOT は、GT10(24V 系)で RS-422 インタフェース内商品のみ接続可能です。

\* 4 : 2 台目の GOT は、RS-232 インタフェース内商品のみ接続可能です。

\* 5 : 計算機リンク接続での複数台接続機能は、QCPU(Q モード)、LCPU のみサポートしています。

② 先頭接続機器が RS-422 接続

接続先	GOT(1 台目) * 6	ケーブル	GOT(2 台目) * 6
システム構成については、下記をご参照ください。 ・4.1.4 CPU 直接接続 ・4.1.5 計算機リンク接続 * 9	 GT14	 RS-232 GT01-C30R2-9S (3m)	 GT14
	 GT11	 RS-232 GT01-C30R2-9S (3m)	 GT11
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  中継         </div> <div style="text-align: center;">  外部接続         </div> </div> ユーザ作成*7  GT11H-C□-37P  GT11H-C□ 30:3m 30:3m 60:6m	 ハンディ GOT
	 GT105□/GT104□	 RS-232 GT01-C30R2-9S (3m)	 GT105□/GT104□
		 RS-232 ユーザ作成	 GT1030/GT1020
	 GT1030/GT1020	 RS-232 GT01-C30R2-6P (3m)	 GT105□/GT104□
		 RS-232 GT10-C02H-6PT9P (0.2m) ユーザ作成	 GT105□/GT104□
		 RS-232 GT10-C□R2-6P 30:3m	 GT1030/GT1020 *8
	 RS-232 GT10-C02H-6PT9P (0.2m) ユーザ作成	 GT1030/GT1020	

- \* 6: GT14, GT11, GT10 を混在させた場合、複数台接続をサポートしません。
- \* 7: GT11H-C□-37P 使用時に必要。
- \* 8: 2 台目の GOT は、GT10(24V 品) で RS-232 インタフェース内蔵品のみ接続可能です。
- \* 9: 計算機リンク接続での複数台接続機能は、QCPU(Q モード)、LCPUのみサポートしています。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
GT11	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
	ハンディ GOT	GT115 □-HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □-Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □-Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の通信タイミングについて  
GOT の電源投入後、GOT の 1 台目から順 (1 → 2 台目) に接続機器 (三菱電機シーケンサ) と通信が行われるように、以下のように通信タイミングを調整してください。  
通信できない場合は、リトライを行い、判定時間を越えた場合には通信エラーとなります。
  - (1) 電源を同時に投入する場合  
2 台目 GOT の通信開始までに時間がかかった場合に、通信エラーとなることがあります。  
タイトル表示するタイミングを、GOT の 1 台目から順に遅らせて設定してください。(例: 1 台目 (5 秒) → 2 台目 (10 秒))  
タイトル表示中は、接続機器への通信を行いません。  
タイトル表示時間の調整方法については、下記を参照してください。  
    - ☞ GT14 本体取扱説明書
    - ☞ GT11 本体取扱説明書
    - ☞ GT10 本体取扱説明書
  - (2) 電源を個別に投入する場合  
2 台目 GOT の電源を ON してから、しばらくして 1 台目 GOT の電源を ON した場合には、2 台目の通信開始が遅れるので 2 台目 GOT で通信エラーとなることがあります。  
接続機器 → 1 台目 GOT → 2 台目 GOT の順で電源を投入してください。
- FA トランスベアレント機能との併用について  
複数台接続する場合、GOT の RS-232 インタフェースまたは USB インタフェースに接続して FA トランスベアレント機能を使用することはできません。
- 複数台接続時の GOT のモニタ停止条件  
複数台接続時に、前段 (1 台目) の GOT にて下記に示す GOT のモニタが停止する操作を行った場合に、後段 (2 台目) の GOT もモニタを停止します。  
前段の GOT がモニタを再開すると、後段の GOT もモニタを再開します。
  - (1) GT Designer3 でプロジェクトデータを書き込み / 読み出した、または OS をインストールした場合
  - (2) GOT 本体でセットアップを実行した場合
- GOT 複数台接続時にシーケンサの電源断などが発生した場合  
GOT 複数台接続時に、シーケンサの電源断、シーケンサ ⇄ 1 台目 GOT 間の通信ケーブル抜けなどで、シーケンサ ⇄ 1 台目 GOT 間の通信が停止した場合、1 台目 GOT に 2 台目 GOT からの通信要求に対するタイムアウト待ちが発生するため、シーケンサ ⇄ 1 台目 GOT 間のモニタ復帰が遅くなります。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ GT11 複数台接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 20 章
- 
- ・ GOT がモニタできるアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(三菱電機機器接続編) GT Works3 対応  
(SH-080838) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 57 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.3 他社製シーケンサ



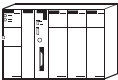







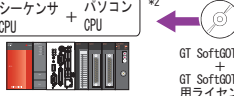
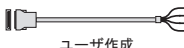



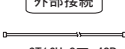

### 4.3.1 各接続形態について

他社製シーケンサとの接続を下記に示します。メーカーごとに接続可能な形態や GOT が異なりますので、詳細については各シーケンサの項をご参照ください。



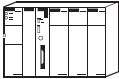








#### システム構成

##### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
・他社製 シーケンサ      	 RS-232 紹介品*1, またはユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 GT16/GT15		
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11		
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□		
		不要 パソコンに内蔵	 ←  DOS/Vパソコン GT SoftGOT1000		
		市販RS-232 ボード	GT SoftGOT1000 用ライセンス キー		
		<b>GOT</b>			
		シーケンサ CPU + パソコン CPU *2  GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー			
		<b>通信ユニット</b>	<b>GOT</b>		
	 ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020		
	RS-232  紹介品*1, またはユーザ作成	コネクタ変換 ボックス 	外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ

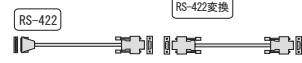
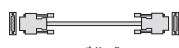

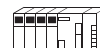







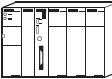


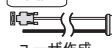



- \* 1: 接続先によって使用するケーブルが異なります。詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1)GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2)GT Works3 対応
- \* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

接続先	ケーブル		通信ユニット	GOT
・他社製 シーケンサ      	<div style="text-align: center;"> <p>中継</p>             ユーザ作成         </div>	<div style="text-align: center;"> <p>外部接続</p>  </div>	<div style="text-align: center;"> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> </div>	<div style="text-align: center;">             GT11ハンディ         </div>
<div style="text-align: center;"> <p>RS-232</p>             紹介品*3, またはユーザ作成         </div>	<div style="text-align: center;"> <p>コネクタ変換 ボックス</p>             GT11H-CNB-37S         </div>	<div style="text-align: center;"> <p>GT11H-C□-37P</p> <p>30:3m 60:6m</p> </div>		
<div style="text-align: center;"> <p>外部接続</p>  </div>	<div style="text-align: center;"> <p>GT11H-C□</p> <p>30:3m 60:6m</p> </div>			

\* 3: 接続先によって使用するケーブルが異なります。  
 詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応



② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
	 <p>RS-422 紹介品*4, またはユーザ作成</p> <p>GT16-C□R4-9S 02:0:2m</p>  <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p>
<p>・他社製 シーケンサ</p> 	 <p>RS-422 紹介品*4, またはユーザ作成</p>	<p>RS-422 変換</p> <p>GT15-RS2T4-9P</p> <p>RS-422/485</p> <p>GT15-RS4-9S</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GOT15</p>  <p>GT14/GOT11</p>  <p>GT105□/GT104□</p>
	 <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT1030/GOT1020</p>
	 <p>RS-422</p> <p>紹介品*4, またはユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>
	<p>中継</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422</p>  <p>紹介品*4, またはユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス</p> <p>外部接続</p> <p>GT11H-C□-37P 30:3m 60:6m 100:10m</p> <p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>

\* 4: 接続先によって使用するケーブルが異なります。  
 詳細については、① 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応  
 \* 5: GT155□を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて

2 ソフトウェアについて

3 機能について



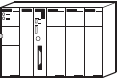











4 接続形態について

5 海外規格対応状況

6 機器一覧

7 用語集

### ③ Ethernet

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・他社製 シーケンサ      	Ethernet    ツイストペアケーブル *6	不要 GOT本体に内蔵	*8  GT16	
		Ethernet  GT15-J71E71-100	 GT15	
		不要 パソコンに内蔵	*9  GT14	
		不要 パソコンに内蔵	 DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	
		*10 市販Ethernet ボード	GOT	
<b>GOT</b>			シーケンサ + パソコン CPU ← CPU *7  GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	
Ethernet   ツイストペア ケーブル *6	コネクタ変換 ボックス  GT16H-CNB-42S	外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ

\* 6: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・ 10BASE-T  
シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・ 100BASE-TX  
シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 7: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

\* 8: 機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

- ・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 9: Ethernet 接続に対応している GT14 は、GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDE のみです。

\* 10: 使用可能な Ethernet ボード / カードについては、下記を参照してください。

#### GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード / カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink III LAN PC Card	Ethernet ボード / カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード

### 4.3.2 オムロン社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11/GT10					GT SoftGOT1000				
		計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet * 2	計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
SYSMAC CPM	CPM1A	×	○		×	×				×	×
	CPM1				○						
	CPM2A				○						
	CPM2C				×						
SYSMAC CQM1H	CQM1H		×								
SYSMAC CJ1	CJ1H				○	○* 3				○	○
	CJ1G										
	CJ1M										
SYSMAC CJ2	CJ2H			×							
	CJ2M * 5										
SYSMAC CP1	CP1H	○	○		×					×	×
	CP1L				×						
	CP1E(Nタイプ)* 4				×						
SYSMAC α	C200HX				○		×	×	×	○	×
	C200HG									○	
	C200HE									×	
SYSMAC CS1	CS1H				○	○* 3					○
	CS1G										
	CS1D										
SYSMAC CVM1/CV	CV500	×	×		○					○	
	CV1000										
	CV2000										
	CVM1										
SYSMAC CQM1	CQM1				○* 1						
SYSMAC C200HS	C200HS					×					×
SYSMAC C200H	C200H	○	○	×	×					×	
	C1000H										
	C2000H										

\* 1 CQM1-CPU11 には、RS-232 インタフェースがないため、GOT を使用できません。

\* 2 GT16, GT15, GT14 のみの対応となります。

\* 3 二重化された Ethernet には対応していません。

\* 4 CP1E (Nタイプ) のうち、20点以下の CPU ユニットは CPU 直接接続のみ可能です。

\* 5 CJ2M-CPU1 □のみ接続できます。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	バス接続時	GT115 □ -Q □ HS-Q □ BD
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
GT10	RS-232, RS-422 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
	RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)

### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
上位リンクユニット / コミュニケーションユニット / コミュニケーションボード	C200H-LK202-V1	C200H-LK201-V1
	C500-LK201-V1	C500-LK201-V1
	CQM1-SCB41	CS1W-SCU21
	CJ1W-CIF11	CS1W-SCU21-V1
	CJ1W-SCU41	CS1W-SCB21
	CJ1W-SCU41-V1	CS1W-SCB21-V1
	CJ1W-SCU21-V1+CP1W-EXT01	CS1W-SCB41
	CS1W-SCB41	CS1W-SCB41-V1
	CS1W-SCB41-V1	CJ1W-SCU21
	C200HW-COM03	CJ1W-SCU21-V1
	C200HW-COM06	CJ1W-SCU21-V1+CP1W-EXT01
	CP1W-CIF11	CJ1W-SCU41
	CP1W-CIF12	CJ1W-SCU41-V1
		C200HW-COM02
	C200HW-COM05	
	C200HW-COM06	
	CQM1-CIF01	
	CQM1-CIF02	
	CQM1-SCB41	
	CPM1-CIF01	
	CPM2C-CN111	
	CPM2C-CIF01-V1	
	CP1W-CIF01	

### Ethernet 接続時に使用可能なユニット

ユニット	形名
Ethernet ユニット	CS1W-ETN21
	CS1D-ETN21D
	CS1W-EIP21
	CJ1W-ETN21
	CJ1W-EIP21

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT とオムロン社製シーケンサを接続する場合、オムロン社製シーケンサ側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- 接続不可能な小型シーケンサ  
CQM1-CPU11 には、RS-232C インタフェースがないため、GOT を接続できません。
- C200HE との接続  
C200HE との接続は、ベースユニット取付タイプ上位リンクユニットまたはコミュニケーションボード経由で接続を行ってください。
- C200HE-CPU11 は、コミュニケーションボードを取付けできません。  
上位リンクユニットを使用してください。
- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く)を、10BASE(-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
① GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- ネットワークシステムの経由シーケンサ (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX(100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。

### ■ セットアップ時の注意事項

- GOT とオムロン社製製品との極性の違い  
GOT とオムロン社製製品とは、信号名の A 極、B 極の極性名称が逆になっています。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ オムロン社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839) 第 4 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 32 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 23 章
- 
- ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GT Works3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.3 キーエンス社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
KV-700				
KV-1000	○	○	×	○
KV-3000	○	○	×	○
KV-5000	○	○	×	×
KV-5500	○	○	×	×

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	ハス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
		RS-422 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
マルチコミュニケーションユニット	KV-L20R KV-L20 KV-L20V	KV-L20R KV-L20 KV-L20V

#### ⚠ 注意事項

##### ■ システム上の注意事項

- GOT とキーエンス社製シーケンサを接続する場合、シーケンサ側と GOT で、終端抵抗を設定する必要があります。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ キーエンス社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編1) GT Works3 対応 (SH-080839)  
第6章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第34章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第24章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧

7

用語集

### 4.3.4 光洋電子工業社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
KOSTAC SU シリーズ	SU-5E	○	○	○	○
	SU-6B	○	○	○	○
	SU-5M	○	○	○	○
	SU-6M	○	○	○	○
DirectLOGIC 05 シリーズ	D0-05AA	○	○	×	○
	D0-05AD	○	○	×	○
	D0-05AR	○	○	×	○
	D0-05DA	○	○	×	○
	D0-05DD	○	○	×	○
	D0-05DD-D	○	○	×	○
	D0-05DR	○	○	×	○
	D0-05DR-D	○	○	×	○
DirectLOGIC 06 シリーズ	D0-06DD1	○	○	○	○
	D0-06DD2	○	○	○	○
	D0-06DR	○	○	○	○
	D0-06DA	○	○	○	○
	D0-06AR	○	○	○	○
	D0-06AA	○	○	○	○
	D0-06DD1-D	○	○	○	○
	D0-06DD2-D	○	○	○	○
	D0-06DR-D	○	○	○	○
DirectLOGIC 205 シリーズ	D2-240	○	○	×	○
	D2-250-1	○	○	○	○
	D2-260	○	○	○	○
PZ シリーズ	PZ3	×	×	○	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
GT11	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
データ通信モジュール	U-01DM	U-01DM
	D2-DCM	D2-DCM
シリアルデータ通信モジュール	D0-DCM	D0-DCM



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と光洋電子工業社製シーケンサを接続する場合、光洋電子工業社製シーケンサ側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- GOT の時計管理  
カレンダー機能を持つシーケンサに対してのみ GOT の時計管理を行うことができます。  
時計管理は時計あわせのみ使用できます。時刻通知を設定した場合、無処理となります。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 光洋電子工業社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- .....
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839)  
第 7 章

▶ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 35 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 25 章

### 4.3.5 シャープマニファクチャリングシステム社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
JW-21CU				
JW-31CUH	○	×	×	×
JW-50CUH				
JW-22CU				
JW-32CUH				
JW-33CUH				
JW-70CUH	○	×		○*1
JW-100CUH				
JW-100CU				
Z-512J	×	×		○*1

\* 1 RS-422/RS-232 の選択可能

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
GT11	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
	ハンディ GOT	

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
リンクユニット	JW-21CM JW-10CM ZW-10CM	-



#### 注意事項

##### ■ システム上の注意事項

- GOT との接続には、JW-31CUH, JW-32CUH, JW-33CUH に対応品のリンクユニットを使用してください。
- GOT とシャープ社製シーケンサを接続する場合、シャープ社製シーケンサ側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ シャープ社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- .....
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839)  
第 9 章

▶ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 37 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 26 章

### 4.3.6 ジェイテクト社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名		計算機リンク接続		CPU 直接接続	
			RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
TOYOPOUC シリーズ	PC3JG	PC3JG-P-CPU	○	○*1	×	○*1
		PC3JG-CPU				
	PC3J	PC3J-CPU	○	○*1	○	○*1
		PC3JL-CPU				
	PC2J	PC2JC-CPU	○	○*1	×	○*1
		PC2J16P-CPU				
		PC2J-CPU				
		PC2JS-CPU				×
PC2JR-CPU						

\* 1 RS-232/RS-422 変換器 (TXU-2051) が必要。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
リンクユニット	PC/CMP-LINK 2PORT-LINK PC/CMP2-LINK	-

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- 終端となるシーケンサには、終端抵抗を設けないでください。  
GOT 側の終端抵抗の設定は、「なし」に設定してください。
- システム構成  
PC3J 拡張機能対応のシーケンサと PC3J 拡張機能非対応のものを混在して、システム構成をすると、正常に通信できない場合があります。  
PC3J 拡張機能対応、あるいは PC3J 拡張機能非対応のシーケンサに統一して、システム構築してください。
- GOT の時計管理  
自局アドレスで設定した局番のシーケンサに対してのみ GOT の時計管理を行うことができます。

### ■ その他の注意事項

- シーケンサ側の局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番のシーケンサが必ず存在するようにしてください。
- システムアラーム  
自局アドレスとして設定されたシーケンサに対してのみシステムアラームを表示することができます。  
PC3J 拡張機能対応のシーケンサと接続している場合は、プログラム番号 1 のシステムアラームのみ表示することができます。
- PC3J のバージョン  
PC3J は、バージョン 2.1 以降のものを使用してください。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ ジェイテクト社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
( 他社機器接続編 1 ) GT Works3 対応 (SH-080839) 第 8 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 36 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 29 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.7 東芝社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11					GT SoftGOT1000				
		計算機 リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet * 2	計算機 リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
PROSECT Tシリーズ	T2(PU224)			○	×	×					
	T2E			○*1							
	T2N	×	×	○*1			×	×	×	×	
	T3			○	×						
	T3H			○	×						
Vシリーズ	model 3000(S3)					×					×
	model 2000(S2)										
	model 2000(S2E)	×	×	○	×		×	×	×	×	
	model 2000(S2T)										
ユニファイドコント ローラ nv シリーズ	コントローラ type1 PU811	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○

\* 1 RS-422/RS-232 の選択可能

\* 2 GT16, GT15, GT14 のみの対応となります。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

#### Ethernet 接続時に使用可能なユニット

ユニット	形名
Ethernet ユニット	EN811

#### ⚠ 注意事項

##### ■ システム上の注意事項

- GOT と東芝社製シーケンサを接続する場合、東芝社製シーケンサ側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 東芝社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
( 他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839)  
第 12 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 40 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 27 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧

7

用語集

## 4.3.8 東芝機械社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
TCmini シリーズ	TC3-01	×	×	×	○
	TC3-02	×	×	×	○
	TC6-00	×	×	×	○
	TC8-00	×	×	×	○
ロボットコントローラ	TS2000	×	×	×	○
	TS2100	×	×	×	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
GT11	ハス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L □ LW (ただし、GT1030-L □ L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 東芝機械社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編1) GT Works3 対応 (SH-080839) 第 13 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 41 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 28 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。



### 4.3.9 日立産機システム社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
大型 H シリーズ	H-302	○*1	○*1	×	○
	H-702				
	H-1002				
	H-2002				
	H-4010				
	H-300				
	H-700				
H-2000					
H-200 ~ 252 シリーズ	H-200	×	×	×	○
	H-250				
	H-252				
	H-252B				
	H-252C				
H-252C					
H シリーズ ボードタイプ	H-20DR	×	×	×	○
	H-28DR				
	H-40DR				
	H-64DR				
	H-20DT				
	H-28DT				
	H-40DT				
	H-64DT				
	HL-40DR				
	HL-64DR				
EH-150 シリーズ	EH-CPU104	×	×	×	○
	EH-CPU208				
	EH-CPU308				
	EH-CPU316				
	EH-CPU516				
	EH-CPU548				

\* 1 RS-422/RS-232 の選択可能

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

## 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
インテリジェントシリアルポート モジュール	COMM-H COMM-2H	COMM-H COMM-2H



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT とインテリジェントシリアルポートモジュールを接続する場合、インテリジェントシリアルポートモジュールに終端抵抗を接続する必要があります。  
GOT 側は、終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 日立産機システム社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 2 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 44 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 30 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.10 日立製作所社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続		
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
S10V	LQP510	○	○	○	×	
	LQP520					
S10mini	LQP800					
	LQP000					
	LQP010					
	LQP011					
	LQP120					

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
通信モジュール	LQE565 LQE165	LQE560 LQE060 LQE160

### マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 日立製作所社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
( 他社機器接続編 2 ) GT Works3 対応 (SH-080840)  
第 3 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 45 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 31 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.11 富士電機機器制御社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
MICREX-F	F55	○	○	×	×
	F70				
	F120S				
	F140S				
	F15□S				

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232、RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232、RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ、GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT RS-232、RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
RS-232C インタフェースカード	-	NV1L-RS2
RS-232C/485 インタフェースカプセル	FFK120A-C10	FFK120A-C10
汎用インタフェースモジュール	NC1L-RS4 FFU120B	NC1L-RS2 FFU120B

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 富士電機機器制御社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 4 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 46 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 32 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.12 パナソニック社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
FP0-C16CT				
FP0-C32CT				
FP0R	×	×	×	○
FP1-C24C				
FP1-C40C				
FP2				
FP2SH				
FP3	×	○	×	○
FP5				
FP10(S)				
FP10SH				
FP-M(C20TC)				
FP-M(C32TC)	×	×	×	○
FP-Σ				
FP-X	○	○		

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時 GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ L/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
コンピュータコミュニケーションユニット	AFPX-COM3	AFP2462 AFP3462 AFP5462 AFPX-COM1 AFPX-COM2 AFPX-COM4

## マニュアルナビ

---

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ パナソニック社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- .....
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編1) GT Works3 対応 (SH-080839)  
第 15 章

➤ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 43 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 33 章

### 4.3.13 安川電機社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	GT16/GT15/GT14/GT11/GT10 *1					GT SoftGOT1000				
	計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet *2	計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
GL120		×		○			×		○	
GL130			×		×					
GL60S	○			×			○		×	×
GL60H		○								
GL70H										
CP-9200SH	×	○		×	○				×	
CP-9300MS		×			×		×			
MP920	○	○	×		○	×	○	×		○
MP930				○					○	
MP940				○	×					
PROGIC-8		×					×			×
CP-9200(H)	×									
CP-312			×		○					
CP-317					×					
MP2200		○		×					×	
MP2300(S)	○				○		○			○

\* 1 GT10 は下記のみ対応となります。

CP-9200SH, MP920, MP930, MP940, MP2200, MP2300(S)

\* 2 GT16, GT15, GT14 のみの対応となります。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

## 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	GT16/GT15/GT14/GT11/GT10		GT SoftGOT1000	
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
MEMOBUS モジュール / 通信モジュール	JAMSC- 120NOM27100 JAMSC-IF612 217IF 217IF-01	JAMSC-IF60 JAMSC-IF61 CP-217IF 217IF 217IF-01 218IF-01 218IF-02	—	JAMSC-IF60 JAMSC-IF61 CP-217IF 217IF 217IF-01 218IF-01 218IF-02

## Ethernet 接続時に使用可能なユニット

ユニット	形名
通信モジュール	218IF, 218IF-01, 218IF-02



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と安川電機社製シーケンサを接続する場合、必要に応じて安川電機社製シーケンサに終端抵抗を接続してください。
- GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
に「GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)」
- ネットワークシステムの経由シーケンサ (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・ スwitchingハブを使用する。
  - ・ 高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・ GOT のモニタ点数を減らす。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 安川電機社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 6 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 48 章  
 GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 34 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。



### 4.3.14 横河電機社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11				GT SoftGOT1000					
		計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet * 2	計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
FA500	FA500	○*1		×	×	×					×
FA-M3	F3SP05	○			○	○					○
	F3SP08										
	F3SP10	×									
	F3SP20				×	×					×
	F3SP30										
	F3FP36										
	F3SP21										
	F3SP25										
	F3SP35	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○
	F3SP28										
	F3SP38										
	F3SP53										
	F3SP58										
F3SP59											
F3SP66	×	×									
F3SP67											
STARDOM	NFCP100	×	×	×	○	×					×
	NFJT100										

\* 1 RS-422/RS-232 の選択可能

\* 2 GT16, GT15, GT14 のみの対応となります。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
パソコンリンクモジュール	LC02-0N F3LC11-2N	LC01-0N LC02-0N F3LC01-1N F3LC11-1N F3LC11-1F F3LC12-1F

#### Ethernet 接続時に使用可能なユニット

ユニット	形名
Ethernet インタフェースモジュール	F3LE01-5T, F3LE11-0T, F3LE12-0T



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- FA-M3 と接続時の注意事項
  - ・ CPU ポート / D サブ 9 ピン変換ケーブルを使用し、プログラミングツール接続コネクタへ接続する場合、F3SP10、F3SP20、F3SP30、F3SP36 とは接続ができません。
  - ・ F3SP10 はパソコンリンクモジュール (F3LC11-2N) に対応していないため、RS-422 での接続はできません。
- STARDOM と接続時の注意事項
  - ・ 二重化構成
    - STARDOM が二重化構成を構成している場合は、接続をサポートしていません。
  - ・ システムアラーム
    - システムアラームの中でシーケンサエラーは、表示しません。
  - ・ GOT の時計管理
    - STARDOM には時計の書込み / 読み出し機能がいないため、GOT の時計管理で“時刻合わせ”，または“時刻通知”の設定を行っても、無効（無処理）となります。
- GOT とパソコンリンクモジュールを接続する場合、パソコンリンクモジュール側に終端抵抗を接続する必要があります。
  - GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。
  - 「GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)」
- ネットワークシステムの経由
  - シーケンサ (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合
  - 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・ スwitchingハブを使用する。
  - ・ 高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・ GOT のモニタ点数を減らす。

### ■ セットアップ時の注意事項

- パソコンリンクモジュールのスイッチ設定は、ベースモジュールに装着する前に設定してください。
- GOT と横河電機社製製品との極性の違い
- GOT と横河電機社製製品とは、信号名の A 極、B 極の極性名称が逆になっています。
- GOT を横河電機社製シーケンサに接続してモニタを行う場合、オブジェクトで設定するデバイスは、横河電機社製シーケンサのデバイス範囲内を設定してください。デバイス範囲外をオブジェクトで設定した場合、オブジェクトに不定値が表示されます。(システムアラームにエラーは表示されません)



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 横河電機社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840)  
第 7 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 49 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 35 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.15 ALLEN-BRADLEY 製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14/GT11					GT10				
		計算機リンク接続		CPU 直接接続		Ethernet * 4	計算機リンク接続		CPU 直接接続		
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
SLC500 シリーズ*1	SLC500-20										
	SLC500-30										
	SLC500-40										×
	SLC5/01	×	×	×	○	×	×	×	×		
	SLC5/02										
	SLC5/03										
	SLC5/04										○
MicroLogix1000 シリーズ (デジタル CPU)*1*2*3	1761-L10BWA										
	1761-L10BWB										
	1761-L16AWA										
	1761-L16BWA										
	1761-L16BWB										
	1761-L16BBB										
	1761-L32AWA										
	1761-L32BWA										
	1761-L32BWB	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○
	1761-L32BBB										
MicroLogix1000 シリーズ (アナログ CPU)*1	1761-L32AAA										
	1761-L20AWA-5A										
	1761-L20BWA-5A										
MicroLogix1200 シリーズ*1	1761-L20BWB-5A										
	1762-L24BWA										
MicroLogix1500 シリーズ*1	1764-LSP										
ControlLogix シリーズ	1756-L										
	1756-L1M1										
	1756-L1M2										
	1756-L1M3										
	1756-L61										
	1756-L62										
	1756-L63										
	1756-L55M12	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
	1756-L55M13										
	1756-L55M14										
	1756-L55M16										
	1756-L55M22										
	1756-L55M23										
	1756-L55M24										
CompactLogix シリーズ	1769-L31					×					
	1769-L32E					○					
	1769-L32C	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
	1769-L35E					○					
	1769-L35CR					×					
FlexLogix シリーズ	1794-L33	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
	1794-L34										

- \* 1 Adapter(1770-KF3) 経由で DH485 ネットワークに接続可能
- \* 2 DH485 接続はシリーズ C 以降の CPU のみ使用可能 (B 以前は, DH485 プロトコルサポートなし)
- \* 3 1 対 1 接続はシリーズ D 以降の CPU のみ使用可能 (C 以前は, DF1 半二重のサポートなし)
- \* 4 GT16, GT15, GT14 のみの対応となります。EtherNet/IP (PCCS プロトコル) をサポート。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT1145 □-Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □-Q □ BD	
	バス接続時	GT1115 □-Q □ BDQ, GT1115 □-Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

### Ethernet 接続時に使用可能なユニット

ユニット	形名
EtherNet/IP 通信モジュール	1756-ENET
	1756-ENBT



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は, 使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて, Ethernet ユニット, ハブ, トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く) を, 10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合, スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については, 下記を参照してください。  
 〔GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)〕
- ネットワークシステムの経由  
 シーケンサ (ネットワークユニット, Ethernet ユニットなど) を経由して, 他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合, ネットワーク負荷が増大し, GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は, 下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・ スイッチングハブを使用する。
  - ・ 高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・ GOT のモニタ点数を減らす。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ ALLEN-BRADLEY 製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編2) GT Works3 対応 (SH-080840)  
第 10 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 53 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 36 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧

7

用語集

### 4.3.16 GE ファナックオートメーション社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
Series 90 - 30	IC693CPU311	○	○	×	×
	IC693CPU313	○	○	×	×
	IC693CPU323	○	○	×	×
	IC693CPU350	○	○	○	×
	IC693CPU360	○	○	○	×
	IC693CPU363	○	○	○	×
	IC693CPU366	○	○	○	×
	IC693CPU367	○	○	○	×
	IC693CPU374	○	○	○	×
	Series 90 - 70	IC697CPU731	○	○	×
IC697CPX772		○	○	×	×
IC697CPX782		○	○	×	×
IC697CPX928		○	○	×	×
IC697CPX935		○	○	×	×
IC697CPU780		○	○	×	×
IC697CGR772		○	○	×	×
IC697CGR935		○	○	×	×
IC697CPU788		○	○	×	×
IC697CPU789		○	○	×	×
IC697CPM790		○	○	×	×
VersaMax Micro		IC200UAA003	○	○	○
	IC200UAR014	×	×	×	○
	IC200UDD104	×	×	×	○
	IC200UDD112	×	×	×	○
	IC200UDR001	×	×	×	○
	IC200UDR002	×	×	×	○
	IC200UDR003	×	×	×	○
	IC200UAL004	×	×	○	○
	IC200UAL005	×	×	○	○
	IC200UAL006	×	×	○	○
	IC200UAA007	×	×	○	○
	IC200UAR028	×	×	○	○
	IC200UDD110	×	×	○	○
	IC200UDD120	×	×	○	○
	IC200UDD212	×	×	○	○
	IC200UDR005	×	×	○	○
	IC200UDR006	×	×	○	○
	IC200UDR010	×	×	○	○
	IC200UDD064	○	○	○	○
	IC200UDD164	○	○	○	○
	IC200UDR164	○	○	○	○
	IC200UDR064	○	○	○	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
コミュニケーションモジュール	IC693CMM311 IC697CMM711	IC693CMM311 IC697CMM711

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と GE ファナックオートメーション社製シーケンサを接続する場合、GE ファナックオートメーション社製シーケンサ側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は終端抵抗が内蔵されているので接続不要です。
- GOT の時計管理  
GOT からシーケンサ時計データの書込み / 読出しを行うことができません。  
GOT の時計管理で“時刻合わせ”または“時刻通知”の設定を行っても、無効 (無処理) となります。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ GE ファナックオートメーション社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 11 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 54 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 37 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.17 LS 産電社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
K300S	K4P-15AS	○	○	×	×
K200S	K3P-07 □ S	○	○	×	×
K120S	K7M-D □ □ □ U	○	○	×	○
K80S	K7M-D □ □ □ S(/DC)	○	○	×	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernet で接続時	GT1145 □ -Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ -Q □ BD	
GT11	バス接続時	GT1115 □ -Q □ BDQ, GT1115 □ -Q □ BDA	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232, RS-422 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW
		RS-422 で接続時	(ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)

#### 計算機リンク接続時に使用可能なユニット

ユニット	RS-422	RS-232
Cnet 通信ユニット	G7L-CUEC	G7L-CUEB
Cnet 通信モジュール	G6L-CUEC G4L-CUEA	G6L-CUEB G4L-CUEA

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ LS 産電社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840)  
第 12 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 55 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 38 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。



### 4.3.18 SICK 社製安全コントローラ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	計算機リンク接続		CPU 直接接続	
		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232
Flexi Soft	FX3-CPU000000	×	×	×	○
	FX3-CPU130002	×	×	×	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD	
	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □-Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □-Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)
RS-422 で接続時			

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ SICK 社製安全コントローラ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 13 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 56 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 52 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.3.19 SIEMENS 社製シーケンサ

システム構成の詳細につきましては、4.3.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	GT16/GT15/GT14				Ethernet	GT11/GT10				GT SoftGOT1000				Ethernet
	計算機 リンク接続		CPU 直接 接続			計算機 リンク接続		CPU 直接 接続		計算機 リンク接続		CPU 直接 接続		
	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232		RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	RS-422	RS-232	
SIMATIC S7-200 シリーズ					×									×
SIMATIC S7-300 シリーズ	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○
SIMATIC S7-400 シリーズ														

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- Ethernet ケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。
- 機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く)を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
☞ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- ネットワークシステムの経由  
シーケンサ (ネットワークユニット、Ethernet ユニットなど) を経由して、他ネットワークのシーケンサへアクセスすることはできません。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・スイッチングハブを使用する。
  - ・高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・GOT のモニタ点数を減らす。

### ■ その他の注意事項

- GOT のアラームリスト (システムアラーム) 機能について  
SIEMENS 社製シーケンサと接続時は、エラー情報をモニタできません。(シーケンサ CPU 側のエラー情報はモニタできます。)
- システム起動時
  - (1) 電源投入時  
すべてのシーケンサ CPU の電源を ON してから、GOT の電源を ON してください。GOT の電源を ON してからシーケンサ CPU の電源を ON する場合は、GOT を再起動してください。
  - (2) 他局シーケンサ CPU の電源 OFF 時  
他局シーケンサ CPU (HMI Adapter を接続していないシーケンサ CPU) の電源を OFF した場合は、GOT のモニタが停止します。  
GOT のモニタを再開したい場合は、GOT を再起動してください。(シーケンサ CPU の電源を再度 ON しても、GOT のモニタは再開しません。)

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ SIEMENS 社製シーケンサ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応 (SH-080840) 第 14 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 57 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 39 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.4 他社製その他の機器

### 4.4.1 各接続形態について

他社製機器との接続を下記に示します。メーカーごとに接続可能な形態や GOT が異なりますので、詳細については各機器の項をご参照ください。














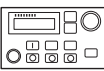


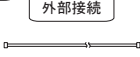


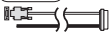





## システム構成

### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・他社製機器  	<p>RS-232 紹介品*1, またはユーザ作成</p>	<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16/GT15</p>	
		<p>RS-232  GT15-RS2-9P</p>	<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	<p>GT14/GT11</p>
		<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	<p>GT105□/GT104□</p>	
	<p>ユーザ作成</p>	<p>通信ユニット</p>	<p>GOT</p>	
	<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	<p>GT1030/GT1020</p>		
	<p>コネクタ変換ボックス</p> <p>RS-232   </p> <p>紹介品*1, またはユーザ作成</p> <p>外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m</p> <p>GT16H-CNB-42S</p>	<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16ハンディ</p>	
	<p>中継 </p> <p>ユーザ作成</p>	<p>外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m</p>	<p>不要 GOT本体に内蔵</p>	
	<p>コネクタ変換ボックス</p> <p>RS-232   </p> <p>紹介品*1, またはユーザ作成</p> <p>GT11H-CNB-37S</p>			
	<p>外部接続 </p> <p>GT11H-C□ 30:3m 60:6m</p>			

\* 1: 接続先によって使用するケーブルが異なります。  
 詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1)GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2)GT Works3 対応


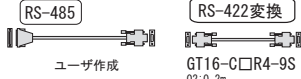
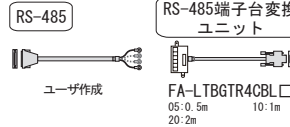






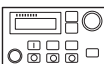


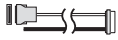
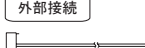


② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・他社製機器  	 RS-422 紹介品*2, またはユーザ作成 GT16-C□R4-9S 02: 0.2m   ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16	
		RS-422  紹介品*2, またはユーザ作成	RS-422変換*3  GT15-RS2T4-9P  GOT16/GOT15	 GOT16/GOT15
			不要 GOT本体に内蔵	GOT14/GOT11 
			不要 GOT本体に内蔵	GOT105□/GOT104□ 
			不要 GOT本体に内蔵	GOT1030/GOT1020 
		 RS-422 紹介品*2, またはユーザ作成   コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S   外部接続 GT16H-C□-42P 30: 3m 60: 6m 100: 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16ハンディ
		 中継 ユーザ作成   RS-422 紹介品*2, またはユーザ作成 コネクタ変換ボックス GT11H-CNB-37S   外部接続 GT11H-C□-37P 30: 3m 60: 6m 100: 10m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT11ハンディ
		 外部接続 GT11H-C□ 30: 3m 60: 6m		

\* 2: 接続先によって使用するケーブルが異なります。  
 詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応  
 \* 3: GT155□を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 海外規格対応状況  
 5 接続形態について  
 6 機器一覧  
 7 用語集

③ RS-485

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・他社製機器  	 <p>RS-485 ユーザ作成</p> <p>RS-422変換 GT16-C□R4-9S 02: 0.2m</p>  <p>RS-485 ユーザ作成</p> <p>RS-485端子台変換ユニット FA-LTBGTR4CBL□ 05: 0.5m 10: 1m 20: 2m</p>  <p>RS-485 紹介品*4, またはユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p>
	 <p>RS-485</p> <p>紹介品*4, またはユーザ作成</p>	<p>*5 RS-422/485 GT15-RS4-9S</p> <p>*5 RS-422/485 GT15-RS4-TE</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16/GT15</p>  <p>GT14/GT11</p>
	 <p>RS-485 ユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S</p> <p>外部接続 GT16H-C□-42P 30: 3m 60: 6m 100: 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>
	<p>中継</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>外部接続</p>  <p>RS-485 ユーザ作成</p> <p>コネクタ変換ボックス GT11H-CNB-37S</p> <p>外部接続</p>  <p>GT11H-C□ 30: 3m 60: 6m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT11ハンディ</p>

- \* 4: 接続先によって使用するケーブルが異なります。  
 詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応
- \* 5: 接続する他社製機器により、使用できる通信ユニットが異なります。  
 使用できる通信ユニットは、下記を参照してください。  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
 ・ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 2) GT Works3 対応

## 4.4.2 パナソニック社製サーボアンプ

システム構成の詳細につきましては、4.4.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	RS-485	RS-232
MINAS A4	○	○
MINAS A4F	○	○
MINAS A4L	○	○
MINAS A5	○	○

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- サーボアンプの局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番のサーボアンプが、必ず存在するようにしてください。  
自局アドレスの設定の詳細は、下記を参照してください。
- 📖 GOT1000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編)
- モニタ速度  
GOT の同一画面上に、複数の局のデバイスを配置し、モニタした場合、モニタ速度は遅くなります。  
また、1 局のモニタであっても、デバイス点数が多い場合、モニタ速度は遅くなります。
- MINAS A4 シリーズと MINAS A5 シリーズの混在  
MINAS A4 シリーズと MINAS A5 シリーズの混在はできません。MINAS A4 シリーズ内での混在は可能です。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ パナソニック社製サーボアンプ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839) 第 14 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 42 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 51 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.4.3 アイエイアイ社製ロボットコントローラ

システム構成の詳細につきましては、4.4.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	RS-232	RS-422
X-SEL	XSEL-J	○	×
	XSEL-K	○	×
	XSEL-KE	○	×
	XSEL-KT	○	×
	XSEL-KET	○	×
	XSEL-P	○	×
	XSEL-Q	○	×
	XSEL-JX	○	×
	XSEL-KX	○	×
	XSEL-KTX	○	×
	XSEL-PX	○	×
XSEL-QX	○	×	
SSEL	SSEL	○* 1	×
ASEL	ASEL	○* 1	×
PSEL	PSEL	○* 1	×
PCON	PCON-C	○* 2	○* 3
	PCON-CG	○* 2	○* 3
	PCON-CF	○* 2	○* 3
	PCON-CY	○* 2	○* 3
	PCON-SE	○* 2	○* 3
	PCON-PL	○* 2	○* 3
	PCON-PO	○* 2	○* 3
ACON	ACON-C	○* 2	○* 3
	ACON-CG	○* 2	○* 3
	ACON-CY	○* 2	○* 3
	ACON-SE	○* 2	○* 3
	ACON-PL	○* 2	○* 3
	ACON-PO	○* 2	○* 3
SCON	SCON-C	○* 2	○* 3
ERC2	ERC2	○* 2	○* 3

- \* 1: コネクタ変換ケーブル (CB-SEL-SJ002) が必要。
- \* 2: コネクタ変換ケーブル (CB-RCA-SIO050) が必要。
- \* 3: コネクタ変換ケーブル (CB-RCB-CTL002) が必要。



接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
GT11	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD
GT10	GT105 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、 MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成, 接続ケーブルについて
- ・ 注意事項, 制約事項について
- ・ アイエイアイ社製ロボットコントローラ接続する  
までの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
(SH-080839) 第 2 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 32 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 50 章




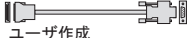








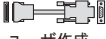











\* GOT と接続する相手先機器の制約, 注意事項については, 各マニュアルをご参照ください。

## 4.5 マイコン接続



























### 4.5.1 マイコン接続 (シリアル)

#### システム構成

##### ① GOT を 1 台接続時 (RS-232)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・マイコンボード、 パソコン、 シーケンサなど      	RS-232  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 GT16/GT15	
	RS-232  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11	
	RS-232  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
	RS-232  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	
	RS-232  ユーザ作成	コネクタ変換 ボックス 外部接続  GT16H-CNB-42S GT16H-C□-42P 30・3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
	中継  ユーザ作成	外部接続 	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ
RS-232  ユーザ作成	コネクタ変換 ボックス 外部接続  GT11H-CNB-37S GT11H-C□-37P 30・3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	
外部接続 	外部接続  GT11H-C□ 30・3m 60・6m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	





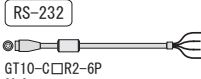




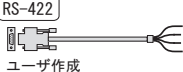






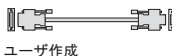

② GOT を 1 台接続時 (RS-422)

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・マイコンボード、 パソコン、 シーケンサなど    	RS-422 ユーザ作成  RS-422変換 GT16-C□R4-9S 02 : 0.2m  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT16	
	RS-422 ユーザ作成 	RS-422変換 *1 GT15-RS2T4-9P  RS-422/485 GT15-RS4-9S 	不要 GOT本体に内蔵	 GT16/GT15
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT105□/GT104□	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT1030/GT1020	
		RS-422 ユーザ作成 	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
		RS-422 ユーザ作成  コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S  外部接続 GT16H-C□-42P 30 : 3m 60 : 6m 100 : 10m 	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
		中継 ユーザ作成 	外部接続 	
		RS-422 ユーザ作成  コネクタ変換ボックス GT11H-C□R4-P 15 : 1.5m  GT11H-CNB-37S 	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ
		外部接続 GT11H-C□ 30 : 3m 60 : 6m 		

\* 1: GT1655、GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

1 GOTについて  
2 ソフトウェアについて  
3 機能について  
4 接続構成について  
5 海外規格対応状況  
6 機器一覧  
7 用語集

### ③ GOT を複数台接続時

接続先 * 2		GOT (n 台目) * 3	ケーブル	GOT (n+1 台目) * 3
マイコンボード、 パソコン、 シーケンサなど      	RS-232	 GT1030/GT1020	 RS-232 GT10-C□R2-6P 30:3m	 *4 GT1030/GT1020
	RS-422		 RS-232 GT01-C30R2-6P (3m)	 GT105□/GT104□
	RS-232	 GT105□/GT104□	 RS-422 ユーザ作成	 *5 GT1030/GT1020
			 RS-422 ユーザ作成	 GT105□/GT104□
	RS-422	 GT105□/GT104□	 RS-422 ユーザ作成	 *4 GT1030/GT1020
			 RS-422 ユーザ作成	 GT105□/GT104□

\* 2: GOT とホスト間のシステム構成については、下記を参照してください。

① GOT を 1 台接続時 (RS-232)

② GOT を 1 台接続時 (RS-422)

\* 3: ホストに接続している GOT の、ホストから n 台目と n+1 台目の接続形態です。

\* 4: n+1 台目の GOT は、RS-232 インタフェース内蔵品のみ接続可能です。

\* 5: n+1 台目の GOT は、RS-422 インタフェース内蔵品 (24V 品) のみ接続可能です。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	バス接続時	GT115 □ -Q □ HS-Q □ BD
ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時	GT105 □ -Q □ BD
	RS-232, RS-422 で接続時	GT104 □ -Q □ BD
GT10	RS-232, RS-422 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2
	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は, MELSEC-FXCPU 接続のみ)

## ⚠ 注意事項

### ■ その他の注意事項












- GOT 内部の仮想デバイス  
マイコン接続で使用するデバイスは, GOT 内部の仮想デバイスです。(シーケンサのデバイスを使用するものではありません。)

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成, 接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項, 制約事項について
  - ・ マイコン接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080841) 第 2 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 59 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 41 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約, 注意事項については, 各マニュアルをご参照ください。

## 4.5.2 マイコン接続 (Ethernet)

### システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
・マイコンボード、 パソコン、 シーケンサなど      	Ethernet   ツイストペアケーブル*1	不要 GOT本体に内蔵	 *2 GT16	
		Ethernet  GT15-J71E71-100	 GT15	
		不要 GOT本体に内蔵	 *3 GT14	
	Ethernet  ツイストペアケーブル*1	コネクタ変換ボックス  GT16H-CNB-42S	外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵

\* 1: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・ 10BASE-T  
シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・ 100BASE-TX  
シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 2: 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE-(T/2/5) 対応の機器に接続する場合は、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。

機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

- ・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 3: Ethernet 接続に対応している GT14 は、GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDE のみです。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232、RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145□-Q□BDE

## 注意事項

### ■ その他の注意事項

- GOT 内部の仮想デバイス  
マイコン接続で使用するデバイスは、GOT 内部の仮想デバイスです。(シーケンサのデバイスを使用するものではありません。)


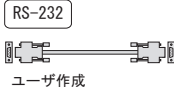


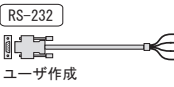



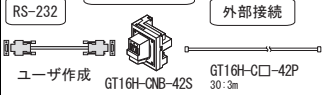



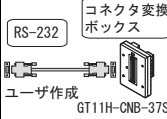

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ マイコン接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- ▶ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 60 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 41 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.6 MODBUS(R) 接続

### 4.6.1 MODBUS(R)/RTU 接続

#### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT		
 ・ MODBUS <sup>®</sup> / RTU機器*1	 RS-232 コネクタ変換 ボックス ユーザー作成	不要 GOT本体に内蔵  RS-232  GT15-RS2-9P	 GT16/GT15	GOT 接続台数 1 台 MODBUS 機器 接続台数 1 台 接地距離 15m 以内*2	
	 RS-232 コネクタ変換 ボックス ユーザー作成	不要 GOT本体に内蔵  不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11   GT105□/GT104□		 GT1030/GT1020
	 RS-232 コネクタ変換 ボックス ユーザー作成 外部接続 GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ		GOT 接続台数 1 台 MODBUS 機器 接続台数 1 台 接地距離 6m 以内*2
	 中継 ユーザー作成 外部接続 GT11H-C□-37P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ		
 RS-232 コネクタ変換 ボックス ユーザー作成 GT11H-CNB-37S					
 外部接続 GT11H-C□ 30:3m 60:6m					


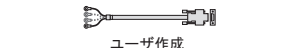














\* 1: 接続可能な MODBUS<sup>®</sup> /RTU 機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・ GOT1000 シリーズ MODBUS 接続動作確認機器一覧 (GOT-D-0037)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 2: MODBUS 機器側仕様が 6m/15m 未満の場合は MODBUS 機器側の最短仕様が優先します。



② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
	<p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-485端子台変換ユニット</p> <p>FA-LTBGTR4CBL□ 05: 0.5m    10: 1m 20: 2m</p> <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422変換</p> <p>GT16-C□R4-9S 02: 0.2m</p> <p>ユーザ作成</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16</p>
<p>・ MODBUS<sup>®</sup> / RTU機器<sup>*3</sup></p> 	<p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p> <p>RS-422/485</p>  <p>ユーザ作成</p>	<p>RS-422/485</p>  <p>GT15-RS4-9S</p> <p>RS-422変換</p>  <p>GT15-RS2T4-9P</p> <p>RS-422/485</p>  <p>GT15-RS4-TE</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> <p>RS-422/485</p>  <p>GT14-RS2T4-9P</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> <p>RS-422/485</p>  <p>GT10-9PT5S</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> <p>RS-422/485</p>  <p>GT10-9PT5S</p> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>GT16/GT15</p> <p>GT16/GT15</p> <p>GT14</p> <p>GT11<sup>*6</sup></p> <p>GT105□/GT104□</p> <p>GT1030/GT1020</p> <p>GOT 接続台数 1台 MODBUS 機器 接続台数 最大 31 台<sup>*4</sup> 接地距離 1200m 以内<sup>*5</sup></p>

\* 3: 接続可能な MODBUS<sup>®</sup> /RTU 機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
・ GOT1000 シリーズ MODBUS 接続動作確認機器一覧 (GOT-D-0037)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 4: MODBUS 機器側仕様が 31 台未満の場合は MODBUS 機器側の接続最大数仕様の最小が優先します。

\* 5: MODBUS 機器側仕様が 13m/1200m 未満の場合は MODBUS 機器側の最短仕様が優先します。

\* 6: GT11 は 2 ペア配線のみ対応しています。

1 GOT について

2 ソフトウェアについて




3 機能について

4 接続構成について

5 海外規格対応状況

6 機器一覧

7 用語集

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・MODBUS <sup>®</sup> / RTU機器*7 		不要 GOT本体に内蔵	 GOT 接続台数 1 台 MODBUS 機器 接続台数 最大 31 台*8 接地距離 13m 以内*9

\* 7: 接続可能な MODBUS<sup>®</sup> /RTU 機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ MODBUS 接続動作確認機器一覧 (GOT-D-0037)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 8: MODBUS 機器個仕様が 31 台未満の場合は MODBUS 機器側の接続最大数仕様の最小が優先します。

\* 9: MODBUS 機器個仕様が 13m/1200m 未満の場合は MODBUS 機器側の最短仕様が優先します。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名	
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)	
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)	
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE	
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD	
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA	
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD	
GT10	GT105 □	GT105 □ -Q □ BD	
	GT104 □	RS-232, RS-422 で接続時 GT104 □ -Q □ BD	
	GT1030 GT1020	RS-232 で接続時	GT1030-L □ D2/L □ DW2/H □ D2/H □ DW2, GT1020-L □ D2/L □ DW2 GT1030-L □ D/L □ DW/H □ D/H □ DW, GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ D/L □ DW, GT1020-L □ L/L □ LW (ただし、GT1030-L □ L/L □ LW/H □ L/H □ LW, GT1020-L □ L/L □ LW は、MELSEC-FXCPU 接続のみ)
		RS-422 で接続時	

## 接続が可能な GOT

GOT	ハードウェアバージョン	基本機能 OS
GT16, GT15, GT14	バージョン A 以降	—
GT1155-QTBD	バージョン C 以降	—
GT1155-QSBD	バージョン F 以降	—
GT1150-QLBD	バージョン F 以降	—
GT1055-QSBD, GT1050-QBBD	バージョン B 以降	基本機能 OS[01.12.*] 以降
GT1045-QSBD, GT1040-QBBD	バージョン A 以降	
GT1030-□BD, GT1030-□BDW	バージョン B 以降	
GT1020-LBD, GT1020-LBDW	バージョン D 以降	



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- MODBUS<sup>®</sup> /RTU 機器の局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番の MODBUS<sup>®</sup> /RTU 機器が必ず存在するようにしてください。
- GOT の時計管理  
GOT の時計管理で“時刻合わせ”，または“時刻通知”の設定を行っても，無効（無処理）となります。
- 複数つないだ接続機器の一部を切断  
GOT は，GOT 内部デバイスを設定することで，複数つないだ接続機器の一部を切断することが可能です。たとえば，通信タイムアウトが発生している異常局をシステムから切断することができます

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ MODBUS® /RTU 接続するまでの概略手順、  
チェック方法について
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 4 章



GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 61 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 42 章

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

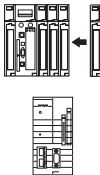
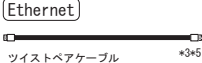




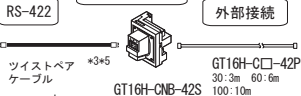

機器一覧

7

用語集

## 4.6.2 MODBUS(R)/TCP 接続

### システム構成

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
 <p>・ MODBUS<sup>®</sup>/ TCP機器 *1</p>	 <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル *3*5</p> <p>+</p> <p>ハブ *2</p> <p>+</p> <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル *3*5</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>*4</p>  <p>GT16</p>
		<p>Ethernet</p>  <p>GT15-J71E71-100</p>	 <p>GT15</p>
		<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>*7</p>  <p>GT14</p>
	<p>コネクタ変換ボックス</p> <p>RS-422</p>  <p>ツイストペアケーブル *3*5</p> <p>+</p> <p>ハブ *2</p> <p>+</p> <p>Ethernet</p> <p>ツイストペアケーブル *3*5</p> <p>外部接続</p> <p>GT16H-C□-42P 30: 3m 60: 6m</p> <p>GT16H-CNB-42S 100: 10m</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	 <p>GT16ハンディ</p>

GOT 最大  
接続台数は、  
使用する  
MODBUS<sup>®</sup>  
/TCP 機器に  
よる

最大  
接続距離  
最大  
セグメント長  
100m \*6

\* 1: 接続可能な MODBUS<sup>®</sup> /TCP 機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。

・ GOT1000 シリーズ MODBUS 接続動作確認機器一覧 (GOT-D-0037)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 2: MODBUS<sup>®</sup> /TCP 機器とは、ハブ経由で接続してください。

使用するケーブル、コネクタ、ハブは、IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。

\* 3: ツイストペアケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。

\* 4: 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。

機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 5: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

・ 10BASE-T

シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5

・ 100BASE-TX

シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 6: ハブとノード間の長さです。

最大距離は、ご使用の Ethernet 機器により異なります。

リピータハブ使用時、接続可能な台数は、下記のとおりです。

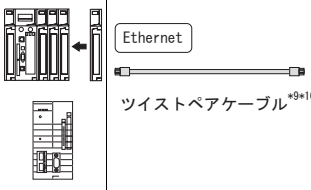
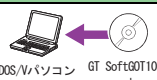

・ 10BASE-T: カスケード接続最大 4 台 (500m)

・ 100BASE-TX: カスケード接続最大 2 台 (205m)

スイッチングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。

制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカーに確認してください。

\* 7: Ethernet 接続に対応している GT14 は、GT1455-QTBDE、GT1450-QLBDE のみです。

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
・ MODBUS <sup>®</sup> / TCP機器 *8  	Ethernet  ツイストペアケーブル *9*10	不要  パソコンに内蔵  *12  市販Ethernet ボード	 DOS/Vパソコン ← GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンス キー
		GOT  シーケンサ + パソコン CPU *13   GOT SoftGOT1000 + GOT SoftGOT1000 用ライセンスキー	GOT 最大 接続台数は、 使用する MODBUS <sup>®</sup> /TCP 機器に よる  最大 接続距離 最大 セグメント長 100m * 11

\* 8: 接続可能な MODBUS<sup>®</sup> /TCP 機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。

・ GOT1000 シリーズ MODBUS 接続動作確認機器一覧 (GOT-D-0037)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 9: ツイストペアケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。

\* 10: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

・ 10BASE-T

シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5

・ 100BASE-TX

シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 11: ハブとノード間の長さです。

最長距離は、ご使用の Ethernet 機器により異なります。

リピータハブ使用時、接続可能な台数は、下記のとおりです。

・ 10BASE-T : カスケード接続最大 4 台 (500m)

・ 100BASE-TX : カスケード接続最大 2 台 (205m)

スイッチングハブ使用時、スイッチングハブ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。

制限の有無については、使用するスイッチングハブのメーカーに確認してください。

\* 12: 使用可能な Ethernet ボード / カードについては、次ページを参照してください。

\* 13: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

### GT SoftGOT1000 で使用可能な Ethernet ボード / カード

メーカー名	形名	備考
3COM 社製	EthernetLink II LAN PC Card	Ethernet ボード / カード
—	パソコン標準装備の Ethernet ボード	Ethernet ボード

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232C、RS-422/485、Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232C、RS-422/485、Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232C で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232C 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232C、RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	RS-232C、RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- 複数台の GOT を接続時
  - ・ PC No. の設定  
MODBUS<sup>®</sup>/TCP ネットワーク内で複数台の GOT を接続する場合は、それぞれの GOT に異なる「PC No.」を設定してください。  
↳ GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応
  - ・ IP アドレスの設定  
GOT を複数台使用する場合、IP アドレス “192.168.0.18” は、使用しないでください。  
上記 IP アドレスを使用すると、GOT で通信エラーが発生する場合があります。
- IP アドレスの設定について  
IP アドレスの末尾には、“0” または “255” を使用しないでください。  
(\*.\*.\*.0 または \*.\*.\*.255 はシステムとして意味を持つ番号のため)  
上記番号を使用した場合、GOT は正常にモニタできない場合があります。  
GOT および相手機器の IP アドレスは、ネットワーク管理者に相談の上、設定してください。
- 同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合  
同一セグメントに複数のネットワーク機器 (GOT を含む) を接続した場合、ネットワーク負荷が増大し、GOT とシーケンサ間の通信速度が低下する場合があります。通信性能は、下記の対策で改善できる場合があります。
  - ・ スイッチングハブを使用する。
  - ・ 高速な 100BASE-TX (100Mbps) を使用する。
  - ・ GOT のモニタ点数を減らす。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ MODBUS<sup>®</sup>/TCP 接続するまでの概略手順、チェック方法について
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
 (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
 GT Works3 対応 (SH-080841) 第 5 章
- 
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
 (JY997D40501, JY997D40502) 第 62 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。







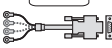

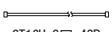

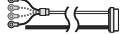


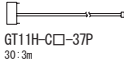


## 4.7 他社温度調節器

### 4.7.1 各接続形態について

温度調節器との接続形態を下記に示します。メーカーごとに接続可能な形態や GOT が異なりますので、詳細については各温度調節器の項をご参照ください。

#### システム構成

##### ① RS-232

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
温度調節器  	 <p>RS-232 *1 紹介品*2, またはユーザ作成</p>	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 GT16/GT15	
		不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11	
	 <p>RS-232 *1 紹介品*2, またはユーザ作成</p>	コネクタ変換ボックス  GT16H-CNB-42S 外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ
	中継  ユーザ作成			
	 <p>RS-232 *1 紹介品*2, またはユーザ作成</p>	コネクタ変換ボックス  GT11H-CNB-37S 外部接続  GT11H-C□-37P 30:3m	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ
		外部接続  GT11H-C□ 30:3m 60:6m		



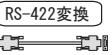


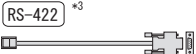




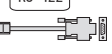



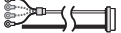
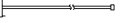
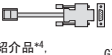



\* 1: 端子台の先は、接続先の温度調節器のメーカーごとに異なります。

 (端子台タイプ)  (モジュールタイプ)

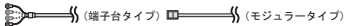
\* 2: 接続先によって使用するケーブルが異なります。

詳細については、6. 機器一覧および GOT1000 シリーズ接続マニュアルをご覧ください。

## ② RS-422

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
温度調節器 	 *3 RS-422変換  紹介品*4, またはユーザ作成 GT16-C□R4-9S 02: 0.2m  ユーザ作成	不要 GOT本体に内蔵	 GT16	
	 *3 紹介品*4, またはユーザ作成	RS-422変換  *4 GT15-RS2T4-9P	 GT16/GT15	
		RS-422/485  *4 GT15-RS4-9S	不要 GOT本体に内蔵	 GT14/GT11
	 *3 紹介品*4, またはユーザ作成 コネクタ変換ボックス  GT16H-QNB-42S 外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GT16ハンディ	
	中継 *3  ユーザ作成 外部接続 			
	 *3 紹介品*4, またはユーザ作成 コネクタ変換ボックス  GT11H-QNB-37S	不要 GOT本体に内蔵	 GT11ハンディ	
外部接続  GT11H-C□ 30:3m 60:6m				

\* 3: 端子台の先は、接続先の温度調節器のメーカーごとに異なります。




















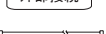




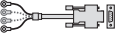




\* 4: 接続先によって使用するケーブルが異なります。

詳細については、6. 機器一覧および GOT1000 シリーズ接続マニュアルをご覧ください。



\* 5: GT155 □を使用する場合は、GT15-RS4-9Sをご使用ください。



③ RS-485[4 線式]

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT	
温度調節器  	*6 RS-485(2線)  紹介品*7, またはユーザ作成 RS-485端子台変換ユニット FA-LTBGTR4CBL□ 05:0.5m 10:1m 20:2m  ユーザ作成 	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16	
	RS-485(4線) *6  紹介品*7, またはユーザ作成 	*8 RS-422/485  GT15-RS4-9S *8 RS-422/485  GT15-RS4-TE	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16/GT15
		不要 GOT本体に内蔵	 GOT14	
		*8 RS-422/485  GT14-RS2T4-9P	不要 GOT本体に内蔵	 GOT11
		不要 GOT本体に内蔵	 GOT16ハンディ	
		RS-485(4線) *6  紹介品*7, またはユーザ作成 コネクタ変換ボックス GT16H-CNB-42S  外部接続  GT16H-C□-42P 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT16ハンディ
	中継 *6  ユーザ作成	外部接続 	不要 GOT本体に内蔵	 GOT11ハンディ
	RS-485(4線) *6  紹介品*7, またはユーザ作成 コネクタ変換ボックス GT11H-CNB-37S 	外部接続  GT11H-C□ 30:3m 60:6m 100:10m	不要 GOT本体に内蔵	 GOT11ハンディ
	外部接続  GT11H-C□ 30:3m 60:6m			

\* 6: 端子台の先は、接続先の温度調節器のメーカーごとに異なります。












 (端子台タイプ)  (モジュールタイプ)

\* 7: 接続先によって使用するケーブルが異なります。詳細については、6. 機器一覧および下記をご覧ください。  
 ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 1)GT Works3 対応  
 ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 2)GT Works3 対応

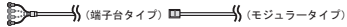
\* 8: 接続する他社製機器により、使用できる通信ユニットが異なります。使用できる通信ユニットは、下記を参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 1)GT Works3 対応  
 ・GOT1000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 2)GT Works3 対応

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続確認状況について  
 5 海外規格対応状況  
 6 機器一覧  
 7 用語集

④ RS-485[2線式]

接続先	ケーブル	通信ユニット	GOT
温度調節器 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>*9</p> <p>RS-485 (2線)</p>  <p>紹介品*10, またはユーザ作成</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>RS-485端子台変換 ユニット</p>  <p>FA-LTBGTR4CBL□ 05: 0.5m 10: 1m 20: 2m</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ユーザ作成</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>GT16</p> </div>
	<div style="text-align: center;"> <p>RS-485 (2線) *9</p>  <p>ユーザ作成</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>RS-422/485</p>  <p>GT15-RS4-TE</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>GT16/GT15</p> </div>
		<div style="text-align: center;"> <p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>GT14</p> </div>
		<div style="text-align: center;"> <p>RS-422/485</p>  <p>GT14-RS2T4-9P</p> </div>	

\* 9: 端子台の先は、接続先の温度調節器のメーカーごとに異なります。



\* 10: 接続先によって使用するケーブルが異なります。

詳細については、6. 機器一覧および GOT1000 シリーズ接続マニュアルをご覧ください。

## 4.7.2 アズビル社制御機器

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

形名	GT16/GT15/GT14			GT11			
	RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232	
SDC	SDC20/21	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
	SDC30/31	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
	SDC40A/40B/40G	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
	SDC15	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	SDC25/26	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	SDC35/36	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
SDC45/46	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1	
DMC	DMC10	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	DMC50	○(2線式*2 /4線式)	×	×	○(4線式)	×	×
CMS	CMS	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
CMF	CMF015	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	CMF050	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
CML	CML	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
MQV	MQV	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
MPC	MPC	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
MVF	MVF	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
PBZ	PBC201-VN2	○(2線式*2 /4線式)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1
AUR	AUR350C	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	AUR450C	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
RX	RX	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
CMC	CMC10B	○(4線式*2)	×	○*1	○(4線式)	×	○*1

\* 1 制御機器側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 GT16 ハンディは対応しません。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	ハンディ GOT RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ HS-Q □ BD



## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT とアズビル社製制御機器を接続する場合、アズビル社製制御機器側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は、RS-422/485 通信ユニットのディップスイッチで終端抵抗の設定をしてください。
- GOT の時計管理  
温度調節器には時計機能がないたため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効 (無処理) となります。



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ アズビル社製制御機器接続するまでの概略手順・  
チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
(SH-080839) 第 3 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 51 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 46 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.7.3 オムロン社製温度調節器

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

#### 接続可能な GOT



#### 接続可能な機種一覧

形名	GT16/GT15/GT14			GT11		
	RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
サーマック NEO	E5AN	○(2線式*2)	×	○*1	×	○*1
	E5EN	○(2線式*2)	×	○*1	×	○*1
	E5CN	○(2線式*2)	×	○*1	×	○*1
	E5GN	○(2線式*2)	×	○*1	×	○*1
インパネル NEO	E5ZN	○(2線式*2)	×	○*1	×	○*1

\* 1 温度調節器側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 GT16 ハンディは対応しません。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
GT11	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ, GT115 □-Q □ BDA
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
	ハンディ GOT	GT115 □ HS-Q □ BD

### ⚠ 注意事項

#### ■ システム上の注意事項

- GOT とオムロン社製温度調節器を接続する場合、オムロン社製温度調節器側に終端抵抗を設定する必要があります。
- GOT 側は、RS-422/485 通信ユニットのディップスイッチで終端抵抗の設定をしてください。
- GOT の時計管理  
温度調節器には時計機能がいないため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効 (無処理) となります。

### 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ オムロン社製温度調節器接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ➡ GOT1000 シリーズ接続マニュアル (他社機器接続編 1) GT Works3 対応 (SH-080839) 第 5 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- ➡ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D40501, JY997D40502) 第 33 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書 (JY997D18901, JY997D18902) 第 43 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.7.4 神港テクノス社製指示調節計

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15			GT14/GT11		
		RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
ACS-13A シリーズ	ACS-13A □ / □ , □ .C5 * 4	○ (2 線式 * 3)		○ * 2			
DCL-33A シリーズ	DCL-33A- □ /M, □ .C5 * 4						
JC シリーズ	JCS-33A- □ / □ □ ,C5 * 4						
	JCR-33A- □ / □ □ ,C5 * 4						
JCD-33A- □ / □ □ ,C5 * 4							
JCM-33A シリーズ	JCM-33A- □ / □ , □ C5 * 4	×	×		×	×	
FCR-100 シリーズ	FCR-13A- □ /M,C						
	FCR-15A- □ /M,C						
FCD-100 シリーズ	FCD-13A- □ /M,C						
	FCD-15A- □ /M,C						
FCR-23A シリーズ	FCR-23A- □ /M,C						
PC-900 シリーズ	PC935- □ /M,C	○ (2 線式 * 3)	×	○ * 1			○ * 1
	PC935- □ /M,C5 * 4						
	PC955- □ /M,C						
PCD-300 シリーズ	PC955- □ /M,C5 * 4	○ (2 線式 * 3)					
	PCD-33A- □ /M,C5 * 4						
FIR シリーズ	FIR-201-M,C	×					
JIR-301-M シリーズ	JIR-301-M □ ,C5 * 4	○ (2 線式 * 3)		○ * 2			○ * 2

- \* 1 RS-232 シリアル通信機能付き指示調節計のみと接続可能です。
- \* 2 指示調節計側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。
- \* 3 GT16 ハンディは対応しません。
- \* 4 2010 年 10 月生産品以降 (計器番号 07Axxxxxx, 07Kxxxxxx, 07Xxxxxx および以降の計器番号) の製品と接続可能です。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

## 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の時計管理  
指示調節計には時計機能がないため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効（無処理）となります。

### ■ その他の注意事項

- 指示調節計の局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番の温度調節器が必ず存在するようにしてください。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 神港テクノス社製指示調節計接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
( 他社機器接続編 1 ) GT Works3 対応  
(SH-080839) 第 10 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 38 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 44 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.7.5 チノー社製調節計

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15			GT14/GT11		
		RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
LT300 シリーズ	LT350, LT370	○(2線式*4)	○	○*1*2	×	○	○*1*2
LT400 シリーズ	LT450, LT470	○(2線式*4)	○	○*1*2	×	○	○*1*2
DZ1000 シリーズ	DZ1000*3	○(2線式*4)	○	○*1*2	×	○	○*1*2
DZ2000 シリーズ	DZ2000*3	○(2線式*4)	○	○*1*2	×	○	○*1*2
LT230 シリーズ	LT230	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
LT830 シリーズ	LT830	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
GT120 シリーズ	GT120	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
DB1000 シリーズ	DB1000	○(2線式*4)	○	○	×	○	○
DB2000 シリーズ	DB2000	○(2線式*4)	○	○	×	○	○
KP シリーズ	KP1000, KP2000	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
AL3000 シリーズ	AL3000	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
AH3000 シリーズ	AH3000	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
SE3000 シリーズ	SE3000	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
JU シリーズ	JU	○(2線式*4)	○	×	×	○	×
KE シリーズ	KE3000	○(2線式*4)	○	×	×	○	×
LE5000 シリーズ	LE5000	○(2線式*4)	○	×	×	○	×

\* 1 調節計側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 調節計側が RS-422 の場合は、RS-232/RS-422 変換器を使用してください。

\* 3 MODBUS® 通信機能をサポートする形名を選定してください。

\* 4 GT16 ハンディは対応しません。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT1145 □-Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □-Q □ BD
	バス接続時	GT1115 □-Q □ BDQ, GT1115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時



## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT とチノー社製調節計を接続する場合、チノー社製調節計側に終端抵抗を設定する必要があります。GOT 側は、RS-422/485 通信ユニットのディップスイッチで終端抵抗の設定をしてください。GOT 側の終端抵抗の設定は、「あり」に設定してください。
- GOT の時計管理  
指示調節計には時計機能がないため、GOT の時計管理で“時刻合わせ”，または“時刻通知”の設定を行っても、無効（無処理）となります。

### ■ その他の注意事項

- 調節計の局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番の調節計が必ず存在するようにしてください。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ チノー社製調節計接続するまでの概略手順・  
チェック方法について
  - .....
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 1) GT Works3 対応  
(SH-080839) 第 11 章
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 39 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 45 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.7.6 富士電機システムズ社製温度調節器

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14			GT11		
		RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
PXR	PXR3	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	PXR4	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	PXR5	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	PXR9	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
PXG	PXG4	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	PXG5	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
	PXG9	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1
PXH	PXH9	○(2線式*2)	×	○*1	×	×	○*1

\* 1 温度調節器側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 GT16 ハンディは対応しません。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232、RS-422/485、Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232、RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □-Q □ BDE
	RS-232、RS-422 で接続時	GT115 □-Q □ BD
GT11	バス接続時	GT115 □-Q □ BDQ、GT115 □-Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232、RS-422 で接続時

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と富士電機システムズ社製温度調節器を接続する場合、富士電機システムズ社製温度調節器側に終端抵抗を設定する必要があります。  
GOT 側は、RS-422/485 通信ユニットのディップスイッチで終端抵抗の設定をしてください。
- GOT の時計管理  
温度調節器には時計機能がないため、GOT の時計管理で "時刻合わせ"、または "時刻通知" の設定を行っても、無効 (無処理) となります。

### ■ セットアップ時の注意事項

- 温度調節器の FIX 処理  
FIX 処理中に、温度調節器の電源を切らないでください。不揮発メモリのデータが壊れて、温度調節器が使用できなくなる場合があります。

### ■ その他の注意事項

- 温度調節器の局番設定  
システム構成の中に、自局アドレスで設定した局番の温度調節器が必ず存在するようにしてください。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ 富士電機システムズ社製温度調節器接続するまでの概略手順・チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応  
(SH-080840) 第 5 章
- 
- ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 47 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 47 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.7.7 横河電機社製温度調節器

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15			GT14/GT11		
		RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
GREEN シリーズ	UT320	○ (2 線式 * 2 /4 線式)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UT321						
	UT350						
	UT351						
	UT420						
	UT450						
	UT520						
	UT550						
	UT551						
	UT750						
	UP350						
	UP351						
	UP550						
	UP750						
UT100 シリーズ	UM330	○ (2 線式 * 2)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UM331						
	UM350						
	UM351						
	US1000						
UT2000 シリーズ	UT130	○ (2 線式 * 2)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UT150						
UTAdvanced シリーズ	UT152	○ (2 線式 * 2)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UT155						
UTAdvanced シリーズ	UP150	○ (4 線式)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UT2400						
	UT2800						
	UT32A						
	UT35A						
	UT52A						
UTAdvanced シリーズ	UT55A	○ (2 線式 * 2 /4 線式)	×	○ * 1	○ (4 線式)	×	○ * 1
	UP35A						
	UP55A						
	UM33A						

\* 1 温度調節器側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 GT16 ハンディは対応しません。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT15	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
GT14	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BD
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT115 □ -Q □ BDQ, GT115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT バス接続時	GT115 □ HS-Q □ BD

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT と横河電機社製温度調節器を接続する場合、横河電機社製温度調節器側に終端抵抗を設定する必要があります。
- GOT 側は、RS-422/485 通信ユニットのディップスイッチで終端抵抗の設定をしてください。
- GOT の時計管理  
温度調節器には時計機能がないたため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効 (無処理) となります。

## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 横河電機社製温度調節器接続するまでの概略手順・チェック方法について

➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応  
(SH-080840) 第 8 章

- ・ ハンディ GOT での接続方法について

➤ GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 50 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 48 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.7.8 理化工業社製温度調節器

システム構成の詳細につきましては、4.7.1 項 各接続形態についてをご参照ください。

### 接続可能な GOT



### 接続可能な機種一覧

シリーズ	形名	GT16/GT15/GT14			GT11		
		RS-485	RS-422	RS-232	RS-485	RS-422	RS-232
SR Mini HG	H-PCP-J	○(2線式*4)	○	○	×	○	○
シリーズ	H-PCP-A, H-PCP-B	×	○	○	×	○	○
SRZ シリーズ	Z-TIO, Z-DIO	○(2線式*4)*3	○*2	○*1	×	○*2	○*1
CB シリーズ*5	CB100/400/500/ 700/900	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
FB シリーズ	FB100	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
	FB400/FB900	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
RB シリーズ	RB100/RB400/ RB500/RB700/ RB900	○(2線式*4)	×	○*1	×	×	○*1
PF シリーズ	PF900, PF901	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
HA シリーズ	HA400/401, HA900/901	○(2線式*4)	○	○*1	×	○	○*1
RMC シリーズ	RMC500	○(2線式*4)	×	×	×	×	○*1
MA シリーズ	MA900, MA901	○(2線式*4)	○	○	×	○	○
AG シリーズ	AG500	○(2線式*4)	○	×	×	○	×
THV シリーズ	THV-A1	○(2線式*4)	○	×	×	○	×
SA シリーズ	SA100/200	○(2線式*4)	×	×	×	×	○*1
SRX シリーズ	X-TIO	○(2線式*4)	×	×	×	×	○*1

\* 1 温度調節器側が RS-485 の場合は、RS-232/RS-485 変換器を使用してください。

\* 2 通信拡張モジュール (Z-COM) を使用してください。

\* 3 システム構成によっては、通信拡張モジュール (Z-COM) を使用してください。

\* 4 GT16 ハンディは対応しません。

\* 5 MODBUS<sup>®</sup>通信機能をサポートする形名を選定してください。

接続形態によって使用する GOT 本体の形名が異なります。

シリーズ	接続形態	使用する GOT 本体の形名
GT16	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	上記以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
ハンディ GOT	RS-232, RS-422/485, Ethernet で接続時	GT1665HS-VTBD
GT15	RS-232 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	RS-232 以外で接続時	全機種 (GOT 本体に通信ユニットを装着)
GT14	RS-232, RS-422 で接続時	全機種 (GOT 本体の内蔵インタフェース)
	Ethernet で接続時	GT145 □ -Q □ BDE
GT11	RS-232, RS-422 で接続時	GT1115 □ -Q □ BD
	バス接続時	GT1115 □ -Q □ BDQ, GT1115 □ -Q □ BDA
	ハンディ GOT	RS-232, RS-422 で接続時

## ⚠ 注意事項

### ■ システム上の注意事項

- GOT の時計管理  
温度調節器には時計機能がないため、GOT の時計管理で "時刻合わせ", または "時刻通知" の設定を行っても、無効（無処理）となります。

### ■ セットアップ時の注意事項

- RS-422 変換ユニットを使用する場合  
ユーティリティの「接続機器設定」にて、GOT の RS-232 インタフェースから RS-422 変換ユニットへ DC5V 電源を供給するように設定してください。
- GOT と理化学工業社製品との極性の違い  
GOT と理化学工業社製品とは、信号名の A 極、B 極の極性名称が逆になっています。

## 📖 マニュアルナビ




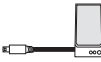
- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて  
・ 注意事項、制約事項について  
・ 理化学工業社製温度調節器接続するまでの概略手順・チェック方法について  
.....
  - ・ ハンディ GOT での接続方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(他社機器接続編 2) GT Works3 対応  
(SH-080840) 第 9 章
- GT16 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D40501, JY997D40502) 第 52 章  
GT11 ハンディ GOT 本体取扱説明書  
(JY997D18901, JY997D18902) 第 49 章

\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.8 その他の機器

### 4.8.1 音声出力

#### システム構成

GOT		オプションユニット	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16/GT15	音声出力  GT15-SOUT	*1 ・アンプ内蔵スピーカー 

\* 1: 接続可能なアンプ内蔵スピーカーの種類については、下記のテクニカルニュースを参照してください。

・GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANsweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

#### 注意事項

##### ■ その他の注意事項

- GT Designer3 の音声出力機能の設定  
アンプ内蔵スピーカーを接続する前に、GT Designer3 で音声出力ファイルの設定が必要です。

#### マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 音声出力するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 6 章






\* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。











## 4.8.2 外部入出力

### システム構成

#### 入力のみ行う場合

GOT	オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16/GT15	外部入出力  GT15-D10 GT15-D10R	接続  ユーザ作成 ・操作パネル 

#### 入出力を行う場合

GOT	オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16/GT15	外部入出力  GT15-D10 GT15-D10R	接続  ユーザ作成 ・汎用入力機器 (押しボタンなど)  ・操作パネル  接続  ユーザ作成 ・汎用出力機器 (ランプ、リレー) 

\* 1: コネクタ端子台変換ユニットを使用する場合は、入力点数が最大 64 点となります。

### 注意事項

#### ■ その他の注意事項

- GT Designer3 の外部入出力機能の設定  
外部入出力機器を接続する前に、GT Designer3 で操作パネルの設定が必要です。

### マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ 外部入出力するまでの概略手順・チェック方法について




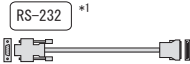








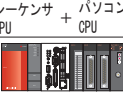



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 7 章

- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

### 4.8.3 バーコードリーダー接続

## システム構成

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
<p>・シーケンサなど</p>  <p>接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。</p>	 GT16/GT15	不要 GOT本体に内蔵 RS-232  GT15-RS2-9P	 RS-232 *1	・バーコードリーダー*1 ・二次元コードリーダー
	 GT14/GT11	不要 GOT本体に内蔵		
	 GT105□/GT104□	不要 GOT本体に内蔵		
	 GT1030/GT1020	不要 GOT本体に内蔵	 RS-232 *1 GT10-C□H-6PT9P 02:0.2m	
	 DOS/パソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンス キー	不要 パソコンに内蔵 市販RS-232 ボード 	 RS-232 *1	
	 シーケンサ CPU + パソコン CPU *2	 GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー		

\* 1: 接続可能なバーコードリーダー/二次元コードリーダーおよび構成機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

## 注意事項

### ■ その他の注意事項

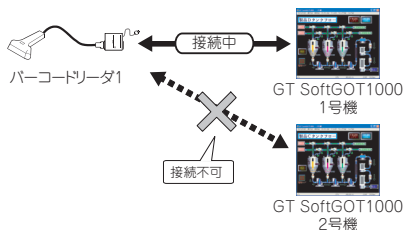
- GT Designer3のバーコード機能の設定  
バーコードリーダを接続する前に、GT Designer3でバーコード機能およびシステム情報の設定が必要です。
- 接続機器の設定  
GOT から電源供給が必要なバーコードリーダを使用する場合は、標準インタフェースでチャンネルNo.8に設定してください。  
拡張インタフェースのチャンネルNo.5～7では、電源を供給できません。

### ■ 複数起動したGT SoftGOT1000でバーコードリーダ接続を行う場合

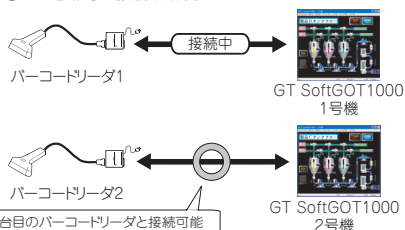
1台のバーコードリーダを、複数起動したGT SoftGOT1000や他のアプリケーションで、同時に使用することはできません。

バーコードリーダは、最初に接続が確立したGT SoftGOT1000のみと通信します。

①2台起動時の接続失敗例



②2台起動時の接続成功例



## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ バーコードリーダ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ・ GT SoftGOT1000での接続方法について
- ・ GT SoftGOT1000がモニターできる接続機器とアクセス範囲について

➤ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3対応 (SH-080841) 第9章




















➤ GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル  
GTWorks3対応 (SH-080844) 第4章

\* GOTと接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。








## 4.8.4 ビデオ・RGB 接続

### システム構成

#### ①ビデオ画像を GOT に表示する

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 *3 GT16	ビデオ/RGB入力  GT16M-V4 GT16M-V4R1	同軸  ユーザ作成	*1 ・ビデオカメラ、パソコンなど 
	 *2 GT15	ビデオ/RGB入力  GT15V-75V4 GT15V-75V4R1	接続    ユーザ作成 ユーザ作成	
	 *3 GT16	ビデオ/RGB入力  GT16M-R2 GT16M-V4R1	アナログRGB  GT15-C□VG 50:5m	
	 *2 GT15	ビデオ/RGB入力  GT15V-75R1 GT15V-75V4R1	接続    ユーザ作成 GT15-C□VG 50:5m	

#### ② GOT 画面を外部モニタに表示する

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 *3 GT16	RGB出力  GT16M-ROUT	アナログRGB  GT15-C□VG 50:5m	*1 
	 *2 GT15	RGB出力  GT15V-75ROUT		

\* 1: 接続可能なビデオカメラ、外部モニタの種類については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 2: GT1585V、GT1575V のみ対応

\* 3: GT16 □□-VN、GT1655-V は対応していません。

## 注意事項

### ■ セットアップ時の注意事項

- パソコンとの接続  
パソコンと接続する場合は、パソコンのアース線を接地してください。
- NEC 社製 PC-9800(PC-9801,PC-9821 等) シリーズとの接続  
NEC 社製 PC-9800 シリーズでの、640 × 400 ドット画面には対応しません。

### ■ その他の注意事項

- ビデオカメラの電源  
ビデオカメラの種類によってはカメラの電源ケーブルから進入するノイズの影響により、シーケンサや GOT の誤動作の原因となる場合があります。この場合は、カメラの電源ラインに下記のラインフィルタを取り付けるようにしてください。  
推奨ラインフィルタ：TDK 製 ZHC2203-11（または同等品）
- ビジョンセンサの電源  
ビジョンセンサを経由してビデオカメラを使用する場合、使用するビジョンセンサの種類によっては、電源ユニットが必要になります。
- ビデオ信号の出力先の選択  
使用するビデオカメラやシステムによっては電源ユニットとビデオカメラの両方からビデオ信号を出力できるものがあります。  
ビデオカメラと電源ユニットの両方からビデオ信号を出力させると、信号の電圧レベルが低くなるものがあり映像が正常に表示できない場合がありますので、このような場合はビデオカメラからの出力のみにしてください。
- ビデオカメラの電源投入  
ビデオカメラの電源は GOT と同時に投入してください。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ ビデオ・RGB 接続するまでの概略手順・チェック方法について









GOT1000 シリーズ 接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 11 章

- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。










## 4.8.5 マルチメディア接続

### システム構成

#### ①ビデオ映像を保存, GOT に表示する

GOT	オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	マルチメディア  GT16M-MMR	同軸 *1  ユーザ作成	・ビデオカメラ *3 
		・マイク *3  ・スピーカ *3 	

#### ②ビデオ映像をパソコンに送信する

GOT	オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	マルチメディア  GT16M-MMR	同軸 *1  ユーザ作成	・ビデオカメラ *3 
	マルチメディア  GT16M-MMR	・マイク *3  ・スピーカ *3 	
	不要 GOT本体に内蔵	Ethernet *2  ツイストペアケーブル*7	・パソコン *5 

\*1: ユーザが使用するビデオカメラの仕様により、ケーブル長が異なります。

\*2: ツイストペアケーブルの接続先および仕様は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニッツ、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。

\*3: 接続可能なビデオカメラ、マイク、スピーカの種類については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\*4: 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
 機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

・GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\*5: マルチメディアデータ連携ツールをインストールして使用します。  
 マルチメディアデータ連携ツールについては、下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル (作図編)

\*6: GT16 □□-VN、GT1655-V は対応していません。

\*7: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

- ・10BASE-T  
シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
- ・100BASE-TX  
シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

## 注意事項

### ■ その他の注意事項

- マルチメディア機能を使用する場合  
マルチメディア機能とビデオ・RGB 機能は排他インストールとなります。  
どちらかを選択して、使用してください。
- マルチメディアユニットの CF カード  
マルチメディアユニットに装着する CF カードは、FAT32 でのフォーマットを推奨します。  
FAT16 でフォーマットした CF カードを装着すると、下記の現象が発生する場合があります。
  - ・ 動画ファイルの読出し／書込み／保存に時間がかかる。
  - ・ 動画ファイルの再生時、動画が一瞬止まって見える。
- 機能バージョン A (GT16 ハンディを除く) の GT16 を、10BASE (-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。  
機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。  
GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)






## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ マルチメディア接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 13 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。











## 4.8.6 プリンタ接続

### システム構成

#### ① PictBridge 対応プリンタと接続時

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16/GT15	プリンタ  GT15-PRN	USB  GT09-C30USB-5P*2	・PictBridge対応プリンタ *1 

#### ② シリアルプリンタと接続時

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16/GT15	不要 GOT本体に内蔵	RS-232  RS-232ケーブル*3	・シリアルプリンタ 
	 GT15-RS2-9P	RS-232 		
	 GT14	不要 GOT本体に内蔵		
	 GT105□/GT104□	不要 GOT本体に内蔵		
 GT1030/GT1020	不要 GOT本体に内蔵	RS-232 *1  GT10-C□H-6PT9P 02-0.2m		

- \* 1: PictBridge 対応プリンタの一部機種では、正常にプリントできない場合があります。  
 接続可能なプリンタの種類については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

- \* 2: プリンタユニットに付属のプリンタ接続専用ケーブルを使用してください。  
 \* 3: RS-232 ケーブルは、使用するプリンタの仕様によって異なります。使用するプリンタの仕様にあった RS-232 ケーブルを使用してください。



## 注意事項

### ■ その他の注意事項

- プリント中での USB ケーブルの着脱  
PictBridge 対応プリンタの機種によっては、プリント中に USB ケーブルを抜くと、プリンタがハングアップします。  
この場合、プリンタの主電源を再投入し、プリンタを再起動してください。
- プリンタが印刷不能状態になった場合  
PictBridge 対応プリンタの機種には、プリンタ電源 ON 時の初期化中に、GOT に対して印刷可能と通知する機種があります。  
このようなプリンタ機種に対して、GOT から印刷を開始するとプリンタにエラーが発生し印刷不能になることがあります。  
このような印刷不能状態になった場合は、以下の手順でプリンタを再度立ち上げてください。
  - ① プリンタから USB ケーブルを抜いてください。
  - ② プリンタの電源を OFF にしてください。
  - ③ プリンタの電源ケーブルを抜き、プリンタを完全に停止させてください。
  - ④ プリンタに電源ケーブルをつないでください。
  - ⑤ プリンタの電源を ON にし、プリンタの初期化処理が完了するまでお待ちください。
  - ⑥ プリンタに USB ケーブルをつないでください。





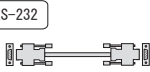






## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ プリンタ接続するまでの概略手順・チェック方法について
- ▶ GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 12 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。






## 4.8.7 パソコンリモート操作接続

### システム構成

#### ① シリアル接続の場合

GOT	オプションユニット	ケーブル	接続先	
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16* <sup>3</sup> / GT15* <sup>2</sup>	不要 GOT本体に内蔵  RS-232  GT15-RS2-9P	 RS-232 GT01-C30R2-9S (3m)	・パソコン 
	 GT16* <sup>3</sup>	ビデオ/ RGB入力  GT16M-R2 GT16M-V4R1	アナログ RGB 	
	 GT15* <sup>2</sup>	ビデオ/ RGB入力  GT15V-75R1 GT15V-75V4R1	ユーザ作成* <sup>1</sup> GT15-C□VG 50:5m	

#### ② Ethernet 接続の場合

GOT	オプションユニット	ケーブル* <sup>5</sup>	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GT16* <sup>6,8</sup>	不要 GOT本体に内蔵  Ethernet* <sup>4</sup>  ツイストペアケーブル* <sup>7</sup>	・パソコン 

\* 1: ケーブルの長さは、使用するパソコンの仕様により異なります。使用するパソコンの仕様にあった長さのケーブルを使用してください。

\* 2: GT1585V、GT1575Vのみ対応。

\* 3: GT16 □□-VN、GT1655-Vは対応していません。

\* 4: ツイストペアケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。

使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。

使用するケーブル、コネクタ、ハブは、IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。

\* 5: ストレートケーブルが使用できます。

パソコンと GOT を直接 Ethernet ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルによる接続が可能です。

\* 6: 機能バージョン A の GT16 (GT16 ハンディを除く) を、10BASE(-T/2/5) 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。

機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)

\* 7: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。

・ 10BASE-T

シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5

・ 100BASE-TX

シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

\* 8: GT16 □□-VN は対応していません。

## 注意事項

### ■ その他の注意事項





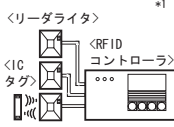




- パソコン側の設定  
パソコンリモート操作機能を使用する場合、パソコン側にドライバが必要となります。  
パソコンリモート操作ドライバをパソコンにインストール後、正常なマウス操作ができるか確認した上で使用してください。

## マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ パソコンリモート操作接続するまでの概略手順・  
チェック方法について
- GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第10章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.8.8 RFID 接続

### システム構成

GOT		オプションユニット	ケーブル	接続先
・シーケンサなど  接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。	 GOT16/GT15	不要 GOT本体に内蔵  RS-232  GT15-RS2-9P	RS-232  ユーザ作成	 *1 <リーダー> <RFIDコントローラ> <ICタグ>
	 GOT14/GT11	不要 GOT本体に内蔵		
	 DOS/Vパソコン ← GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー	不要 パソコンに内蔵  市販RS-232 ボード	RS-232 *1 	
	 シーケンサ + パソコン CPU ← *2  GT SoftGOT1000 + GT SoftGOT1000 用ライセンスキー			

\* 1: 接続可能な RFID コントローラおよび構成機器については、下記のテクニカルニュースを参照してください。  
 ・ GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

テクニカルニュースは、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>

\* 2: パソコン CPU は、他のシーケンサと接続します。

## ⚠ 注意事項

### ■ その他の注意事項

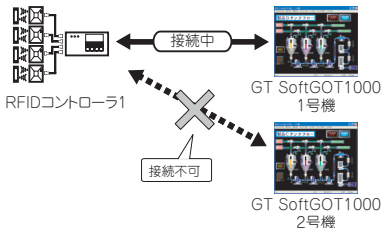
- GT Designer3 の RFID 機能の設定  
RFID コントローラを接続する前に、GT Designer3 で RFID 機能およびシステム情報の設定が必要です。
- 接続機器の設定
  - (1) 外部認証を使用する場合  
RFID コントローラで外部認証を使用する場合は、標準インタフェースでチャンネル No.8 に設定してください。  
拡張インタフェースのチャンネル No.5 ~ 7 を使用して、RFID 接続した場合、外部認証は使用できません。  
外部認証についての詳細は、下記のマニュアルを参照してください。  
・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル
  - (2) 電源供給が必要な場合  
GOT から電源供給が必要な RFID コントローラを使用する場合は、標準インタフェースでチャンネル No.8 に設定してください。  
拡張インタフェースのチャンネル No.5 ~ 7 では、電源を供給できません。
- リーダライタを複数台接続時の通信について  
使用する RFID コントローラによっては、リーダーライタを複数台接続した場合でも、1 台ずつ通信を行う必要がある機種があります。  
複数回通信をする場合は、実行中の通信が完了するまで次の通信を行わないように、インタロックをとってください。

### ■ 複数起動した GT SoftGOT1000 で RFID 接続を行う場合

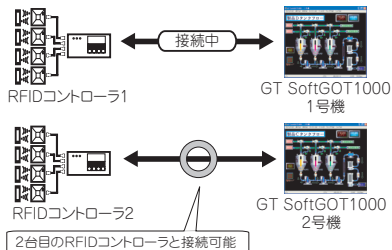
1 台の RFID コントローラを、複数起動した GT SoftGOT1000 や他のアプリケーションで、同時に使用することはできません。

RFID コントローラは、最初に接続が確立した GT SoftGOT1000 のみと通信します。

#### ①2台起動時の接続失敗例



#### ②2台起動時の接続成功例







## 📖 マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
  - ・ 注意事項、制約事項について
  - ・ RFID 接続するまでの概略手順・チェック方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 での接続方法について
  - ・ GT SoftGOT1000 がモニタできる接続機器とアクセス範囲について
- GOT1000 シリーズ 接続マニュアル (マイコン・MODBUS・周辺機器接続編) GT Works3 対応 (SH-080841) 第 14 章
- GT SoftGOT1000 Version3 操作マニュアル GTWorks3 対応 (SH-080844) 第 4 章
- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.8.9 VNC(R) サーバ接続

### システム構成

GOT		オプションユニット	ケーブル* 2	接続先
<ul style="list-style-type: none"> <li>シーケンサなど</li> </ul>  <p>接続の詳細は、該当する各接続のシステム構成をご参照ください。</p>	 <p>GT16 *3</p>	<p>不要</p> <p>GOT本体に内蔵</p>	<p>Ethernet *1</p>  <p>ツイストペアケーブル*4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン (VNC®クライアント)</li> </ul> 

- \* 1: ツイストペアケーブルの接続先は、使用する Ethernet ネットワークシステムの構成により異なります。使用する Ethernet ネットワークシステムに合わせて、Ethernet ユニット、ハブ、トランシーバなどの構成機器に接続してください。使用するケーブル、コネクタ、ハブは、IEEE802.3 10BASE-T/100BASE-TX の規格を満足するものを使用してください。
- \* 2: ストレートケーブルが使用できます。
- \* 3: パソコンと GOT を直接 Ethernet ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルによる接続が可能です。機能バージョン A の GT16(GT16 ハンディを除く)を、10BASE(-T/2/5) を、100BASE 対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して 10Mbps/100Mbps が混在可能なネットワーク環境で使用してください。機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。
- ・ GT16 本体取扱説明書 (ハードウェア詳細編)
- \* 4: ツイストペアケーブルは、下記を使用してください。
- ・ 10BASE-T シールドツイストペアケーブル (STP)、または非シールドツイストペアケーブル (UTP) のカテゴリ 3、4、5
  - ・ 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル (STP) のカテゴリ 5、5e

### マニュアルナビ

- ・ 詳細なシステム構成、接続ケーブルについて
- ・ 注意事項、制約事項について
- ・ VNC® サーバ接続するまでの概略手順・チェック方法について



GOT1000 シリーズ接続マニュアル  
(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)  
GT Works3 対応 (SH-080841) 第 11 章

- \* GOT と接続する相手先機器の制約、注意事項については、各マニュアルをご参照ください。

## 4.9 注意事項

### ● セットアップ時の注意事項

---

- (1) 通信ユニットの装着や、ケーブルを接続する場合  
GOT の電源を全相遮断してください。
- (2) RS-422 変換ユニットを使用する場合  
ユーティリティの「接続機器設定」にて、GOT の RS-232 インタフェースから RS-422 変換ユニットへ DC5V 電源を供給するように設定してください。





# 5. 海外規格対応状況

GOT 本体, 通信インタフェース, オプション品の海外規格対応状況について。

<b>5. 海外規格対応状況</b> .....	<b>318</b>
--------------------------	------------

---

## 5. 海外規格対応状況

GOT は、UL 規格をはじめとする各種安全規格や、船級規格にも対応しています。  
 最新の海外規格対応状況は、三菱電機 FA 機器情報サービス (MELFANSweb) ホームページから参照できます。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>



< 安全規格 >

UL/cUL : 北米安全規格  
 CE : 欧州安全規格 (EMC :  
 EMC 指令, LVD:低電圧指令)

< 電波法 >

KC : 韓国電波法

< 船級規格 >

ABS : American Bureau of Shipping  
 BV : Bureau Veritas  
 DNV : Det Norske Veritas  
 LR : Lloyd's Register of Shipping  
 NK : NIPPON KAIJI KYOKAI  
 RINA : Registro Italiano Navale  
 GL : Germanischer Lloyd

○ : 対応 △ : 対応予定 □ : 検討中 × : 未対応 - : 対象外

品名	形名	UL/cUL	CE			KC	船級規格								
			EMC	LVD			ABS	BV	DNV	LR	NK	RINA	GL		
GOT 本体	GT16	GT1695M-XTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1695M-XTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1685M-STBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1685M-STBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675M-STBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675M-STBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675M-VTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675M-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1675-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1672-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1672-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1665M-STBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1665M-STBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		GT1665M-VTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT1665M-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1662-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1662-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1655-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1665HS-VTBD	○	○	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	GT1595-XTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1595-XTBD	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	GT1585V-STBA	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	GT1585V-STBD	○	○	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	GT1585-STBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1585-STBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575V-STBA	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	GT1575V-STBD	○	○	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	GT1575-STBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575-STBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575-VTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1575-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1572-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1572-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1565-VTBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1565-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1562-VNBA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1562-VNBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1555-VTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1555-QTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1555-QSBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1550-QLBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	GT1455-QTBD	△	△	-	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	
GT1455-QTBD	△	△	-	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		
GT1450-QLBDE	△	△	-	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		
GT1450-QLBD	△	△	-	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		
GT1155-QTBDQ	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1155-QTBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1155-QTBD	○	○	-	○	○	□	□	□	□	□	□	□	□		
GT1155-QSBDQ	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1155-QSBD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1155-QSBD	○	○	-	○	○	□	□	□	□	□	□	□	□		
GT1155HS-QSBD	○	○	-	○	○	□	□	□	□	□	□	□	□		
GT1150-QLBDQ	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1150-QLBDA	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
GT1150-QLBD	○	○	-	○	○	□	□	□	□	□	□	□	□		
GT1150HS-QLBD	○	○	-	○	○	□	□	□	□	□	□	□	□		



○：対応 △：対応予定 □：検討中 ×：未対応 -：対象外

品名	形名	UL/cUL	CE		KC	船級規格							
			EMC	LVD		ABS	BV	DNV	LR	NK	RINA	GL	
RGB 入力ユニット	GT15V-75R1	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	GT16M-R2	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ビデオ /RGB 入力ユニット	GT15V-75V4R1	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	GT16M-V4R1	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
RGB 出力ユニット	GT15V-75ROUT	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	GT16M-ROUT	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×
CF カードユニット	GT15-CFCD	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CF カード延長ユニット	GT15-CFEX-C08SET	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音声出力ユニット	GT15-SOUT	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部入出力ユニット	GT15-DIO	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-DIOR	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バックライト	GT16-90XLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-80SLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-70SLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-70VLT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-70VLTN	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-60SLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-60VLT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT16-60VLTN	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-90XLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-80SLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-70SLTT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-70VLT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-70VLTN	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-60VLT	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
	GT15-60VLTN	*2	*2	*2	-	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2
オプション機能ボード	GT16-MESB	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-FNB	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-QFNB	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-QFNB16M	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-QFNB32M	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT15-QFNB48M	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	GT11-50FNB	×	○	-	-	□	□	□	□	□	□	□	□
	GT15-MESB48M	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
GT10 メモリローダ	GT10-LDR	×	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
GT10 メモリボード	GT10-50FMB	×	*1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
オプション	GT16-90PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-90PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-90PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-90PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-90PSCB-012	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-80PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-80PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-80PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-80PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-80PSCB-012	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-70PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-70PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-70PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-70PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-70PSCB-012	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-60PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-60PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-60PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-60PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-60PSCB-012	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16H-60PSC	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-50PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-50PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-50PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-50PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT16-50PSCB-012	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-90PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-90PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-90PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-90PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-80PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT15-80PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GT15-80PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-80PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-70PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-70PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-70PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-70PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-60PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

○：対応 △：対応予定 □：検討中 ×：未対応 -：対象外

品名	形名	UL/cUL	CE		KC	船級規格								
			EMC	LVD		ABS	BV	DNV	LR	NK	RINA	GL		
保護シート	GT15-60PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50PSCB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50PSGB	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50PSCW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50PSGW	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT14-50PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT14-50PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT14-50PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT14-50PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT11-50PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT11-50PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT11-50PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT11-50PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT11H-50PSC	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-50PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-50PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-50PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-50PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-40PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-40PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-40PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-40PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-30PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-30PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-30PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-30PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-20PSCB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-20PSGB	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-20PSCW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GT10-20PSGW	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	USB 耐環境カバー	GT16-UCOV	* 2	-	-	-	-	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2
		GT15-UCOV	* 2	-	-	-	-	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2	* 2
		GT11-50UCOV	* 2	-	-	-	-	□	□	□	□	□	□	□
	耐油カバー	GT05-90PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT05-80PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT05-70PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT05-60PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT05-50PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT16-50PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		GT10-20PCO	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GT10-30PCO		×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT10-40PCO		×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
非常停止スイッチ ガードカバー	GT11H-50ESCOV	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT16H-60ESCOV	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スタンド	GT15-90STAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-80STAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-70STAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50STAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT05-50STAND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
CF カード	GT05-MEM-16MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-32MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-64MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-128MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-256MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-512MC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-16C	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-26C	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-46C	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-86C	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
メモ리카ードアダプタ	GT05-MEM-16GC	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
	GT05-MEM-ADPC	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アタッチメント	GT15-70ATT-98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-70ATT-87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60ATT-97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60ATT-96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60ATT-87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-60ATT-77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GT15-50ATT-95W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GT15-50ATT-85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
バッテリー	GT15-BAT	○	* 2	* 2	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
	GT11-50BAT	○	* 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハンディ GOT 用 コネクタ変換ボックス	GT16H-CNB-42S	○	○	-	-	○	×	×	×	×	×	×	×	
	GT11H-CNB-37S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

\* 1 CE 及び UL/cUL 未対応版の在庫消化後の切替となりますので、最寄の支社にご照会ください。

\* 2 GOT 本体に組み込んだ状態で対応。

1

GOT について

2

ソフトウェアについて

3

機能について

4

接続構成について

5

海外規格対応状況

6

機器一覧

7

用語集



## 6. 機器一覧

GOTに関連する機器一覧について。

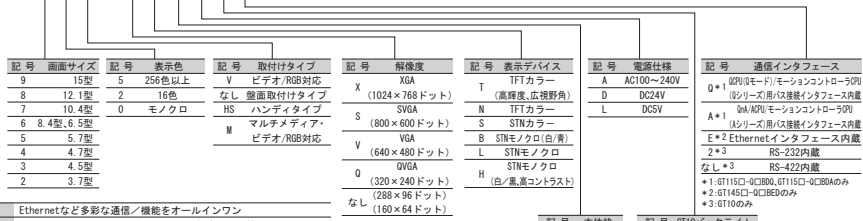
<b>6. 機器一覧</b> .....	<b>324</b>
----------------------	------------

---

# 6. 機器一覧

本体形名の見方

GT16 9 5 M - X T B A □ □



GT16	Ethernetなど多彩な通信/機能をオールインワン
GT15	ネットワークからスタンダロンまで、幅広い活用範囲
GT14	使いやすいサイズと機能、これからの新基準。
GT11	スタンダードプロセスとして、基本機能を充実
GT10	表示器としての機能性を無駄なく凝縮

記号	本体枠	記号	GT10の9のサイズ
B	黒	Ⅱ	白/バックライト
Ⅱ	白	Ⅲ	なし/バックライト
Ⅲ	なし		

\*海外規格 (UL/cUL, CE), 船積規格対応の最新情報については、NELFANwebホームページ  
<http://www.MitsubashiElectric.co.jp/nelfanweb/>でご確認ください。

## GT本体

価格：2012年3月現在

○仕込生産品 △受注生産品

形名	画面サイズ [解像度]	表示部	表示色(色)	電源種類	メモリ サイズ	備考	参考標準価格	納期	
GT1695	GT1695M-XTBA	15型VGA [1024×768ドット]	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥520,000	○
	GT1695M-STBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥398,000	○
	GT1695M-STBA	10.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥360,000	○
	GT1695M-STBD	8.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥340,000	○
	GT1695M-VTBA	10.4型VGA	TFTカラー液晶	4096色	AC100~240V	11MB	—	¥310,000	○
	GT1695M-VTBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶	16色	DC24V	11MB	—	¥260,000	○
	GT1695M-VTBA	8.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥270,000	○
	GT1695M-VTBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	15MB	マルチメディア・ビデオ/RGB対応	¥260,000	○
	GT1662-VNEA*	8.4型VGA	TFTカラー液晶	16色	AC100~240V	11MB	—	¥220,000	○
	GT1662-VTBD*	5.7型VGA[640×480ドット]	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	15MB	—	¥240,000	○
	GT1665HS-VTBD*	6.5型VGA [640×480ドット]	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	15MB	—	¥250,000	○
	GT1595	GT1595-XTBA	15型VGA [1024×768ドット]	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	—	¥520,000
GT1595-STBD		12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	9MB	ビデオ/RGB対応	¥420,000	○
GT1585-VTBA		12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	9MB	—	¥398,000	○
GT1585-STBD		10.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	ビデオ/RGB対応	¥380,000	○
GT1575-VTBD		10.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	9MB	—	¥390,000	○
GT1575-STBD		8.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	—	¥370,000	○
GT1570	GT1575-VTBA	10.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	9MB	—	¥340,000	○
	GT1575-VTBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	—	¥350,000	○
	GT1575-VNEA	10.4型VGA	TFTカラー液晶	256色	AC100~240V	5MB	—	¥300,000	○
	GT1575-VNBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶	16色	DC24V	5MB	—	¥310,000	○
	GT1572-VNEA	8.4型VGA	TFTカラー液晶	16色	AC100~240V	5MB	—	¥250,000	○
	GT1572-VNBD	10.4型VGA	TFTカラー液晶	16色	DC24V	5MB	—	¥260,000	○
	GT1565-VTBA	8.4型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	AC100~240V	9MB	—	¥290,000	○
	GT1565-VTBD	12.1型VGA	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	—	¥260,000	○
	GT1562-VNBD	5.7型VGA[640×480ドット]	TFTカラー液晶	16色	AC100~240V	5MB	—	¥220,000	○
	GT1555-VTBD	5.7型VGA[640×480ドット]	TFTカラー液晶(高輝度、広視野角)	65536色	DC24V	9MB	—	¥240,000	○
	GT1555-OTBD	7.7型QVGA	STNカラー液晶	4096色	DC24V	9MB	—	¥214,000	○
	GT1555-OSBD	320×240ドット]	STNカラー液晶	モノクロ(白/黒)16階調	—	—	—	¥160,000	○
GT1550-QLBD	—	STNモノクロ液晶	モノクロ(白/黒)16階調	—	—	—	¥128,000	○	
GT14	GT1455-OTBD*	5.7型QVGA	TFTカラー液晶	65536色	DC24V	9MB	—	¥115,000	○
	GT1455-OTBDE*	—	—	—	—	—	—	—	○
	GT1450-QLBD*	320×240ドット]	STNモノクロ液晶	モノクロ(白/黒)16階調	—	—	—	¥135,000	○
	GT1450-QLBDE*	—	—	—	—	—	—	¥100,000	○
GT1155	GT1155-OTBD	—	—	—	—	—	—	¥150,000	○
	GT1155-OTBDO	TFTカラー液晶	—	—	—	—	Qバス接続専用	¥188,000	○
	GT1155-OTBDA	—	—	—	—	—	Aバス接続専用	¥188,000	○
	GT1155-OSBD	—	—	—	—	—	—	¥115,000	○
	GT1155-OSBDO	STNカラー液晶	256色	—	—	—	Qバス接続専用	¥128,000	○
	GT1155-USBDA	—	—	—	—	—	Aバス接続専用	¥128,000	○
GT1150	GT1150-QLBD	—	—	—	—	—	—	¥80,000	○
	GT1150-QLBDO	STNモノクロ液晶	モノクロ(白/黒)16階調	—	—	—	Qバス接続専用	¥96,000	○
	GT1150-QLBDA	—	—	—	—	—	Aバス接続専用	¥96,000	○
	GT1150S-OSBD	—	—	—	—	—	—	¥168,000	○
ハンディ G0T	GT1150HS-QLBD	—	—	—	—	—	—	¥125,000	○
GT1150HS-QLBD	—	—	—	—	—	—	—	—	○

上記価格に消費税は含まれておりません。



GOT本体

形名		画面サイズ [解像度]	表示部	表示色(色)	電源種類	メモリ サイズ	備考	参考標準価格	納期	
GT105□	GT105-QSBD	5.7型OVGA [320×240ドット]	STNカラー液晶	256色	DC24V	3MB	—	¥85,000	○	
	GT105-Q8BD	5.7型OVGA [320×240ドット]	STNモノクロ液晶	モノクロ(白/青)16階調				¥69,000	○	
GT104□	GT104-QSBD	4.7型OVGA [320×240ドット]	STNカラー液晶	256色	DC24V	3MB	—	¥78,000	○	
	GT104-Q8BD	4.7型OVGA [320×240ドット]	STNモノクロ液晶	モノクロ(白/青)16階調				¥63,000	○	
GT1030	GT1030-HB0*1	4.5型 [288×96ドット]	STNモノクロ液晶 (高コントラスト)	特色 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC24V	1.5MB	RS-222接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HB1*1							RS-232接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HB2W*1							RS-422F接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HB2*1							RS-422接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HBLM*1							RS-422F接続専用	¥38,000	○
	GT1030-HMD*1	4.5型 [288×96ドット]	STNモノクロ液晶 (高コントラスト)	白 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC24V	1.5MB	RS-422接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HMD2*1							RS-232接続専用	¥38,000	○
	GT1030-HMD*1							RS-422F接続専用	¥38,000	○
	GT1030-HMDW*1							RS-422接続専用	¥39,500	○
	GT1030-HMD2W*1							RS-422接続専用	¥39,500	○
GT1030-LB0	4.5型 [288×96ドット]	STNモノクロ液晶	黒 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC24V	1.5MB	RS-232接続専用	¥39,500	○	
GT1030-LB2							RS-422F接続専用	¥38,000	○	
GT1030-LBL							RS-232接続専用	¥39,500	○	
GT1030-LBW							RS-422F接続専用	¥38,000	○	
GT1030-LBW2							RS-232接続専用	¥39,500	○	
GT1030-LBLW	4.5型 [288×96ドット]	STNモノクロ液晶	白 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC5V	1.5MB	RS-422F接続専用	¥38,000	○	
GT1030-LBLW2							RS-232接続専用	¥39,500	○	
GT1030-LBW							RS-422F接続専用	¥38,000	○	
GT1030-LBLW							RS-232接続専用	¥39,500	○	
GT1030-LWL							RS-422F接続専用	¥38,000	○	
GT10	GT1020-LB0	3.7型 [160×64ドット]	STNモノクロ液晶	黒 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC24V	512KB	RS-422接続専用	¥27,000	○
	GT1020-LB2							RS-232接続専用	¥25,000	○
	GT1020-LBL							RS-422F接続専用	¥25,000	○
	GT1020-LBW							RS-232接続専用	¥27,000	○
	GT1020-LBW2							RS-422F接続専用	¥25,000	○
	GT1020-LBLW	3.7型 [160×64ドット]	STNモノクロ液晶	白 モノクロ (白/黒)	3色LED (緑・橙・赤)	DC24V	512KB	RS-422接続専用	¥27,000	○
	GT1020-LBLW2							RS-232接続専用	¥25,000	○
	GT1020-LBW							RS-422F接続専用	¥25,000	○
	GT1020-LBLW							RS-232接続専用	¥27,000	○
	GT1020-LWLW							RS-422F接続専用	¥25,000	○

\*1:GT Works2/GT Designer2に対応しております。

上記価格に消費税は含まれておりません。

通信ユニット

品名	形名	仕様	対応機種				参考標準価格	納期	
			GT16	GT15	GT14	GT11			
バス接続ユニット	GT15-OBUS	OCPU(Qモード)/モーションコントローラCPU(Qシリーズ)用 バス接続(1ch)ユニット標準モデル	●	●	—	—	¥25,000	○	
	GT15-OBUS2	OCPU(Qモード)/モーションコントローラCPU(Qシリーズ)用 バス接続(2ch)ユニット標準モデル	●	●	—	—	¥35,000	○	
	GT15-ABUS	OnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)用 バス接続(1ch)ユニット標準モデル	●	●	—	—	¥25,000	○	
	GT15-ABUS2	OnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)用 バス接続(2ch)ユニット標準モデル	●	●	—	—	¥35,000	○	
	GT15-75OBUSL	OCPU(Qモード)/モーションコントローラCPU(Qシリーズ)用 バス接続(1ch)ユニット薄型モデル*1	●	●	—	—	¥20,000	○	
	GT15-75OBUS2L	OCPU(Qモード)/モーションコントローラCPU(Qシリーズ)用 バス接続(2ch)ユニット薄型モデル*1	●	●	—	—	¥30,000	○	
	GT15-75ABUSL	OnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)用 バス接続(1ch)ユニット薄型モデル*1	●	●	—	—	¥20,000	○	
	GT15-75ABUS2L	OnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)用 バス接続(2ch)ユニット薄型モデル*1	●	●	—	—	¥30,000	○	
	GT15-RS2-9P	RS-232Cシリアル通信ユニット(D-Sub9ピン(オス))	●	●	—	—	¥25,000	○	
	GT15-RS4-9S	RS-422/485シリアル通信ユニット(D-Sub9ピン(メス))*2 *3	●	●	—	—	¥25,000	○	
シリアル通信ユニット	GT15-RS4-TE	RS-422/485シリアル通信ユニット(端子台)*4 ※温度調節器/指示調節計とRS-485接続時、GOTマルチドロップ接続時のみ使用可	●	●	—	—	¥25,000	○	
	GT15-RS214-9P	RS-232Cシリアル通信ユニット RS-422コネクタ9ピン	●	●	—	—	¥9,000	○	
RS-422変換ユニット	RS-232→RS-422変換ユニット	RS-422コネクタ25ピン	●	●	—	—	¥9,000	○	
MELSECNET/H 通信ユニット	GT15-J71LP23-25 GT15-J71BR13	通常局ユニット(光ループ) 通常局ユニット(同軸バス)	●	●	—	—	¥120,000 ¥120,000	○ ○	
CC-Link IEコントローラ ネットワーク通信ユニット	GT15-J71QP23-SX	通常局ユニット(光ループ)	●	●	—	—	¥165,000	○	
CC-Link IEフィールド ネットワーク通信ユニット	GT15-J710F13-12	インテリジェントデバイス局ユニット	●	●	—	—	¥80,000	○	
CC-Link通信ユニット	GT15-J61BT13 GT15-J71E71-100	インテリジェントデバイス局ユニットCC-Link Ver.2対応 Ethernet(100Base-TX)ユニット	●	●	—	—	¥60,000 ¥30,000	○ ○	
シリアルマルチドロップ接続 ユニット	GT01-RS4-M	GOTマルチドロップ接続用	●*5	●*5	●*5	—	●*5	¥32,000	○
コネクタ変換アダプタ	GT10-9PT5S	Dサブ9ピン⇄ヨーロッパ端子台5ピンへの変換コネクタ	—	—	●*5	—	●*5	¥3,000	○
RS-232/485変換アダプタ	GT14-RS214-9P GT11HS-QCL	RS-232⇄RS-485変換アダプタ	—	—	●	—	—	¥9,000	○
CC-Linkインタフェースユニット	GT11H-QCL	ハンディGOT用CC-Linkインタフェースユニット	—	—	—	●	—	¥85,000	○

- \*1:他ユニットと重ねて使用できません。
- \*2:接続先によって使用できない場合がありますので、「I.7 物計温度調節器」の「I.7.1 各種接続形態について(P.254~P.257)」をご参照ください。
- \*3:温度調節器/指示調節計とRS-485(2線式)接続時は使用できません。
- \*4:GT16□には使用できません。
- \*5:007の対応ハードウェアバージョンについては、MELFAWebShopホームページにてテクニカルニュースNo. 編付年-0039をご参照ください。  
(<http://www.mitsubishielectric.co.jp/melfaqweb/>)
- \*6:GT165□には使用できません。
- \*7:CPUとCPU直接接続で使用する場合は、OnUCPUのみ対応しています。

上記価格に消費税は含まれておりません。

1	GOTについて
2	ソフトウェアについて
3	機能について
4	接続構成について
5	海外規格対応状況
6	一覧
7	用語集

オプションユニット

品名	形名	仕様	対応機種						参考標準価格	納期
			GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディ①	GT10		
プリンタユニット	GT15-PRN	プリンタ接続用USBスレーブ(PictBridge) 1ch ※プリンタ接続専用ケーブル(3m)同梱	●	●	—	—	—	—	¥30,000	○
マルチメディアユニット	GT16-MMR	ビデオ入力用(NTSC/PAL) 1ch、動画再生	●*2	—	—	—	—	—	¥78,000	○
ビデオ入力ユニット	GT16M-V4	ビデオ入力用(NTSC/PAL) 4ch	●	—	—	—	—	—	¥60,000	○
	GT15V-75V4	ビデオ入力用(NTSC/PAL) 4ch	●*3	—	—	—	—	—	¥38,000	○
RGB入力ユニット	GT16M-R2	アナログRGB入力 2ch	●*2	—	—	—	—	—	¥60,000	○
	GT15V-75R1	アナログRGB入力 1ch	—	●*3	—	—	—	—	¥38,000	○
ビデオ/RGB入力ユニット	GT16M-V4R1	ビデオ入力(NTSC/PAL) 4ch/アナログRGB 1ch 混合入力	●*2	—	—	—	—	—	¥78,000	○
	GT15V-75V4R1	ビデオ入力(NTSC/PAL) 4ch/アナログRGB 1ch 混合入力	—	●*3	—	—	—	—	¥56,000	○
RGB出力ユニット	GT16M-ROUT	アナログRGB出力 1ch	●*2	—	—	—	—	—	¥42,000	○
OFカードユニット	GT15V-75ROUT	アナログRGB出力	—	●*3	—	—	—	—	¥20,000	○
OFカード延長ユニット	GT15-OFEX	OFカード延長用(60ドライブ)60T背面OFカード取出	●	●	—	—	—	—	¥40,000	○
OFカード延長ユニット	GT15-OFEX-CORSET	OFカード装着用(60ドライブ)制御装置前OFカード取出用 *1	●	●	—	—	—	—	¥90,000	○
音声出力ユニット	GT15-SOUT	音声出力用	●	●	—	—	—	—	¥20,000	○
外部入出力ユニット	GT15-D10R	外部入出力機器/操作パネル接続用(マイクコンセンサ/ソースタイプ出力)	●	●	—	—	—	—	¥36,000	○
	GT15-D10	外部入出力機器/操作パネル接続用(プラスチックコンセンサタイプ出力)	●	●	—	—	—	—	¥36,000	○

- \*1. 制御装置取り付けユニット 60T制御付ユニット/接続ケーブル(0.8m)のセット品です。
- \*2. GT16C11-VNB□、GT16Sを除きます。
- \*3. GT1585V、GT1575のみ対応しています。

上記価格に消費税は含まれておりません。

ソフトウェア

品名	形名	内容	参考標準価格
表示器画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works3 Version1	SWIDNC-GTWK3-J	単体ライセンス品 ※CD-ROM版	¥30,000
	SWIDNC-GTWK3-JV	単体ライセンス品(バージョンアップ専用) ※CD-ROM版 (お手持ちのGT Designer2/GT Works2を最新バージョンに更新)	¥15,000
	SWIDNC-GTWK3-JA	複数ライセンス品*1 ※CD-ROM版	+1
	SWIDNC-GTWK3-JC	サイトライセンス品*2 ※CD-ROM版	¥40,000
	SWIDNC-GTWK3-E	単体ライセンス品 ※CD-ROM版	¥30,000
	SWIDNC-GTWK3-EA	複数ライセンス品*1 ※CD-ROM版	+1
FA統合エンジニアリングソフトウェア MELSOFT iQ Works *3 **4	SWIDNC-IQWK-J	単体ライセンス品 ※CD-ROM版	¥220,000
	SWIDND-IQWK-J	単体ライセンス品 ※DVD-ROM版	¥220,000
	SWIDNC-IQWK-E	単体ライセンス品 ※CD-ROM版	¥220,000
GT Soft60T1000用 ライセンスキー *5	GT15-SGTKEY-E	単体ライセンス品 ※DVD-ROM版	¥220,000
	GT15-SGTKEY-U	USBポート用	¥150,000
パソコンリモート 操作機能(Ethernet) ライセンス *6	GT16-PCRKEY	1ライセンス	¥28,000
⑧ケーブル接続ライセンス*4	GT16-VNCSKEY *4	1ライセンス	¥28,000

- \*1. 1ライセンス以上であれば各登録のライセンスを販売いたします。詳細は印刷販売代理の会社、代理店にお問い合わせください。
- \*2. サイトライセンス品は合計で、200ライセンスまで登録可能です。購入された同一人、同一事業所に限りります。
- \*3. サイトライセンス品、複数ライセンス品、追加ライセンス品もご利用しております。詳細は、MELSOFT iQ Worksカタログ(L(6)08210)をご確認ください。
- \*4. この製品には以下のソフトウェアが含まれています。  
 ・システム管理ソフトウェア(MELSOFT Navigator)  
 ・シーケンサエンジニアリングソフトウェア(MELSOFT GX Works2)  
 ・モーションコントロール用エンジニアリングソフトウェア(MELSOFT MT Works2) ※サーボセットアップソフトウェア(MELSOFT MR Configurator2)  
 ・表示器画面作成ソフトウェア(MELSOFT GT Works3) ※ロボットプログラミングソフトウェア(MELSOFT RT ToolBox mini)  
 ※GT Soft60T1000を使用するためのソフトウェアはGT Soft60T1000用ライセンスキーが必要となります。
- \*5. GT Soft60T1000を使用するためのソフトウェアはGT Soft60T1000用ライセンスキーが必要となります。
- \*6. 60T1台毎に1ライセンスが必要です。

上記価格に消費税は含まれておりません。

オプション

品名	形名	仕様	対応機種						参考標準価格	納期
			GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディ①	GT10		
バックライト	GT16-90XLTT	GT1695M-YTB□□	●	—	—	—	—	—	¥35,000	○
	GT16-80SLTT	GT1685M-STB□□	●	—	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT16-70SLTT	GT1675M-STB□□	●	—	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT16-70VLT	GT1675M-VTB□□*1	●	—	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT16-70VLTIA	GT1675M-VTB□□*2	●	—	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT16-70VLTN	GT1675-VNB□□/GT1672-VNB□□	●	—	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT16-60SLTT	GT1665M-STB□□	●	—	—	—	—	—	¥15,000	○
	GT16-60VLT	GT1665M-VTB□□	●	—	—	—	—	—	¥15,000	○
	GT16-60VLTN	GT1662-VNB□□	●	—	—	—	—	—	¥15,000	○
	GT15-90XLTT	GT1595-YTB□□	—	●	—	—	—	—	¥35,000	○
	GT15-80SLTT	GT1585V-STB□□/GT1585-STB□□	—	●	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT15-70SLTT	GT1575-STB□□*3	—	●	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT15-70VLT	GT1575V-STB□□/GT1575-VTB□□*4	—	●	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT15-70VLTN	GT1575-VNB□□/GT1572-VNB□□	—	●	—	—	—	—	¥18,000	○
	GT15-60VLTN	GT1565-VTB□□	—	●	—	—	—	—	¥15,000	○
	GT15-60VLT	GT1562-VNB□□	—	●	—	—	—	—	¥15,000	○
オプション機能ボード	GT16-MESB	※60T本体や機能によって使用するオプション機能ボードが異なります。	●	●	—	—	—	—	¥135,000	○
	GT15-FNB	オプション機能ボード	—	●	—	—	—	—	¥20,000	○
	GT15-QFNB	(増設メモリなし)	—	●	—	—	—	—	¥30,000	○
	GT15-QFNB16M	※60T本体や機能によって使用するオプション機能ボードが異なります。	—	●	—	—	—	—	¥55,000	○
	GT15-QFNB32M	増設メモリ32MB	—	●	—	—	—	—	¥65,000	○
	GT15-QFNB48M	増設メモリ48MB	—	●	—	—	—	—	¥75,000	○
GT10メモリローダ	GT10-LDR	GT1030/GT1020用(OS、プロジェクトデータ転送用)電源不要	—	—	—	●*1	●*1	—	¥25,000	○
	GT10-MR	GT105□/GT104□用(OS、プロジェクトデータ転送用)	—	—	—	●	●	—	¥5,000	○
保護シート	GT16-90PSGB	GT16-90PSGB	●	—	—	—	—	—	¥13,000	○
	GT16-90PSGB	クリア 5枚	●	—	—	—	—	—	¥13,000	○
	GT16-90PSGB	アンチグレア 5枚	●	—	—	—	—	—	¥13,000	○
	GT16-90PSGW	クリア(枠部:白色) 5枚	●	—	—	—	—	—	¥13,000	△
	GT16-90PSGW	アンチグレア(枠部:白色) 5枚	●	—	—	—	—	—	¥13,000	△
	GT16-90PSGB-O12	クリア(透明保護フィルム除去タイプ) 5枚 *4	●	—	—	—	—	—	¥13,000	△
	GT15-90PSGB	クリア 5枚	—	●	—	—	—	—	¥13,000	○
	GT15-90PSGB	アンチグレア 5枚	—	●	—	—	—	—	¥13,000	○
	GT15-90PSGW	クリア(枠部:白色) 5枚	—	●	—	—	—	—	¥13,000	△
	GT15-90PSGW	アンチグレア(枠部:白色) 5枚	—	●	—	—	—	—	¥13,000	△
	GT16-80PSGB	クリア 5枚	●	—	—	—	—	—	¥8,000	○
	GT16-80PSGB	アンチグレア 5枚	●	—	—	—	—	—	¥8,000	○
GT16-80PSGW	クリア(枠部:白色) 5枚	●	—	—	—	—	—	¥8,000	△	
GT16-80PSGW	アンチグレア(枠部:白色) 5枚	●	—	—	—	—	—	¥8,000	△	
GT16-80PSGB-O12	クリア(透明保護フィルム除去タイプ) 5枚 *4	●	—	—	—	—	—	¥8,000	△	

上記価格に消費税は含まれておりません。



オプション

品名	形名	仕様	対応機種*							参考標準価格	納期
			GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディ G01	GT10			
アタッチメント	GT15-70AIT-98	10.4型用 アタッチメント	A985G0T *4	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-70AIT-87		A870G0T-SWS A870G0T-TWS A870G0T-TW	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-60AIT-97	8.4型用 アタッチメント	A97A0G0T	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-60AIT-96		A96G0G0T	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-60AIT-87		A870G0T-EWS A80T-70G0T-EW A80T-70G0T-EB A770G0T-EL A770G0T-EL-S3	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-60AIT-77		A770G0T-QL-S5 A770T-QL-S3 A770G0T-L A770G0T-L	●	●	—	—	—	—	¥5,000	○
	GT15-50AIT-95W	5.7型用 アタッチメント	A95W0G0T	●	●	●	●	—	—	¥5,000	○
	GT15-50AIT-85		F940WG0T	●	●	●	●	—	—	¥5,000	○
	GT15-8AT	時計データ、メンテナンス時期通知用データバックアップ用電池	A85CG0T	●	●	●	●	●	●	¥5,000	○
	GT11-50BAT	時計データ、アラーム履歴、レジデータ、タイムアクション設定値、バックアップ用電池(交換用)		●	●	●	●	●	●	¥4,500	○

- \*1: 機能バージョン以前
- \*2: 機能バージョン以前
- \*3: 機能バージョン以前
- \*4: 機能バージョン以前
- \*5: GT115□-□C□B00, GT115□-□C□B00は除きます。
- \*6: GT1020は除きます。
- \*7: ご使用にならなごに使用する環境で実機確認の上、使用可否を判断してください。
- \*8: 前面カメラをご使用時は、前面USBインタフェースと人感センサは使用できません。
- \*9: 携帯端末用型GT10□□、GT10□□も対象となります。
- \*10: GT11ハンディのみ使用可能です。
- \*11: GT1655は除きます。高機能は、時計データ、メンテナンス時期通知用データ、システムログデータ、SRAMユーザ領域バックアップ用電池(交換用)です。
- \*12: GT1655のみ使用可能です。用途は、時計データ、メンテナンス時期通知用データ、システムログデータ、SRAMユーザ領域バックアップ用電池(交換用)です。
- \*13: GT16ハンディのみ使用可能です。用途は、時計データ、メンテナンス時期通知用データ、システムログデータ、SRAMユーザ領域バックアップ用電池(交換用)です。
- \*14: USB接続端子の一部がカバーの保護シートをご使用時は、前面USBインタフェースは使用できません。

上記価格に消費税は含まれておりません。

関連マニュアル ※マニュアル(PDF)は、ソフトウェアパッケージとセットでCD-ROM に入っております。印刷物を別売でご用意しておりますので、下記品名コードにてご用意願います。

マニュアル名称	形名コード	価格	マニュアル名称	形名コード	価格
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編) ※2冊セット	1D7M94	¥4,000	GT Converter2_Version3 操作マニュアル GT Works3対応	1D7MA5	¥1,500
GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(作図編) ※2冊セット	1D7M95	¥7,000	G0T1000シリーズ本体取扱説明書(拡張機能・オプション機能編)	1D7MA6	¥4,000
G0T1000シリーズ 接続マニュアル(三菱電機機器接続編) GT Works3対応	1D7M96	¥4,000	GT Works3対応		
G0T1000シリーズ 接続マニュアル(他社機器接続編1) GT Works3対応	1D7M97	¥3,000	GT16本体取扱説明書(ハードウェア詳細編)	1D7M01	¥3,000
G0T1000シリーズ 接続マニュアル(他社機器接続編2) GT Works3対応	1D7M98	¥3,000	GT16本体取扱説明書(基本ユーティリティ編)	1D7M02	¥3,000
G0T1000シリーズ 接続マニュアル(マイコン・MODEM・周辺機器接続編)	1D7M99	¥3,000	GT15本体取扱説明書	1D7M12	¥3,000
GT Works3対応			GT14本体取扱説明書	09R822	¥2,400
G0T1000シリーズゲートウェイ機能マニュアル GT Works3対応	1D7MA1	¥1,500	GT11本体取扱説明書	09R814	¥2,400
G0T1000シリーズESインタフェース機能マニュアル GT Works3対応	1D7MA2	¥3,000	GT16ハンディG0T本体取扱説明書 ※2冊セット	09R820	¥3,000
GT SoftPre1000 Version3 操作マニュアル GT Works3対応	1D7MA3	¥3,000	GT11ハンディG0T本体取扱説明書 ※2冊セット	09R816	¥3,000
GT Simulator3 Version1 操作マニュアル GT Works3対応	1D7MA4	¥3,000	GT10本体取扱説明書	09R818	¥2,100

上記価格に消費税は含まれておりません。

ケーブル

品名	形名	ケーブル長	紹介品 *1	用途	対応機種*2							参考 標準価格	納期	
					GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディ G01	GT10				
QCPU (0モード)用 バス接続 ケーブル	QCPU増設ケーブル G0T接続ケーブル	GT15-QC08B	0.6m	○ QCPU⇔G0T接続用 G0T⇔G0T接続用	●	●	—	●	—	—	—	¥7,000	○	
		GT15-QC12B	1.2m		—	—	—	—	—	—	¥10,000	○		
		GT15-QC30B	3m		—	—	—	—	—	—	¥16,000	○		
	QCPU長距離接続ケーブル G0T長距離 接続ケーブル	GT15-QC50B	5m		○ QCPU⇔G0T長距離(13.2m以上)接続用(A96T-QDNBが必要) G0T⇔G0T長距離接続用	●	●	—	●	—	—	—	¥24,000	○
		GT15-QC100B	10m			—	—	—	—	—	—	¥40,000	○	
		GT15-QC150BS	15m			—	—	—	—	—	—	¥44,000	○	
QnA/ACPU/ モーション コントローラCPU (Aシリーズ)用 バス接続ケーブル	QCPU長距離接続ケーブル G0T長距離 接続ケーブル	GT15-QC200BS	20m	○ QCPU⇔G0T長距離(13.2m以上)接続用(A96T-QDNBが必要) G0T⇔G0T長距離接続用	●	●	—	●	—	—	—	¥55,000	○	
		GT15-QC250BS	25m		—	—	—	—	—	—	¥63,000	○		
		GT15-QC300BS	30m		—	—	—	—	—	—	¥73,000	○		
		GT15-QC350BS	35m		—	—	—	—	—	—	¥84,000	○		
		A96T-QDNB	1.2m		—	—	—	—	—	—	¥12,000	○		
	大形QCPU 増設ケーブル	GT15-Q12NB	1.2m	—	○ QCPU長距離(13.2m以上)バス接続時に使用	●	●	—	—	—	—	¥15,000	○	
		GT15-C30NB	3m	○ QnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ・増設ベース)⇔G0T接続用	●	●	—	—	—	—	—	¥23,000	○	
		GT15-C50NB	5m	—	—	—	—	—	—	—	—	¥25,000	○	
		GT15-A0C6B	0.6m	—	—	—	—	—	—	—	—	¥10,000	○	
		GT15-A0C12B	1.2m	○ QnA/ACPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ・増設ベース)⇔A7GT-QNB接続用	●	●	—	—	—	—	—	¥16,000	○	
小形QCPU増設ケーブル	QnA/ACPU/ モーション コントローラCPU (Aシリーズ)用 バス接続ケーブル	GT15-A0C30B	3m	○ モーションコントローラCPU(Aシリーズ・基本ベース)⇔G0T接続用 モーションコントローラCPU(Aシリーズ・基本ベース)⇔A7GT-QNB接続用	●	●	—	—	—	—	—	¥20,000	○	
		GT15-A0C50B	5m		—	—	—	—	—	—	¥25,000	○		
		GT15-A370C12B-S1	1.2m		○ モーションコントローラCPU(Aシリーズ・基本ベース)⇔G0T接続用	●	●	—	—	—	—	¥24,000	△	
		GT15-A370C25B-S1	2.5m		○ G0T接続用	●	●	—	—	—	—	¥47,000	△	
		GT15-A370C12B	1.2m		○ モーションコントローラCPU(Aシリーズ・基本ベース)⇔A7GT-QNB接続用	●	●	—	—	—	—	¥24,000	○	
	小形QCPU増設ケーブル	QnA/ACPU/ モーション コントローラCPU (Aシリーズ)用 バス接続ケーブル	GT15-A370C25B	2.5m	○ QnAS/AnSCPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)⇔G0T接続用 QnAS/AnSCPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)⇔A7GT-QNB接続用	●	●	—	—	—	—	—	¥47,000	○
			GT15-A1SD07B	0.7m		—	—	—	—	—	—	—	¥7,000	○
			GT15-A1SD12B	1.2m		—	—	—	—	—	—	—	¥10,000	○
			GT15-A1SC30B	3m		—	—	—	—	—	—	—	¥16,000	○
			GT15-A1SC50B	5m		—	—	—	—	—	—	—	¥24,000	○
小形QCPU増設ケーブル	QnAS/AnSCPU/ モーション コントローラCPU (Aシリーズ)用 バス接続ケーブル	GT15-A1SD05NB	0.45m	○ QnAS/AnSCPU/モーションコントローラCPU(Aシリーズ)⇔A7GT-QNB接続用	●	●	—	—	—	—	—	¥10,000	○	
		GT15-A1SD07NB	0.7m		—	—	—	—	—	—	—	¥12,000	○	
		GT15-A1SC30NB	3m		—	—	—	—	—	—	—	¥23,000	○	
		GT15-A1SC50NB	5m		—	—	—	—	—	—	—	¥26,000	○	

上記価格に消費税は含まれておりません。



ケーブル

品名	形名	ケーブル長	紹介品	用途	対応機種*2						参考標準価格	納期	
					GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディGT10				
FA機器接続用 中継ケーブル	RS-422・電源・操作スイッチ 接続ケーブル	GT11H-C15R4-8P	1.5m	—	FXCPU⇒GOT接続用 電源・操作スイッチ⇒GOT接続用	—	—	—	—	●	—	¥7,000	○
		GT11H-C15R4-25P	1.5m	—	A/OnACPU⇒GOT接続用 電源・操作スイッチ⇒GOT接続用	—	—	—	—	●	—	¥7,000	○
	RS-232・電源・操作スイッチ 接続ケーブル	GT11H-C15R2-8P	1.5m	—	GCPU⇒GOT接続用 電源・操作スイッチ⇒GOT接続用	—	—	—	—	●	—	¥7,000	○
バーコード接続用ケーブル		GT10-C02H-8P79P	0.2m	—	バーコードリーダー(0サブピンオス) ⇒GOT(MINI-B)6ピンオス)RS-232接続用	—	—	—	—	●	—	¥6,000	○
外部入出力ユニット接続用変換ケーブル		GT15-C03HT8	0.3m	○	GOT1000(外部入出力ユニット) ⇒GOT-A800用外部入出力インタフェース ユニット接続ケーブル (A861-C05TK-A86T-C30TB;ユーザ作成ケーブル)	●	●	—	—	—	—	¥18,000	△
アナログR8Pケーブル		GT15-C50VG	5m	○	外部モニタ・パソコン・ドジョセンサ等⇒GOT接続用	●	●	—	—	—	—	¥25,000	○
USBケーブル	データ転送用 RS-232/USB変換アダプタ	GT10-RS2TUSB-5S	—	—	パソコン(USB)⇒GOT(RS-232)接続用 (アダプタとパソコン間はGT09-C30USB-5Pで接続)	—	—	—	—	●	—	¥15,000	○
	データ転送用ケーブル	GT09-C30USB-5P	3m	○	パソコン(USB)⇒GOT(USB mini-B)接続用 CPU(USB mini-B)⇒パソコン(GT SoftSOT1000)接続用 プリンタ⇒GOT(プリンタユニット)接続用	●	●	●	●	●	—	¥13,500	○
拡張USB防水ケーブル		GT14-C10EUSB-4S	1m	—	GOTのUSBポートを制御ユニットに引き出す場合に使用	—	—	●	—	—	—	¥10,000	○
		GT14-C10EUSB-5S	1m	—		—	—	—	—	●	—	¥10,000	○

\*1: FA-L16GTR408Lは、三菱電機エンジニアリング株式会社 (URL: <http://www.mes.co.jp/>) よりご購入ください。 上記価格に消費税は含まれておりません。

- \*2: GOT本体によって、使用できる接続形態やケーブルが異なります。詳細は「4. 接続構成について (P. 91)」および「GOT1000シリーズ接続マニュアル」をご参照ください。
- \*3: ハンディGOT用コネクタ変換ボックス併用時に使用できます。
- \*4: GT105□/GT104□のみ使用可能です。
- \*5: GT1030/GT1020のみ使用可能です。
- \*6: GT16本体のRS-422/485インタフェースと接続時は、RS-422変換ケーブル (GT16-C02R4-9S) が必要です。
- \*7: GT16ハンディのみ使用可能です。
- \*8: GT11ハンディのみ使用可能です。

他社FA機器接続ケーブル

品名	形名	ケーブル長	紹介品	GOT接続先	対応機種*2						参考標準価格	納期		
					GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディGT10					
オムロン(株)製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R20101-9P	3m	—	シーケンサCPU: CP2M2/COM1(H)/CS1/CJ2H/CP1E/C200HX/C200HG/C200HE/CV500/CV1000/CV2000/COM1	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
				RS-232Cアダプタ: CP1M-C1F01/CPM2C-C1F01-V1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				ケーブル: CP2M2-CM11/COM1-C1F02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	GT09-C30R20102-25S	3m	—	シーケンサCPU: CP2M2-CM11/COM1-C1F02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
				シリアルコネクタユニットボード: COM1-S08A1/C200HG-COM02/C200HE-COM05/C200H-COM06(C31H-S0821(+V1)/C31H-S08A1(+V1)/C31H-S0821(-V1)/C31H-S0821(-V1)/C31H-S08A1(-V1)/CP1M-C1F01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				接続ケーブル: COM1-C1F01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	GT09-C30R20103-25P	3m	—	ベース取り付け用上位リンクユニット: C500-LK201-V1/C200H-LK201-V1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
				シーケンサCPU: KV-700/1000/3000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
				マルチポート通信ユニット: KV-L20/KV-L20R/KV-L20V(ポート1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
	GT09-C30R21102-9S	3m	—	マルチポート通信ユニット: KV-L20/KV-L20R/KV-L20V(ポート2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
				シーケンサCPU: JMW-22CU/70CUH/100CUH/100CU	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
				シーケンサCPU: JMW-22CU/70CUH/33CUH/Z-51ZJ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
	GT09-C30R20602-15P	3m	—	シーケンサCPU: JMW-22CU/70CUH/33CUH/Z-51ZJ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
				RS232-4S422変換器: TXU-2051	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
				指示調節計: FGR-100/FCD-100/FCR-23A/PC-900/FIRシリーズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△
GT09-C30R21401-4T	3m	—	シーケンサCPU: T2E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: T2N	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: 大船シリーズ、R200~252シリーズ、Rシリーズ(ポートタイプ)/BH-150シリーズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R21103-3T	3m	—	インテリジェントシリアルポートモジュール: COMM-H/COMM-2H	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: IH-4010/H-252C/EH-150シリーズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			通信モジュール: LOE560/LOE60/LOE160	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20401-15P	3m	—	RS-232C/485インタフェースカード: NV1L-RS2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			RS-232C/485インタフェースケーブル: FFK120A-C10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			汎用インタフェースモジュール: NCIL-RS2/FTU20B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20402-15P	3m	—	RS422-232変換アダプタ: AFP8550	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: FP2/FP2SH/FP3/FP6/FP10(S)/FP10GN/FP-M	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			コンポーネンタミニコンプレックスユニット: AFP2462/AFP3462/AFP462	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20903-9P	3m	—	シーケンサCPU: FP1-C24C/C40C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: FP1-C16C/C32C/FP0R	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: GL120/GL130/MP-920/MP-930(GP-9200/H)/PR061C-8(ポート1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20201-9P	3m	—	MEMBUSモジュール: JAMSC-IF60/JAMSC-IF61	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			通信モジュール: 2171F/GP-2171F(CN1接続時)/2171F-01/2181F-01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: PR801C-8(ポート2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20202-15P	3m	—	シーケンサCPU: GP-930OMS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: MP-940	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			MEMBUSモジュール: CP-2171F(CN2接続時)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20301-9P	3m	—	機河電機製パソコンモジュール: L001-ON/L002-ON	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			CPUポートD-サブピン変換ケーブル: KM10-0C/KM10-0S	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			パソコンリンクモジュール: F3L001-1M/F3L011-1M/F3L011-1F/F3L012-1F	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20302-9P	3m	—	シーケンサCPU: NF0P100/NFJT100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			変換器: MLC-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
			シーケンサCPU: SL5000シリーズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
GT09-C30R20204-14P	3m	—	HMIアダプタ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	

\*1: 紹介品は、三菱電機システムサービス株式会社 (URL: <http://www.mes.co.jp/>) よりご購入ください。 上記価格に消費税は含まれておりません。

- \*2: GOT本体によって、使用できる接続形態やケーブルが異なります。詳細は「4. 接続構成について (P. 91)」および「GOT1000シリーズ接続マニュアル」をご参照ください。
- \*3: 10m以下のRS-422ケーブル、および3m以下のRS-232ケーブルは、ハンディGOT用コネクタ変換ボックス併用時に使用できます。
- \*4: GT105□/GT104□のみ使用可能です。

他社FA機器接続ケーブル

品名	形名	ケーブル長 紹介品*	GOT接続先	対応機種*2					参考 標準価格	納期
				GT16	GT15	GT14	GT11	ハンディ GOT		
オムロン(株)製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R40101-9P	3m	シーケンサCPU: CV500/ CV1000/ CV2000/ CVN1						¥15,000	
	GT09-C100R40101-9P	10m	シリアルコミュニケーションユニット: GJ1W-SC041						¥22,000	△
	GT09-C200R40101-9P	20m	シリアルコミュニケーションボード: GCM1-SC041/ CS1W-SC041						¥42,000	
	GT09-C30R40101-9P	30m	コミュニケーションボード: C200HW-COM03/ COM06						¥42,000	
	GT09-C30R40102-9P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40102-9P	10m	ベース取付タイプ上位リンクユニット: C200H-LK202-V1/ C500-LK201-V1						¥22,000	△
	GT09-C200R40102-9P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40102-9P	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40103-5T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40103-5T	10m							¥22,000	△
(株)キーエンス製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R40103-5T	20m	コミュニケーションボード: GP1W-CIF11/ GP1W-CIF12/ GJ1W-CIF11						¥32,000	△
	GT09-C30R40103-5T	30m							¥42,000	
	GT09-C100R41101-5T	3m							¥15,000	
シャープ マニファクチャリング システム(株)製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C200R41101-5T	20m	マルチコミュニケーションユニット: KV-L20/ KV-L20R/ KV-L20V (ポート2)						¥32,000	△
	GT09-C30R41101-5T	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40601-15P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40601-15P	10m	シーケンサCPU: JW-22CU/ 70CUH/ 100CUH/ 100CU						¥22,000	△
	GT09-C200R40601-15P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40601-15P	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40602-15P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40602-15P	10m	シーケンサCPU: JW-33CUH/ 33CUH/ Z-512J						¥22,000	△
	GT09-C200R40602-15P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40602-15P	30m							¥42,000	
(株)ジェイテクト製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R40603-6T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40603-6T	10m	リンクユニット: JW-21CM/ JW-10CM/ ZW-10CM						¥22,000	△
	GT09-C200R40603-6T	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40603-6T	30m							¥42,000	
	GT09-C30R41201-6C	3m							¥15,000	
	GT09-C100R41201-6C	10m	シーケンサCPU: PC3J/ PC3JL						¥22,000	△
	GT09-C200R41201-6C	20m	通信モジュール: PC/ OMP2-LINK						¥32,000	
	GT09-C30R41201-6C	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40501-15P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40501-15P	10m	シーケンサCPU: T2/ T3/ T3H/ mode1/ 3000 (S3)						¥22,000	△
(株)東芝製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C200R40501-15P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40501-15P	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40502-6C	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40502-6C	10m	シーケンサCPU: T2E/ mode1/ 2000 (S2)						¥22,000	△
	GT09-C200R40502-6C	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40502-6C	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40503-15P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40503-15P	10m	シーケンサCPU: T2N						¥22,000	△
	GT09-C200R40503-15P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40503-15P	30m							¥42,000	
(株)日立産機システム製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R40401-7T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40401-7T	10m	インテリジェントシリアルポートモジュール: COMM-H/ COMM-2H						¥22,000	△
	GT09-C200R40401-7T	20m							¥32,000	
(株)日立製作所製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C30R40401-7T	30m							¥42,000	
	GT09-C30R41301-9S	3m							¥15,000	
	GT09-C100R41301-9S	10m	シーケンサCPU: L0P510						¥22,000	△
富士電機機器制御(株)製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C200R41301-9S	20m	通信モジュール: L0E565/ L0E165						¥32,000	
	GT09-C30R41301-9S	30m							¥42,000	
	GT09-C30R41001-6T	3m	RS-232C/ 485インタフェースケーブル: FFK120A-C10						¥15,000	
(株)安川電機製 シーケンサ用ケーブル	GT09-C200R41001-6T	20m	汎用インタフェースモジュール: NGL18-RS4/ FFU120B						¥32,000	△
	GT09-C30R41001-6T	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40201-9P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40201-9P	10m	MEMOBUSモジュール: JAMSC-120NM27100/ JAMSC-1F612						¥22,000	△
	GT09-C200R40201-9P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40201-9P	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40202-14P	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40202-14P	10m	シーケンサCPU: MP940						¥22,000	△
	GT09-C200R40202-14P	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40202-14P	30m							¥42,000	
シークンサ用 ケーブル	GT09-C30R40301-6T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40301-6T	10m	パソコンリンクモジュール: F3L611-2N						¥22,000	○
	GT09-C200R40301-6T	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40301-6T	30m							¥42,000	
	GT09-C100R40302-6T	10m							¥15,000	
	GT09-C200R40302-6T	20m	パソコンリンクモジュール: L002-0N						¥22,000	△
	GT09-C30R40302-6T	30m							¥32,000	
	GT09-C30R40302-6T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40303-6T	10m	温度調節器: GREENシリーズ						¥22,000	△
	GT09-C200R40303-6T	20m							¥32,000	
横河電機 (株)製	GT09-C30R40303-6T	30m							¥42,000	
	GT09-C100R40304-6T	10m	温度調節器: UT2000シリーズ						¥22,000	△
	GT09-C200R40304-6T	20m							¥32,000	
	GT09-C30R40304-6T	3m							¥15,000	
	GT09-C100R40304-6T	10m							¥22,000	
	GT09-C200R40304-6T	20m							¥32,000	△
温度調節器用 ケーブル	GT09-C30R40304-6T	30m							¥42,000	
	GT09-C30R40304-6T	3m							¥15,000	

\*1: 紹介品は、三菱電機システムサービス(株)(URL: <http://www.me1sc.co.jp/>)よりご購入ください。  
 \*2: GOT本体によって、使用できる接続形態やケーブルが異なります。詳細は「4. 接続構成について(P. 91)」および「GOT1000シリーズ接続マニュアル」をご参照ください。  
 \*3: 10m以下のRS-422ケーブル、および3m以下のRS-232ケーブルは、ハンディGOT用コネクタ変換ボックス併用時に使用できます。  
 \*4: GT105C/ GT104Cのみ使用可能です。  
 \*5: GT16本体のRS-422/ 485インタフェースと接続時は、RS-422変換ケーブル(GT16-C02R4-9S)が必要です。  
 上記価格に消費税は含まれておりません。

1 GOTについて  
 2 ソフトウェアについて  
 3 機能について  
 4 接続構成について  
 5 海外規格対応状況  
 6 一覧  
 7 機器





# 7. 用語集

GOTに関連する用語を説明します。

<b>7. 用語集</b> .....	<b>334</b>
---------------------	------------

---

## 7. 用語集

項目	内容
CC-Link 接続	業界最高速レベルの通信速度 10Mbps を実現し、ON/OFF 情報のビットデータ、数値情報のワードデータを高速かつ大量に伝送可能な FA 用高性能フィールドネットワーク (Control & Communication Link) を使った接続です。
CC-Link IE コントローラネットワーク接続	1Gbps の通信速度、大容量 256Kbyte のネットワーク型共有メモリを実現した CC-Link IE コントローラネットワークを使った接続です。
CC-Link IE フィールドネットワーク接続	装置の制御データと管理データの混在に対応する、高速・大容量なフィールドネットワークです。
CF カード	コンパクトフラッシュカードの略称です。 コンパクトフラッシュカードとは、SanDisk 社が提唱しているメモ리카ードの規格です。コンパクトフラッシュは、通電しなくても記憶が消えないフラッシュメモリと呼ばれるメモリと、外部との入出力を受け持つコントローラ回路を 1 枚のカードにまとめた構造になっています。
CPU 直接接続	シーケンサの CPU ユニットのインタフェースに GOT を接続し、シーケンサや各ユニットと通信できます。
Document Converter	GOT1000 シリーズ用のソフトウェアです。 GT Designer3 ドキュメント表示機能用のデータ作成を行うためのソフトウェアです。
Ethernet 接続	パソコンやワークステーションで標準的なネットワークの通信方法 (Ethernet) を使った接続です。
GOT 内部デバイス	GOT 内部で使用するデータ (ワードデバイス) や ON/OFF 信号 (ビットデバイス) を記憶するためのメモリです。
GOT マルチドロップ接続	シリアル接続で、1 台のシーケンサに対して複数台の GOT を接続する形態です。
GT Converter2	GOT800 シリーズ用プロジェクトデータやデジタル社製パッケージデータを、GT Designer2/GT Designer2 Classic で使用できるプロジェクトデータに変換するソフトウェアです。
GT Designer3	GOT1000 シリーズ用のプロジェクトを作成するソフトウェアです。
GT Simulator3	GX Simulator やシーケンサ CPU と接続して、パソコン上で GOT-A900 シリーズ、GOT1000 シリーズの動作をシミュレートできるソフトウェアです。
GT SoftGOT1000	パソコンを GOT1000 シリーズとして使用できるソフトウェアです。
MELSECNET/10 接続	MELSEC (三菱電機のデータリンクの愛称) のネットワークの一種を使った接続で、10Mbps の高速通信が可能です。
MELSECNET/H 接続	製造装置間を結ぶ制御ネットワーク (MELSECNET/H) を使った接続。高速通信と大容量リンクデバイスにより、機械設備の運転・動作に直接関係するデータを、制御装置間でリアルタイムに通信できます。
MES DB 接続サービス	Manufacturing Execution Systems の略称です。生産活動を最適化するために、工場の状態をリアルタイムに制御し、監視するシステムです。 GOT1000 シリーズ用のソフトウェアで、サーバ用パソコンにインストールすることで、GOT の MES インタフェース機能を使用することができるソフトウェアです。
PC 間ネット	MELSECNET/10 において、複数のシーケンサ間をネットワークで結びデータ交換を行うシステムを言います。
SD メモ리카ード	SanDisk 社、パナソニック社、東芝社の 3 社が共同開発したメモ리카ードの規格です。 一般的に市販されている SD メモ리카ードの最大容量は 2GB です。
SDHC メモ리카ード	SD メモ리카ードの最大容量が 2GB に対し、最大容量が 32GB です。 物理的な規格は SD メモ리카ードと同じですが、SDHC メモ리카ードに対応した機器でのみ使用できます。
STN	STN(Super Twisted Nematic) 液晶です。 GOT1000 では 256 色 / モノクロ (白 / 黒)16 階調 / モノクロ (白 / 黒) 表示ができます。

(次のページへ続く)

項目	内容
TFT	TFT(Thin-Film Transistor)を利用したカラー液晶です。 GOT1000 では 256 色 /65536 色表示となります。
USB メモリ	USB インタフェースに接続して使用できるメモリです。
インテリジェントデバイス局	CC-Link システムのサイクリック伝送、およびトランジェント伝送が行える局です。CC-Link に接続する GOT は、インテリジェントデバイス局に該当します。
ウィンドウ画面	ベース画面上に重ねて表示する画面です。作成したウィンドウ画面は、オーバーラップウィンドウ、スーパーインポーズウィンドウ、キーウィンドウ、ダイアログウィンドウのいずれかの方法で表示します。
オーバーラップウィンドウ	ベース画面上にポップアップするウィンドウです。手動でウィンドウを移動させたり、閉じたりできます。2 つまで同時に表示できます。
オブジェクト	GOT1000 では、GT Designer3 の中でスイッチ図形、ランプ図形、数値表示の表示枠図形などを貼り付けて、デバイス（ビット、ワード）の値と動作機能に対応させることにより、希望の機能を実現させます。この設定対象のことをオブジェクトと総称します。
オプション OS	オプション機能を動作させるために GOT にインストールする OS です。 オプション機能を使用する場合、別途オプション機能ボードが必要になります。
オプションユニット	通信ユニットを除く、GOT の拡張ユニットインタフェースに装着する拡張ユニットです。
拡張 OS	拡張機能を動作させるために GOT にインストールする OS です。
拡張ユニット	オプションユニットと通信ユニットの総称です。
画面切換え	GOT のベース画面／ウィンドウ画面を切り換えることです。 画面切り換えは、ベースとウィンドウの画面切り換え用ワードデバイスで行います。
管理局	MELSECNET/10 (PC 局ネットワーク) におけるネットワーク全体を管理する局のことで、1 ネットワークに 1 台のみ存在している必要があります。
キーウィンドウ	数値入力などで入力を行う場合、ベース画面上にポップアップするウィンドウです。GOT があらかじめ持っているキーウィンドウとユーザーで作成したキーウィンドウの 2 種類があります。
基本 OS	GOT を起動させるために GOT にインストールする OS です。
グラフィックオペレーションターミナル	三菱電機の表示器を表す言葉です。Graphic Operation Terminal から、GOT と名づけています。
計算機リンク接続	シーケンサに接続した計算機リンクユニットを介して、シーケンサや各ユニットと通信できます。
コメント	GT Designer3 でユーザーが登録した文字列のことを言います。基本コメントまたはコメントグループのいずれかにあらかじめ登録しておくことで、複数のオブジェクト機能で表示できます。
コンテキストメニュー	現在選択されている項目に対して使用できるショートカットの一覧を表示したメニューのことを言います。GT Designer3 では、エディタ画面上を右クリックすることで表示されます。
システムモニタ	シーケンサ CPU のデバイス、インテリジェント機能ユニットのバッファメモリをモニタ・変更することができる GOT の機能です。
シリアルコミュニケーションユニット	シーケンサと計算機 (GOT やパソコン) をシリアル通信用の RS-232C、RS-422C 回線で接続して、シーケンサのデバイスの読み書きを行うこと、またはその機能を実現するユニットです。
シリアル通信	1 本の信号線で 1 ビットずつデータの受け渡しを行う通信方式です。
スーパーインポーズウィンドウ	ベース画面上に合成表示するウィンドウです。スーパーインポーズウィンドウを切り換えると、ベース画面の一部を変更できます。2 つまで同時に表示できます。
増設ケーブル	シーケンサと GOT をバス接続する場合にシーケンサの増設ベースユニット (基本ベースユニット) と GOT の間をつなぐケーブルです。

(次のページへ続く)

項目	内容
ダイアログウィンドウ	画面の最前面に表示されているウィンドウです。システムとしてのエラーや警告のような表示ができます。GOT が表示するシステムメッセージの代わりに表示することもできます。
通信ドライバ	接続機器（シーケンサ CPU など）と通信するために GOT にインストールする OS です。 接続形態（バス接続 / CPU 直接接続など）ごとに専用の通信ドライバが必要です。
通信ユニット	接続機器（シーケンサ CPU など）と通信するために GOT の拡張ユニットインタフェースに装着する拡張ユニットです。
デバイス	シーケンサ CPU 内に設けられたメモリの総称です。 シーケンスプログラムで使用するデータや ON/OFF 信号を記憶するためのメモリです。
同軸ケーブル	高周波信号を効率よく伝達させるため、1本の電線の周囲を絶縁物で囲み、その上をシールドした電線を言います。
同軸バスシステム	MELSECNET/10 の同軸ケーブル接続によるネットワーク構成は、バス形式を使用することから同軸バスシステムと呼びます。
バス接続	シーケンサが各ユニット間をデータ通信するための伝送路に GOT を接続し、シーケンサや各ユニットと通信できます。
光ファイバケーブル	光信号を伝えるための信号ケーブルです。 シーケンサは電気信号で動いているので、発信側では電気の ON/OFF を光に変換して光ファイバケーブルを通して送り、受信側では光をもとの電気に変換します。
光ループシステム	MELSECNET/10 の光ファイバケーブル接続によるネットワーク構成は、ループ（リング）形式を使用することから光ループシステムと呼びます。
ビットデバイス	シーケンサのデバイスの内、1ビットで情報を伝えるデバイスです。
部品	図形から構成され、“部品表示”、“部品移動”の機能で使用します。 部品に使用できる図形は、文字・イメージデータを含みます。
フラッシュメモリ	通電しなくても記憶が消えないメモリです。
プロジェクト（ファイル）	一つの GOT に表示させる全ての情報の集まりが、プロジェクトです。 プロジェクトは画面情報・部品情報などから構成されます。これらの情報（プロジェクト）は一つのファイルに作成されます。
ベース画面	GOT の画面表示の土台となる画面です。
ベースユニット	シーケンサの CPU ユニット、電源ユニット、入出力ユニット、インテリジェント機能ユニットを装着するためのユニットです。
マスタ局	CC-Link システムを管理し、データリンクを制御するマスタユニットが装着されたシーケンサ CPU 局のことで、
メモ리카ード	画面データを保存しておくことができますので、画面データを他の GOT にコピーするときに便利です。メモ리카ードには、CF カードが使用できます。
モーションコントローラ CPU	多軸の位置決めを容易に、かつ高速・高精度で制御できるようにした CPU ユニットです。複雑なサーボ制御はモーション CPU ユニットに、それ以外の機械制御・情報制御をシーケンサ CPU ユニットに担当させることにより処理の負荷分散をしています。
リスト編集	GOT により、シーケンスプログラムの変更をリストプログラム（命令語）形式で行えるようにする機能です。現場ですぐにプログラム編集ができます。
リモート I/O 局	リモート I/O ネットシステムで、離れた場所のマスタ局からの指令により、機械側の制御機器と信号の受渡しを行うリモート側の局を言います。
レポート画面	レポート機能で出力するフォーマットを作成する画面です。
ローカル局	CC-Link システムのローカルユニットが装着されたシーケンサ CPU 局のことで、
ワードデバイス	シーケンサのデバイスの内、16ビット（ワード）で情報を伝えるデバイスです。 GOT では、ワードデバイスを 16ビットまたは 32ビットで扱うことができます。

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社側の責任による故障や瑕疵(以下併せて「故障」と呼びます)が発生した場合、当社はお買い上げいただきました販売店または当社サービス会社を通じて、無償で製品を修理させていただきます。ただし、国内および海外における出張修理が必要な場合は、技術者派遣に要する実費を申し受けます。また、故障ユニットの取替えに伴う現地再調整・試運転は当社責務外とさせていただきます。

### ■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所へ納入後36ヶ月とさせていただきます。

ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長6ヶ月として、製造から42ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また、修理品の無償保証期間は、修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

### ■無償保証範囲

- (1) 一次故障診断は、原則として貴社にて実施をお願い致します。

ただし、貴社要請により当社、または当社サービス網がこの業務を有償にて代行することができます。

この場合、故障原因が当社側にある場合は無償と致します。

- (2) 使用状態・使用方法、および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件・注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
- (3) 無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。

- ① お客様における不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
- ② お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
- ③ 当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
- ④ 取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
- ⑤ 消耗部品(バッテリー、バックライト、ヒューズなど)の交換。
- ⑥ 火災、異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震、雷、風水害などの天変地異による故障。
- ⑦ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
- ⑧ その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

## 生産中止後の有償修理期間

- (1) 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。  
生産中止に関しましては、当社テクニカルニュースなどにて報じさせていただきます。
- (2) 生産中止後の製品供給(補用品を含む)はできません。

## 海外でのサービス

海外においては、当社の各地域F Aセンターで修理受付をさせていただきます。ただし、各F Aセンターでの修理条件などが異なる場合がありますのでご了承ください。

## 機会議失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害、当社製品の故障に起因するお客様での機会議失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損害、およびお客様による交換作業、現地機械設備の再調整、立上げ試運転その他の業務に対する補償については、当社責務外とさせていただきます。

## 製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料などに記載の仕様は、お断りなしに変更させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

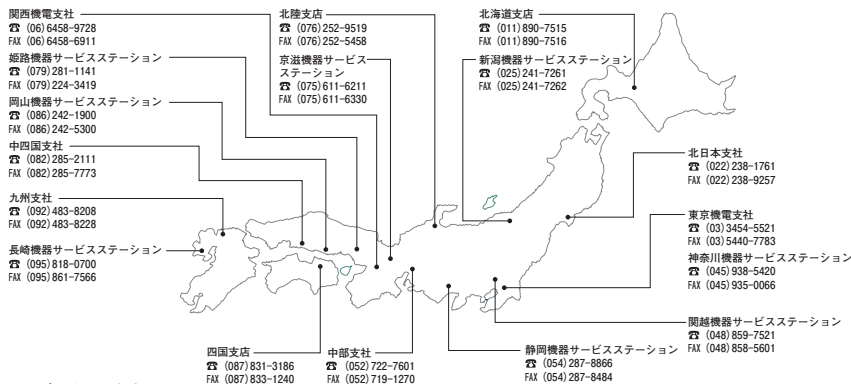
## 製品の適用について

- (1) 当社グラフィックオペレーションターミナルをご使用いただくにあたりましては、万グラフィックオペレーションターミナルに故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること、および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。
- (2) 当社グラフィックオペレーションターミナルは、一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。

したがって、各電力会社社の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途、鉄道各社および官公庁取扱いの用途などで、特別品質保証体制をご要求になる用途には、グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。また、航空、医療、鉄道、燃焼・燃料装置、有人搬送装置、娯楽機械、安全機械など人命や財産に大きな影響が予測される用途へのご使用についても、当社グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。ただし、これらの用途であっても、使途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様にご了承いただく場合には、適用可否について検討致しますので当社窓口へご相談ください。

三菱電機システムサービス株式会社が365日24時間受付体制にてお応えします。

● サービスネットワーク



● サービス網一覽表

アフターサービス拠点名	住 所	代表電話	時間外修理受付窓口 【機器全般】※2	F A X 番号
北日本支社	機電営業課 〒984-0042 仙台市若林区大和町2-18-23	022-238-1761	022-238-9257	
北日本支社 北海道支店	機電営業課 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2-1-18	011-890-7515	011-890-7516	
東京機電支社	フィールドサービス課 〒108-0022 東京都港区海岸3-19-22<三菱倉庫芝浦ビル>	03-3454-5521	03-5440-7783	
	神奈川機器サービスステーション 〒224-0053 横浜市都筑区池辺町3963-1	045-938-5420	045-935-0066	
	関越機器サービスステーション 〒338-0822 さいたま市桜区中島2-21-10	048-859-7521	048-858-5601	
	新潟機器サービスステーション 〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10 日本生命ビル6F	025-241-7261	025-241-7262	
中部支社	フィールドサービス課 〒461-8675 名古屋東区矢田南5-1-14	052-722-6011	052-719-1270	
	静岡機器サービスステーション 〒422-8058 静岡市駿河区中原877-2	054-287-8866	054-287-8484	
中部支社 北陸支店	機電営業課 〒920-0811 金沢市小坂町北255	076-252-9519	052-719-4337	
関西機電支社	フィールドサービス課 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-4-13	06-6458-9728	06-6458-6911	
	姫路機器サービスステーション 〒612-8444 京都市伏見区竹田田中宮町8	075-611-6211	075-611-6330	
	姫路機器サービスステーション 〒670-0836 姫路市神屋町6-76	079-281-1141	079-224-3419	
中国国支社	機電営業課 〒732-0802 広島市南区大州4-3-26	082-285-2111	082-285-7773	
	岡山機器サービスステーション 〒700-9591 岡山市北区田中606-8	086-242-1900	086-242-5300	
中国国支社 四国支店	機電営業課 〒760-0072 高松市花園町1-9-38	087-831-3186	087-833-1240	
九州支社	フィールドサービス課 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-12-16	092-483-8208	092-483-8228	
	長崎機器サービスステーション 〒850-8004 長崎市丸尾町4-4	095-818-0700	095-861-7566	
三菱電機機器製品アフターサービス技術相談ダイヤル【機器全般】※1		052-419-4333	-	-

※1 平日:9:00~19:00、休日(土日祝祭日):9:00~17:30  
 ※2 平日:19:00~翌9:00、休日(土日祝祭日):24時間

**FATEC**

三菱電機  
FAテクニカルセンター

全国10ヶ所に三菱FA機器テクニカルセンターを設けて、シーケンサをはじめとする三菱FA関連製品の展示とトレーニングの定期開催を実施しております。これは最近の市場ニーズにお応えして、解りやすくFA機器製品についてのご説明を行い、また手にとっての実習を通じて、三菱FA機器製品をご理解していただくが狙いです。是非、最寄りの会場をご利用ください。

\*東京FATEC

東京都品川区大崎1-6-3日精ビル  
TEL. (03) 3491-9380

札幌FATEC TR / 札幌市中央区北二条西4-1北海道ビル  
TEL. (011) 212-3794 (北海道支店)

\*仙台FATEC TR / 仙台市青葉区上杉1-17-7仙台上杉ビル  
TEL. (022) 216-4553 (東北支店)

\*名古屋FATEC

三菱電機名古屋製作所FAコミュニケーションセンター  
名古屋東区矢田南5-1-14  
TEL. (052) 721-2403

金沢FATEC TR / 金沢市広岡1-2-14コーワビル3F  
TEL. (076) 233-5501 (北陸支店)

\*大阪FATEC

大阪市北区豊島2-2-2(近鉄豊島ビル)  
TEL. (06) 6347-2970

\*広島FATEC TR / 広島市中区中町7-2ニッセイ広島ビル  
TEL. (082) 248-5348 (中国支店)

\*高松FATEC TR / 高松市町町1-18日本生命高松駅前ビル  
TEL. (087) 825-0055 (四国支店)

\*福岡FATEC TR / 福岡市博多区東比恵3-12-16東比恵スクエアビル

三菱電機システムサービス九州支社内  
TEL. (092) 721-2224 (九州支店)

福山製作所会場  
広島県福山市緑町1-8  
TEL. (084) 926-8005

\* GOTトレーニングステールの実施会場

開催日:土、日、祭日を除く毎日 午前9:30~午後5:30  
TR:テクニカルーム

商標、登録商標などについて

GOTは、三菱電機株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows NT®、Windows Vista®、Windows® 7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe®、Adobe® Reader®は、Adobe Systems Incorporatedの登録商標です。

Pentium®、Celeron®は、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの登録商標です。

MODBUS®は、Schneider Electric SAの登録商標です。

VNC®は、RealVNC Ltd. の米国およびその他の国における登録商標です。

PC-9800、PC98-10Xは、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。

また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。



# 三菱グラフィックオペレーションターミナル



**三菱電機株式会社**

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北2条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命ビル) / さいたま新都心ビルランドアクスタワー	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古麗ビル)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-6348
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

## インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

FAランドでは、GOT機種選定システム、各種ダウンロードサービス、Q&Aサービス等がご利用いただけます。



### GOT製品検索

● GOTの仕様・形名から製品を検索し、製品の詳細情報が確認できます。

### GOT機種選定システム

● 使用するシーケンサやGOTの台数、機能などを選択し、システム構成に必要な機器のリストを自動作成/簡単に機種選定できます。 **NEW**

### 充実のダウンロードサービス

- オンラインマニュアル
- 製品外形CADデータ
- 体験版ソフトウェア
- ソフトウェアアップデート
- サンプル画面画面
- 作業用部品データ
- テクニカルライブラリ
- 動画コンテンツ制作ツール

**メンバー登録無料!**

## 電話技術相談窓口

	対象機種	電話番号	受付時間 <sup>※1</sup>
GOT表示器	GOT1000/A9000シリーズなど	052-712-2417	月曜～金曜 9:00～19:00
	MELSOFT GTシリーズ		
FGOT/DU表示器	GOT-F9000シリーズなど	052-725-2271	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
	シーケンサ全般		
MELSEC-Qi/LQn/A シーケンサ	シーケンサ全般 (下記以外)	052-711-5111	月曜～金曜 9:00～19:00
	ネットワーク・シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	位置決めユニット、シンボルモーションユニット <sup>※2</sup>	052-712-6607	
	アナログ・温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/ 高速データロガーユニット	052-712-2370	
	電力計測ユニット (QE8 <sup>①</sup> )	052-719-4557	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSOFT統合エッジアンプ環境	MELSOFT iQ Works (Navigator)	052-711-0037	月曜～金曜 9:00～19:00
MELSOFTシーケンサ プログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ SWI_IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援 ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ SWI_IDFC-OSKP/OLEX/XMOPなど	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSECパソコンボード	Q80B2シリーズなど プロセスCPU		
MELSEC計測/Q二重化	二重化CPU MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830	月曜～金曜 9:00～17:00
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	052-712-3079	月曜～金曜 9:00～19:00
ACサーボ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607	
モーションコントローラ	モーションCPU (Q/MTシリーズ)		
インバータ	MELSOFT MTシリーズなど FREOROLシリーズ		
			052-722-2182

## FAX技術相談窓口

MELFANSwebまたは、H0ISELwebのQ&Aもご利用ください。  
なお、お急ぎの場合は、お手数ですが、上記電話技術相談窓口までご相談ください。

対象機種	FAX番号	受付時間 <sup>※1</sup>
上記対象機種 (電力計測ユニット (QE8 <sup>①</sup> ) を除く)	052-719-6762	9:00～16:00 (受信は常時 <sup>※3</sup> )
電力計測ユニット (QE8 <sup>①</sup> )	084-926-8340	9:00～15:00 (受信は常時 <sup>※3</sup> )

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く (通常業務日) ※2: ACサーボ、モーションユニットに对应します ※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

**家庭から宇宙まで、エコチェンジ。**

「eco changes」は「家庭・オフィス・工場から社会インフラ、そして宇宙にいたるまで、幅広い事業を達成し、持続可能な社会の実現に貢献していく、三菱電機グループの環境ソリューションです。」

## 三菱電機トレーニングスクール

東京・大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・高松の各FATEC (FAテクニカルセンター) でGOTのスクーラを開校しています。  
GOTの作画/プログラミングを初歩から勉強したい方におすすめです。

## 三菱電機GOT作画サポート

お客様の画面作成をサポートいたします。  
今までは他社の表示器をお使いだった方を含め、GOTを初めて使用する方に導入時に作画のサポートをいたします。  
最寄の支社へお問い合わせください。

## ご採用に際してのご注意

このハンドブックは、GOT1000シリーズの代表的な特長機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組み合わせによる制約事項などがすべて記載されているわけではありません。ご使用にあたりましては、必ず製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきませうようお願い申し上げます。

当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の子員の有無を問わず特別の賠償が生じた損害、二次損害、事故賠償、当社製品以外の損害およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

## 安全にお使いいただくために

- このハンドブックに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「マニュアル」をお読み下さい。
- この製品は一般工業等を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご相談ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。